

326

352



始



HI3W-5

326
352

優良
村
視
察
報
告
第一回

栃木縣內務部

KE-3W-5

326-352

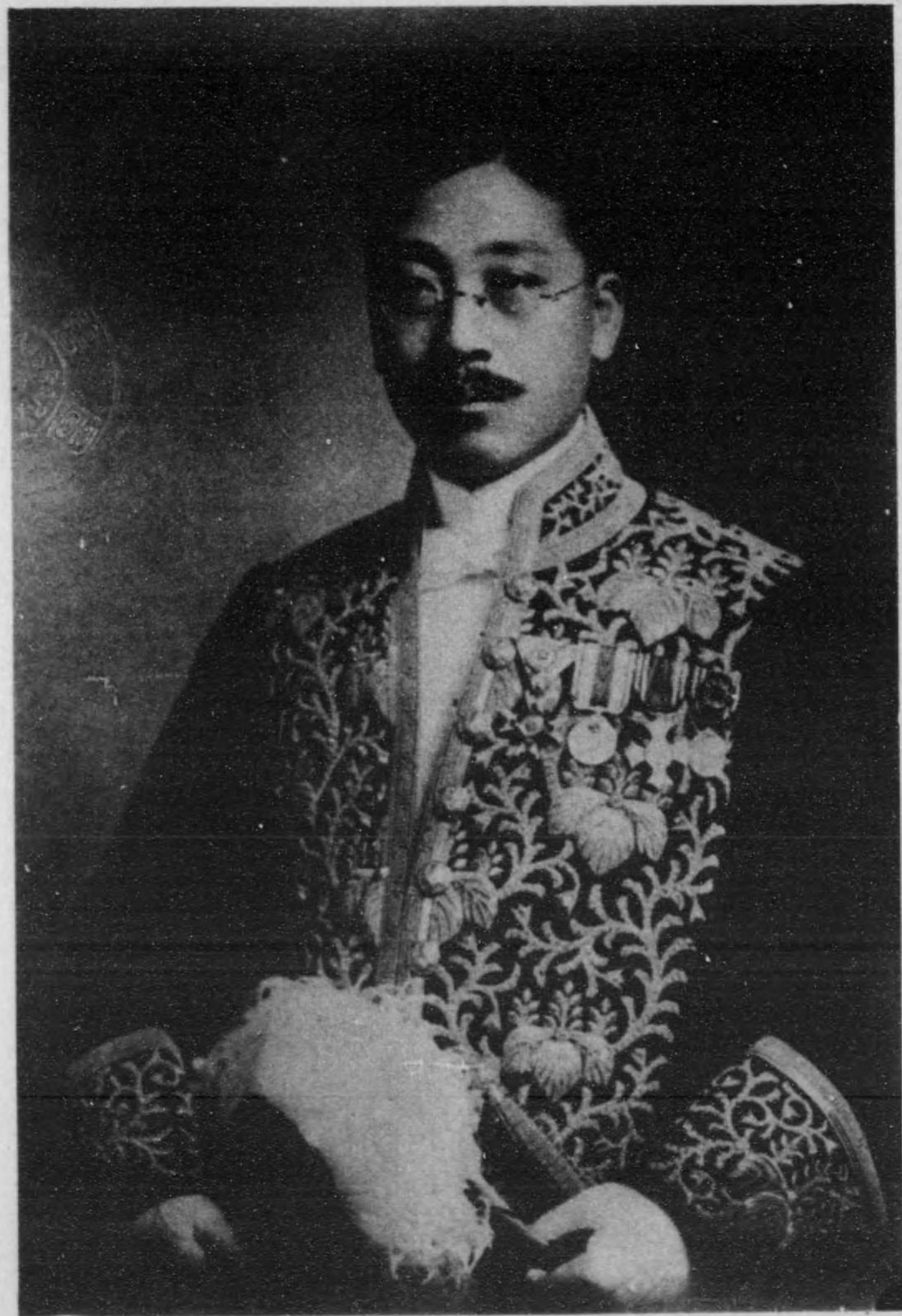


町優
村良
視

察
報
告
第
一
回

栃
木
縣
內
務
部

大正
7.7.2
内交



平塚木縣知事

五大
2.5
空四

(四段右ヨリ)

(三段右ヨリ)

(二段右ヨリ)

(一段右ヨリ)

菊間縣屬

山崎笹宮村長

渡邊菊澤村長

五月女縣屬

山中茂三郎

石原理事官

入江縣屬

石塚南押原村長

八木理事官

橋本小俣村長

笹沼喜連川町長

橋原栃木町長

星藤原村長

河原逆川村長

森本内務部長

山口黒磯町長

坪山葵川村長

鹽谷荒川村長

相馬縣屬

店網植野村助役

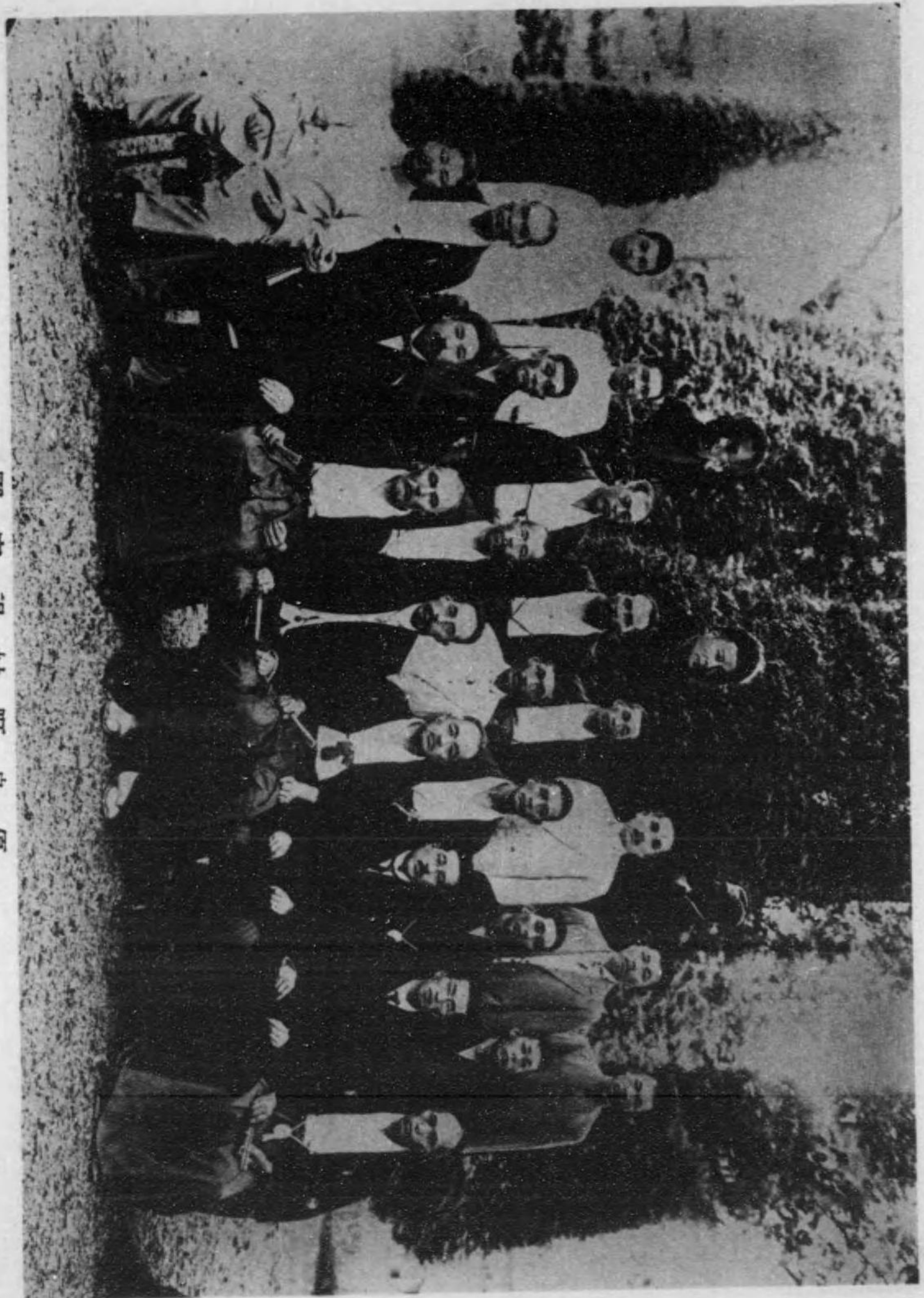
川崎理事官

小島大伏町長

瀧縣屬

邊田祖母井村長

松水小野寺村長



團 察 視 村 町 良 優

(一) 對 答

高 島 康 毅 村 長

江 原 野 事 官

八 木 勝 事 官

榎 原 清 木 村 長

森 本 內 務 部 長

鹽 谷 兼 三 村 長

川 神 野 事 官

外 水 小 禮 堂 村 長

(二) 對 答

山 神 香 宮 村 長

岩 井 田 展 彰 村 長

江 原 南 洋 風 村 長

阿 原 繁 三 村 長

井 山 菱 川 村 長

吉 岡 耕 理 村 長

藤 田 藤 吾 村 長

(三) 對 答

藤 岡 謙 三

五 月 文 雄 村 長

八 木 勝 事 官

榎 本 小 禮 堂 村 長

星 野 原 村 長

山 口 康 壽 村 長

井 原 謙 三

藤 岡 謙 三

(四) 對 答

山 中 武 三 郎

藤 岡 喜 慶 村 長

小 島 大 舟 村 長

地方自治ノ作新事務ノ整美ハ一國ノ進運ニ貢獻スルコト至大
至廣ナリ而シテ各般ノ事務益々改善ヲ要シ廣ク世運ノ進歩ニ
伴ハサルヘカラサルハ謂フヲ俟タス夙ニ内務省ニ在リテハ自
治團體及其ノ當局者竝地方自治ニ功勞アル篤志者ニ對シ之カ
獎勵ヲ爲シ以テ鼓舞激勵スル所アリ本縣モ亦地方改良ノ施設
トシテ其ノ團體ニ於テ其ノ人ニ於テ他ノ範ト爲スニ足ルモノ
ハ之ヲ選獎シ又毎年地方改良講習會ヲ開催シ實際家ノ養成ニ
勉メタルハ固當務ヲ急ト爲ス所以ナリ
自治制制定セラレテ今ヤ三十年其ノ間市町村當局者ニ在リテ
ハ多年勵精能ク其ノ事務ヲ整理シ施設經營亦其ノ宜シキヲ得

自治ノ發達看ルヘキモノアルヲ信ス故ニ市町村政ニ關スル比較研究ヲ試ミ他ノ長ヲ採リ自ノ短ヲ補フニ勉メ益々一郷ノ美ヲ濟シ能ク市町村民ノ一致緝睦スルモノアラハ共同ノ事務整美ノ域ニ達スルノ期蓋難キニ非ラサルヘシ曩ニ新ニ本縣市町村當局者中ニ就キ縣外優良村視察ヲ依囑シタルモ亦他ニ非ラサルナリ

茲ニ其ノ報告ヲ受ク就キテ看ルニ克ク他郷ノ制度ト執務ノ實際トヲ調査研究シ市町村實務ノ參考ニ資スルモノ洵ニ多キヲ認メ之ヲ筆記ニ代ヘテ剴削ニ附シ廣ク縣下ニ頒タシム之ニ依ツテ將來市町村事務ノ整理施設經營ノ資料トシテ効果多キコ

トハ特ニ期待シテ措カサル所ナリ

大正七年三月

栃木縣知事 平塚廣義

大正七年三月五日
本縣地方改良費ニ屬スル施設ノ一トシテ縣下町村
吏員中ヨリ郡長ノ推薦ニ基キ縣外優良市町村視察ヲ依囑シタル視察ノ報
告及感想ニ同行指導ノ任ニ當リシ縣屬ノ報告ヲ併セテ輯メタリ

凡 例

- 一、本報告ハ大正六年度栃木縣地方改良費ニ屬スル施設ノ一トシテ縣下町村吏員中ヨリ郡長ノ推薦ニ基キ縣外優良市町村視察ヲ依囑シタル視察ノ報告及感想ニ同行指導ノ任ニ當リシ縣屬ノ報告ヲ併セテ輯メタリ
- 二、本輯編纂ノ體裁ニ關シテハ提出ニ依ル各報告及感想ニ付一字ヲ加ヘス一句ヲ減セス各人各様ノ觀察ニ重ヲ置キ其ノ儘之ヲ筆寫ニ代ヘテ剗刷ニ附シタリ從テ又各篇ノ順序モ立ツルコト無シ

大正七年三月

內務部庶務課

優良町村視察報告

目次

岐阜縣惠那郡蛭川村	榑原柝木町長(五)
三重縣阿山郡玉瀧村	鹽田祖母井村長(二)
奈良縣生駒郡北倭村	鹽谷荒川村長(一七)
縣外優良町村報告(第二班)	松永小野寺村長(二五)
群馬縣勢多郡木勢村	河原逆川村長(三〇)
岐阜縣惠那郡蛭川村(外二ヶ村)	山崎雀宮村助役(四)
視察感想	石塚南押原村長(四)
所 感	鹽田祖母井村長(四)
優良町村視察ニ就テノ感想	笹沼喜連川町長(四)
優良村ノ視察感想	鹽谷荒川村長(四)
縣外優良町村視察感想	橋本小俣村長(四)
視察感想	大谷村山中茂三郎(四)
視察感想	坪山姿川村長(四)

優良村視察ニ對スル感想……………渡邊菊澤村長……………(五) ✓

縣外優良村視察概況……………河原逆川村長……………(五) ✓

視察感想……………星藤原村長……………(五) ✓

○ 縣外優良町村視察感想錄……………山口黒磯町長……………(五) ✓

縣外視察感想記……………岩井田筑波村長……………(五) ✓

縣外優良町村視察概要……………瀧柄木縣屬……………(五)

縣外優良町村視察概要……………五月女柄木縣屬……………(五)

岐阜縣惠那郡蛭川村……………山崎雀宮村助役……………(二八)

優良町村視察調書……………店網植野村助役……………(二八)



報告書

岐阜、三重、奈良、新潟、群馬ノ五縣ニ於ケル優良町村視察ノ囑託ヲ受ケ
調査了シ候條別紙ノ通り及報告候也

大正六年八月十一日

河内郡姿川村長	坪山多一郎
全 雀宮村助役	山崎正次郎
上都賀郡南押原村長	石塚豊作
全 菊澤村長	渡邊一順
芳賀郡逆川村長	河原邦
全 祖母井村長	鹽田彦四郎
下都賀郡栃木町長	榊原經武
全 小野寺村長	松永和一郎
全 大谷村	山中茂三郎
鹽谷郡喜連川町長	笹沼仲右衛門

鹽谷郡藤原村長 星 藤原 太
 那須郡黒磯町長 山口 兵一 吉
 全 荒川村長 鹽谷 正敏 之
 安蘇郡犬伏町長 小島 時三
 全 植野村助役 店 網 米 藏
 足利郡小俣村長 橋 本 浩
 全 筑波村長 岩井田 彬一 郎

朽木縣知事 平塚廣義殿

視察要項

一、視察團體

第一方面 二分ツ
 第二方面

二、視察時期

第一方面 大正六年七月十日ヨリ十六日迄
 第二方面 大正六年七月十日ヨリ十六日迄

三、視察場所

第一方面 岐阜縣惠那郡蛭川村、三重縣阿山郡玉瀧村、奈良縣生駒郡北倭村
 第二方面 新潟縣中蒲原郡川東村、同郡七谷村南蒲原郡今町、群馬縣山田郡境野村、佐波郡東村

四、視察員ノ範圍

視察員ハ町村長、助役及篤志家ニ限リ第一方面九人、第二方面八人トシ其職氏名左ノ如シ

第一方面

河内郡雀宮村助役	山崎 正次 郎
上都賀郡南押原村長	石塚 豐 作
芳賀郡祖母井村長	鹽田 彦 四 郎
下都賀郡朽木町長	榊原 經 武
鹽谷郡喜連川町長	笹沼 仲 右 衛 門
那須郡荒川村長	鹽谷 敏 之

第二方面

安蘇郡犬伏町長	小島時三
足利郡小俣村長	橋本浩三
下都賀郡大谷村	山中茂三郎
河内郡姿川村長	坪山多一郎
上都賀郡菊澤村長	渡邊順郎
芳賀郡逆川村長	河原邦順
下都賀郡小野寺村長	松永和一郎
塩谷郡藤原村長	星永藤
那須郡黒磯町長	山口兵吉
安蘇郡植野村助役	山田米藏
足利郡筑波村長	岩井田彬一郎

五、視察報告

視察ノ結果ハ大正六年八月十一日別記ノ通り知事ニ報告シ同日本縣主催地方改良講習會ニ於テ總代ヲ選ミテ其ノ概況ヲ報告セシメタリ

六、報告書印刷

視察員ノ感想、視察ニ同行シタル縣屬ノ調査書及報告擔任者以外ノ視察員ヨリ特ニ提出セラレタル報告書ハ視察報告書ニ次テ之ヲ採録セリ

岐阜縣惠那郡蛭川村視察報告

(神原朽木町長擔任)

大正六年七月九日午後八時視察員一行九名宇都宮驛ヲ發シ東北本線高崎線篠井線等ニ依リ拾日後四時參拾五分中央線大井驛ニ下車シテ同所市川旅館ニ宿泊ス翌拾一日午前七時同所ヲ出發シ岐阜縣惠那郡蛭川村ヲ視察ス
 村ハ中央西線大井驛ヲ距ル貳里貳拾五町ナリ驛ノ北方阿木川ノ流ニ沿ヒ下ルコト約一里ニシテ木曾川ニ出テ巖壁ニ横ハル東雲橋ヲ渡リ谿ヲ背ニシ嶺ヲ仰キ高原ヲ行ク事約貳里ニシテ村役場ニ達ス

一 全体ノ概況

(1) 戶數及人口
 戶數 五百戶
 人口 參千貳百六拾人

(2) 地勢及面積
 本村ハ惠那郡ノ西北隅ニ位置シ北ニツ森西ニ笠置ノ二山相連ル東北ハ本郡福岡村加茂郡黒川村ニ接シ西ハ加茂郡蘇原村及本郡中野方村笠置村ニ接シ南ハ木曾川ヲ隔テ本郡大井町ト相對シ東西貳里南北三里面積約三方里ナリ
 (3) 重要産物
 米麥蠶繭米炭重石鑛等ナリ
 (4) 沿革

本村ハ徳川幕府以來獨立ノ一村ニシテ拾貳組ニ分レシガ廢藩置縣ノ後大小區ノ沿革ヲ經テ明治廿二年町村制實施ノ際モ依然獨立ノ一村トシテ存置シ在來ノ組ヲ區ト改メテ以テ今日ニ至レリト

二 町村發達ノ原因

(1) 中心人物
 人物ノ主ナル者ハ林唯平奥田正道ノ二氏ナリ唯平ハ村ノ古老ニシテ維新ノ初ヨリ公共ノ事ニ盡クシ廢藩置縣後副戶長戶長等ニ任セラレ村治ニ勤ムルコト貳拾有余年最モ公私山林ノ經營ニ力ヲ致シ本村ノ大富源ノ基礎ヲ確立シ

タルモノハ實ニ唯平此人ナリ氏ハ町村制實施ニ至リ退隱シタルモ敢テ一日モ逸居セス
奥田正道ハ勤王家ニシテ維新ノ際王事ニ盡ス處アリト云フ維新後岐阜縣師範研習學校ニ入りテ明治八年卒業爾來
本村小學ノ校長タリ明治廿二年町村制實施ニ際シテ推サレテ村長トナル爾來勤績スル事拾有五年ニシテ退隱セリ
氏ガ明治八年ヨリ廿二年ニ至ル拾五年間校長トシテ氏ノ教ヲ受ケタル者數千人現村長ヲ初メ中年以下ノ村民ニシ
テ氏ヲ師トセザル者ハ殆トアラサルナリ

氏ノ人トナリ温良謹直一村ノ長老トシテ殆ント間然スベキ所ナシ村民今ニ至ルモ皆先生ト稱ス氏ハ退隱ノ後今日
猶公共ノ任務ヲ去ラス現ニ報德會社長トシテ其心身ヲ盡クシツ、アリ近ク公共事務勤勉ノ廉ヲ以テ藍綬褒章ヲ授
ケラレ明治參拾九年三月教育事務ニ盡力シタル廉ヲ以テ縣知事ヨリ金貳拾圓ヲ賞與セラレ更ニ明治四拾貳年貳月
文部大臣ヨリ小學教育績狀ト賞金百五拾圓ヲ與ヘラレタルニ氏ハ此金ヲ以テ土地ヲ開墾シテ向フ五拾年間其收
益ヲ村ノ爲メニ寄附スル事トセリ故ニ其德化ノ人心ニ入ル事最モ深シ實ニ唯平正道ノ二人ハ一村興隆ノ根源ヲ培
養セシモノナリ

(2) 理事者教育家篤志家ノ努力

村長助役校長教員等ハ村教育會青年會示談會巡回講話會婦人會衛生會等ノ爲メニ講演ノ任務ヲ擔當シ定時臨時ヲ
問ハス開會毎ニ出席シテ村民ヲ指導セリ

三 町村吏員

(1) 吏員數 勤績年數

村長名譽 一人 助役名譽 一人 收入役 一人 書記 四人 林業手 一人 學務委員 五人
林業委員 五人 區長 拾貳人 道路委員 二人 區長代理者 拾貳人

(2) 待遇方法

村長報酬年百五拾六圓助役同年貳百拾六圓收入役月俸拾圓也書記拾四圓一人拾貳圓一人拾圓一人林業手拾五圓一
人

四 村會議員

(1) 議員數 拾貳人

(2) 待遇方法

出務手當一日金四拾錢其他ニ待遇ノ途ナシ

五 事務處理ノ方法

(1) 事務分掌

事務ノ分掌ニ付テハ特ニ記スベキ著シキモノナキモ現助役田口久夫氏頗ル吏務ニ練達シ自ラ工夫考案スルモノ多
シト言フ今其一ヲ掲ケンニ事務室内ニ多クノ木札衝立ヲ設ケ種々ノ事項ヲ掲表ス其一ハ進達期限一覽ニシテ一年
中ノ定期臨時ノ進達報告期限ヲ列記シテ朝夕望ミ見ルニ便ス此表ヲ設ケシ以來一モ發送ヲ遲延セシ事ナシト云フ
其二ハ生年別本籍臺帳同寄留臺帳其三ハ累年統計表臺帳ナリ共ニ執務ニ便利ナルモノト認ム事務ハ法規ト事實ノ
許ス限リ管轄ヲ旨トシ普通ノ事務ヲ即日ニ辨シ特ニ繁忙ノ時ハ夜業ヲナシ之ヲ補フヲ例トス
法令例記臺帳原簿ノ整理書類ノ保存ノ方法ハ町村制實施以來ノモノ殆ント完備シ特ニ各種簿冊等ノ目錄索引ニ注
意シ何レモ一目瞭然タリ 書類ノ整理文書收受方法等ニ關シテハ特ニ記スベキ著シキモノナシ

六 豫算

(1) 大正六年度豫算額一萬參千七百貳拾貳圓ナリ戶數等級四拾二分ツ一戶負擔額ノ最高百〇八圓〇三錢最低六
拾參錢也

七 納稅獎勵ニ關スル施設

(1) 納稅組合ナシ然レトモ十二各區ノ委員徵集期日以前之ヲ取集メ期日ニ完納ス數拾年來一人ノ滯納者ナシ
(2) 本村民ハ元來勤儉ノ美風ニ富メル且ツ當局者ノ指導獎勵其宜ロシキヲ得タレハ村内殆ント窮民ヲ見サルノ
ミナラス各戶各團體ノ貯金年々増加シツ、アリ全村ヲ組合トスル蛭川貯金組合アリ組合員四百四拾六人ニシテ毎
月最低金拾錢以上最高金六拾錢以上ヲ蓄積スルモノニシテ明治參拾七年五月ヨリ昨年末マテ既ニ參千貳百一圓四
錢五厘ヲ貯金ス又青年會員ノ貯金組合在郷軍人ノ貯金組合婦人會貯金組合小學校生徒貯金組合アリ斯クノ如ク村

民一同勤儉努力貯金ヲナスヲ以テ今ヤ村民生活狀態頗ル安全堅實ニシテ家計ニ窘シム貧民ナク小學兒童ノ出席等ニモ絶テ影響スル所ナカリシト云フ

(3) 表彰其他

明治四拾年三月普通教育ノ施設宜ロシキヲ得成績優良ナル廉ヲ以テ縣知事ヨリ獎勵金五拾圓ヲ與ヘラレ明治四拾二年七月拾二日再ヒ縣ヨリ園村輯睦勤儉ノ美風ニ富ミ協力一致自治ノ發達ヲ圖リ且ツ教育ノ振興産業ノ改良村有林ノ經理及基本財産ノ増殖等其成績殊ニ佳良ナリトス仍テ之ヲ表彰シ併セテ金五拾圓ヲ授與ス
更ニ翌四拾參年二月ニハ内務省第一回ノ選奨ヲ蒙リ左ノ賞ヲ受ケタリ
協同輯睦相率ヒテ克ク公共ノ事ニ竭クシ整理經營共ニ見ルベキモノ少カラス今後尙一層ノ奮勵ヲ以テ互ニ相戮力シ益々其實績ヲ擧クベシ茲ニ金八百圓ヲ授與ス

明治四拾三年二月二十五日

内務大臣從二位勳一等法學博士子爵 平 田 東 助

右ノ外五代目ノ村長藤藤秋三郎ハ明治三十八年三月多年教育事務ニ盡力セシ廉ヲ以テ金貳拾圓助役田口久夫ハ四拾一年三月同様ノ廉ヲ以テ金參拾圓ヲ與ヘラレ尙ホ久夫ハ四拾二年七月拾貳日多年在職克ク村長ヲ輔ケテ村務ヲ整理シ殊ニ村有林ノ經營基本財産ノ増殖並ニ教育及産業ノ振興發達等ニ參畫盡瘁シ其功勞顯著ナリトス仍ラ茲ニ之ヲ表彰シ併テ銀盃一組ヲ授與ストノ表彰ヲ受ケタリ是等選奨ノ爲メニ當局者ハ勿論村民自カラ満足シテ敢テ懈怠スル處ナク益々奮勵努力シツ、アリ

八 基本財産ノ造成及管理方法

(1) 村有山林一千參百六拾七町ノ基本財産アリ内山林八百貳町五反〇貳拾四步ヲ年々二十町ツ、杉檜ヲ植付ク造林トナスベク明治三十八年ヨリ着手シ既ニ二百九拾町余歩ノ造林ナレリ殘ル五百町余ハ年々輪伐ヲ行フ其收益又多ナリ

村有有價證券四千九百四拾圓株券一千圓郵便貯金及銀行預金一千貳百六拾圓八拾七錢

(2) 小學校基本財産一万〇參百〇六圓也村社有基本財産有價證券七百圓郵便貯金銀行預金四百六拾六圓〇五錢軍

人分會基本財産有價證券六百圓郵便貯金及銀行預金七百五拾七圓五拾一錢貳厘

村農會基本財産有價證券百參拾圓郵便貯金及銀行預金九圓六拾五錢村教育會基本財産有價證券參百圓郵便貯金銀行預金貳拾五圓四拾九錢同教育會獎勵金基金百六拾九圓八拾錢獎學資金積立金參拾七圓貳拾壹錢馬夫組合基本財産郵便貯金及銀行預金四百九拾圓貳拾五錢其他安弘見報德社ノ資金貳千四百四拾六圓アリ

九 部落有財産統一方法

部落有財産ナシ從テ統一方法ナシ

一〇 教育事業ニ關スル施設

(1) 村教育會アリ正副會長各一人理事四人評議員廿四人年々參拾貳回ノ總會ヲ開ク村内戸主全部ヲ以テ會員トナス教育ノ普及改善ヲ圖ルヲ以テ目的トス但シ干與スル處教育ノミニ限局セス他ノ諸團體ト相待テテ自治体生活ニ裨補スル處少カラスト云フ

(2) 蛭川青年會アリ

明治廿四年ノ創立ニシテ會員ヲ分チテ三種トス通常特別名譽會員ニシテ通常會員ハ拾三歲以上但シ(小學校在學者ヲ除ク)廿五歲ノ男子トス

本會ノ目的ハ青年ノ教化身心ノ修養練磨風俗改善實業改良其他一般ノ公共的事業ニ盡力スルニ在リ會員中滿廿歲迄テノ者ハ實業補習學校ニ入りテ普通教育ノ温習補充ヲナシ及實業上ノ研究ヲ爲ス事

其他八ヶ條ノ實行事項ヲ定ム

村内數箇所ニ夜學會ヲ開キ會員ハ必ス之ニ入テ學ヒ又ハ村農會ノ農事試作場ノ囑託ヲ受ケ或ハ村ノ事業ヲ請負ヘテ資金ヲ得ル等ノ事ヲ擔任ナシ會ノ目的ヲ達スルニ汲々タリ

其他蛭川婦人會アリ處女會アリ風俗ノ改良勤勉貯金農蠶等ノ改善家庭教育ノ改良ノ發達自家衛生共同衛生ノ完全普及ヲ圖ル事等ニ活動ス

一一 公衆衛生ニ關スル施設

(1) 衛生會ナルモノナシ (2) 上下水設備ナルモノナシ

(3) 隔離病舎アルモ傳染病豫防ニ關スル特種ノ施設ナシ

安弘見報徳社

安弘見報徳社ヲ組織シ漸次其業ヲ進メ今日ニ至リ現在ノ社員百貳拾七人ヲ有スルニ至リタリ
濟美會ナルモノアリ去ル明治四拾參年ニ内務省ノ表彰ヲ記念トシ設ケタルモノナリ一種ノ商議機關ナリ村ノ先輩
元老ノ會合ニシテ自治ノ改善進歩ニ關スル講究ヲナシ村治ノ方針ヲ定ムル處ナリ
在郷軍人會蛭川分會アリ特ニ記スベキモノナシ
馬夫組合ナルモノアリ是又注意スベキ一ナリ明治四拾一年ノ創立ナリ初メ往來ニ接スル農作物ヲ馬ニ食マシメ損
害ヲ與フル等ノコトアリシニ軍人分會ノ一員之ヲ慨シテ同業者ヲ説キ組織シタルモノナリ其特色トスベキ規定左
ノ如シ

一、荷物ハ總テ丁寧ニ取扱ヒ迅速ニ運搬スル事

一、道路ハ左側ヲ通行シ馬ハ追掛ケヲ爲サザル事

一、引綱ハ成ベク短カクシ夜中ハ必ス燈ヲ携フル事

一、道路橋梁ノ小破損ハ直チニ應急ノ手當ヲナシ大破損ハ直チニ村役場ニ通告スル事

一、通行ノ際ハ注意シテ農作物ヲ馬ニ食マシメザル事

而シテ嚴重ナル罰則ヲ設ケテ違背者ヲ制裁スルコトトナシタリ爾來馬夫ノ風議一變シテ村ノ内外ニ大ニ信用ヲ博
スルニ至レリ

宗 教

本村ハ村民ノ大部分神道ノ信徒ナリ明治維新ノ初メ苗木藩ノ大參事トシテ藩政ヲ料理セシハ青木直通ニシテ此人
平田先生ノ門人ナリ當時排佛論ヲ實行シテ領内ノ堂宇伽藍ヲ破却シテ佛像ヲ燒棄シタリ此時村内一時佛徒全滅シ
全村悉ク神道ニ歸セリ神道家井口丑二氏神國教ヲ鼓吹シカアリト云フ後日ニ至リ村内ノ一寺院ヲ再興シ佛教ヲ信
仰スル者五六十戸アリ
以上ノ外特殊ノ施設トシテ報告スベキモノヲ認メス

三重縣阿山郡玉瀧村視察報告

(鹽田祖母井村長擔任)

一、位置本村ハ伊賀國阿山郡ノ北部ニアリ元三大字ノ合村ナリ東西二里二十三町南北一里二町關西鐵道柘植驛若
クハ佐那具停車場へ二里半

一、地勢村ノ周圍ハ丘陵所々ニ圍ラシ其間ニ濕潤ナル耕地連續ス
戸數五百四十三戸人口三千二十八人

田三百七十八町一反二畝十七步地價金十四万九千三百圓七十五錢

畑六十五町六反六畝六步地價金八千九百四十九圓七十一錢

一戸當耕地八反一畝二十一歩

宅地十萬四千七百坪 地價金貳万八千五百六拾五圓六拾參錢

山林原野雜地七百七十町八反六畝步地價金千貳百五拾八圓貳錢

此民有面積千貳百四十九町五反四畝貳拾參歩一戸當二町三反十二歩

外ニ池沼其他二十五町四畝十七歩

國有林六拾町八反八畝二十一歩 無立木地

一、民情本村農家四百九十六戸商工家四十七戸戸數割平均額負擔スルモノ二百一十一戸以下三百三十二戸負擔歩合
最高ハ最低ノ百二十倍所得納稅者七十七人民情ハ淳朴ニシテ勤儉力行常ニ勤勞主義ノ美風ニ富ム

一、役場事務村經費豫算總額金八千參百參拾九圓拾錢

內金八千百參拾四圓拾錢

同金貳百五圓

經常部豫算高
臨時部豫算高

事務處理ノ方法(二分掌)

- 一、分掌助役庶務社寺其他ノ戸籍兵事一人
- 二、分掌稅務學事一人 勸業林業土木一人

書類整理其分掌主任ニ於テ整理スルコト
 法令規ノ整理方法 庶務係ニテ加除ス
 臺帳原簿ノ整理方法 主任ヲ撰ミ年二回精算ス
 書類ノ保存方法 前項處理既決ノ上總テ五年以上ノモノ取調永年保存スルモノトス
 未決書類ノ整理方法 事務時間ノ延長若クハ夜業ニ修理スベシ
 一、執務方法

文書收受方法 村長若クハ助役受付認印ノ上主任ニ配布ス又ハ上級書記受付タルトキ村長ニ提供シ助役ヨリ主任ニ配付ス
 報告期限進達期限ニ關スル注意ノ方法

進達期限一覽表ヲ對建ニ小札ニテ揭示シ既決シタルトキハ其レヲ裏替ニス
 特ニ戶籍事務ニ就テハ移動人名生年月日等毎日副書ス
 町村吏員數動續年數

舊戶長時代ヨリ繼續村長第一次	木津善兵衛	動續五ヶ年以上
第二次	岩島 右平	同 七ヶ年以上
第三次	木津慶次郎	同 十三年以上
第四次	岩島龜三郎	同 一ヶ年以上
現 村 長	岩島龜三郎	同 一ヶ年以上
同 助 役	内保鹿次郎	同 一ヶ年以上
同 收入役	瀧島保之助	同 十五年以上
同 書 記	三名何レモ拾年前後	

一、沿革 本村ハ今ヨリ二十五年以前ニアリテハ村勢甚ダ不良ニ傾キ元來舊領主時代ト維新當時ノ貢ノ負擔輕重ノ差ニ因ツテ村民遊惰奢侈ニ流レ動モスレバ犯罪者ヲ出ス遂ニ全村生活窮迫ニ際界シ不幸明治十六年ノ不作ニ遭遇ス同二十拾年ニハ村内通シテ一割八歩ノ利付元金四万五千五百圓余ノ負債ヲ嵩ジ中ニハ土地ヲ賣拂ヘ立去ラ

ントスル者モアリ此ノ時ニ至リ村當局者村勢ノ改善ニ盡力ヲ累ネタルコト久シカリシモ其コト遂ニ行ハルルナク此際前村長木津慶次郎氏推サレテ村長ニナリ同氏茲ニ於テ一村ノ衰運ヲ挽回セントシテ銳意熱心ニ事務整理ト村勢ノ發展トニ精勵シ役場ニ於テハ口頭申告ノ例ヲトリ専ラ事務ノ敏活ヲ期シ最近十有余年報告文書ノ期限ヲ愆リタルコトナク其處理ヲ了セル文書ハ一々部門ヲ分チ索引ヲ附シテ編綴シ之レヲ文庫ニ入レ極メテ鄭重ニ保管セリ

一、議員ト理事者ノ關係 議員並ニ村民ノ理事者ヲ信賴スルコト甚タ厚キモノアリ指導獎勵ニ違フコトナク相互ニ扶ケテ恰モ一家ノ如ク然レドモ當局者村治ノ圓滿ヲ慮ラン爲メ役場門柱ニ一ノ投書函ヲ掲ケテ村民ノ意見ヲ徵セリ

一、納稅 村民納稅ノ義務ヲ重ジテ今ヨリ二十五年以來一人ノ滯納者ヲ出シタルコトナシ然レドモ此ノ美風ヲ良習セシメンガ爲メ納稅申合規約ヲ設ケテ各自ニ之レヲ確守シ亦一般ノ便宜ヲ圖リ納稅切符入ヲ各戶ニ配布シ納期ト稅目トヲ周知セシメテ用意ナラサシム

一、納稅賦課 租稅ノ賦課ニ就テハ常ニ慎重ナル調査ヲ重ネ特ニ戶數ノ如キ民衆ノ全般ニ關スルモノハ之レガ等級ヲ査定スルニ際シテハ三度其注意ヲ促シ實地ニ就テ一々確實ナル審査ヲ遂ゲ以テ均衡ノ誤リナカラシムコトヲ期セリ不當ト認メタルモノアルトキハ直ニ其事由ヲ申告セシムベシ

一、起工事業 本村ハ周圍山嶺ノ間ニアリ明治二十三年ヨリ數次ニ起工シ工費壹万參千余圓ヲ投ジテ水口、玉瀧ノ兩街道ヲ改修シ亦里道ノ改修ニ就テハ専ラ青年ヲシテ擔任セシメ耕田ハ概ネ用水ニ乏シク降雨ナケレバ稻作乾萎甚シキハ枯死スルコトモ尠カラズ明治二十九年ヨリ溜池八ヶ所擴築浚深ニ數年ニ亘リ完成ス爲メニ田二十町ヲ増加ス之レニ反シ村ノ一部ハ雨水ノ害ヲ蒙リ此ノ工費壹万參千余圓ヲ投ジテ河身ノ改修竣成シ水害ノ患ヲ絶テリ

品質改良、共同採種苗代改良ニ就テハ試驗田ヲ設ケ培養ハ農事各般ノ範ヲ示シテ一般ニ普及實行セシメ害虫麥奴驅除ヲ勵行シ苗代及立毛産米検査ニ就テハ米撰俵裝品評會ヲ設ケ地主會ヲ起シ小作人ニ獎勵セシメ一等米壹石ニ付金拾五錢二等金拾貳錢三等金八錢

養蠶業ニ就テハ蠶種桑苗共同購入ヲ行ヒ稚蠶ノ共同飼育蠶病ノ消毒ヲ獎勵ス
茶業ニ就テハ茶園ヲ整理セシメ從來ノ混植ヲ止メシメ製法ハ専ラ宇治靜岡ノ製法ヲトリテ粗製濫造ヲ戒メ畜産
ニ就テハ信用組合ヨリ低利ノ資金ヲ供給セシメ牘牛ノ飼育ヲ勸メ木炭ニ就テハ申合規約ヲ設テ產地検査ヲ勵
行シ

副業トシテ養鶏ノ繁殖ヲ獎メ眞田編技術員ヲ聘シテ周ネク家庭工業ノ範ヲ示セリ
一、右部落ニ共同集積倉庫ノ設アリ
地主會ノ經營ニ成リ品質ヲ改良シ共同ノ販賣ニ依ラシメ且ツ信用組合ノ活動ト相待ツテ一村ノ金融ヲ疏通セシ
ムルニ便セントノ主旨ニ出テタリ地主小作人ハ産米検査ヲ經タル後無料ニテ隨意寄託シ預證ヲ受取其預證ヲ以
テ小作米ニ代ユルコトヲ得ヘク金融ニ要スル者ハ信用組合ニ提供シ簡易ノ手續ニテ低利資金ノ貸付ヲ受クルコ
トヲ得ベシ寄託者ノ要求ニヨリ毎月一二回ヲ期シ競争入札ヲ以テ共同販賣ニ付スルコトトシ毎月千俵以上ノ販
賣ヲ爲セリ其代金ヲ受領スルヤ之レヲ寄託者ニ交付スルカ又ハ信用組合ニ負債ノ支拂ヲ了セシメ一ケ年取扱高
壹万四千俵之レヲ個人販賣利益ニ比スルニ千四百七拾八圓ナリ
元學校二校アリ明治三十四年ヲ以テ一校ヲ新築シ職員待遇ヨロシ貧窮ノ子弟ニ對シ學費並ニ食費補助ス必須科
目外男子農業科ヲ設ケ女子裁縫補習科手工科ヲ加設セリ暑中休暇ヲ以テ低能兒ノ教習ニ隨ヒ或ハ青年團ヲシテ
夜學會ノ教授ニ任シ其他吏員ヲ佐ケテ共ニ風教改善ニ盡瘁セル所固ヨリ尠シトセズ
青年團ハ村長自ら主宰ス夜學會講習會共同作業不毛ノ土地拓キ桑園試驗圃植苗三十万本培養毎年輪植ス青年團
所屬ノ造林道路修繕生産物運搬共同貯金千余圓蓄積シ近隣村ノ範ヲ示セリ
同窓會アリ卒業生ト學校トノ連絡ヲトレリ
婦人會處女會モ備ハリ更ニ巡回圖書館ノ設ラルルアリ
壯丁ニ對シテハ何レモ豫修教育ヲ施シ毎年夏季ニアリテハ青年ノ英語講習會ヲ開催スルヲ例トス一村ノ意ヲ教化
ニ用ユルコト此ノ如シ
軍人恩賞賜金並ニ遺族ノ特別賜金共濟會ノ設ケアリ

壯丁入營ニ際シ華美服裝ヲナス者アリ村ノ振武會ヨリシテ黒木綿ノ紋付羽織並ニ小倉袴ヲ贈リ入營ヲシテ其服裝
ヲ一定セシメタリ

合祀モ亦夙ニ著手セラレテ其維持ヲ鞏固ナラシムルノ途既ニ備ハリ

- 村社ニ社 神職主務
- 一、玉瀧神社 年俸千參百圓
- 一、眞木山神社 同 千八百圓

基本財産其他

- 村基本財産蓄積高參万九百拾七圓
- 村有殖林地百二十一町三反四畝十七步
- 學校演習林三町三反九畝廿七步
- 以上ノ外村有土地建物ノ價格壹万八千六拾貳圓
- 神社ノ基本財産蓄積高參千六百四拾五圓
- 神社有土地ノ價格八千八拾壹圓

前村長木津慶次郎曰ク

本村ノ主ナル要點ハ土地ノ耕作狀況ニアリ本土ハ強生粘土質田ハ濕潤畑ハ乾燥鞏固ナリ此ノ耕耘方法田ハ水留底
掘工事ト稱シテ年ノ秋季ヨリ地底ヲスキ反シ(牛馬耕使用ナシ一反歩人工五十人)客土一反歩ニ付山土二千貫目以
上散布シ乾燥ナラシメ畑ハ掘込工事ト稱シテ雜草又ハ小粗朶ヲ地底ヘ敷入ル施肥トシテ何レモ二ケ年經過ノ堆積
肥ヲ施用ス之レガ爲メ累年收穫(元反當一石九斗)及市場價格(他ニ比較元五拾錢安)増加ヲ見ルニ至ル茲ニ於テ共
同勤儉主義ヲ涵養セントシテ増收ノ余融金ヲ以テ日掛ケ貯金ノ制ヲ設ケ一日壹錢以上ノ貯金ヲ爲サシム明治二十
年ニ貯金者四十六戸同二十九年ニ至リ貯金貳万圓ニ達セリ株式會社資本金五六万圓ノ玉瀧銀行ヲ設立シ同三十五
年蓄積組合ヲ結ビ貯金ノ總額ヲバ拂込ノ資本ニ供シ信用組合ヲ組織ス年支出金參万圓余九万八千五百六拾圓ヲ資
本トシテ産業組合ノ基本トシテ農業倉庫又ハ豫備倉トシテ四ヶ所ニ設ケアリ共同購買販賣ス民間ノ餘力現在計金

拾七方圓外ニ預ケ金壹万貳百圓軍事賞賜金貳万一千圓ナリ例ハ各自ノ財産ニ天災地變アルモ團體二十年ノ曉ニハ其救濟簡易ナルモノト安ンズ

明治二十年以前ハ他町村人ノ所有地九町三反歩村民ノ他町村ニ所有スル土地僅カニ七反歩然ルニ今ハ他町村所有地五町四反八歩ニ減シ村民ノ他町村ニ所有土地ハ二十町二反歩ノ多キヲ加ヘ全ク反對ノ現象ヲ呈スルニ至レリ之レ即チ産業組合ノ發展ト勤勞主義ノ實行ニテ舊衰運ヲ挽回シタリトイフ

表彰 玉瀧村
協同輯睦相率キテ克ク公共ノ事ニ竭シ整理經營共ニ見ルベキ者少ナカラズ今後尙一層ノ奮勵ヲ以テ互ニ相戮力シ益々其實績ヲ擧クベシ茲ニ金壹千圓ヲ授與ス

明治四十四年二月十一日 内務大臣正三位勳一等法學博士子爵 平 田 東 助

前村長 木津慶次郎

明治四十年四月三日三重縣知事ヨリ旌表、同年十一月三日文部大臣ヨリ選獎 同四十三年十二月藍授褒章下賜、大正二年二月十一日市町村吏員獎勵規程ニヨリ三重縣知事ヨリ賞表金百圓給與、同年九月七日大日本農會總裁ノ宮殿下ヨリ優功章下賜其他本村ニ對スル感謝狀表彰狀褒賞狀數件アリ

現村長 岩島龜次郎

大正四年三月廿二日市町村吏員獎勵規程ニヨリ三重縣知事ヨリ旌表金貳拾圓給與

現助役 内保鹿次郎

大正四年三月廿二日市町村吏員獎勵規程ニヨリ金參拾圓給與

現收入役 瀧島保之助

大正二年三月卅一日三重縣農會ヨリ特別表功狀並ニ目錄ノ物品時計授與大正四年九月十四日統計事務ニ精勵シタル成績ニヨリ銀時計一個賜與 大正六年三月三十一日市町村吏員獎勵規程ニヨリ三重縣知事ヨリ金參拾圓授與、其他書記二人ノ金品表彰アリ

奈良縣生駒村北倭村視察報告

(鹽谷荒川村長擔任)

一、位置 大和國ノ北隅ニシテ東ハ山城西北ハ河内ニ接シ東西一里二十二丁南北二里十八丁奈良縣廳ヲ距ル四里生駒郡役所ヲ距ル三里關西鐵道四條驛二里半同木津驛二里大坂軌道富雄停留所迄テ一里九丁ニシテ生産物販賣上最モ便利ノ所ニアリ

一、村ハ 大字高山、鹿畑、上、南田原、北田原ノ五大字ヨリ成立ス又行政機關運轉ノ便宜上高山ヲ六區ニ分チ他ノ大字ヲ一區トシテ都合十區トシ每區ニ區惣代ヲ一人宛ヲ置ク更ニ之レヲ小別シテ小部落十五戸乃至二十戸ヲ一組トシ七十組ニ分チ每組ニ組頭一人ヲ置キ此ノ區惣代十人組頭七十人ノモノハ常ニ人民ニ對スル通達諸般ノ調査等活動的行政機關之レニ依テ備ハレリ

一、戶口 大正五年十月現在戶數一〇八一戶人口五、五三四人一戸平均五人一分家庭ノ人多シト云フベカラズ本年度ハ前年ヨリ戶數ニ於テ三戸ヲ減ジ人口ニ於テ四十四人ヲ増セリ人口ハ之レヲ日本ノ増加率ニ比較セバ著シキ減少ノ感アリ

一、土地 田六百八十四丁余畑七十七丁餘宅地十四万三千四百餘坪山林六百九十五町餘原野二町餘池沼僅ニ三畝廿五步總地價金三十一万六千三百三十六圓餘ニシテ一戸當田六反三畝拾步畑七畝拾五步宅地百三十二坪餘地價反當田平均三十七圓七十一錢畑拾五圓八拾七錢雜地七十二錢八厘宅地坪當貳拾九錢參厘ニシテ上田ノ收穫ハ米三石二、三斗土地賣買價格ハ大正元年ニハ壹反步壹千圓大正五年ニハ八百圓ニ下落シ同六年ニハ壹千圓ノ見込ナリ

田地所有者ニシテ拾町步以上ノモノ一人五町步以上ノモノ十五人參町步四十二人壹町步以上百四十五人五反步以上百四十五人三反以上百二十五人三反步以下四百五人全ク土地ヲ所有セザルモノ百三人ニシテ農家ハ八百七十六戸自作農二百八十四戸自作兼小作農百六十一戸小作農ハ十五年前ニ比シテ七十七人ヲ減ゼリ

一、役場 村長、助役、有給助役、收入役、各一人書記四人雇二人ヲ組織ス
大正六年度ハ村長報酬百五十圓助役百三十圓助役給料月俸拾參圓收入役全額書記月俸拾壹圓平均額雇八圓ニシ

テ役場費總額三千九百十三圓六十二錢ヲ計上ス、内費用辨償額ハ四百八十圓ナレトモ村長特別實費ト稱スルモノ貳百圓アリ之レハ普通實費外ノ計上ナリ
此ノ役場ニテ取扱ヘタル大正五年度ノ件數ハ收受五千六百七十件ニシテ發送ハ八千三百八十件合計壹万四千五百十五件ナリ

同年ニ於テ該村ヲ視察シタル者一府三十二縣ニシテ人員四百七十人何レモ理事官郡長町村長小學校長等ナリ
一、村ノ總經費 大正六年度ハ歲入金貳万八千六百九圓九十九錢貳厘地租所得稅國稅營業稅附加稅ハ共ニ制限率迄縣稅ハ百分ノ五十、戶數割大正五年度最高貳百三十圓最低貳拾錢一戶平均額拾參圓五十一錢二厘且ツ類例ノ少キ歲入ハ尋常科ニ於テ授業料ヲ拾錢五錢ノ二種ニ區別シテ徵收スルコトナリ

歲出額ハ歲入ト同斷内重ナルモノハ會議費三百圓土木費五百圓教育費壹万壹千六百九十一圓九十七錢貳厘ナリ
基本財産造成費五千五百八十九圓三十二錢ハ其村ニ對シ教育費ト共ニ驚クベキ多額ナレモ亦勸業ノ臨時部ト共ニ四百七十圓ハ少額ナランカ歲入歲出共ニ細目ノ點ハ之レヲ畧ス然レトモ本村ノ臨時費ハ可成寄附金募集ノ方針ニ依リ細民ノ負擔ヲ輕ルカラシムル爲メ大正五年度ニ於テ負擔ノ最モ多キモノハ七百九十四圓四十六錢少キモノ六十六錢ニシテ專ラ細民ノ保護ニ努ム

一、教育 尋常小學校一、尋常校三、分教場一、高等科學級一、生徒十八人尋常科學級十二、六百五十六人正教員十四人高等科正教員月俸平均額貳拾六圓貳拾錢尋常科貳拾參圓貳拾錢ニシテ代用教員二人常任學務員一人三十六年ヨリ全部就學ス

就學督勵ノ方法關係吏員職員ハ各々區會所ニ出張シ兒童保護者ヲ召集シテ就學ノ請書ヲ徵ス此ノ督勵ハ毎年一月二十七日ニ始メ二月四日ニ結了ス

但シ貧困ニシテ學業篤志ナル保護者十五人ヲ限リ一人金五十錢宛ヲ獎學基本金利子中ヨリ授與ス

一、補習教育 農業補習學校ハ是又注目ニ値スベキモノ、一ナリ今大字高山ニ於ケル補習教育ノ狀況ヲ見ルニ以前ハ青年夜學會ニ等シク教員ハ區會所ニ出張シテ教授シタリ會員モ亦十五歲以上二十五歲迄ニシテ年齡學科程度共ニ不同ノ爲メ成績良好ナラザリシガ昨年九月ヨリ其方法ヲ改メ全部一學校ニ集合シテ教授スルノ方法ヲ謀

レリ就學年齡ハ學校教育ヲ終タルモノニシテ壯丁ニ達スル迄ヲ程度トス學級ノ編成ハ尋常卒業程度ノモノヲ一學年トシ高等科又ハ農學校半途退學者ヲ以テ二學年トシ高等科卒業者ヲ以テ三學年トス修業年限ハ各二ケ年トス學科ハ戊申詔書教育勅語本村選獎ノ時ノ村民大會ノ決議事項ヲ主トシテ之ニ偶發事項ヲ加ヘテ教授ス國語算術ハ一學年ニハ尋常五、六、年用ノモノニ學年ニハ高等科一學年用ノモノニ三學年ニハ高等科二學年用ノモノヲ課ス農業ハ郡教育會ニテ青年讀本トシテ作リタル農業教科書ニヨル而シテ三學年ニハ村ノ實際ニ就テ教授ス教員受持ハ第一學年ハ學級擔任トシ第二學年以上ハ分科擔任トス農業ハ郡立農學校長ニ囑托シ他ハ小學校教員中適任者ヲ選ンテ擔當セシム教育期間ハ九月十月及ビ一、二、三、四、月ノ六ケ月間毎週月、水、金ノ三日間午後七時ヨリ九時迄トス就學者ハ第一學年四十人第二學年二十人第三學年五十人計百十人ニシテ通學ノ最遠距離ハ四十町以上ノモノアルモ毎日ノ出席歩合ハ八割五分ニ達ス補習教育ヲ受クルモノト青年會員ハ略同一ナルヲ以テ出席獎勵ノ方法ノ如キ青年會ニ於テ共勵スルノ狀況ナリ學校ニ於ケル出席獎勵法ハ出席簿ヲ二重ニ作り一ハ學級別出席簿一ハ部落別出席簿トス學級別出席簿ハ教員ニ於テ部落別出席簿ハ青年會幹事ニ於テ取扱ヒ日別出席一覽ヲ二様作リテ各員ニ示ス

缺席セントスルモノハ幹事ニ報告スルコト、シ又缺席二日以上ニ至ルモノハ會長ヨリ區惣代ニ報告シ區惣代ハ戶主父兄等ニ通告シテ獎勵ス又二ケ月毎ニ團體トシテ其ノ出席成績良好ナルモノニ對シテ賞與ヲ行ヒ其出席歩合ハ百分ノ七十ヲ下ルヲ許サズ

又個人トシテ無缺席者一日缺席者ニ對シテモ賞與ヲ行フ如斯キモノ全生徒ノ約一割五分ニ達ス經費ハ總額大正六年度四千八百圓ニシテ教員ハ重モニ小學校教員ニ囑托ス其ノ囑托手當年額僅カ十五圓乃至二十圓ナリ

一、女子實業學校 本校ハ明治四十二年徒弟學校令ニ依リ設立明治四十四年度ヨリ乙種撰科ヲ開始シ教科ヲ修身裁縫染色洗濯國語數學編物刺繡理科家事圖書唱歌体操ニシテ隨意科トシテ割烹生花抹茶ヲ置キ此ノ開始ト共ニ大英斷ヲ以テ村内無認可ノ私立裁縫場ヲ閉場セシメ生徒ノ收容ニ努メ現在ハ四學級ニ編成シテ在籍生徒數ハ補習科十一人本科三學年十三人二學年二十二人一學年二十七人撰科六十六人計百四十三人ニシテ近年半途退學者ヲ出サズ益々隆盛ニ向ヘツ、アリ本校ニ要スル經費ハ大正五年度四千貳百六拾參圓ニシテ授業料ハ拾五錢貳拾

五錢參拾錢五拾錢ニ區別シ五百參圓餘ノ收入アリ補助金トシテ國庫ヨリ參百圓縣ヨリ參百圓郡ヨリ參百圓交付セラル

本校生徒ニ養蠶思想普及ノ目的ヲ以テ夏季休暇ヲ利用シ村農會ヨリ原種ヲ交付シ秋蠶飼育ヲ爲サシメ成蠶ハ審査ノ上賞品ヲ授與ス

本村ハ特ニ郷土ノ感念ヲ厚ラスルニ努メツ、アリ新タニ教員ノ赴任スルモノアルトキハ郷土史ヲ精讀セシメ村ノ歴史ヲ明カニシテ之レヲ生徒ニ教ヘ愛郷ノ念ヲ起サシムルニ尤モ意ヲ注ゲリ

本村教育方針ハ眞面目ナレ、努力セヨ、節制セヨト云フニアリ敢テ耳新ラシキ語ニアラズト雖モ教育勅語戊申詔書ノ捧讀ヲ數多クスルニアラズ解釋ヲ精緻ニスルニアラズシテ克ク守リ克ク行ヘテ之レヲ信仰スルニ在リ責任ナキ不實ノ實行ニアラズシテ明言實行ナリ

一、壯丁教育 翌年徵兵検査ヲ受クベキモノニハ特ニ豫備教育ヲ施シ時々學術試驗ヲ行ヒ又入營者ニハ專任教師ヲ以テ豫備教育ヲ行フ

一、青年教育 明治二十九年一區一組即チ十個ノ青年會ヲ組織シ教育勸業尙武ノ砥勵風紀ノ改善奢侈ノ矯正ニ努メ且ツ夜間等ニ各自ノ勤勞ヨリ得タル賃金ヲ協同貯蓄ヲナシツ、アリ今其金高壹千六百七拾六圓八拾壹錢ニシテ會員四百五十八人ナリ

一、勸業 稻害虫ノ驅除ハ農業中最モ重キヲ置ク事業ノ一トシテ明治二十九年ニ卵塊ノ買上ヲ初メ防除員二十三名ヲ置キ部署ヲ定メ苗代期ニ於テハ前後二回灌油驅除ヲ行ヒ水田ニ在テハ害虫發生期中委員ハ三日毎ニ受持テ區ノ田地ヲ巡視シ一株三頭以上ヲ認メタルトキハ直チニ灌油驅除ヲ行フ且ツ毎年六月十二日同月廿八日九月五日ヨリ九月迄同月十五日ヨリ十九日迄ノ四回ハ全村一齊驅除ヲ行フ此ノ日ハ農家全部ニ對シ他業ノ從事ヲ嚴禁シ午前七時ヨリ日没迄精勵驅除ニ活動ス當日ハ役場吏員農會役職員勸業委員等全部出張嚴重ナル監督ノ下ニ實行セラレ恰モ訓練ノ積ミタル軍隊ヲシテ名將ノ之レヲ指揮スルガ如シ綠肥堆肥ノ改良綠肥ハ紫雲英及大豆ノ間作ヲ獎勵シ堆肥ハ改良模範肥料舍ノ建築ニ對シ建坪一坪ニ付金壹圓宛ノ補助ヲ與ヘ又堆肥舍建設ノ組合ヲ設ク今ヤ模範堆肥舍七十餘ヶ所ノ多キニ至レリ

肥料ノ配合ハ村内十組ノ肥料配合組合ニ於テ原料ノ共同購入ヲ行ヒ其ノ配合率ハ郡役所ノ指導ニ基キ配合ヲ行ヒ其成績頗ル佳良ナリ

耕耘ノ方法ハ牛ヲ使役シテ深耕シ正條植トナシ蟹瓜ヲ使用シ五回ノ除草ヲ行フ

此ノ如クニシテ地力ノアラン限リヲ耕シ人力ノ及ブ限リヲ盡シ天恵ニ成ルモノ一粒ノ微ト雖モ苟モ昆虫ノ傷害ヲ受ケシメズシテ更ニ地ニ遺利ヲ餘スコトナシ

産米ノ改良ハ農會ト共ニ努力シ益々歩ヲ進メ共同倉庫ヲ設ケ生産物ノ共同販賣ヲ行ヒ聲價ヲ高メ酒造釀造米トシテ灘、伏見等へ販賣ス大正五年一月ヨリ十二月迄ノ米價最高壹石拾八圓五十錢最低拾七圓ニシテ市價ヨリ一石壹圓高ナリ

小作米ハ其ノ小作人ニ對シ差額ノ半額ヲ地主ヨリ與フ

一、蠶業 本村ハ水田本位ノ農業地ナルヲ以テ春蠶ヲ飼育スルモノ少ナク重ニ夏秋蠶ヲ獎勵ス稚蠶共同飼育所二十ヶ所ヲ設ケ蠶病豫防ヲ嚴行ス桑園ノ獎勵ニ就テハ村農會ニ於テ枯木ヲ栽培シ之レヲ無代交付シ接木傳習ヲ行ヒ秋蠶用ノモノニハ新設壹反歩ニ付金參圓ノ補助ヲ與フ

春蠶種ハ村農會ニ於テ製造シ實費拂下ヲナス且ツ村農會ニ貯藏器ヲ備ヘ共同貯藏ヲナス秋蠶種ハ框製一枚ニ付金貳拾錢ノ補助ヲ與ヘ共同購入ヲ爲ス

大正五年ノ産額ハ三百八十三石八升ニシテ生繭ハ村農會ニ於テ共同販賣ノ勞ヲ執レリ結果頗ル良好ナリ

一、勤儉 貯蓄協同組合貯金大正五年六月末現在三万七千六百七十八圓ニシテ組合規約ノ規定ニ依リ戊申詔書ノ御主意實行ニ努ム

信用組合數八ヶ出資總額四万壹千八百圓積金八千六百七十圓貯金五千二百八十三圓貸付金五万三千百十四圓組合人員八百五十四人出資口數三千九百〇二口ナリ

利益配當ハ法定積立ノ外一組合ハ四分五厘ナレトモ他ハ全部六分ナリ

一、農會 大正六年度ノ歳入歳出豫算ハ共ニ三千三百四圓四十二錢ヲ計上ス活動スル農會トシテ經費モ亦可ナリ多額ナリ

負擔トシテ地租壹圓ニ付貳拾錢會員壹人ニ付約九拾壹錢但シ(貧富等級ニヨル)此合計金二千百七十五圓四十錢

村補助貳百圓縣百五十圓郡百六十圓其ノ他ハ雜收入ヲ以テ補充ス
役職員會長副會長書記各一人評議員七人技手二人囑托技手一人農事獎勵委員五名ハ小學校長ヲ以テ之レニ充テ

農事獎勵委員長十名ハ大字惣代同委員七十名ハ組頭ヲ以テス
一、副業 ノ産額ハ十三万二千餘圓ニシテ内重ナルモノハ竹細工四万九千六百圓木綿一万七千五百圓囊細工壹万

壹千九百圓養鷄五千五百圓ナリ
此ノ内竹細工ハ茶筌ニシテ茶筌ハ本村特有ノ物産全國ニ於テ本村ノ外他ニ産地ナシ製造戸數十四戸年額内地向

一、茶筌起源及沿革略記

起源ハ遠ク嵯峨帝ノ御宇大和國添下郡鷹山城主大炊介源頼秀カ弟鷹山民部丞入道宗砌ナルモノ南都ニ居住シテ
稱名寺ノ僧球光和尚ト交リ篤シ宗砌始メテ茶筌ヲ作レリ球光大ニ喜ヒ宗砌ト茶ノ會ヲ催ス球光年二十五歳ニシ
テ浴陽ニ移リ三條街ニ居住ス文明十二年足利義政公東求堂ヲ造ル球光茶筌ヲ献ス後チ球光ハ三條街ニ新ニ笏室

ヲ築ク後土御門院之レニ行幸アラセラル時ニ宗砌ハ所作ノ茶筌ヲ献ス精妙ナル旨ヲ叙感ノ餘リ高穂ト銘ヲ下シ
賜フ
鷹山主殿助頼宗叔父宗砌ヨリ茶筌造作ノ傳法ヲ受得ス頼宗ノ男鷹山主殿佐源頼春之レヲ習ヒ益々精巧ヲ加ヘタ

ルニヨリ御銘高穂ノ名世ニ高シ故ニ鷹山ヲ高山ニ改ム其男高山右近弘頼千ノ利休ニ茶道ヲ學ヒ茶筌ヲ作ル其男
頼資之レヲ習ヒ子右近將監廣頼ニ傳ヘ元龜年中正親町院上皇ニ奉献ス其男頼盛父ヨリ習傳シ之レヲ作レリ天正
十六年十月豊臣秀吉公北野松原ニ於テ盛大ナル茶ノ湯會ヲ催ス時ニ頼盛茶筌一百穂ヲ献ス
右近將監頼茂寛永十一年七月徳川三代將軍家光公上洛ノ時奈良奉行ノ命ニ依リ之レヲ献ス頼盛ハ家臣ニ茶筌製

一、沿革

前述ノ如ク御所及將軍家諸大藩ノ御用ヲ命セラレテヨリ以來茶筌ノ聲價世ニ高ク益々精巧ヲ加ヘ特ニ種々ノ種
類ヲ増加シ年ヲ追フテ盛大トナリシガ維新戰亂ノ爲メニ一日衰頽セシモ更ニ明治二十年頃ヨリ舊ニ復シ近年ハ
抹茶ノ流行ニ伴ヒ其需用頓ニ増加シタリ斯業ハ直ニ習ヒ得ベキ單純ノモノニアラズ自然ノ妙ヲ得ルニアラサレ
バ佳良ノモノヲ製作スルコト能ハズ爲メニ俄カニ職工ヲ増加スルヲ得ズ現今ノ製作高ヲ以テ到底全國ノ需用ニ
應シ難シ

種類ハ百種以上アルモ之レヲ略ス

一、衛生 組合ノ設ケアリ相當役員ヲ置キ隔離病舎ハ患者四十名ヲ收容シ得ルノ設備ヲナシ其他器具ノ設備ニ至
ル迄テ能ク整頓シテ間然スル處ナシ(トラホーム)豫防救治ニ付テハ各地各村共ニ苦憂スルトコロノモノナルカ
本村ハ毎年二回全村民ノ健康診斷ヲ行ヒ患者ヲ輕、中、重ノ三種ニ區別シ輕症者ニハ點眼藥及ヒ(ベット)ヲ交
付シ各家庭ニテ治療セシメ中、重、者ハ村醫ニ付治療ヲ受ケシム經費ハ全部村費ヲ以テ支辨ス豫防員七十一名
ヲ置キ實行ヲ督勵セシム患者歩合明治四十年(三%)〇七ナリシガ大正五年(一%)〇二ト減少セリ

一、基本財産 小學校基本財産ハ一戸平均玄米貳升宛ノ寄附ヲ募集シ毎年四百餘圓ヲ蓄積シ現在公債證書四千六
百圓餘村有基本財産ハ尙善會ニ於テ第一次ノ寄附金五千圓第二次金壹千圓第三次壹千圓ヲ募集シ爾後毎年壹千
圓乃至二千圓ヲ募集シ且ツ村條例ノ規定ニ依リ毎年財産收入ノ外五百圓ヲ積立現在公債證書二万二千九百七十
圓獎學基本金ハ有志寄附其ノ他ニ依リ公債證書百五十圓現金四百五十七圓餘特別基本財産ハ公債證書壹千四百
圓餘ヲ積立保管法ハ現金五十圓迄テハ郵便局ニ預ケ入レ五十圓以上ハ有價證券ヲ買入遞信省ニ保管預ケヲ爲ス

一、納稅 明治二十二年以來國縣村ノ三稅共能ク納期内ニ完納ス
一、赤十字社員 特別八人、終身百七十二人正百三人ニシテ會テ意納者ナク模範分區トシテ本社ヨリ明治四十三
年褒狀ヲ受ケタリ

一、愛國婦人會員 有功四人終身七十三人通常三十七人ニシテ意納者一人モナシ
一、有權者數 大正五年十月現在衆議院二百九十八人縣會四百九十二人村會一級百十四人二級六百六十一人

- 一、尙善會 村獨立ノ基礎ヲ鞏固ニシ農村道德ノ喚起ニ努メ濟貧ノ道ヲ講シ經濟ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス全村民ノ組織ニ成ル
 - 一、殉殺軍人祭祀 尙善會ニ於テ約五百圓ノ經費ヲ以テ一ノ社殿ヲ建築シ明治十年以來ノ殉殺軍人ヲ分祀シ毎年四月二十八日ヲ以テ大祭ヲ施行シ毎月廿八日ニ例祭ヲ行フ春秋二季ニ小學校生徒ヲ教員引卒シ軍人ノ墓地ニ參拜シ其人ノ勳功ヲ墓前ニ於テ説示ス
 - 一、篤行者 表彰尙善會ニ於テ孝子順孫節婦義僕其他篤行者表彰ノ規定ヲ設ケ受賞者ニハ公私集合ノ場合ニ於テ上席ヲ讓ル等ノ待遇ヲナス
 - 一、無常講葬儀組合ニシテ三十戸又ハ五十戸ヲ以テ一組トナシ與其他祭佛具葬衣飲食器具等ヲ設備シ置キ組合内ニ死亡者アル場合ハ組合員全部葬儀ノ事ニ從ヒ極貧ニシテ親族故舊ノナキモノト雖モ此組合ニ依リ葬式ヲ行フコトヲ得ルナリ貧困者ニハ香料ヲ贈リ其ノ費用ヲ扶ク或ヒハ各自白米ヲ釀出シテ贈與方法ノ設ケアリ
 - 一、娛樂 毎年四月二十八日忠魂社ノ祭典ニ數多ノ餘興ヲ行ヒ秋期ニ於テハ毎年三回尙善會各支會ニ於テ講談又ハ活動寫眞等種々興行ヲ爲シ一般觀覽ニ供ス
 - 一、人民集會所 各區ニ一ヶ所宛建設シアリ區内人民ノ集會スル所ニシテ諸種ノ用ニ供ス
 - 一、貧民恤救 隣保互惠ノ主義ニ依リ小部落團體即チ垣内ニ於テ救助シ及バザルモノニハ區ニ於テシ尙及バザルモノニハ村ニ於テス
 - 一、民情 訴訟及私生子ハ近來殆ンド絶無離婚數ハ逐年其ノ數ヲ減シ大正四年ハ僅ニ二件ナリ村民ノ申合ニ依リ訴訟ハ組頭又ハ惣代ノ認諾ヲ受クルニアラサレバ出訴ヲナサズ又離婚ノ場合ハ惣代ヲ證人ノ一人ニ加フルナリ
 - 一、青年會 精力ノ増進品位ノ向上常識ノ修養自治ノ精神ノ涵養生産智能ノ養成共同一致ノ美風馴致等種々ナル方法ニ依リテ能ク行ハレ居レリ
- 本會ハ試験成績應用ノ目的ヲ以テ模範試作地十ヶ所ヲ設ケテ試作ス農會ハ一ヶ所五圓宛ノ補助金ヲ交付ス

縣外優良町村視察報告 (第二班)

(松永小野寺村長擔任)

縣外優良町村視察第二班ハ一行九名ヨリ成リ七月九日午後二時栃木縣廳ニ於テ森本内務部長ノ訓示ヲ受ケ團長ニ年長者山口兵吉(黒磯町長)氏會計ニ年少者坪山多一郎(委川村長)ヲ推選シ同夜十二時二十分宇都宮驛ヲ發シ岩越線ニテ新潟縣ニ入り北蒲原郡川東村中蒲原郡七谷村南蒲原郡今町群馬縣勢多郡木瀬村山田郡境野村ヲ視察シ十六日歸郷セリ其視察要項左ノ如シ

一 北蒲原郡川東村

(一) 位置、人口、戶數、民情

本村ハ明治三十四年十一月一日竹俣村板津村大宮村石田村四ヶ村合併シ川東村ト改稱シタルモノニシテ新潟縣北蒲原郡加治川ノ東岸ニアリ新發田驛ヲ去ルコト約二里現住戶數千七百八十八戶現住人口七千三百六十二シテ其面積東西約二里南北約三里トス村民概ネ淳朴ニシテ勤儉ノ美風ニ富ミ能ク共同輯睦ス

(二) 村吏員

村長本間百在門氏ハ明治四十年就職以來引續キ今日ニ至リ熱心村治ニ努力シツ、アリ助役、收入役各一人書記四人アリ就中收入役ハ勤續三十年以上ニ及ブ而シテ常設委員四名アリテ村治上細大トナク應諮商議シ以テ村長ヲ補佐ス思フニ同村ノ治績大ニ舉レルハ村長ノ熱心ト相待テ此特殊機關ノ存スルニヨルヲ尤モ大ナラント信ズ

(三) 村會議員

村會議員十八名ニシテ町村制實施以來繼續議員タルモノ七人アリ而シテ選舉ハ毎回役場ニテ候補者ヲ定メ無競爭ニテ當選スルノ例ナリ

(四) 財產狀態

大地主二万六千圓一人一万圓以上四人アリ千圓以上百二十人アリテ極端ナル貧民ナシ縣下ノ狀況ヨリ見レバ財產ハ比較的平均セル方ナルベシ然レドモ一般ノ經濟狀態ハ少シク衰微ノ傾向アルアリ即本村民ガ他町村ニ所有セル地價僅カニ一万二千圓ニ過ギザルニ他町村民ノ所有地價ハ漸次増大シ十年前四万圓程ナリシニ今ハ七万圓

ニ達スルノ狀況ナリ故ニ村是ニ於テモ勤儉貯蓄ヲ獎勵シ之ガ回復ヲ講ジツ、アリ

(五) 諸稅負擔(村稅ハ大正六年豫算ニ依リ、縣稅國稅ハ四年度決算ニ依ル)

村稅一戸當十二圓六十錢縣稅一戸當十九圓二十錢國稅一戸當二十四圓七十錢トス

(六) 納稅

納稅ハ各區ニ於テ取纏メ納稅スルモノ拾壹大字吏員出張徵收ヲナスモノ五ケ大字直接役場へ納附スルモノ五ケ

大字ニシテ取纏メ納付スル大字ニハ現住戸數ヲ標準トシテ一ケ年一戸ニ付金五錢ノ納稅督勵手當ヲ支給ス

又令書交付ノ際並ニ徵收期日ノ朝必ズ大字區長付使丁ヲシテ納稅ヲ怠ラザル様注意セシム

更ニ他ノ一面ニ於テハ各納稅毎ニ其稅目期日ヲ小學校ニ通知シ各學年ノ程度ニ應ジ稅ノ性質並ニ納稅ノ重ンズ

ベキコトヲ教ヘシメ以テ納稅思想ヲ涵養セシム

(七) 基本財産及部落有財産

御即位紀念ノ爲基本財産トシテ一丁八反歩ノ山ヲ買入レ植林シツ、アリ部落有財産ハ山林原野約五十町歩二万

四五千圓ノ價值ノモノアルモ統一シ難キ事情ニアリ

(八) 地主ト小作人

地主會ニ於テ農業倉庫ヲ設置シ地主會ノ申合セヨリ並米五錢中米十錢上米二十錢ノ獎勵金ヲ交付シ居レリ小

作料ハ最高一石二斗平均八斗七升最低五斗ニシテ地價平均三十三圓三十錢ナリ田一反歩賣買價格ハ二百圓乃至

三百圓トス一反歩收穫平均一石八斗ニシテ小作部合ハ地主五分五厘小作人四分五厘割合ナリ

(九) 農會

會長菅沼四郎氏ニシテ同村第一ノ資産家タリ之ガ施設經營ノ見ルベキモノハ品種ノ改良ヲナサンガ爲メ採種田

ヲ設ケ(擔當者手當一反歩五圓ヲ支給ス)又堆肥舍ノ改良ヲナサンガ爲メ一ケ年三十舍ヲ限リ一舍ニ付獎勵金拾

壹圓ヲ交付ス一舍ノ經費ハ三十五圓乃至四十圓ヲ要ス又害虫驅除ハ小學校生徒ヲシテ之ヲナサシメ一定ノ料金

ヲ交付シ居レリ之ガ經費トシテ農會ヨリ二十圓村ヨリ十五圓支給ス殊ニ農會長ハ年報酬僅カニ參閱ニシテ日勤

シテ奮勵セラルルハ感謝ノ外ナシ

(十) 川東信用購買販賣生産組合

明治四十一年七月設立シタルモノニシテ日尙ホ淺キモ頗ル順潮ニ進ミツ、アリ組合員數四百四十七人出資金額

五千八百五十圓貯金高五万二千五百圓貸付金高三万三千四百七十六圓預ケ金高二万五千五百十五圓購買金高一万二

千六百二十九圓ノ現況ナリ(出資額ハ一口十圓)出產貯金、年賀貯金等ノコトアルハ面白キ方法ナリ

(十一) 學齡兒童保護組合

地價五百圓以上ノモノヨリ三十錢千圓以上ノモノヨリ五十錢三千圓以上ノモノヨリ一圓小學校長一圓正教員五

十錢ヲ釀出シ年額約九十圓ヲ得三學校生徒千二百名中貧困者ニハ學用品、雨具、傘、反物等ヲ給與シ以テ兒童

ヲ保護ス一學校三十圓トス

(十二) 俊才養成

貧困者ノ子弟ニシテ俊才ニシテ優等ノ學業成績ノモノニハ向上發展ノ爲メ有志釀金シテ學費ヲ無利子ニテ貸與

シ之ガ修業ヲナサシメツツアリ即高等學校在學者ニハ年額百二十圓大學生ニハ年額百五十圓トス而シテ之ガ償

却ハ隨意償却トス現ニ理事官タルモノ一名アリ

(十三) 補習教育

毎年十二月ヨリ翌年三月迄雪中四ヶ月間女子ニ對シ學校ニテ裁縫ヲ教授ス生徒ハ四十五名早晚補習學校トナス

計畫ナリト言フ

(十四) 青年團

團員四百二十名ニシテ修養機關トシテハ毎月一回日曜日ニ三學校ニ於テ學藝練習會ヲ開ク一個所ノ生徒數ハ百

四十名ニシテ高等卒業生ヲ甲組トシ尋常卒業生ヲ乙組トシ教授ス即各士ヲ聘シ午前ハ講話午後ハ相撲等堅實ナ

ル娛樂ヲナサシム兎角缺席勝ニ流ル、ノ弊アルヲ以テ之ガ督勵ノ方法トシテ家長ヨリ缺席セザル旨ノ誓約書ヲ

徴ス若シ缺席者アル時ハ其理由ヲ其時々家長ニ尋ネ正當ノ理由ナルヤ否ヤヲ調査シ出席ヲ督勵ス現今ニテハ出

席歩合百人中八十五人ニ達ス而シテ經費ハ村費ヨリ四拾圓補助スルノ外團員ノ負擔タリ

(十五) 實業教育獎勵

農業本位ノ土地ナルヲ以テ之ガ學理ヲ實際ニ應用センガ爲メ實業教育ヲ獎勵シ現ニ中等學校ニ在學スルモノ三十名中二十七名ハ農學校其他ノ實業學校ニ入學シ中學校ヘハ僅カニ三名入學セルニ過ギズ又以テ同村ガ如何ニ實業教育ヲ重ンジツ、アルヤヲ知ルベキナリ

(六) 宗教

宗教ハ概ネ曹洞宗ニシテ六七年前ヨリ精神修養ノ爲メ毎年二月二日間高僧ヲ聘シ講話會ヲ開ク其費用ハ最初有志ノ寄附ナリシモ其効果見ルベキモノアルヲ以テ昨年ヨリ村費ニテ三十圓ノ補助ヲナシ居レリ

(七) 村是

村是ハ適切ノ事項ヲ管扱シ冗長ニ流レザルハ尤モ意ヲ之ガ確立ニ用ヒタルヲ認ム實行組合六十四區ヲ設ケ區長ヲ置キ治績ヲ舉ゲン爲メ努力シツツアリ組合員ハ其數一組合七名乃至二十一名トス此ノ如ク小區域ニ分チタルハ一ニ實行上ノ便宜ニヨルモノナリ

(六) 生産總額

大正六年二月調査シタル所ニヨレバ左ノ如シ

生産總額三十万九千五百圓(一戸當二百八十七圓七十五錢)

イ 農業 二十四万九千三百四十圓

ロ 蠶糸業 三千七百三十七圓

ハ 畜産業 二千七百五十二圓

ニ 林業 七千四百十圓

ホ 鑛業 三万六千六百圓

ヘ 水産業 千六百六十一圓

ト 工業 八千五百圓

之ヲ要スルニ同村ノ施設經營中見ルベキモノ尠ナカラズト雖就中優良ト認ムベキハ(一)村是(二)青年團ノ修養(三)納稅ノ獎勵(四)實業教育獎勵等ナリト信ズ而シテ其今日アルニ至ラシメタルハ本間村長ノ努力ト村内有志ノ意思ト能

ク一致シタルニヨルモノナリト言ハザル可ラズ尙吏員ノ在職年數何レモ長クシテ事務ニ習熟セルノ功與ツテ力アルハ言ヲ待タザル所ナリ

二 中蒲原郡七谷村

(一) 位置、人口、戶數、民情

七谷村ハ中蒲原郡ノ西南端ニ在リ加茂驛ヲ去ル一里十四町トス七峽ニ十一部落散在シ四圍皆山嶽ヲ以テ圍繞セラレ各民情風俗ヲ異ニシ且交通不便ニシテ相互ニ接觸スルコト稀レナリシカバ民心ノ統一容易ニ望ム可ラザリシガ明治二十四年時ノ村長中野氏先づ里道ヲ改修シ自然ニ意思ノ疏通ヲ謀ランコトヲ企圖シ終ニ其功ヲ完成セリ爾來車馬ノ交通ヲ見ザル所ナク從ツテ民情融和シ能ク協同輯睦スルニ至レリ現住戶數六百四十八戶同人口四千三百三十五人トス

(二) 村吏員

村長小野周平氏ハ町村制實施以來書記助役ヲ經テ三十三年村長トナリ以テ今日ニ及ブ而シテ常設委員四人アリテ村長ヲ補佐シ居レリ

(三) 學校統一

明治二十五年五個ノ小學校ヲ合併シテ二校トナス然ルニ其結果自然人心ニ派ニ分レ村ノ統一漸次不良ニ傾クヲ以テ更ニ英斷ヲ以テ通學道路ヲ開修スルト同時ニ最遠部落ノ生徒ニハ特ニ雪途保護人夫ヲ附スルノ方法ヲ講ジ明治三十三年ニ至リ終ニ二校ヲ合併シテ一校トナシ同時ニ尋常高等小學校ヲ併置シタリ爾來人心統一益々穩健着實ナル發達ヲナシ來レリ

(四) 納稅

納稅ハ極メテ佳良ナリ國縣村稅ヲ通ジテ十數年來曾テ納期ヲ誤リタルコトナシ其納稅方法ノ如キ頗ル簡便ナリトス即役場ハ徵稅令書ヲ十二人ノ區長ニ送り區長ハ其區ノ納稅人ニ配付シ取纏メテ完納シ居レリ

(五) 村内土地ノ總地價額

十八万五千七十參圓内村民所有ノ地價額拾七万五千七百十八圓他町村民ノ所有地價額九千三百五十五圓村民ガ

他町村ニ所有スル地價額一万五千八百拾六圓トス村民ノ富力以テ知ルベキナリ

(六) 副業

最新ノ副業トシテ毎年十二月ヨリ三月迄雪積期間製紙業ヲ獎勵シ年産額約十五萬圓ニ達シ純益五萬圓アリト言

(七) 信用組合ト勤儉貯蓄

七谷信用組合ノ前身タル勤勉貯蓄組合ハ明治三十七年日露戰役ノ際戰時施設ノ一トシテ村長管理ノ下ニ組織シタルモノナリ五ヶ年間毎日一口金拾錢宛貯蓄シ滿期ニ至ラバ信用組合ヲ組織セシコトヲ目的トシ獎勵シタルニ其額五千八百有餘圓ノ共同貯蓄トナリタルヲ以テ明治四十二年十二月信用組合ニ改メ今日ニ至レリ今大正五年一月現在ヲ見ルニ組合員五百二十三人出資口數千五百六十四貯金額二萬八千六圓積立金四萬三千七百四十圓貸付金二萬三千九百七十七圓其他ノ殘金ハ銀行預金トナシアリ

(八) 補習教育

大正五年ヨリ夜學ヲ廢シ男子ニ對シテハ小學卒業後壯丁ニ達スル迄一ヶ月三日間丈ケ即五日十五日二十五日教授ヲナシ居レリ生徒數二百八十名出席歩百分ノ九十其他自習ノ爲メ宿題ヲ課シ進歩ヲ謀ル教員給ハ年額五十圓ニシテ學給ハ年給並ニ學力ニ應ジテ五學級ニ分ツ又女子ニ對シテハ十七歲迄毎月一日其他民間休業日ニ裁縫ヲ教授ス生徒百六十名出席歩合男子ニ優ル

(九) 基本財産

明治三十六年度ヨリ基本財産ノ蓄積ヲ始ム其財源ハ第一基本財産ヨリ生ズル收入第二歲計剩餘金第三交付金第四戶籍手数料ニシテ一ヶ年ノ最少蓄積限度ヲ參百六拾圓トシ二十年目ニ至リ一萬五千圓ニ達シ終ルモノトス現今千六百六十六圓ノ不動産ノ外七千六百八十九圓ノ現金ヲ有ス以上ハ第一期計畫ニシテ更ニ第二期計畫ヲナシ十七萬圓ニ達スル答ナリ
更ニ小學校基本財産蓄積方法ヲ設ケ分ツテ二種トス第一種ハ明治三十八年ノ蓄積規程ニヨリ三百圓ノ寄附金ヲ積立テ蓄積金四萬圓ニ達スルヲ最終トス二種ハ一寄附金ニ隨時收入及村經濟ノ餘力アル時蓄積スルモノニシ

テ教育費ノ獨立ヲ期セントスルモノナリ現ニ第一種第二種合計八千五百參圓ヲ有ス

(十) 植林

民有林三千町歩ニ對シ毎年三十町歩内外ニ杉苗十萬本以上ヲ植附ケ今ヤ二百二十萬本面積六百五十町歩ニ達ス之ガ完成ノ曉ニハ其富力實ニ測ルベカラザルモノアリ

(十一) 村是

村是ハ目下調査中ニシテ未ダ確立セザルモ年中行事ハ制定セラレ村格ノ三基石自治ノ要素等ヲ定メタルハ見ルベキモノトス就中其分類ハ頗ル簡明ニシテ要領ヲ得タルモノナリ實行組合六十五一組合七戸乃至十八戸トス

(十二) 諸稅負擔

村費一戸當十四圓四十錢縣稅一戸當十一圓六十錢國稅一戸當十八圓二十四錢トス

(十三) 選獎紀念事業

明治四十三年四月二十七日ヲトシ内務大臣ヨリ優良村トシテ表彰セラレタル披露式ヲ舉ゲ其際選獎紀念事業トシテ左記事業ヲ決議實行シツツアリ

一、地方改良事業獎勵金ノ保存及増殖

内務省ヨリ下賜ノ地方改良事業獎勵金八百圓ハ基本財産トシテ保存シ明治四十三年度ヨリ向フ五十年間複利法ニヨリ増殖スルモノトス

(十四) 教育施設ノ擴張

學校教育ト社會教育トノ効果ヲ一層大ナラシムル爲メ豫算金四千三百圓ヲ以テ土地五反歩ノ買收及建物七十坪ノ建築ヲ行ヒ教育ノ施設ニ一層ノ擴張ヲナスモノトス

三、慈善事業ノ基本財産造成ヲ目的トスル植林

慈善事業ノ基本財産造成ヲ目的トシテ鶴卷龜太郎ヨリ寄附ヲ受ケタル山林五町四畝二十四歩ニ造林ヲナシ之ガ大成ヲ期ス

四、信用組合ノ獎善事業

七谷信用組合ハ善行者獎勵ノ方法ヲ設ケ良風美俗ノ助長ヲ計ルコト

五、積善組合員ノ増加ヲ期スルコト
積善組合ノ事業ハ地方興振ニ資スル所尠ナカラズ今回本部ニ交渉シテ集金取扱所ヲ設置シ以テ諸般ノ利便ヲ謀リ組合員ノ増加ヲ期スルコト

之ヲ要スルニ本村ハ善ク各般ノ施設經營整備シ其内容充實セルハ優良村タルノ面目躍如タルモノアルヲ認ムルニ足レリ而シテ其今日アルヲ得タルハ小野村長ノ努力ト鶴巻前村長ノ至誠ニシテ推讓ノ美德之ガ大ナル原由ヲナスモノニシテ加フルニ其背後ニハ有力ナル後援者笠原、中野、山崎、諸氏ノ在ルアリテ陰ニ陽ニ村長ヲ補佐シ協力同心以テ村政ニ貢獻シタル賜ナルヲ思ハザル可カラズ

三 南蒲原郡今町

(一) 位置、人口、戸數、民情

今町ハ大字今町上新田ノ二大字ヨリナリ南蒲原郡見附驛ヲ去ルコト約一里トス現住人口四千七十九人同戸數六百二十六、嘗テ政争ノ爲メ二派ニ分レ民情自ラ一致セズ從テ諸政舉ラザリシガ明治四十一年前村長高橋永恒村長ニ就職シテ以來専ラ之ガ融和ヲ謀リタルノ結果爾來民風改善シ全町勤勞ノ風ニ富ミ共同一致ノ念厚キニ至レリ

(二) 村吏員

村長土屋房太郎氏ニシテ昨年就職シタリト言フ助役收入役書記三人ニシテ能ク事務ヲ執ラル本村又常設委員五名ヲ置キ村政諸般ノ諮問機關タリ

(三) 沿革

口碑ノ傳フル所ニヨレバ慶長年間山形縣酒田ノ人寺泊ニ漂流シ後茲ニ來リ今町ヲ開キシト言フ

(四) 土地

田、百七十一町三反余 畑十八町三反余、宅地四万四千五百五十九坪、原野雜種地二町五反餘ニシテ中心ヨリ遠キモ十五町ヲ出デズ。

(五) 諸稅負擔

町稅一戸當十四圓四十錢 縣稅同上九圓二十八錢 國稅同上十三圓八十錢トス

(六) 納稅

前町長高橋永恒ハ小學校長タリシガ明治四十一年就職以來町稅滯納ノ弊ヲ矯正シ納稅貯金、納稅袋等ヲ設ケ一面納稅ノ義務ノ重ンズベキヲ諭示シ終ニ滯納五六年ノ甚ダシキモノアリタリシガ明治四十三年ニハ全部之ヲ整理シ以後成績優良ニシテ毎納期必ズ完納ヲ見ルニ至レリ而シテ納稅者ノ利便ヲ謀リ納期日ニハ夜十時迄出務セリ

(七) 基本財産

村ノ基本財産トシテ現金六千九百三十五圓二十二錢土地七反三畝歩

學校ノ基本財産トシテ現金千七百圓ヲ有ス

(ハ) 補習學校

重ニ裁縫補習教育ニシテ月俸十二圓ノ専門教師ヲ置キ他ハ囑託教師ナリ生徒ハ女子四十二名男子四十六名アリ十二月ヨリ三月迄積雪期間教授ヲナス授業料ハ徴收セズ大正五年ヨリ學則ヲ改正シ本科專科トナセリ將來ハ女子部ヲ高等女學校トナサン計畫ナリ本科ハ特ニ學科ヲ授クルモノニシテ教師一名ヲ置キタリ而シテ之ガ經費ハ男子部六十八圓女子部五百九十四圓ナリ

(九) 副業獎勵

蔬菜栽培ヲ獎勵シツ、アリ

(十) 地主會

昨春設立シタリ品種改良ヲナサンガ爲メ一戸三反歩ニ相當スル種子ノ無償配付ヲナス

(十一) 農會

農會ハ計費八百八十三圓ニシテ内町費補助ハ僅カニ十圓トス而シテ農會ニテハ害虫驅除費、水稻改良費採種田補助費、選種費、講習會費、堆肥舍建設費、視察費等ニ對シ三百二十一圓ヲ補給ス堆肥舍建設費ニ對シテハ一

舎ニ付五圓ノ補助ヲナセリ

(三) 町 是

大正五年十二月切要ナル項目七個條ヲ舉ゲ之ガ實行ヲ期セルハ能ク同町ノ實際ニ適合セルモノナルヲ信ズ實行委員五名ヲ置キ之ガ必行ニ勵精セリ

之ヲ要スルニ教育設備トシテ補習學校ノ經營ハ大ニ見ルベキモノアリト信ズ

以上ハ新潟縣下三村ノ視察概要ニシテ固ヨリ其一端ヲ窺ヒタルニ過ギズ然レドモ之ヲ大觀スレバ三村共通ノ要素ヲ發見スルヲ得ベシ即(一)村長其他吏員ノ在職年限長クシテ事務ニ習熟スルコト(二)村吏員就中村長ト村内有力者トノ意思疏通シテ常ニ共同一致スルコト(三)村本位ニシテ毫モ名利心ナキコト是レナリ而シテ之ニ加フルニ村民ノ財政富裕ナルコト村當局ノ至誠勤勉ナラザル可ラザルコトハ固ヨリ言ヲ待タザル所ナリ

今回ノ視察ハ汽車哩程五百六十七哩六分一日平均八十一哩余陸路十里一日平均一里四分ニ該當シ而モ視察事項ハ勤メテ廣汎ナランコトヲ期シタルヲ以テ一ケ村少ク共一兩日ヲ費スニ非レバ其大樣ヲ盡ス能ハザルモノアリ然ルニ旅程上一村ノ視察時間僅カニ二三時間ニ過ギザリシハ頗ル遺憾トスル所ナリ

群馬縣勢多郡木勢村視察報告

(河原道川村長擔任)

無限野中信用購買販賣生産組合ノ治績

- 一 組合員ハ大字野中ニ住民ノミニシテ農業五十戸職工六戸アリ人口四百人ヲ有スル小字ナリ
- 一 創立年月 産業組合法發布以前ヨリ共同購買販賣ヲナシ來リタルモ同法施行ト同時即チ明治三十五年ヨリ同法ニヨリ經營シ明治四十三年無限責任トナシタリ
- 一 組合長 清水及衛氏ハ創立以來現職ニアリ
- 一 組合ノ目的 困憊疲弊ニ陥レル農村ヲシテ改善セントスルニアリ
- 一 組合ノ經營方法 本組合ハ普通組合ノ如ク購買販賣ニ因テ得タル利益ヲ目的トスルモノニアラズ農家ノ疲弊ハ

高價ナル肥料ヲ多量ニ購入シ而シテ無効ニ費消スルニアリ故ニ當組合ニテハ各組合員ノ所要施肥量ヲ考查シ多量ニ費消セントスルモ決シテ賣却セザルニアリ

- 一 風紀ノ改善 冠婚葬祭等ニ就テハ經濟上風紀上幾多ノ缺點アルヲ免レズ故ニ會集者ヲ制限シテ費用ト時間トヲ節約シ總テノ會合ニ酒肴ヲ供セザルヲ以テ風紀上改善セラレタル點多シ葬式ノ場合ニ於ケル會葬者ハ豫メ會葬者名簿ヲ備ヘ之ニ記入セシムルヲ以テ施主ハ會葬者ニ響應ノ費用ヲ節約シ會葬者ハ終ルト同時ニ姓名ヲ記入シ歸宅スルガ故時間ヲ節約シ得ルコト大ナリ亦手傳等ノ名儀ノ下ニ會葬スルニアラザルヲ以テ全部禮服ヲ着用シ肅然トシテ會葬ヲ終リ經濟上風紀上偉大ナル效果アリ
- 二 農業ニ關スル事業ハ本組合ノ關係セザル事ナク野人會ナルモノヲ組織シ各人耕作步荷調査ヲナシ以テ其ノ田區ニ於ケル實地ノ試驗ヲ行ヘ又努力ノ分配ヲ適當ナラシメ併セテ勤勉ノ美風ヲ養生センガ爲メ農家々計簿農業日誌ヲ組合員ニ記載セシムル等農家經濟ヲ明瞭ナラシム
- 三 衛生上ノ施設 組合員ハ衛生貯金ヲナス其ノ方法ハ一人一ケ月金五錢ヅ、トシ一家五人ノ家族ナレバ貳拾五錢六人ノ家族ナレバ參拾錢ヅ、年二回ニ貯金セシメ往診料藥價等一切組合ニ於テ年二回ニ支拂ヲナス而シテ病名調査ヲナシ若シ花柳病アル時ハ患者ノ負擔トシ組合ハ支拂ヲナス故ニ青年ノ風紀モ大ニ改善セラレ大字内ニ於ケル衛生狀態極メテ良好ナリ而シテ大字野中五十六戸人口四百人ニ對スル一ケ年ノ醫料ハ貳百圓乃至貳百五十圓ニシテ參百圓ニ達シタルコトナシト云フ此貯金ヲ家族ノ多少ニ關セズ共通貯金ニシテ利子ヲ附セズ亦過不足ハ組合ノ利益ト共通シ組合員ハ發病ノ初期ニ於テ醫療ヲ請フ爲メ全治極メテ速カナリ
- 四 生産品ノ加工場ハ日曜日ナリシヲ以テ休業ナリシモ農産物ニ加工スルモノニシテ利益ハ甚ダ大ナリト云フ斯クシテ農民各自々覺ノ上努力シタルニヨリ從前ハ地主六分小作人四分ナリシニ今日ニテハ地主八分五厘小作人一分五厘ノ好績ヲ示スニ至レリ

群馬縣山田郡境野村々治概況

一 全村ノ概況

1 戸數七五七戸 人口四四七九人

2 地勢

3 面積 東西貳拾丁 南北拾四丁

4 重要物産 米二〇五五石 麥一六六七石 織物女帯年産額六七百萬圓ナルモ賃織ナル故製造人ノ所得少ナシ

5 沿革 旗本ノ所領ニシテ村内ヲ三分シテ領主アリ別ニ沿革等ナシ

二 町村發達ノ原因

1 中心人物 別ニ中心人物ナキモ村有志全体協力シテ村治ニ盡瘁ス

2 理事者教育家宗教家篤志家ノ努力

理事者教育家トシテ努力シタルモノハ村長收入役校長ニシテ篤志家トシテハ役場敷地四百參拾坪ヲ寄附シタル橋本傳次郎氏アリ

3 町村長助役等ノ町村治ニ對スル意見

町村ヲ治ムルハ人ニアリ而シテ基本財産ヲ造成スルニアリ

三 町村吏員

1 吏員數 村長有給一 助役有給一 收入役一 書記四

勤續年數 村長三ヶ年 助役拾四ヶ年 收入役二年 書記一人十八年

2 待遇方法

吏員退職死亡給與金條例多大ノ金額ヲ給與セス

村長ノ給料三十五圓 助役拾五圓 收入役十七圓 書記十三圓乃至十圓

四 町村會議員

1 議員數一二名

2 待遇方法 議員ハ無報酬ニシテ實費辨償等ナシ

五 事務處理ノ方法

1 事務分掌 第一科第二科第三科會計第二稅務地理第一選舉會議社事兵事土木學務勸業衛生文書往復及他科ニ

屬セザルモノ

2 書類ノ整理

(イ)法令例規ノ整理方法

(ロ)臺帳原簿ノ整頓方法

(ハ)書類ノ保存方法

(ニ)未決書類ノ整理方法

3 執務ノ方法

(イ) 文書收受方法

(ロ) 報告期限進達期限ニ關スル注意方法

六 豫算

1 豫算總額

豫算總額ハ壹万七百五拾四圓内基本財産積立金壹千圓分會補助年額三十圓農會青年會等補助ヲ與ヘズ無補助

主義獨立主義ナリ

2 負擔ノ輕重

上流ニ重ク下流ニ輕シ戸數割七千七百圓對等點一万五千七百十八點特等ヨリ三十九等ニ分チ最下タル三十九

等ハ對等點一點ナリ最高負擔額七百圓最下同四十六錢ニシテ一戸平均ハ十圓二十九錢六厘ナリ

3 増減ノ趨勢 漸時増額シツ、アリ

七 納稅獎勵ニ關スル施設

1 納稅組合 納稅組合ハ村内ヲ通ジテ七個ニシテ居村民全部ヲ網羅ス然レドモ村ヨリ獎勵金等ヲ交付セズ

2 勤儉貯蓄 各自ノ貯金ハ漸時増額ノ趨勢ナルモ特ニ組合等ヲ設ケテ施行スルモノナシ

3 表彰ナシ

4 其他ナシ
八 基本財産造成及管理ノ狀況

1 町村有

現 金 貳千五百貳拾四圓

國庫債券 壹万貳千五百圓

農工銀行株券 六百貳拾五圓

宅 地 八 坪

原 野 四反歩

2 學校有

現 金 參百貳拾六圓

國庫債券 參千圓

農工銀行株券 參拾五圓

3 部落有 ナシ

九 部落有財産統一方法 ナシ

一〇 教科事業ニ關スル施設

1 通俗教育

村トシテ施設スルコトナシ然レドモ郡ヨリ出張シテ幻燈會講演會ヲ年一回位開催ス人智發達セルヲ以テ別ニ必要ナシト云フ

2 補習教育

實業補習學校ノ設ケナキモ十一月ヨリ三月迄五ヶ月間村内五ヶ所ニ夜學會ヲ開ク百四五十人ノ生徒アリ青年會ハ訓令ニ基キ組織シタルモ著シキ施設事業ナシ村長ヲ會長トシ校長ヲ副會長トス會員數四百人ニシテ月額壹錢ヅ、ノ會費ヲ徴ス

3 特種教育 ナシ

一一 公衆衛生ニ關スル施設

1 衛生思想ノ發達獎勵方法

衛生組合ノ設ケアリ役員ハ役場ト連絡ヲ取り相當ニ活動ス

2 上下水ノ設備 ナシ

3 傳染病豫防ニ關スル施設

隔離病舎ノ設ケアリ三千圓餘ヲ投ジ完備シアリ

一二 産業ニ關スル施設

1 農業改良特産米改良ノ狀況

種子ノ憵水撰等能ク行ハレ立毛品評會ノ催シアリ

2 植林ノ概況

耕地ニシテ山林原野ナキ故植林ナルモノナシ

3 副業獎勵ノ概況

副業ニ機械業ナルモ殆ンド正業ナルヲ以テ別ニ獎勵ノ余地ヲ認メズ養蠶ハ多少ノ飼育者アルモ算フルニ足ラズ

4 産業組合金融ノ概況

大正五年ノ秋季ヨリ購買組合ヲ組織ス組合員ハ中流以上ノモノ六十人ニシテ出資金五千圓ヲ有シ専ラ機業ノ原料品ヲ購入供給スル見込ナリ

5 地主ト小作者トノ關係

圓滿ナリ小作者ハ十二月二十五日ニ皆納トナル期日ニ納付セシ者ニハ晝食ヲ給シ他村ヨリ來ル者ニハ晝食及ヒ多少ノ獎勵米ヲ給ス

6 農會ノ事業

普通一般ナリ農會ノ費用ハ村ノ補助費ニ依ラズ會員ヨリ徵集ス反別割ナルモ能ク納入セラル
一三 其他特種ノ施設

1 感化救濟ニ關スル施設

養老會ヲ組織シ七十七歳以上ノ老人ヲ毎年五月五日ニ集メ小學校生徒分會青年團員ノ運動會ヲ催シ觀覽セシ
ム晝食及坐布團一枚ヅ、給ス價格壹圓五拾錢位費用ハ一戸平均拾貳錢ヅ、ノ寄附徵收ヲナス老年者ハ年々増
加ノ傾向アリ

2 娛樂ニ關スル施設 ナシ

3 自治思想ノ養成部落間ノ融和其他ノ施設

特ニ施設ナキモ模範村ナル感念一般村民ニ徹底セルヲ以テ村治ヲ思フノ念強ク村内一大字ナルヲ以テ部落的
感念ナシ

一四 町村是調査及實施ノ概況

村是ナルモノナク調査等ナサルモ先代村長ノ遺言トシテ基本財産ノ蓄積ヲ以テ村是トス

一五 其他

境野村ハ納稅ノ成績ト義務教育ノ好績トニヨリ明治四十三年内務省ヨリ表彰セラレタルモノニシテ就學歩合
ハ九十九人六分出席歩合ハ尋常九七三七高等九八八二ニシテ群馬縣下ニ卓絶セル好績ナリト云フ此ノ村ハ名
譽村長ナリ累代有給村長ニシテ若シ名譽村長ヲ舉ゲレバ村内紛擾ヲ起シ村治モ爲メニ紊亂ヲ來スト云フ前村
長野邊三左氏ハ大正四年八月病氣ノ爲メ退職ス就職廿有餘年以來熱心村務ニ從事シ規程條例等ニ依ラズ徳ヲ
以テ村民ヲ化シ村有志モ亦赤誠村長ヲ補佐セリ

現村長高田菊一郎氏ハ福島縣出身ニシテ稅務署長ヲ奉職セシガ故アツテ就職セリ其ノ當時ハ納稅成績モ不良
ニ陥リシガ努力ノ結果漸時良績ヲ舉ゲ國縣村稅共未納者ナシ村會議員選舉モ競争等ノ起ルコトナシ本村治ノ
舉リシハ前村長及前收入役下山新作氏ノ功ニシテ收入役モ大正五年ノ春死亡セリ村長ニ五百圓收入役ハ三百
圓ヲ感謝狀ニ添ヘ村ヨリ贈與ス前收入役ノ就職年數ハ二十二年

役場ノ新築費用ハ六千七百六十餘圓ヲ要シ實ニ宏大ナルモノニシテ同縣下ニ於ケル村落第一等ノ構造ナリト
云フ村稅督促條例ヲ設定セントシタルモ村會議員ノ意見トシテハ督促條例ヲ設クル時ハ村稅ノ未納アルヲ證
明スルモノニシテ村ノ不面目此ノ上モナシ故ニ條例ヲ設定セズ村吏員村會議員協力事ニ當リ滯納家毎戶訪問
シテ説諭ヲ與ヘ一面納稅組合ヲ組織シ熱誠事ニ當リタルニヨリ遂ニ今日ノ好績ヲ見ルニ至リシト云フ
嗚呼之ノ意氣アリテ始メテ模範村タルヲ得ベシ
壯丁ハ一人一圓ヅ、ヲ釀出シ入營者ニ分配贈與ス

岐阜縣惠那郡蛭川村
三重縣阿山村玉瀧村
奈良縣生駒郡北倭村

視察感想

河内郡雀宮村助役 山崎正次郎

蛭川村ハ岐阜縣惠那郡西北端ニ在リ三面山ヲ圍シ村内モ亦丘陵起伏シ平地稀ニシテ全面積三千三町二反六畝十八
歩戸數五百、人口參千貳百六拾企業ハ普通農業ヲ主トシ副業トシテ養蠶林業ニ從フ民情質朴ニシテ公共心ニ富ミ
洋洋タル和氣常ニ村内ニ滿チ舉民恰モ一家ノ如ク民力モ亦年ト共ニ漸次増進シツ、アルヲ見ル、本村ノ最モ美點
トスル處ハ貳百年以來ノ獨立村ニシテ絶テ紛諍ヲ醸シタル歴史ナキト夙ニ村勢調査ニ着手シ之レカ統計ニ依リ村
ノ現勢ヲ知照シ一定ノ村治方針ヲ確立シ歴代ノ當局順次其方針ヲ繼承シ終始一貫之レヲ變更セズ更ニ村ノ狀況ニ
應シ漸次有利ノ細目ヲ定メ實踐力行シ來リタルニ在リ、去レハ村内ノ施設自ラ秩序アリトシテ共同ノ美果ヲ發
揮セサルナシ造林事業カ豫期以上ノ効果ヲ示シ農事改良、副業ノ獎勵、勤儉貯蓄ニ産業組合ノ發達、運輸交通機
關ノ整備基本財産ノ造成、其他教化事業ニ關シテハ義務教育ノ普及補習教育ノ徹底青年會ノ活動、風紀ノ改善等
著シク功程ヲ進メタリ本村ヲシテ今日ノ治蹟ヲ舉ゲシメタルハ皆是レ歴代村當局者ノ熱心誠意ヲ籠メタル督勵指
導ト之レカ感化ヲ受ケ自覺セル村民ノ一致協力トノ結果ナルハ勿論夙ニ村治經營ノ方針ヲ指示スル既ニ赫々トシ
テ彰明ナルノ致ス所ニシテ之等ハ大ニ學フ可キ事ニ屬ス

玉瀧村ハ三重縣阿山村ニ屬シ山嶺四圍ニ連亘シ聚落點綴別ニ一寰ヲ成ス純然タル農村ナリ戸數五四三、人口三、
〇二八、面積千三百九十六町三反六畝二十二歩企業ハ普通農業ヲ主トシ副業トシテ養蠶林業製茶陶器製造ニ從事

ス、民俗敦厚ニシテ共同ノ念厚ク質素勤勉ニシテ貯蓄心ニ富ム常ニ融然トシテ一家ノ如ク輯睦ノ狀實ニ掬ス可シ本村ハ各般ノ事業穩健ニシテ秩序アル發達ヲ致シ事蹟ノ見ル可キモノ甚タ多シ納税ノ成績勤儉貯蓄ノ勵行信用購買販賣組合ノ發達村民ノ經濟機關トシテ活動シツ、アル玉瀧銀行ノ經營基本財産ノ造成義務教育ノ普及補習教育ノ徹底青年會ノ活動教職員ノ校外教化ニ關スル施設農事改良特ニ産米ノ改良、林野ノ整理副業ノ獎勵産業組合ノ發達、共同集積倉庫ノ設置ト共同利益ノ増進交通ノ利便農會ノ努力、自治思想ノ發達風紀ノ改善等著シク効果ヲ收メ又民資ノ充實ヲ企圖シテ無資産者ニモ恒産ヲ有セシメントスル理想モ着々實顯シツ、アリ去レト讎テ三十年前ヲ顧ミレハ當時民風ハ遊惰ニ流レ奢侈ニ傾キ民力萎靡シテ生計ニ困難ヲ訴ヘ或ハ轉退スルモノサヘアルニ至リ加フルニ村政ノ紊亂風紀ノ壞敗犯罪者ノ續發等實ニ語ルニ忍ヒサルモノアリキ如此不統一ナル一僻村カ如何ニシテ其面目ヲ一新シ秩序井然トシテ風紀革マリ勤儉力行ノ美風翕然トシテ起リ民心怡然トシテ村吏ニ信託シ諸般ノ事業何レモ興リテ各種ノ事務整善今ヤ關西唯一ノ模範村トシテ名聲漸ク隆ナラントスルニ至リシカハ豈ニ他ノ好教訓ヲ示スモノニアラスシテ何ソヤ然リ本村ヲシテ今日ノ治蹟ヲ舉ゲシメタルハ是レ全ク吏員其人ニ能ク適材ヲ得施措計畫共ニ宜敷ヲ制シ村治方針タル村是ノ指示セル處ニ從ヘ終始一貫論ルコトナク各部ノ機關ト村民ト協心戮力之レヲ實行シタル賜ニシテ誠ニ感嘆ニ堪ヘサル所ナリ

北倭村ハ奈良縣生駒郡ノ北端ナル山間僻陬ノ地ニ在リ我國手工ノ織巧ヲ得タル茶釜ノ特產地トシテ聞ユ戸數千〇八十一戸人口五千五百三十四、面積一千五百〇八町一畝十三歩企業ハ普通農業ヲ主トシ副業トシテ養蠶林業工業竹細工飼牛業細工等ニ從事シ一村輯睦シテ公私共ニ精勵己マズ自ラ質實敦厚ノ習風ヲ馴致シテ能ク其美ヲ發揮セシル眞ニ和樂ノ一郷ナリ去レバ百事整善ノ緒ニ就キ事蹟ノ見ル可キモノ少ナカラズ曰ク事務ノ整理納税ノ成績勤儉貯蓄基本財産ノ造成教化事業ニ關シテハ義務教育ノ普及實業教育補習教育ノ發展青年團ノ活動風紀ノ改善産業ニ關スル施設トシテハ農事改良特ニ産米ノ改良ノ成績副業獎勵産業組合ノ發達農會ノ活動交通機關ノ整備村是調査ト實行ノ成績自治思想ノ發達勤勉力行ト民資ノ充實著シク效果ヲ收メ一トシテ模範的ナラザルナシ然レトモ今溯リテ明治貳拾年前後ニ於ケル村勢ヲ見ルニ民風一般ニ遊惰ニ流レ奢侈ニ耽ケリ産業モ荒廢シテ振ハズ隨テ民力漸次衰頽シテ生計ニ苦シムモノ少ナカラザリシ當時ニ顧ミレバ誠ニ隔世ノ感ナキ不能而シテ紊亂ヲ重ネタル村治ノ

結 論

一度整理ノ緒ニ就キシヨリ春秋ヲ閱スル茲ニ三十年其間當局者小學校職員村會議員其他各種組合團體等村是ニ示ス處ヲ遵守シ協心戮力村治ニ勉メ村民モ亦共同ノ精神ヲ發揮シ非常ナル奮勵ヲ以テ勤勉力行シ著々資力ヲ恢復シ來リタル如キ實ニ本村ヲシテ今日並ニ將來アラシムル所以ナリ今ヤ一村ノ治蹟大ニ舉ガリ洋々タル和氣村内ニ滿チ施設一トシテ協同ノ美果ヲ發揮セザルナシ

優良三村ヲ巡視シ村治發展ノ趨勢如何ヲ查察スルニ三村ヲ通シ舉村團結ノ美風各般ノ事業ニ滿ツルヲ認メタリ、村當局ガ自治經營ノ方針ヲ確立シ至誠以テ村治ニ盡シタル爲メ村民其感化ヲ受ケ自治精神大ニ充満セルコト其一ナリ、小學校ノ教育方針能ク一般ニ徹底シ延テ學校以外ニモ及ヒ教育ト實業トノ能ク調和聯絡セルコト其二ナリ、公共ノ精神一般ニ普及シテ進取勤勉ノ風道德經濟共ニ著シク向上セル其三ナリ以上ハ何レモ共通のニシテ今日アラシメタル要素タリ又主因タリシナリ去レハ三村共ニ非凡ノ人物アリテ之レヲ經營シタルニアラズ一人ノ篤志者アリテ之レヲ指導シタルニモアラズ只村吏員ニ適材ヲ得勤勉努力施措計畫共ニ宜敷ヲ制シ風ニ村是ヲ制定シテ村民ノ歸嚮ヲ明ニシ學校ト青年會其他各種組合團體ト聯絡ヲ採リ村有志者又公共事業ノ爲メニハ自己ノ利害ヲ顧ミス之ニ奔走盡力シ村民モ亦獨立自營ノ精神ニ富ミ共同一致能ク勤勞シタルニ在リ而シテ北倭ハ明治三十三年ニ玉瀧ハ明治三十四年ニ村是ヲ制定シ蛭川村ハ文書ニコソ之レヲ定メザレ村治方針トシテ教育勸業ノ二項目ヲ定メ假令當局交迭スルモ其方針ヲ繼承シテ渝ルコトナク更ニ有利ノ細目ヲ追加シ孜孜トシテ實行ニ努メタルニヨリ漸次舊時ノ陋習ヲ擺脫シ精勵力行ノ氣自ラ興リ質實敦厚ノ習俗ヲ成スニ至リ其民心ノ啓發利導ニ裨益シタル所少ナカラズ北倭、玉瀧蛭川ガ優良村トシテ内務大臣ヨリ表彰セラレ名聲ヲ博セシハ要スルニ村當局ガ熱誠ナル指導ト之レガ感化ヲ受ケ自覺セル村民一致ノ力ヲ以テ既定ノ村是ヲ實行シタル賜ニ外ナラズ今ヤ我が本縣下ノ市町村ハ現ニ村是ノ調査ヲ終リ實行ノ緒ニ就キ著々其功程ヲ進メツ、アリ抑村是タルヤ自治經營ノ方針ヲ示スニ過ギズシテ如何ニ之レヲ文書ニ規定スルモ實行ノ之レニ伴フナク寸毫ノ價值ナシ之レニ反シ假令文書ニコソ定メザレ不文ノ内自ラ一定ノ村是ヲ定メ村民相一致シテ之レヲ實踐力行シ久シキヲ經テ渝ルモノナキニアリテハ固ヨリ市町村是ノ空文ニ終ルモノト同日ニシテ論ズ可ラズ豈努力スル所ナクシテ能フベケンヤ惟フニ今回ノ視察ニヨリ

得タル幾多ノ活教訓ト自治經營上ノ資料少ナカラザルヲ以テ徐々之レヲ村民ニ徹底セシメ且村ノ現況ニ照シ其内ニ顧ミ短ヲ補ヘ其外ニ顧ミ長ヲ採リ更ニ一段ノ努力ヲ致シ以テ自治ノ醇美ヲ期セントス

四四

視察感想

上都賀郡南押原村長 石塚豐 作

視察中余ニ尤モ感ヲ深カラシメタルハ舉村一致各種事業殆ンド一家經營ニ似タル感アリ斯クノ如キハ日常當局ハ村民ト接觸シ村治ニ關スル事柄ノ實際ヲ村民ニ周知シ誤解ナカラシメ意思ノ疏通ヲ計リ村吏員學校職員協力シ自ラ範ヲ示シ指導ヨロシキヲ得タル結果タルヲ信ズ補習教育特種教育等發達シアリ之レ等ノ教育ヲ村ノ義務教育トナシタル如キハ特筆スベキ美點ニシテ大ニ賞讃スベキモノトス又社會教育モ模範トスルニ足ル産業ニ就テハ土地柄ノ關係上特記スベキモノヲ認メサルモ舉村勤勉力行貯蓄ノ旺盛ナルハ大ニ價値アリトス産業組合ハ一村舉テ組合員トナリ農家經濟ノ融和ヲ計リツ、アルガ如キ又事務處理ニ就テハ就中累年統計書ノ調製等痛切ニ感ジタリ要スルニ視察ニヨリ得タル利益莫大且ツ材料多々アルヲ以テ徐々自村ニ應用シ自治開發ノ途ヲ講究セントス

所感

芳賀郡祖母井村長 鹽田彦四郎

玉瀧村ハ三重縣阿山郡ノ北部山嶺間ノ農村ニアリテ戸數五百四十三戸人口三千二拾八人其地境關西鐵道柘植驛佐那具停車場ヲ距ル二里半水陸運輸等不便ナリ廢藩以後維新當時不良民ニシテ遊惰奢侈ニ流レ且ツ明治十六年ノ不作ニ遭遇シ多額ノ負債ヲ生シ殆ンド窮迫ニ落入リ此際木津慶次郎氏推サレテ村長トナリ同氏茲ニ於テ一村ノ衰運ヲ挽回セントシテ一方ニ事務ノ整理專ラ勤勞主義養成ヲ圖ランガ爲メニ田畑ノ耕耘事業ヲ努メテ改良シ共同余力日掛貯金ノ制ヲ布キ各部落區長ヲシテ各種團體ト共ニ拮据經營數年間ニ一變シ良村トナリ明治四十四年二月十一日內務大臣ヨリ協同輯睦實踐ノ廉ヲ以テ表彰稱揚セララルニ巨額ノ民間余力財産ヲ蓄積銀行ノ設ケアリ今ハ一村ニ如何ナル罹災アルモ其救償ニ余リアリ

本村ヲ感想スルニ同氏ノ努力ヲ以テ勤勞ヨリシテ勤儉力行増進ノ結果今日ノ美風良習ニ富ミ

現村長岩島氏其素志ヲ繼ギ熱心ニ其職ヲ盡シ斯ク模範村ノ名四方ニ喧傳セラル、ニ至ル茲ニ木津氏ノ表彰事項ヲ一讀、成績ト德望ノ偉大ナルコト察知得ラル參考ニ供ス

優良町村視察ニ就テノ感想

鹽谷郡喜連川町長 笹沼仲右衛門

大正六年七月九日優良町村視察ノ命ヲ受ケテ小職ノ實査セシ町村ハ岐阜縣惠那郡蛭川村三重縣阿山郡玉瀧村奈良縣生駒郡北倭村ノ三村ニシテ其觀察ヨリ得タル材料ノ内ニ特ニ報告スベキ要項ハ既ニ總代ヲ薦メテ委任シアレバ茲ニハ一行ノ申合ニヨリ各其ノ感想ヲ述ブルニ止メ以テ其責ヲ果サント欲ス是ヲ以テ薄識ヲ省ミズ左ニ申言ヲ述ブルコト爾リ

- 一、勤儉貯蓄ノ旺盛ナルコト
 - 二、町村基本財産造成ニ充分留意セルコト
 - 三、補習教育ガ實際ニ適合セルコト
 - 四、地方生業ニ必須ナル教育ノ特ニ進歩セルコト
 - 五、産業ノ發達著シク就中品質ノ改良品種ノ統一共同販賣ノ發達セルコト
 - 六、巡回講話其他ニヨリ之ガ普及徹底ニ努力セルコト
- 以上列記セル各項ハ吾人ノ範トシテ採用シ實行ヲ期セント欲スルモノナリ
- 特ニ注目スベキハ優良町村ガ何レモ交通不便ノ土地ニシテ地理的ニ協同一致シ易キ状態ニアリ又戸數人口等モ少ナク且ツ職業モ殆ンド同一ナリ加之天惠ニ富ミ富裕ニシテ所謂衣食足り倉稟滿チテ自然ニ之ヲ誘致セル處ナランモ亦村民一般ガ勤勉力行ニシテ協同一致ノ動作ガ眞ニ徹底的ナルニアリ是等ハ村長助役等ガ中心人物トシテ恪勤克ク誘致指導シテ村事民俗ノ淳美ヲ致サシメタルニ因レリ
- 要スルニ町村民ニ存スル生氣ノ發露ヲ助長シ之ヲ指導誘掖スルニ其人ヲ得且ツ一方ニハ利害ニ超然タル監督廳アリテ之ヲ監視シ以テ向フ所ヲシテ愆ヲシメズ眞ニ獨立自治ノ實ヲ舉ゲシムル事ヲ得バ此曠古未曾有ノ時局ニ處シ決シテ世運ノ發達ト背馳スルコトナカルベシ

優良村ノ視察感想

那須郡荒川村長 樋谷敏之

一岐阜縣蛭川村三重縣玉瀧村奈良縣北倭村ハ何レモ優良村トシテ内務省ノ表彰ヲ受ケ範ヲ全國ニ示スニ至リタルハ其原因蓋シ偶然ニアラザルベシ

思フニ累代ノ當局者人格ノ偉ヒニシテ常識ニ富ミタルモノ此ノ職ニ就キ誠意ヲ以テ村ニ貢獻シ其間毫モ名利ノ私スルモノナク愛村ノ情披瀝シテ村民之レニ感憤シ一致協力シテ村ノ發達ヲ覺悟シ益進展ノ度ヲ高ムルニ從ヒ趣味愈々深ク今ハ村民ヲ擧ゲテ村ノ發展ニ努力スルヲ以テ一ノ樂ミトスルモノ、如シ之レハ三村共ニ共通のモノニシテ強ヒテ之レヲ評スレバ蛭川村ハ君子のニ玉瀧村ハ武士のニ北倭村ハ覇者のニ發達シタリトモ云フベキカ又和歌ノ如ク俳句ノ如ク川柳ノ如キ感モアリ比較的的精神界思想界ニ意ヲ注ギタル點薄クシテ生産業ノ發達ニ全力ヲ注ギ村民ノ精神ヲシテ一團ニ此ノ方面ニ傾クシメ此ノ方面ニ向テ一齊射撃ヲ強行セシメツ、アルカノ如シ此ノ間ニ立ツ所ノ教育其他ノ機關ノ如キモ普通ノ範圍ニ於テ普通ノ事ノミヲ爲スニ於テハ此村ヨリ視ルトキハ平凡或ハ無能ノモノト見做サル、ヲ免レザルナリ故ニ此村ニ於テ之レ等ノ職ニ在ルモノ積極的ノ働キヲ爲サルヲ得ザルハ蓋シ自然ノ勢トモ云フベシ

優良村中ノ或一部ノモノヲ取テ之レヲ本縣下或町村ノ或一部ノ發達シタルモノニ比較スルトキハ或ヒハ敢テ遜色ナキ迄ニ發達シタルモノアルベシト雖モ全部ヲ比較對照スルトキハ遺憾ナガラ全部ガ落伍者ニアラサルカヲ歎カザルヲ得ザルナリ

優良村ノ發達ノ原因ヲ問フニ於テハ皆村民ノ自覺ニ俟テタルモノナリト答フルモノ之レ謙遜ノ語ニシテ全然村民ノ自覺ニアラズシテ當局者ノ赤誠ヲ以テ自覺ノ域ニ導キタルモノナリト史料ス

優良村ノ今日ノ地位ハ郡ノ夫レト比較シ得ベキ位ノ點迄進ミタルモノモアルベク之等ノ村ヨリ上級廳ヲ窺フトキハ或ヒハ望遠鏡ヲ倒ニシテ之レヲ視クガ如キ感モアルベシト思フ

優良村ノ諸會合ニ於テ講師ノ派遣ヲ申請スルトキハ上級廳ハ特ニ人選ニ注意シ出來得ル限り優秀ノ人物ヲ選抜シテ之レニ充ツルヲ以テ村民ハ居ナガラニシテ諸名士ノ講演ヲ聽クコトヲ得ルノ幸福ヲ有スルモノナリ蛭川村役場

樓上公衆ノ尤モ視易キ場所ニ戸數割等級ノ氏名ヲ表記シテ掲ゲタル木札アリ之レ村會又ハ其他ノ調査上ノ便宜ノ爲メニ供スルモノナリト聞ク吾々視察團一行中ニモ之レヲ便利ノ方法トシテ感シタルモノモアラシ然レドモ余ハ反對ノ感ヲ起セリ

其理由トシテ戸數等級課額決定ノ如キハ確然タル調査材料アルニアラズ或標準ヲ採擇シテ務メテ之レニ據ラシムルモ其標準甚ダ微弱ニシテ一ニ議員ノ認定力ニ依ツテ定ムルヲ通例トス其ノ微弱ナル材料ニ依リテ認定シタルモノヲ公表スルガ如キハ私德ヲ保護スルモノト云フベキカ本縣下ニ於テモ町村ノ戸數等級表ナルモ往々新聞紙上ニテ散見スル處ナレドモ少數ノ富者ハ世ニ紹介セラル、ト共ニ多數ノ貧者モ亦世ニ表ハサル、ヲ免レズ、富者ハ迷惑ヲ感ゼザルモ貧者ノ多數ハ不快ノ念ヲ抱クノミナラズ之レ等ノ多數者ノ世ニ對スル信用社交私交婚姻等其他影響スルコトノ重大ニシテ私德ヲ侵害スルノ點亦甚シト云フベシ若シ村民中等級課額ヲ問ハントスルモノアラバ其人ニ限リ其等級課額ヲ示サバ以テ足レリト云フベシ故ニ此ノ取扱ハ所得稅決定ノ取扱ト同様ニスルヲ以テ適當ト認メ此表札揭示ニハ感服セザルナリ

縣外優良村視察感想

足利郡小俣村長 橋本浩

優良村岐阜縣惠那郡蛭川村、三重縣阿山郡玉瀧村、奈良縣生駒郡北倭村ノ三ヶ村ヲ視察スルニ事務ノ整理、教育勸業、衛生、土木、基本財産ノ造成其他諸般ノ施設經營宜敷ヲ得洵ニ完璧ノ域ニ達セリ之レ元ヨリ地形上ノ關係歴史的其他ノ動機アリト雖モ何レモ村當局ニ其人ヲ得タルニ基因ス要スルニ優良町村タルニハ村政當局者タル町村長、特志家其町村ノ自治振興ノ中心トナリ自覺自奮至誠以テ町村民ヲ相率キ各自ノ責任ヲ自覺セシメ先ヅ事務ノ整理ヲ行ヒ而シテ民風ヲ改善シ町村ノ富力ヲ増進シ諸般ノ施設經營ヲナサ、ル可カラズ

視察感想

下都賀郡大谷村 山中茂三郎

一、今回優良村視察ニ就テハ往復旅程ニ多ク日數ヲ消シ視察ハ一村僅カニ平均四時間位ニシテ然モ重ニ形式上ニ

止マリ深ク内容ヲ知ルコト能ハザリシハ遺憾トスル所ナリ而シテ此三村中發達ノ原因ニハ多少異ナル所アリト雖モ必竟其發展ノ美果ヲ收メ得シハ之レヲ運用スル主腦者ノ人格ト其村民ノ順良トニヨルコト明瞭ナルハ此ニ贅言スルヲ待タズ即チ自治ノ樞機ニ當ル人ニシテ人格アリ技能アリ村民ニ道義心アリ公共心アリ共同心アラシメバ盍ンゾ其發達セザルヲ憂ヘンヤトノ念愈々深キヲ感ゼシメタリキ

二、閩村協同輯睦殆ンド一家ノ如シト獎稱セラレシガ如ク村吏ノ德望アリ技能アル者多ク何レモヨク薄給ニ甘ンジ村治ノ爲メニ貢獻シ勤績十數年特ニ村中上流ノ子弟ガ進ンデ其吏員タル事ヲ希望スルガ如キ村民モ亦ヨク共同一致シテ其間平和ニ何レモ村治ニ孜々トシテ精勵シ選舉ノ如キスラ黨派ノ觀念ナシ北倭村ノ如キ訴訟離婚ノ防止ハ申合組合ヲ以テ實行シ近來殆ンド絶無ナラントスルノ状態ニ至レリト

三、教育上補習學校ノ設備完全シ居ルニハ實ニ豫想外ナリ男女補習教育一般ニ徹底シ村狀ニ適當シタル教育方針ヲ採リ所謂高等遊民ヲ作ラズ勤勞主義ヲ基トシテ最善ノ努力ヲ盡シタルガ如シ就中北倭村ハ現社會ノ奢侈輕浮ナル惡風ガ滔々トシテ農村ニ侵入スルヲ慨シ勇往邁進ノ氣象ヲ養成シ數多ノ誘惑物ヲ排シテ祖業ヲ守リ卓然動カザル農村ノ生命タル可キ人物養成ニ注意スルガ如キ亦以テ其全班ヲ推知シ得可キナリ

四、圖書館及ビ巡回文庫 社會教育上青年會婦人會巡回講話等各種ノ方法敢ヘテ本縣ト大差ナシト雖モ村立圖書館トシテ小學校ニ附屬セル多數ノ圖書ヲ有シ施設完備シタル者アリ蛭川村ノ如キ閱覽者ノ爲メニ貸借出入ヲ開放シテ自由ニシ未ダ曾ツテ一冊ノ書物スラ紛失シタルコトナシト云フ巡回文庫ノ如キ最モ簡易ナル小文庫ニシテ其數モ亦多ク運搬上至ツテ輕便ニシテ實ニ效果多大ナルベシト推スルニ難カラズ

五、各種ノ組合 矯風上勤勞節約ノ方法トシテ各種ノ組合ヲ組織シアリ蛭川村ニ於ケル馬夫組合ノ如キ矯風上大ニ見ル可キモノアリ玉瀧村ノ産業組合ニ至ツテハ業已ニ全國熟知ノコトニシテ之レヲ述ブルノ必要ナシ然レドモ其玉瀧銀行ト相待ツテ互ニ村民ノ金融機關トシテ活動シ普通年利七朱若クハ八朱ノ間ニ於テ如何ニ其低利資金ノ融通ヲ開キシカ又銀行ガ利益トシテ毎期一割ノ配當ヲ繼續スルガ如キ如何ニ其經營宜シキヲ得シカ縣下多數ノ産業組合銀行ト比較セバ思半ニ過グルモノアラシカ

六、娛樂機關ノ完備ト體育器具ノ不備

村民ガ勞役ヲ慰藉スルニハ如何ナル娛樂機關ヲ要スルカハ皆均シク苦心スル所ニシテ農村ニ此機關ノ不備ナルハ一般ナリ而ルニ蛭川村ノ蛭子座ノ如キ善美ナル會堂ヲ有シ北倭村ノ尙善會等ニ於ケル娛樂機關ノ如キノ設備ニハ一驚ヲ喫シタルト共ニ其體育方面ノ不備ナルニモ更ニ亦一驚ヲ喫シタリ即チ三村小學校ハ校舍ノ設備衛生方面等何等ノ缺點ナキニカ、ハラズ獨リ體育器具ノ完備セザリシニハ疑惑スルトコロナリ

七、農會特種ノコトナシト雖モ賦課徵收方法ハ戶數割地價割平等割又反別割等ニシテ會員ノ負擔多ク補助金少ナク獨立ニ近ヅクモノ、如シ事業ハ上級農會ニ於テ多ク一定ノ事業ヲ指定セズシテ上級農會ハ專ハラ監督指導ニ重キヲ置キ其町村ニ適切ナルモノヲ自働的ニ發展セシムルガ如シ而シテ其進歩ノ顯然タルモノニ至リテハ蓋シ言ヲ待タズシテ明カナリ

之レヲ要スルニ自治ノ精神能ク發達シテ上下融和シ孜々産業ニ教育ニイソシムハ吾人ノ取リテ以テ深ク模範トスルニ足ルモノナルヲ欣慕セリ

視察感想

河内郡妻川村長 坪山多一郎

本縣ノ命ヲ承ケ新潟群馬兩縣下優良町村ヲ視察セル感想ノ一斑ヲ左ニ

新潟縣下三ヶ町村群馬縣下二ヶ村ヲ視察スルニ何レモ則ルベキ長所ヲ認ム就中施設方法ノ全般ニ涉リ我カ妻川村ノ直ニ採テ以テ範トナスヘク感シタルヲ北蒲原郡川東村トナス同村ハ明治三十四年大宮、竹俣、石田、板津ノ四ヶ村ヲ併合シ二十ヶ大字ニ分タレ東西二里南北三里約四方里ニシテ戶數千〇七十九戶人口六千七百五十ヲ有スル大村ニシテ各部落多少人情習慣ノ異ナルヲ免カレサルニ理想的ニ近ク各般ノ施設方法其宜シキニ適ヒ益進展興隆ノ域ニ在ルヲ見ル町村ノ興隆ヲ計ルノ門ハ先ツ町村事務ノ整理ナランカ川東村ハ現村長本間百在門氏ノ明治四十年就職以來ノ精勵ト部下吏員ノ恪勤以テ執務ノ秩序整然タリ故ニ事務大ニ舉リ從テ村内重立者ノ克ク理事者ヲ援ク以テ一村統一セラレ村會ノ如キ現村長就職以來二日以上ニ涉リテ會議ヲ開キタルコトナク凡ソ理事者ノ提案ニ賛同スル如キ但シ同村ニハ舊村ニ一名ツ、四名ノ常設委員ヲ置キ即チ村長ノ顧問トモ云ハンカ參事會ニ諮ル如キ

形式ヲ採レルハ變則ナランモ同村ノ現状ニハ適應ノ處置ナランカ故ニ教育方面ノ施設モ備リ先ツ小學校ヲ統一シテ一村三校トナシ設備不完全ナル分教場ヲ廢止セリ明治四十三年岡田分教場ヲ廢止シタルトキノ如キ各期降雪ノ際ニハ村長自ラ早晨ヨリ人夫ト共ニ雪踏ヲナシ兒童通學ノ途上些ノ困難ヲ感セサラシムルコト數年一日ノ如クナリシカバ當時分教場廢止ヲ快シトセサル一二ノ者モ其誠意ニ訓化セラレ衷心ヨリ同氏ノ施設ニ贊同ヲ表スルニ至レリト現小學校長ノ如キ二十年以上ノ勤績者ニシテ又教員ヲハ各部落ニ駐在セシメ以テ學校ト家庭トノ連絡並ニ青年ノ指導教育兒童通學ノ保護村風改善ニ資スル等亦學齡兒童ノ保護會ハ村民中地價五百圓以上ヲ有スルモノ及小學校教員其他篤志者ヲ會員トシ毎年必要ノ釀出ヲナシ貧困兒童ノ學用品雨具或ハ衣服等ノ補給ヲナシ以テ不就學者ナカラシメ青年會ハ十九部落ニ設立セラレ村聯合青年會之ヲ統一シ村長以下吏員學校職員村內重立之ヲ指導シ各青年會ハ各集會場ヲ有シ講習講話會其他ノ會合場ニ充ツル如キ婦人會ノ組織アリ亦村內アラユル方面ヲ網羅セル斯民會アリテ風紀ノ改善ヲ圖リ勸業方面ニハ産業組合ノ顯著ナル發達活動ヲ見地主會將タ村農會ノ活動耕地整理ハ十箇年間ヲ期シ耕地ノ全部ヲ整理改良スヘク今其半ニ在リト殖林ノ獎勵ハ着々好成績ヲ見土木事業ノ如キモ明治四十一年以來年々八百圓ノ豫定ヲ以テ道路ノ改修橋梁ノ修築ヲ爲シツ、交通ノ利便ヲ圖リ公共衛生ニ於テハ飲料水供給ノ目的ヲ以テ掘井獎勵ヲ爲シタル等村基本財産ノ造成村是ハ縣下各町村ニ先ンシテ制定セラレ實行ニ於テ好績ヲ收メツ、アリ要スルニ本村ノ施設皆漸進ノ實蹟ヲ視ルニ前途隆々トシテ大ニ成ルヘキ基礎ヲ具ヘタリト云フヘシ然ルニ本村ニハ幾多ノ優良町村ニ見ル如キ卓絶セル中心人物ト云フヘキモノアルニアラス理事者ノ至誠努力ハ村內重立ノ協心戮力トナリ多年勤績ノ小學校長ノ德化相與リテ圓滿ナル進展ヲ見ルモノナルヲ感ス

優良村視察ニ對スル感想

上都賀郡菊澤村長 渡邊 順

新潟縣北蒲原郡

川 東 村

大正六年七月十一日午前八時當村役場ニ至リ視察ノ概要ヲ述レバ村長ハ本間百在門氏ニシテ同氏ノ率直ニ眞摯ニ

事務ニ臨ミ居レルト村當局者ト議員間ノ意志ノ疏通シ居レルト各部落間ノ融和シ居レルト納稅成績及學齡兒童ノ就學歩合ノ良好ナルト其他事務一般ニ就テモ形式的ノ事ナク實質的ノ効果ヲ擧ケ居ルト又農會事業ノ發達シ居ルト購買組合信用販賣組合等ノ貯金ノ多額ナルトハ本村ノ特色ナランカ殊ニ本間村長ノ吾々視察員ニ對スル説明ハ些ノ虛飾ナク言語明瞭ニシテ頗ル快感ヲ以テ視察ヲ了セシメラレタルヲ多トス

附記 本村ノ視察ヲ了ハリタル後本間村長ノ案内ニテ同村小學校ノ參觀ヲ爲セシニ校舍内外ノ設備能ク整頓シ居レリ

新潟縣中蒲原郡

七 谷 村

大正六年七月十二日正午十二時當村役場ニ至リ視察ノ概況ヲ述レバ村長ハ小野周平氏ニシテ本村ハ曩ニ道路ヲ開鑿シタルト漸次副業ヲ獎勵シタル結果現今日本紙ノ製造高年額五萬圓ニ達シ居レリ本村ハ信用組合獎善貯蓄積善組合等ヲ設置シテ民業ノ發達民風ノ改善ニ資シ又基本財産ノ造成ニ關シ努力シツ、アルハ本村ノ特色ト認ムベキ點ナルベシ

附記 本村ハ小職不幸病中ニテ充分ナル視察ヲ遂グルコトヲ得ザルヲ遺憾トス

新潟縣南蒲原郡

今 町

大正六年七月十三日午前十一時三十分當村役場ニ至リ視察ノ概要ヲ述レバ町長ハ土居房太郎氏ニシテ全町ノ圓滿ナルト各種納稅ノ成績及學齡兒童ノ就學歩合ノ良好ナルト又町有基本財産造成ニ努メ尙一面校舍建築資金積立ヲナシツ、アルハ本町ノ特色ナラン町長ノ對スル意見トシテハ懇切丁寧勸勉ニシテ職務ニ盡スト言ハレシガ氏ノ人格其他ヲ綜合スレバ果シテ其言ノ如クナラント信ス本町事務ノ收受發送ハ町長之ヲ爲シ書類ハ吏員全部ニ回覽スト此方法或ハ可ナランカ本町ハ町民就業ノ便宜ヲ圖リ時間ニ制限ナク徵稅ノ事務ヲ執リ居ルトノ事ナレドモ大ニ考慮ヲ要スベキ點ナリ

本町長モ視察員ニ對スル説明答解等懇切丁寧ヲ極メタリ

附記 本町ノ視察ヲ了ハリタル後町長並ニ校長ノ案内ニテ同町小學校ヲ參觀シタルニ能ク整頓シ居レリ

群馬縣勢多郡

木 瀬 村

大正六年七月十五日午前十時當村役場ニ至リ視察セントセシニ當日ハ日曜日ニモアリ且村會ヲ召集シアル由ニテ議員七八名參集シ居リ村長清水忠次郎氏モ非常ニ繁忙ヲ極メ居ル様子ナルヲ以テ一行協議ノ結果ニ手ニ分レ一ハ同村野中信用購買生産販賣組合ヲ視察スベク小職等ハ同村役場ニ居残り會議ニ支障ナキ限リ同村ノ施設經營等ニ就キ村長ニ質問シ居リシニ午前十一時頃ニ至リ議員ノ出席多數ニ達シタルヲ見最早村會開會ノ時間ト察シ同村役場ヲ退場セリ故ニ何等記載スベキ事項ナシ

群馬縣山田郡

境 野 村

大正六年七月十六日午前八時二十分當村役場ニ至リ視察ノ概況ヲ述レバ村長ハ高田菊一郎氏ニシテ本村ハ往古ヨリノ一村ニシテ村內至極圓滿ニシテ風波ナク納稅ノ成績就學兒童ノ歩合等最モ良好ナリ副業トシテハ織物及練糸業ニシテ其產額一ケ年六七百萬圓ニ達シ居レリ又基本財産トシテハ國庫債券其他多額ヲ有シ居レリ教育方面ニハ夜學會ニ特種教育ニハ養老會等アリ其他壯丁ノ入退營冠婚葬祭等ノ際ニ於ケル規約等アリ之等本村ノ特色ナラン尙役場ノ構造吏員ノ執務狀態等遺憾ナシ只惜ムベキハ村長以下吏員ノ袴ヲ着用セザルヲ憾ミトナス
附記 本村ノ視察ヲ了ハリシ後同村小學校ヲ參觀セシニ校舍内外ノ設備一モ遺憾ナシ

縣外優良村視察概況報告

芳賀郡逆川村長 河 原 邦

過般縣外優良村視察トシテ大正六年七月十日出發新潟縣北蒲原郡川東村同縣中蒲原郡七谷村同縣西蒲原郡今町及群馬縣勢多郡木瀬村野中信用購買生産組合同縣山田郡境野村ノ壹町參ケ村及ヒ一組合ノ大容ヲ視察シ同月十七日歸村候ニ付概況左記ノ通り及報告候也

記

一、北蒲原郡川東村 戶數千七十九戶人口七千八百人大字數二十一個ヨリ成ル而シテ産業組合、納稅成績勤儉貯蓄、農會ノ活動、就學及ヒ出席歩合ノ良好ナル等重モナル治績ナルモ中就感服セシハ農會長ノ年報金三圓ナルニ不係日勤ニシテ東奔西走實地ニ就キ指導開發ノ任ニ當リ其成績顯著ナルト中等教育ヲ受クルノ子弟三十余名中實業學校在籍者三十余名中學校在籍者僅カニ三名ナリト云フ而シテ實業學校卒業者ハ歸村ノ上學理ヲ實地ニ應用シ農村經營上偉大ナル効果ヲ擧ゲツ、アリト云フ
以上二點ハ實ニ羨望ニ堪ヘサル美點ナリ

一、中蒲原郡七谷村 戶數六百四十八戶人口四千三百人十一ケノ大字ヨリ成ル本村ノ美點モ亦川東村ト同様ナルモ道路ヲ改修シテ小學校ヲ統一シ併置校一トナシタルハ地勢ノ然ラシムル處トハ謂ヒ其着眼點ノ好適ナル吾々理事者ノ模範トシテ學ブベキ點ナルヲ認ム

一、西蒲原郡今町 戶數六百二十七戶人口四千七十九人二ケノ大字ヨリ成ル本村ノ美點モ前村同様ナルモ改メテ稱スベキモノナシ

一、勢多郡木瀬村野中信用購買生産組合 本組合ハ大字野中住民農家五十戶職工六戶人口四百人ヲ有スル小字ニ組織セラ、モ組合長清水及衛氏ノ組合ノ目的同經營方法等宜敷ヲ得農村經營ノ模範トスルニ足ル即チ困難疲弊セル農村ヲ改善スルヲ目的トシ經營ノ方法トシテ購買販賣生産ニヨリ利益ヲ收メ施肥ヲ有効ナラシメ以テ其量ヲ節シ勤儉貯蓄ヲナサシメ農家々計簿、農業日誌ヲ毎戶ニ備ヘ以テ農家經濟ヲ明瞭ニシ衛生貯金ヲ起シテ衛生状態ヲ良好ナラシメ其他冠婚葬祭等ニ於ケル風紀上經濟上ノ缺點ヲ改善スル等組合法ヲ利用シテ農村改良ノ萬般ニ及ホシ成績實ニ顯著ナリ然ルニ不肖本職等ハ凡百ノ法律規則ヲ應用シテ尙且ツ一村ノ經營ニ成效スル能ハズ實ニ慚愧ニ堪ヘズ

一、山田郡境野村 戶數七百五十七戶人口四千四百七十九人大字ハ只一ケニシテ部落ナルモノナシ、本村ハ納稅ト學校教育トニ因リ表彰セラレタルモノニシテ就學出席共歩合極メテ優秀ナリ
以上ハ各町村ニ於ケル概況ニシテ特別ナル施設方法等ナク普通ノ優良村ナルモ町村自治ニ對シ吾々ノ怠眠シツ、

アルノ昔時ニ於テ早ク既ニ村治ニ着目シテ今日アラシメタルハ實ニ敬服スル處ナリ

五四

視察感想

鹽谷郡藤原村長 星 藤 太

大正六年七月九日縣外優良町村視察ノ命ヲ受ケ大正六年七月十日午前二時二十分宇都宮市出發同月十一日新潟縣北蒲原郡川東村ヲ視察同月十二日同縣中蒲原郡七谷村視察同月十三日南蒲原郡今町ヲ視察同月十五日群馬縣勢多郡木瀬村野中信用購買生産販賣組合ヲ視察同月十六日同縣山田郡境野村ノ視察ヲ了セシニ各村共大同小異ノ差アルモ何レモ町村内融和シアリテ有力者ハ町村長ヲ助ケ其町村ノ發展ヲ謀リ然シテ町村長ノ勤績年數長キハ三十年短カキハ十數年ノ間努力セラレタル結果ニ依リ現在ノ成績好良ナルヲ見ル以上ハ町村民ノ自覺心ヲ養成シ其發達ヲ促進セシメタルモノト思慮ス

縣外優良町村視察感想錄

那須郡黑磯町長 山口 兵 吉

縣ノ命ヲ承ケ第一回縣外優良町村視察團ノ第二班ニ屬シ大正六年七月十日ヨリ同十六日ニ至ル一週間ノ行程ヲ以テ新潟縣川東村、七谷村、今町及群馬縣木瀬村、境野村ヲ視察シ其感想ヲ錄スルコト左ノ如シ
感想錄ハ町村別ニ之レヲ記述スベキ筈ナリシト雖モ余ノ得タル感想ハ各町村ヲ通シ大同小異ナルヲ以テ便宜上概括的ニ之レヲ錄シ特殊ノ點ニ就キテノミ別ニ附言スルコト、セリ

視察ノ時期及方法

- 一、夏期ニ於ケル視察ハ營ニ旅行ニ困難ニシテ支障少ナカラサルノミナラス役場學校等ノ勤務時間概シテ午前中ニ限ラル、ヲ以テ其内容ニ涉リ精細ナル調査ヲ遂クルコト能ハサルヲ遺憾トス
- 二、指示セラレタル視察要項廣汎ナリシ爲メ短時間ヲ以テ其全班ヲ調査スルニ由ナク勢ヒ皮相的觀察ニ馳スル傾キアルヲ以テ成ル可ク各町村別ニ取捨撰擇シテ調査事項ヲ減少セラレンコトヲ望ム
- 三、視察スヘキ町村ノ地勢、區域、戶口、吏員、議員、豫算施設事業、產物等ニ關シテハ成ルヘク其町村ヨリ材

料ヲ蒐集セラレ豫メ視察員ヲシテ各自ニ書類上ノ研究ヲ爲サシメ實地視察ニ際シテハ務メテ裏面的内容ニ迄立入り調査シ得ル準備アルヲ要ス

各町村ニ對スル一般の感想

- 一、固有ノ公共事務ニ薄クシテ委任事務ニ厚キハ一般町村ノ傾向ナリト雖モ所謂優良町村ニアリテ未タ此弊ヲ脱スルコト能ハサルモノ、如ク否實質ヨリモ形式ヲ重スル點ニ於テ優良町村ハ一層著シキ痕蹟アルヲ認ム町村ノ事務ヲ處理スル上ニ於テハ形式モ亦必要ナルニ相違ナシト雖モ徒ラニ外觀的形式ヲ整フルニ腐心シ實質的施設ノ之レニ伴ハサルモノアラハ未タ以テ自治ノ有終美ヲ達成シタルモノト謂フニ足ラサルナリ
- 一、優良町村ノ事務中成績顯著ナリト認メラル、モノハ書類ノ整理保存、諸報告期限ノ確守、租稅ノ皆納基本財産ノ造成等ニアルカ如シ
- 簿冊ノ整理保存及報告期限ノ確守ハ容易ノ業ナルニ拘ハラス一般町村ニ於テハ之ヲ完全ニ實行スルモノ尠シ是レ優良町村カ専ラ形式ヲ重スルニ反シ一般町村ハ却テ之レヲ等閑視スル傾キアルカ爲メニシテ理事者ノ深ク留意スヘキ事項ナリトス
- 一、租稅ノ皆納ハ自治体トシテ素ヨリ望マシキ事ニ屬スルト雖モ皆納其物ヲ以テ必スシモ町村自治ノ成績ヲ斷スヘキモノニアラス詳言スレハ極貧若クハ移住等不得止事情ニ依リ幾分ノ滞納者ヲ出スコトアルモ苟モ其滞納ノ爲メ町村ノ財政上ニ何等ノ影響ヲ蒙ラサル程度ノモノタラハ皆納テフ美名ノ下ニ強テ之ヲ期限内ニ誅求スルノ要ナカルヘク否營ニ其要ヲ認メサルノミナラス斯クアリテコソ初メテ自治ノ眞髓タル隣保協力、共益増進ノ目的ヲ達成スルニ庶幾カラシカ若シ夫レ滞納ヲ以テ優良町村ノ資格ナシトセハ市其他複雜ナル住民ニヨリテ組織セラル、町村ハ皆納不可能ノ事情アルカ故ニ結局永久的不良團體ナリト見做ス外ナキニ至ルヘシ豈ニ斯クノ如キ理アラシヤ要スルニ優良町村ニ於ケル完納ノ成績ハ其實自然の土地ノ狀況等ニ原因スルモノ多キヲ以テ事情ヲ異ニスル他ノ町村ニ於テハ理想トシテ努力スヘキモノモ其成績實現セシムルコト能ハサルモノアラン
- 一、基本財産ノ造成ニ關シテハ孰レノ優良町村モ各其計劃ヲ怠ラサルモノ、如シ然レドモ單ニ造成ニ着手シタルニ過キスシテ未タ其財産ヲ利用シ經費支辨ノ途ニ充ツルモノアルヲ見サルハ遺憾トスル所ナリ且其造成ノ方法

五五

タルヤ孰レモ大同小異ニシテ使用料、手数料、交付金、歲計剩餘金又ハ指定寄附金等ノ收入額及基本金ノ利子等ヲ積蓄スルニ止マリ之レニ對シテ特別ナル事業計劃アルヲ聞カス余思フニ町村制第九十六條ニ依レハ如上收入金ノ大部分ハ之レヲ基本金ニ蓄積スヘク不適當ノ性質ヲ有スルモノナルカ故ニ爲スハ爲サ、ルニ優ルト云フニ止メ之ヲ以テ決シテ模範的最善ノ方法ト信スル能ハス況ンヤ斯ノ如キ收入ヲ蓄積スルカ爲メニ比較的輕カラサル住民ノ負擔ヲシテ更ニ重キヲ加ヒシメタル傾キアルニ於テヤ

一、教化事業中刻下ノ問題タル補習教育ニ關シテハ從來各地方ニ行ハル、青年講習會的ノモノ、外別段ノ施設ヲ見ス尙小學校設備ノ如キハ寧ロ本縣ノ其レニ及ハスシテ而モ多クハ教室ノ不足ヲ告ケ完成ノ域ニ達シタルモノナシ模範町村タルカ故ニ一層物足ラサル感ヲ深クセリ兒童教育ノ實績ハ外觀ニ依リ判斷スルコト能ハスト雖モ教員中永年在勤者比較的多キヲ認ム若シ該事實カ教育事業ノ成績上何等カノ影響アルモノトセハ移動頻繁ナル本縣ニ於テ幾分參考ノ値アルヘシ

一、其他衛生、産業、救濟、娛樂等ニ關シテハ何等參考スヘキモノヲ見出サス是ヲ以テ這般ノ事業ニ對スル積極的施設ノ容易ナラサルヲ知ルト同時ニ理事者ハ一層之レカ研究ニ留意スルノ必要アルヲ信スルナリ

一、模範町村ニ於ケル所謂優良ナル成績ハ重モニ其町村特有ノ沿革地勢等ニ原由シ自然的ニ醸成シタルモノ多ク別ニ本縣ニ採用スヘク適切ナル人爲的特殊ノ施設アルコト無シ換言スレハ模範町村トハ理事者ノ盡力ニ依リ普通町村ニ形式テフ禮禮ヲ施シタルモノト解シ得サルニ非ス之レヲ要スルニ本縣ニ於ケル多數ノ町村ハ實質ノ充實セル點ニ於テ所謂模範町村ト格段ノ差ナキコトヲ想像ス從テ今一層努力ヲ惜ムナクハ必スヤ縣外優良町村ヲ凌駕スルコト難カラサルヲ信シ茲ニ本縣ノ爲メニ前途ノ有望ナルヲ祝福シ併テ當局者各位ノ奮勵ヲ祈ルモノナリ

新潟縣今町

南蒲原郡ニアリ見付停車場ヲ距ルコト里許現住戸數六百(本籍八百戸)人口四千(本籍四千七百人)ヲ有スル商業地ニシテ農家ハ僅カニ其十分ノ一ニ過キス我黒磯町ノ二分ノ一縮圖ニ彷彿シ而シテ飲料水ノ欠乏下水路ノ廢頽小學校舍ノ不完全等亦明治時代ノ黒磯町ニ酷似セリ余ハ之レニ依リテ模範町村ノ多クハ進取ノ氣運ニ欠クル所アルヲ

認ム

群馬縣木瀬村野中産業組合

該組合ハ所謂鷄群ノ一鶴ニシテ實質上吾人ニ範ヲ示スヘキ事項尠ナカラス其施設事業及ヒ之レニ關スル方法等ハ以テ町村是實行組合ノ事業トシテ最適切ナルモノアルヲ認ム

群馬縣境野村

境野ハ名譽職ヲ以テ統轄シ難キ事情アル自治体ニシテ有給村長ヲ得テ治績大ニ舉リ明治四十三年模範村ニ列ス現今ノ高田氏ハ第二回ノ有給村長ナリト謂フ町村制理由書ヲ案スルニ自治トハ國ノ法律ニ遵依シ名譽職ヲ以テ事務ヲ處理スルヲ謂フトアリ即チ有給村長ハ自治ノ變態ニシテ其常軌ニアラス此點ニ於テ同村カ他ノ模範タルヲ得ヘキヤ否ヤ少シク疑ヒナキ能ハス

雜 感

一、新潟縣下優良町村ノ現住戸數ハ通例本籍ニ比シテ二割乃至三割ヲ減シ而シテ一面ニハ必ス數名ノ大地主アリ蓋シ土地兼併ノ弊遺憾ナク發揮セラレ窮民相踵テ墳墓ノ地ヲ去ルモノ、如シ注意スヘキ現象ナリト雖モ惜哉其町村ハ之レニ關セス焉
一、新潟縣ハ米產地ナリ全部正條植ヲ實行ス農産改良ノ進歩本縣ノ比ニアラス
一、新潟縣下ハ地質其他ノ原因アルヘシト雖モ道路一般ニ良好ナルハ事實ナリ交通ノ改善ヲ以テ地方發展ノ第一義ナリトセハ此點ニ就キ縣當局ニ望ム所ヤ切ナリ
一、新潟縣人ハ一般ニ体格大ニシテ勤勉ノ風ニ富ミ婦女子ニ於テ特ニ然ルヲ見ル此体格ト而テ此風トハ之レヲ本縣ニ移植スヘキ方法ナキヤ

以上

縣外視察感想記

足利郡筑波村長 岩井田彬一郎

人能ク道ヲ弘ム道人ヲ弘ムルニ非ス如何ニ完全ナル法律規則アリト雖モ不熱心不勉強ノ理事者ナリセハ假令博學秀才ノ人物ナリトモ聰明大智ノ英俊ナリト雖モ復雜煩雜ナル町村行政ノ如キハ決シテ豫期ノ効果ヲ舉クル事ヲ得

ス町村治ノ進歩發達ハ職務ニ熱誠忠實ナル町村吏員ヲ得ルニアリ今回視察セル新潟縣北蒲原郡川東村ノ如キハ有力者一致協力シ能ク村治ノ興進ニ努ムルト共ニ村長且農會長ノ如キハ村ノ一流者ニシテ熱誠忠實ノ士ナルガ如シ故ニ民心克ク統一セラレ諸種ノ施設又其運用ニ熟シ町村發達ノ實績亦見ルベキ者多シ就中産業組合ノ如キハ最も其主ナルモノ、如シ又中蒲原郡七谷村ハ其名ノ如ク七箇ノ峽谷ニ散在シ交通極メテ不便ナリシモ地ノ利ニ鑑ミ多額ノ費用ヲ投シ道路ノ改修ヲ斷行シ五箇ノ小學校ヲ一校ニ合併シ又山林三千有餘町歩ノ運用其宜シキヲ得タルニ基因スルモノ、如シ要スルニ村當局者ガ誠意事ニ從ヒ鞠躬力ヲ致シタルノ結果ニ外ナラズ故ニ村勢ノ狀態歲ト共ニ振興ノ氣運ニ向ヘタルト同時ニ村有力者又克ク當局者ヲ補助シ銳意村ノ福祉ヲ増進スルコトニ努力シタルヲ以テ下流一般自然此美風良俗ニ化シ漸次村治ノ圓滿ヲ圖ルニ至ル又南蒲原郡今町及群馬縣山田郡境野村ハ風俗且ツ人情ニ於テハ同一視スル能ハスト雖モ兩者ハ純然タル農村ニアラズ耕作地極メテ狭少ニシテ商業且工業者ヲ以テ大部分トス又町村ノ面積及人口ニ於テモ大ナル差異ナク且ツ村治ノ方法ハ一面官治ノ風アリ町村長ハ代々輸入者ナリト雖モ教育者及官吏ニシテ又克ク町村民ガ町村自治ノ趣味ヲ有セル人撰ヲ過ラズ自治官治ノ折衷施政其宜シキヲ得タルヲ以テ漸次町村ノ發達ヲ見ルニ至ルモノトス尙群馬縣勢多郡木瀬村野中産業組合ハ分度推讓ヲ基礎トシテ理事者ハ以テ實踐躬行身ヲ以テ其範ヲ示シ漸次ニ協同心ノ威力ヲ發揮シタルモノニシテ地方優良ナル組合ナリトス要スルニ道人ヲ弘ムルニアラス人能ク道ヲ弘ムルニアリ理事者ハ以テ留意スベキナリ

縣外優良町村視察概要

屬 澁 素 峰

大正六年度ニ於テ地方改良ノ一方法トシテ施設セラレタル縣外優良村視察團(第一方面)ハ左記九名ニシテ小官之ニ同行シ七月九日宇都宮出發岐阜縣惠那郡蛭川村三重縣阿山郡玉瀧村、奈良縣生駒郡北倭村ノ視察ヲ爲シタル概要左ノ如シ

視察員 河内郡雀宮村助役 山崎 正 次 郎
 上都賀郡南押原村長 石 塚 豐 作

芳賀郡祖母井村長 鹽 田 彦 四 郎
 下都賀郡栃木町長 神 原 經 武
 澁谷郡喜連川町長 笹 沼 仲 右 衛 門
 那須郡荒川村長 壺 谷 敏 之
 安蘇郡犬伏町長 小 島 時 三
 足利郡小俣村長 橋 本 浩
 下都賀郡大谷村 山 中 茂 三 郎

視察日誌

第一日目(七月九日)視察員全部午後一時縣廳ニ集合シ諸般ノ打合ヲナシ午後八時宇都宮驛發
 第二日目(七月十日)岐阜縣惠那郡大井町着泊
 第三日目(七月十一日)午前六時大井町發同郡蛭川村ヲ視察シ(往復約五里)再ヒ大井町ニ戻リ汽車ニ搭シ午後八時三重縣龜山町着泊
 第四日目(七月十二日)午前五時龜山驛發佐那具驛下車阿山郡玉瀧村ヲ視察シ(往復約四里)再ヒ佐那具ニ戻リ午後五時奈良市着泊
 第五日目(七月十三日)午前六時奈良市發大阪軌道電車ニテ富雄驛下車生駒郡北倭村ヲ視察シ(往復約三里)午後六時京都市着泊
 第六日目(七月十四日)午前八時京都市發電車ニテ伏見驛下車桃山御陵ニ參拜シ再ヒ京都市ニ戻リ團體ヲ解キ歸途岐阜縣惠那郡蛭川村 各自希望ノ優良村ヲ視察セリ

一、村勢概要

本村ハ惠那郡ノ西北隅ニ位シ中央線大井驛ヲ距ルコト三里、地勢東西北ノ三面ハ山ヲ以テ圍マレ恰モ馬蹄形ヲナシ中央部ノ底地ハ田圃部落ノ存スル所ナリ、今ヲ去ルコト十數年前ニ在リテハ道路惡シク殊ニ大井町トノ交通ニ

於テハ木曾川ノ急流ヲ渡船セサル可ラサルヲ以テ久シク交通難ヲ唱ヘタリシガ其後漸ク道路ノ改修行ハレ木曾川ニハ大井、蛭川兩岸ノ有志資金數萬圓ヲ投シ株式組織ヲ以テ長サ五十間餘ノ一大釣橋ヲ架設シタリ東雲橋即チ是ナリ荷馬車三臺ヲ一時ニ通行セシムルコトヲ得、大井、蛭川ノ交通是レニ依ツテ面目ヲ一新セリ

本村ハ元安弘見ノ郷ト稱シ二百年來ノ獨立村ナリト謂フ町村制實施ニ當リ笠置外一ヶ村ト組合村タリシガ明治三十年中組合ヲ解キテ今ノ一村トナレリ、村ニハ大字ナシト雖聚落自ラ十二區ニ分レ每區、區長及其代理者ヲ置キテ諸般ノ事務ヲ取扱ハシメ村會議員ノ如キ各區一人ヲ出シ嘗テ競争ヲナシタルコトナク部内極メテ圓滿ナリ、閭村輯睦恰モ一家ノ如ク嘗テ紛擾ノ歴史ヲ有セサルハ本村ノ特色トスル所ナリ是レ同村ノ地理的關係ニ負フ所尠カラサルヘシト雖モ一ハ先輩ニ其人ヲ得タルヲ以テ重ナル原因トス村ニ二人ノ特志家アリ、奥田正道、林唯平ト謂フ(其事蹟ハ參考トシテ左ニ採録セリ)奥田翁ハ町村制實施當時ヨリ村長トナリ前後十年其職ニ在リテ専ラ自治ノ經營ニ努メ一村平和ノ策ヲ講シ漸次良習ヲ馴致セリ又一面ニハ現助役田口久夫氏ノ如キ良吏員アリ氏ハ嘗テ村長トナリ今ヤ再ヒ助役トシテ現村長ヲ輔佐シ専ラ村治ニ執掌セリ氏ハ役場事務ノ整理ヲ爲サンガ爲一ヶ年中殆ンド其三分ノ二ハ常ニ役場内ニ起臥シ晝夜兼行ヲ以テ其ノ衝ニ當リ文書簿冊ノ整理ノ如キ考案適切シテ他ノ範トナルモノ尠カラス而シテ自ラ其功ニ矜ラス夜々トシテ勉メテ倦マサルノ熱誠ハ洵ニ奇特ノ行爲ト謂ハサル可ラス外ハ二翁ノ德化アリ内ニ田口助役ノ如キ事務家アリ而シテ村民其業ニ安ンスルヲ以テ産業教育、衛生納稅及基本財産ノ造成等一トシテ發達セザルハナシ明治四十二年七月十二日治績優良ノ廉ヲ以テ知事ノ表彰ヲ受ケ次テ明治四十三年二月廿五日内務大臣ノ選獎ヲ受ケ金八百圓ヲ交付セラル

〔奥田正道翁
林唯平翁〕

奥田正道翁事蹟概要

翁ハ天保十三年十一月木村農家ニ生ル幼ニシテ醫學ニ志アリ安政五年一月ヨリ文久元年十二月ニ至ル舊苗木藩醫分部傳ニ從ヒ醫術ヲ學ヒ其地二三ノ士ニ隨ヒ皇漢ノ學ヲ修メ同年居宅ニ歸リテ開業ス明治三年私立學校創設ニ際シ教師ノ派遣ヲ藩ニ求ム藩之ヲ容レテ大澤三郎ヲ派遣スルニ方リ翁之カ補助ヲ爲シ延テ明治七年ニ至リ岐阜縣師

範學校設立セラレ教員ヲ養生セン事ヲ町村ニ命セラル翁當時故アリテ醫術ヲ廢セリ村民氏ヲ選出シテ教員ノ候補者トシ同八年師範學校ヘ入校ス同十二月業ヲ卒ヘテ公立蛭川學校ヘ派出セリ就職以來教鞭ヲ探ラルル事十有五年其間ニ於ケル教育ノ忽ニナラサル事ヲ説キ生徒ノ獎勵學校ノ新築ヲ促ス等盡瘁至ラサルハナシ

明治二十二年町村制實施ニ際シ蛭川村外二ヶ村村長ニ選舉セラレ明治二十六年滿期再選就職同三十年三月蛭川村外二ヶ村ヲ割キ更ニ蛭川村獨立トナルヤ尙選ハレテ村長トナリ繼續在勤スル事前後十ヶ年ニ及フ其間ニ於ル專ラ自治ノ經營ニ努メ一村平和ノ策トシテ村會議員選舉區ヲ約シ及區長選舉ノ方法ヲ講シ小學校基本財産蓄積方法ヲ定メ校舍ノ改築ヲナメ等ノ事アリ日清戰役ニ方リ後援ニ盡力シ其他山林ノ保護規約ヲ設ケ村農會ヲ設立シテ農事改良ヲ獎メ衛生組合ヲ設ケ道路開修等ニ付實行セリ

明治三十年病氣退職後郡會議員村農會長衛生組合長學務委員村會議員ニ選舉セラレ又惠那郡農會農事獎勵委員ヲ囑托セラレ農事改良上ニ付獎勵ノ功顯著ナルモノ多ク尙明治二十七年報德社設立以來熱心之カ成立ヲ贊ケ爾來社長トナリテ勤績セリ

林唯平翁事蹟概要

翁ハ天保三年正月本村字今洞ニ生ル幼年ノ時代ニアリテ本村寶林寺住職矢野玄密ニ從ヒ普通學科ヲ修ム氏資性直實温厚ニシテ德望アリ依テ村民推シテ村吏ニ選舉ス明治二年寄役ニ就職シ爾來戶長副戶長ニ選ルル事再三其他村會計村會議員小學校幹事等幾多ノ公職ニ從事シ繼續在勤セララル、コト殆ンド三十ヶ年一日ノ如ク其間ニ於ケル各種事業ノ内ニ於テ最モ重ナル事蹟ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ

一明治二年寄役勤務ノ當時ハ維新改革廢藩縣置ニ方リ村政モ隨テ改リ更ニ舊弊ヲ一洗スルニ付テハ頗ル困難ヲ讓シ當時ノ戶長ノ補佐ヲナセリ

一明治七年本村戶長ニ就職スルヤ土地ノ丈量改租ニ際シ事務ノ多端ナルヲ處理シ殊ニ村有山林處置等ニ就テハ協議其宜シキヲ得現時山林保護上造林ノ計畫ニ幸福ヲ得タルハ氏與テ力アルモノトス又聯合役場トナルニ至リ本村總代トナリテ山林監守長ヲ兼任シ林業ニ注意セラル、コト尠カラス山林植樹ノ如キ同氏ノ當時ヲ以テ創始トス

一明治十四年ノ頃賭博ノ禁制規約ヲ設ケ村人ノ風紀ヲ一洗シタルハ全ク翁ノ力ニヨレリ
 一翁ハ村人ノ信賴最モ厚ク各種ノ苦情ハ翁ノ一言ニヨリテ解決シ其記録ニ殘レリ件數四十餘件ニ及フ
 一小學校幹事在職中ニアリテハ明治八年學校ノ新築及生徒ノ就學出席ノ督勵等現今ト時代ノ異ナルヲ以テ其勞苦
 僅少ナラス尙明治二十七年小學校改築ニ方リ會計係員ヲ勤ム
 二、戸口ト生産

本村ノ戸口、土地面積及生産左ノ如シ
 戸數、五〇〇戸、内農四二九、商三三、工二四、其他一四
 人口、三、二六〇人 男一、六四三 女 一、六一七
 土地 民有地總反別 三、〇〇三町 内 田 二二九町 畑 八二町 山林 二、五一四町
 耕地一戸當 六反一畝五歩

生産

本村生産ノ重ナルモノハ米 四、〇六〇石 麥 一、三九七石 繭 一、七〇七石 林産 三〇、〇〇〇圓
 其他ヲ合シテ生産總額 二四三、八五四圓 一戸當四八七圓ナリ而シテ本村ハ地味甚タ膏腴ナリト謂フ能ハサルヲ以テ天然ノ恩惠ニ於テハ寧ロ本縣中位ノ町村ニ及ハザルモノ、如シ

三、豫算

大正六年度歳入出豫算ハ左記ノ如クニシテ其數字上ニ現ハレタルモノニ於テハ何等特殊ノ點アルヲ認メスト雖
 其歳入中財産收入ノ村稅總額ヲ超過スルカ如キ村財政ノ基礎鞏固ナルモノアルヲ認ム

歳入總額	一三、七二二	稅外收入	九、七二八	財產收入	四、六三四	補助金	八一七	寄附金	八九九
經常部	一〇、〇九六	村稅	三、九九四	繰越金	二、七〇〇	其他	六七八		
臨時部	三、六二六	役場費	一、九一三	國稅附加稅ハ制限極度迄	五、八一〇				
土木費	一、二九一	勸業費	一、七七一	積立金	三八一				
補助費	二、二二三	造林費	一、〇九六	其他	四六八				
役場費中村長報酬年額	一五〇	助役	二四〇	收入役月額	一三	書記定員三人	一人月額	二二五〇	
ニシテ本縣ノ平均額ニ近シ小學校教員給ハ本科正教員月俸平均	二二	專科正教員及准教員ハ共	二月額	九圓					
代用教員ハ平均	一三三三〇ナリ								

歳出

四、吏員ノ勤務狀況及事務ノ整理
 事務ノ整理ハ各種ノ施設經營ノ基本タルヲ以テ忽諸ニ付ス可ラサルモノアリ而レトモ吏員其人ヲ得ルニアラサ
 レバ到底之カ完璧ヲ期スルコト能ハサルヘシ今本村事務ノ狀況ヲ見ルニ文書ノ收發、處理ノ敏速正確、完結文書
 ノ保存、諸臺帳ノ整理等極メテ整然タリ、吏員ハ村長ノ外助役一人、收入役書記三人 林業手一人アリ、報酬
 給料ハ前記ノ如クニシテ本縣ノ町村吏員ニ比シ決シテ優遇ト謂フ可ラス
 現村長桃井英二郎氏ハ醫師ニシテ家業ノ關係上欠勤勝ナルモ助役以下ノ吏員ハ何レモ熱心ニ事務ニ精勵スルヲ
 以テ之ヲ補フテ餘アルノ狀態ナリ

田口助役ハ明治廿三年始メテ書記トナリ勤續殆ント三十年助役村長ヲ歴任シテ再ヒ助役トナレリ村治ノ爲メニ
 盡スヲ以テ自己ノ天職トシ常ニ役場内ニ起臥シテ家ニ歸ルコト稀ナリト云フ書記三人中勤續十二年一人、他ハ
 五、六年ニ過キス書記ノ採用方針ハ村ニ於テ所得稅ヲ納ムル程度ノ資産ヲ有シ且ツ人物技能相當ニシテ將來一
 村ノ理事者タルノ素質アルモノヲ選ビ職業的吏員ハ可成之ヲ採用セス又吏員間ニ研究會ナルモノヲ設ケ毎土曜
 日ニ會合シテ法令ノ研究事務取扱ノ方法公衆ニ對スル應接等ニ至ルマテ吏員ノ態度ニ關シ互ニ批評スルノ方法
 ヲ採レリ又吏員中出張若クハ上級官衙ノ會合ニ出席シタルモノハ其結果ヲ此ノ會ニ於テ報告スルヲ以テ一ハ復
 命トナリ一ハ他ノ吏員ノ參考トナリ一舉ニシテ兩得アリ

如此吏員ハ隔意ナク熱心ニ勤務スルヲ以テ事務ノ整理ノ如キ他ノ模範トスルニ足ルモノ少カラス今大正五年中
 ノ吏員ノ勤務狀況ヲ左表ニ示シ且ツ田口助役ノ考案ニ成ル本籍寄留人生年別臺帳ハ徵兵適齡者調學齡兒童調、
 高齡者調其他各種ノ人口調査ニ便宜ナルヲ以テ左ニ其様式ヲ示サン

吏員ノ勤務狀況

(大正五年)

職名	分掌事務	出勤日數	内出張日數	備考
村長	議事統計、兼庶務戶籍	三三〇	六一	
助役	庶務土地兼議事稅務統計	三一四	一七	
收入役	會計	三〇二	六	
田口書記	學事衛生、稅務兼庶務統計	一七二	一	七月三十日退職
林書記	兵事、戶籍兼統計	九四	六	
林書記	學務衛生、稅務受發、雨量兼統計	二九〇	一三	
西山林業手 兼書記	林業土木、勸業兼統計	二九九	四五	
永沼書記	兵事戶籍	三		
原雇	兵事戶籍	一二五	五	八月一日就職

生 年

(本籍人)															
男						女									
生年月日番	地戶主	家族	稱配	有無	偶氏	名	摘要	生年月日番	地戶主	家族	稱配	有無	偶氏	名	摘要
						平民									
						平民									
						平民									
						平民									
						平民									
						平民									
						平民									
						平民									
						平民									
						平民									

五、教育
 小學校ハ一村一校ノ制ヲ採リ唯地理的關係上分教場一ヲ設ク生徒總數五三七人ニシテ十一學級ニ編成ヒリ就學歩合ハ百分比男九九、三一計九九三、一 出席歩合百分比男九五、五八計九五、五八ナリ教員十二人内正教員七人女九九、三〇計九九三、一 出席歩合百分比男九五、五八計九五、五八ナリ教員十二人内正教員七人

准教員一人、代用教員四人アリ給料額ハ前記豫算ニ説明セリ
經費ハ大正六年度ニ於テ四、〇二二圓 一戸當八圓四錢 兒童一人當七圓四十九錢村費總額ニ對スル歩合ハ四割ニ過キス

兒童ハ團體通學ノ方法ヲ採レリ路傍ノ要所々々ニ兒童ノ集合所ノ設ケアリ此處ニハ種々ノ格言、注意書等ノ貼付紙アリテ通行人ノ目ヲ惹クモノアリ

補習教育

小學校卒業後壯丁又ハ戸主ノ班ニ入ルノ間其指導ヲ誤ルトキハ單ニ普通教育ノ效果ヲ空ウスルノミナラズ良民ヲ作ル所以ニアラサルヲ以テ本村ニ於テハ力ヲ補習教育ニ致スノ狀況ナリ現在ノ規定ニ於テハ小學校卒業後ハ村内ニ在住スルモノハ三ヶ年間補習教育ヲ受ケシメ又三ヶ年ヲ終ヘテ當徴兵適齡ニ達セサルモノハ研究生トシテ在學セシムルモ寧ロ之ヲ義務トシテ適齡迄在學セシムル方適當ト認メ近ク規程ヲ改メテ實施スルノ計劃ナリト云フ

教授時間 男 每週二夜、女 毎日

教授期間 四月一日ヨリ五月十五日迄一ヶ月半 六月半

場 所 十一月十五日ヨリ三月卅一日迄四ヶ月半 六ヶ月

教 員 四ヶ所、小學校一、分教場一、青年會所二、女子ハ小學校ニテ教授ス

授 員 七人ニシテ内四人ハ各部落ニ一人宛 一人ハ女子部ヲ擔任シ校長及農業擔任者ハ各部落ヲ巡回教

生徒數 男 一六〇人 女 四六人

出席歩合 男 七四、七三 女 四五、七〇

經 費 大正六年度ハ三〇八圓内雜給一五三圓 需要費一五五圓ナリ

補習教育ノ效果ニ就テハ今之ヲ具體的ニ説明スヘキ材料ヲ有セスト雖徴兵検査ノ成績、青年ノ風規等ニ徴シテ其效果ノ尠カラサルモノアルヲ認ムト謂フ

六、社會的教化ニ關スル施設

1 示談會

本村ハ明治三十八年頃ヨリ巡回講話ヲ開始シ之ヲ示談會ト名ツク、晝ハ婦人會ヲ開キ夜間戸主會ヲ開ク村長助役小學校教員等出席シテ村民トシテ恪守スヘキ要項ヲ懇切ニ説示ス明治三十六年頃迄ハ村稅ノ滞納者十數人アリシカ此ノ會ヲ開クニ至リテ滞納者其跡ヲ絶ツニ至レリト云フ又村民ノ總テカ能ク村ノ事情ヲ了解スルヲ以テ理事者ト村民トノ間意思自ラ疏通シ村治上效果甚大ナリト謂フ

二、村教育會

普通教育ノ改善普及ヲ圖ル目的ヲ以テ村内在住滿二十五歳以上ノ男子ヲ會員トシテ本會ヲ組織セリ會長ハ村長副會長ハ小學校長ヲ以テ之ニ充テ評議員ハ總會ニ於テ會員中ヨリ選舉ス本會ノ事業概目左ノ如シ

一、毎年委員三名以内ヲ選出シテ郡教育會ニ參會セシムルコト

二、本會ハ他教育會ト氣脈ヲ通シ若クハ他ノ教育事業ヲ視察シテ相互ノ利益ヲ計ルコト

三、慈善事業及彰善ニ關スルコト

四、時間確守ニ關スルコト

五、体育ニ關スルコト

六、青年教育、貧民教育、實業教育、家庭教育、婦人教育ニ關スルコト

七、矯風ニ關スルコト

八、就學出席督勵ニ關スルコト

九、學校ト家庭トノ聯絡ニ關スルコト

十、郡教育會意思ヲ徹底セシムルニ努ムルコト

等ナリ而シテ會ノ經費ハ村費ヨリ七十五圓ノ補助ト有志ノ寄付ヲ以テ之ニ充ツ時間ノ確守ハ諸種ノ會合ニ於テ行ハレ就學出席ノ督勵、貧困兒童ノ保護等此ノ會ノ活動ニヨリ相當成績ヲ舉ケツ、アリ

3 村婦人會

本會ハ教育勅語、戊申詔書ノ聖旨ヲ体シ婦人ノ智徳ヲ進メ勤儉ノ風ヲ養フノ目的ヲ以テ組織セラレタリ會員ハ

本村在住ノ女子網羅ス但シ滿十四歳以下ノモノ及賤業婦ハ會員タルコトヲ許サス
本會事業ノ概目左ノ如シ

- 一、毎年四月、十一月ノ二回總集會ヲ開クコト
 - 二、名士ヲ招聘シテ講演ヲ聞クコト
 - 三、婦人ノ風儀改善ヲ圖ルコト
 - 四、奢侈ヲ戒メ勤儉貯蓄ヲナスコト
 - 五、家事經濟ノ改善ヲ圖ルコト
 - 六、農蠶業ノ改善發達ヲ期スルコト
 - 七、學校ト連絡ヲ保チ普通教育ノ上進ヲ圖ルコト
 - 八、家庭教育ノ完備ヲ期スルコト
 - 九、孝子節婦其他模範トナルヘキ婦女ニ對シ表彰ヲ行フコト
- 等ナリ若シ會員ニシテ會ノ体面ヲ汚辱スル行爲アルモノアルトキハ會長ヨリ誨告ヲ加ヒ尙改悛ノ狀ナキモノハ
役員會ノ決議ヲ經テ除名スルコト、セリ

4 安弘見報德社
明治二十五年十月報德社ト稱スルモノヲ創立シテ道義ノ講究ヲ開始シ越テ二十七年ニ至リ安弘見報德社ヲ結成
セリ

目的ハ勤儉推讓ノ徳ヲ養フニ在リ
組織ハ年齡二十歳以上ノ男子ヲ正社員トシ未成年者ハ試業員トシテ入社ヲ許セリ

事業ハ毎年一月總會ヲ毎月一日定會ヲ開ク總會ニ於テハ決算ノ承認、事業ノ方法ヲ決議シ定會ニハ講話演說等
ヲナス尙毎年一回社員中善行者ヲ選拔シテ表彰ヲ行ヒ其數既ニ十三名ニ達セリ、又毎年信用評定員會ヲ開キ社
員ニ對シ善種金ノ貸付ヲナス社金ハ大正六年五月末ニ於テ金五千五百九十七圓アリ社員ハ結社當時二十名ナリ
シカ現在百三十一人試業員十人アリ本會ハ篤志家奥田正道翁ノ斡旋ニ依リテ創立セラレ翁ハ今尙之カ社長タリ

事務所ハ明治四十一年四月間口十間奥行四間ノ平家ヲ建築シ其經費千二百二十七圓ヲ要セリ又役員ハ全部無報
酬ニテ勤務セリ

5 濟美會

會ハ明治四十四年四月ノ創立ニ係リ村内ノ特志家、學校職員、村吏員ノ三種ヲ以テ組織ス故ニ之ヲ村ノ三角同
盟トモ稱ス毎月一回會合ヲ爲シ諸般ノ事項ニ亙リ調査研究ヲ爲シ兼テ會員相互ノ忠言警告ヲナシ以テ村治ノ發
展ニ貢獻スルヲ目的トス會ノ事務ハ村長及校長之ヲ取扱ヒ現ニ會員三十二人アリ本村ノ重要ナル事項ハ殆ント
此ノ會ノ論議ヲ經タルモノナリ有志者ヲ家族的ニ親密ナラシムルニ於テ有力ナル機關ナリ

6 馬夫組合

本組合ハ馬車業、馱馬業及諸種ノ荷車等ニ依リ運搬ニ從事スルモノヲ以テ組織ス此ノ組合ハ馬方ノ德義ヲ重ジ
荷主會社及交通上ノ迷惑ヲ防クヲ以テ目的トス現在會員百八十三人アリ組合長一人、副組合長一人、幹事二人
取締役十二人(各區一人ヲ置ク)アリ從來各地ニ於ケル運搬從事者ノ狀況ヲ見ルニ或ハ荷物ノ奪争ヲナシテ運送
ヲ停滯セシメ或ハ賃銀ヲ貪ルモノアリ又交通上ニ於テモ追掛、無提灯等ノ爲警官ノ厄介ニ與ルモノアリ本村ニ
テハコノ組合ノ組織ニヨリ斯ル弊害ヲ除去スルヲ得テ效果甚大ナルモノアリト謂フ本組合ニ於ケル申合規約ナ
ルモノヲ左ニ掲ケテ參考ニ供ス

蛭川馬夫組合申合規則

第一章

總則

- 第一條 本組合ハ蛭川村馬車業馱馬業及諸種ノ荷車等ヲ以テ營業ヲナスモノヲ以テ組織ス
- 第二條 本組合ニ於テ荷積馬車馱馬業及各種ノ荷車ニ依リ荷物運搬ニ從事スルモノハ總テ本組合員ニ加盟スル義
務アルモノトス
- 第三條 本組合ニ簿冊ヲ作り組合員ノ氏名及役員ノ氏名ヲ記録シ且必要ノ事項ハ之ヲ記載シ置クモノトス
但シ組合員名簿ハ各自署名捺印スルモノトス
- 第四條 本組合ハ毎年一月二十日ヲ以テ總會ヲ開會スルモノトス

但會場及時間ハ組合長ヨリ通知ス

第一章 役員

第五條 本組合ニ左ノ役員ヲ置キ任期ハ各二年トス但再選スルモ妨ナシ

一、組合長一名 一、副組合長一名 一、幹事二名 一、取締役十二名(各區ニ一名宛ヲ置ク)

第六條 組合長ハ本組合一切ノ事務ヲ總理ス副組合長ハ組合長ノ補佐トナリ且庶務ニ従事ス幹事ハ組合長ノ指揮ヲ受ケ諸務會計ニ従事ス取締役ハ本組合ノ評議員トナリ且選舉區ノ組合員ヲ取締ルモノトス

第七條 役員ノ選舉法ハ組合長以下幹事迄ハ本組合ノ總會ニ於テ選舉シ取締役ハ當該區ノ組合員ニ於テ選出ス

第三章 荷物運搬

第八條 荷物ハ總テ丁寧ニ取扱ヒ且迅速ニ届先ヘ運搬シ停滯セザルモノトス

第九條 會社ノ荷物ハ寄合タル組合員協議ノ上正當ノ運賃ヲ定メ荷出ヲナスハ勿論繼出ハ彼我ノ運賃ヲ公平ニ分配スルモノトス

第十條 會社及荷主ニ於テ定メタル運賃不相當ナル時ハ會合ノ組合員協議ノ上正當ノ運賃ヲ定メ會社荷主ト交渉ノ上運搬スルモノトス

第十一條 會社ノ荷物ハ一駄又ハ一車以上ヲ荷出セザルモノトス

第四章 通行

第十二條 道路ヲ通行スルニハ必ス左側ヲ通行スルハ勿論追掛(放馬)ヲ爲スベカラズ

第十三條 引綱ハ可成短キヲ用ヒ(長サ二間以内)夜行ノ際ハ燈灯携帯通行スルモノトス

第十四條 道路橋梁等ノ小破損アル場合ハ互ニ應急ノ手當ヲ施シ大破損ノ個所アル時ハ直ニ村役場ニ報告スル等總テ道路維持ニ關シ往來ニ注意シ通行スルモノトス

第十五條 道路通行ノ際ハ充分注意ヲナシ農作物ヲ馬ニ喰ハシメザルヲ要ス

第十六條 通行禁止ノ制札アル場所及公然道ニ非ラザル場所ヲ通行スベカラズ

第五章 雜則

第十七條 本組合員ハ互ニ德義ヲ重シ禮義ヲ守リ決シテ利己主義ノ舉動ナク平素組合ノ体面ヲ汚損セザル様注意スルモノトス

第十八條 荷物運搬中ニ於テ災害ニ罹リタルモノアルトキハ互ニ救助ヲナシ故障アル場合ハ勉メテ利便ヲ與フルモノトス

第十九條 本組合員ハ馬匹傳染病ヲ豫防スルタメ可成馬料用器ヲ携帯スルモノトス

第二十條 荷物ノ運搬並ニ運賃ニ關スル競争的ノ行ヲナスベカラズ

第二十一條 本組合員ハ常ニ第十七條ノ主義ヲ守リ他人ノ荷物ヲ盜ミ或ハ他人ノ名義ヲ僞リテ荷出ヲナス等詐欺ノ行爲ハ契テ之ヲ成スベカラズ

第六章 罰則

第二十二條 本組合員ニ於テ第十七條第二十一條ヲ犯シタルモノハ警察署ノ有罪無罪ニ關ハラズ金五圓ノ違約金ニ處シ且ツ組合員ヲ除クモノトス

第二十三條 第八條、第十二條、第十三條、第十五條第十六條第二十條ヲ犯シタルモノハ金貳拾錢以上貳圓以下ノ違約金ヲ徴收スル外組合員ヲ除名スルコトアル可シ

第二十四條 第二十二條、第二十三條ニ記載以外ノ本組合規則ニ違背シタルモノハ評議ノ上除名スル事アルベシ

第二十五條 罰則ニ關スル處分法ハ役員評議ノ上資力ナキモノ又ハ處分ニ應セザルモノアル時ハ當該區組合員ニ於テ出金スルモノトス

第七章 財務

第二十六條 本組合員ハ毎年一人ニ付金拾錢ノ會費ヲ支出シ之ヲ積立テ増法ヲ圖リ以テ本組合ノ維持費ニ充ツルモノトス

第二十七條 第二十二條第二十三條ヨリ徴收シタル金員ハ道路橋梁等ノ修繕費ニ充用シ殘金アル時ハ蓄積シ置クモノトス

第二十八條 本則ニ違反シテ除名處分ニ行ヒタルトキハ其旨荷主及會社ニ通シ相當ノ制裁ヲ加フルモノトス

第二十九條 第二十二條第二十三條ニヨリ徵收シタル金員ハ役員協議ノ上處分スルモノトス、但シ蓄積ハ銀行預金トナス

第三十條 會計報告ハ毎年一回總會ニ於テ幹事ヨリ會員ニ報告スルモノトス

第三十一條 第二十二條乃至第二十四條ニ依リ除名ヲナス場合ト雖モ第二十六條ノ會費ヲ返付セズ但シ自分ヨリ希望ニ依リ退會ノ場合ト雖モ然リ

第三十二條 本組合ニ加入セントスルモノハ本則ヲ確守シ左ノ加入金ヲ出金スルモノトス

- 一、馬車業 參 圓
- 一、駄馬業 壹 圓

附 則

第一 本則ヲ訂正若シクハ變更セントスル場合ノ總會或ハ役員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

第二 第九條第十條等場合ニ於テハ便宜上評議員半數以上ノ決議ニ依リ適當ノ處置ヲ取ルヲ得

六、勸 業

本村ハ山間ノ僻村ニシテ農ヲ主業トスルヲ以テ米麥、養蠶林産ノ如キ其主要ナルモノニ屬シ他ニ特殊ノ生産アルヲ聞カス勸業上目下獎勵ニ屬スル事項ヲ舉クレハ

- 一、米麥種子ノ撰擇及灌水撰種ヲ勵行スルコト
 - 二、稻ノ正條植及麥ノ正條播ヲ實行スルコト
 - 三、黑穗ノ拔取リ及麥種子ノ殺菌法ヲ勵行スルコト
 - 四、堆肥舍ノ建設ヲナシ堆肥製造ヲ盛ニシ金肥購入ヲ防クコト
 - 五、病虫害ノ驅除豫防ヲ勵行スルコト
 - 六、土地開墾及變換ノ工事ヲ盛ニシ資産ヲ増殖スルコト
- 副業トシテハ目下養蠶ヲ獎勵シ其成績漸次好況ニ向ヒツ、アリ其他林業製炭、果樹栽培養蠶養鯉等ヲ獎勵シツツアリ

七、衛 生

衛生組合ニ於テハ絶エス村内ノ衛生状態ニ注意シ毎年春秋二回清潔法ヲ勵行ス

種痘ハ毎年之ヲ勵行ス大正五年中施行人員第一期九十人、第二期八十二人アリ

トラホームノ檢診及壯丁者ノ身体檢査ハ村醫ヲシテ之ヲ施行スルモ患者ハ極メテ少數ニシテ百人中一人ノ割合ナリ隔離病舍ハ明治三十二年中工費壹千三百九圓ヲ投シテ建築セリ患者ハ明治三十九年以來病舍ニ收容シタルモノナシ亦以テ一般衛生状態ヲ察知スルヲ得ヘシ

八、諸稅負擔ト納稅成績

諸稅負擔ハ直接國稅四千六百十圓縣稅貳千七百拾六圓村稅參千九百九拾四圓合計壹万千參百貳拾圓ニシテ一戸當貳拾貳圓六拾四錢ニ過ギズ我縣ノ參拾六圓貳拾九錢ニ比シ遙ニ少額ナリト謂ハサルヲ得ス

納稅成績ハ每期完納シテ明治三十八年度以降皆テ滞納者ヲ出シタルコトナシ

九、村基本財産造成

本村ハ實測千五百町歩ノ山林ヲ所有シ明治三十八年ヨリ毎年二十町歩宛四十ケ年間ニ約八百町歩ノ植栽ヲ完了セントス其他二百七十町歩ハ地味瘠惡ナルヲ以テ松ノ天然更新ヲ行ヒ殘地ハ保安林ニ編入セラレ禁伐林ニ屬スコノ山林經營ノ爲メニ特ニ林業技術員ヲ置キ着々豫定ノ計劃ヲ實行シ既ニ貳百六拾町歩ノ植栽ヲ了シ其成育極メテ良好ナリト云フ

此ノ植林ニシテ相當伐期ニ達スルトキハ一村ノ收入ハ毎年數万圓ニ達シ隨ツテ村費ノ如キ此收入ヲ以テ支出シ尙餘裕ヲ生スル狀況ニ至ルヘシ

外ニ大正五年末現在ニ於ケル蓄積金左ノ如シ

- 金六千五百九十七圓三十八錢六厘
- 金一万三百六圓三十二錢
- 計一万六千九百三圓七十錢六厘

村基本財産
學校基本財産

三重縣阿山郡玉瀧村

一、村勢概要

玉瀧村ハ三重縣阿山郡ノ極北ニ位シ東西二里二十三町南北一里二町ニ亘ル山間ノ一農村ナリ村ハ三大字ヨリ成リ戸數五百四十三、人口三、〇二八ヲ數ヘ耕地ハ田三七八町畑六五町ニシテ一戸八反歩ニ當ル
 蛭川村ノ一戸當六一〇五歩ニ比シ八二五歩ヲ増ス交通稍ヤ不便ニシテ陸路三里柘植驛又ハ佐那具ニ至リ初テ鐵道ノ便アリ

住民ノ生業ハ主トシテ農業ヲ營ムモノ四九六戸雜業四七戸民産階級ハ戸數割一戸平均額以上ヲ負擔スルモノ二一戸同平均額以下ヲ負擔スルモノ三三二戸其負擔歩合ハ最高四二〇個、最低三個ニシテ最高ハ最低ノ百二十倍ニ當リ尙所得稅ヲ納ムルモノ七十七アリ

本村ノ現況ヲ見ルニ最モ勤儉ノ美風ニ富ミ一村ノ事務亦能ク整頓シ諸般ノ事業着々其效果ヲ收メ優良村中ノ優良村トシテ定評アリ今ヨリ二十五六年前ニアリテハ村勢固ヨリ今日ノ如クナラズ村民ハ遊惰奢侈ニ流レ或ハ延ヒテ犯罪者ヲ出スコトアリ木津慶次郎氏ノ推サレテ村長トナリシハ實ニ此際ニ在リ木津村長ノ就職スルヤ最モ力ヲ事務ノ整理ト村勢ノ發展トニ致シ勵精多年一日ノ如ク敢テ渝ル所ナク下僚モ亦能ク其意ヲ承ケテ庶務ニ從ヒ何程忙ワシキ時テモ一人ノ臨時雇ヲモ使フコトナク又休日ノ有無ヲ問フモノナク現ニ或ル吏員ノ如キハ一年間三百六十四日ノ出勤ヲ爲シタリト云フ有様ナリ至誠ニシテ動カサルモノナク村當局者ノ誠意カ村民一般ノ認識スル所トナリ教育、勸業、土木、衛生、風教其他各般ノ事項ニ互リテ村ノ施設經營ハ着々實致ヲ收メ今日ノ盛況ヲ見ルニ至レリ

二、經費

大正六年度ニ於ケル本村ノ經費ハ總額八千參百參拾九圓拾錢ニシテ其歲入出入内譯左ノ如シ

歲入	八、參參九圓壹〇〇	寄附金	貳、八〇〇圓〇〇〇
村 稅	四、貳四七、〇〇〇	繰越金	壹、〇〇〇圓〇〇〇
稅外收入	四、〇九貳圓壹〇〇	其他	〇、〇〇〇圓〇〇〇
役場費	壹、九壹壹、〇〇〇	直接國稅ハ制限極度迄	四、貳〇〇
會議費	八九、五〇〇	戶數割附加稅ハ一戸當	四、貳〇〇
教育費	參、九四九、〇〇〇	縣稅附加稅本稅一圓ニ付	參、〇〇〇
勸業費	貳壹〇、〇〇〇	基本財産造成費	四〇〇、〇〇〇
臨時部	貳〇五、〇〇〇	諸稅負擔	六貳六、七九〇
教育補助	貳〇五、〇〇〇	其他	〇、〇〇〇

三、教育

教育ノ普及ニ關シテハ特ニ力ヲ用キ或ハ獎勵金ヲ設ケテ毎年優良學童ヲ表彰シ、就學獎勵規定ヲ設ケテ貧民子弟ニ教科書學用品、食費等ヲ給與ス其資源ハ皆ナ篤志家ノ寄附金ヨリ成リ別途基金五百圓ヲ蓄積ス而シテ就學ノ狀況左ノ如シ

學齡兒童 五六六人

明治四十年ヨリ皆就學ノ處大正二年四月一日入學スヘキモノ一名疾病ノ爲猶豫シタルモ大正三年四月一日ヨリ再ヒ皆就學トナル又尋常科ヲ終リテ高等科ニ入學スルモノ百分ノ七十三アリ

在學生徒 男二八三人 女二九六人
〔高等科三學年併置〕
 〔裁縫補習科三學年併置〕

出席成績 大正五年中ヲ通シテ九六、〇八

教員 正教員 一三人 准教員 一人

教員給ハ正教員一人平均二十圓農業專科正教員十三圓裁縫專科正教員十六圓ニシテ本縣ノ町村ニ比シ必シモ優遇ナリト謂フ可ラス

四、社會的施設

イ 青年團

青年團ハ明治二十一年各部落ニ始メテ夜學ヲ開始シ漸次若衆組ヲ改善シタルモノニシテ明治四十年八月村團ニ統一ス現在々郷會員百八拾六名ニシテ滿二十歳迄ヲ修學部ニ二十五歳迄ヲ研究部ニ編入シテ專ラ修養研究セシメ修學部會員ノ爲メニハ毎月十回問斷ナク夜學ヲ開キ毎年一回農事講習會ヲ開催ス明治四十一年事業部ヲ開始シ共同事業トシテ稻田五反壹畝貳拾五步桑園貳反七畝貳拾步苗圃五畝步殖林地參町七反七畝步ヲ經營セシメ外ニ本年度ニ於テハ團員ノ管理スル共同苗代八ヶ所反別壹町貳反七畝拾六步ヲ採種田ノ經營二十六ヶ所增收品評會ノ參加田貳拾壹ヶ所ヲ有ス其他義勇團ヲ編制シテ警實剛健ノ氣象ヲ養ヒ増業ヲ行ヒ公共事業ヲ補助シ以テ勤勞ノ美風ト共同ノ精神ヲ涵養セシム現今團員ノ貯金六千四百圓四拾錢又毎年一回事業成績展覽會ヲ開催シ同ヲ重ヌル六回大正六年一月新春ノ娛樂トシテ開催シタルモノ其出品八百七拾點ニ達シタリ

ロ 處女會

處女會ハ現在會員百四拾九名裁縫補習科ニ於テ專ラ技藝ヲ授ケ巡廻圖書函ヲ設ケテ家庭ニ於ケル讀書ノ便ヲ與ヘ日曜祭日ハ禮儀作法茶花並ニ簡易ナル料理法ヲ練習セシメ毎月十三日ハ修養日トシテ全員ヲ玉瀧尋常高等小學校ニ集合セシメ又常時家庭ニ於ケル研究實行事項ヲ蒐集シテ一年二回會誌ヲ發行シ毎年一回成績品展覽會ヲ開會ス

ハ 紀念圖書館ト各種ノ會合

紀念文庫ヲ設置シテ圖書新聞雜誌ヲ閱覽セシメ年中數回通俗講話會ヲ開キテ民風ノ作興ヲ計リ毎年二回戶主會ヲ開催シテ村治ノ實際ヲ周知セシム婦人會ハ現在ノ會員參百四拾五名家庭ノ主婦トシテ必要ナル實科ヲ講習セシメ或ハ慈惠救濟ノ事業ヲ行ハシメ或ハ學校ヲ參觀シ處女會ノ事業ヲ援助シ自カラ勤勉節約シテ會ノ爲メニ基金ヲ造成シ屢々會合シテ社會改善上ノ談話ヲ交換シ併セテ一般家庭ノ主婦タル修養ヲナサシム本村ハ土地僻鄙ニシテ其耕地ハ粘土質水田大部分ヲ占メ裏作ノ利ナク又牛馬耕ヲ用ユル能ハス農耕上最モ困難ノ場所ナルヲ以テ教育上ノ施設ハ凡テ農業ヲ加味シテ力農ヲ獎勵シ住民ノ子弟ヲシテ專ラ農業ニ親ミ勤勞ニ堪ユルノ素養ヲ授クルヲ目的トス

五、産業

本村ノ産業ハ農業ヲ其主位ニ置キ商工業之レニ次キ林業又之レニ次ク農地ハ田參百七拾八町四反步畑六拾五町七反步ニシテ稻作ヲ以テ其主タルモノトシ製茶養蠶麥大小豆荳菘蔬菜果實ハ何レモ其副業タルニ過キス農事ノ獎勵ハ縣ノ必行事項ト阿山郡訓令ニヨル成申詔書實行共勵規定ヲ遵守シ村是及村治方針勸業上ノ計畫ヲ立テ、其細目ヲ定メ村農會産業組合ト共同關係シテ其事業ヲ指導獎勵スルモノニシテ其内主タル農事狀況ヲ舉クレハ稻作ハ逐年增收ト品種ノ改良ヲ目的トシ原種田採種田ノ經營共同苗代ノ改良堆肥ノ施用金肥ノ撰擇及節約ヲ獎勵シ害虫驅除ハ共同的施設ニヨリテ之レヲ勵行シ據リテ以テ豫定計畫以上ノ增收成績ヲ實現シタルモノニシテ明治三十四年村是調査當時反當收量壹石九斗ノ平均ナリシモノ累進シテ今ヤ壹反平均貳石四斗ナリ又乾燥調製俵裝ノ改良ト農業倉庫ヲ利用スル共同販賣機關ノ設置ハ大ニ市場ノ信用ヲ博シテ販路次第ニ廣ク其價格ハ之レヲ他地方ニ比シ壹石參拾錢乃至壹圓ノ高價ニ賣行クノミナラス累年增收ノ効果ニヨリ村外ニ賣却スル米ノ俵數ハ一年毎ニ増加シ其實數大正三年村外賣却俵數壹萬貳千八百四俵大正四年壹萬參千五百七拾俵大正五年壹萬四千參百八拾俵トナリ大正六年ニ於テ賣却スヘキ大正五年產米ハ將ニ壹萬五千俵ニ垂ントスル豫想確實ナリ製茶ハ本村ノ内大字横山最モ其栽培ニ適シ就中色澤香味ノ優良ナル彼ノ宇治朝宮ノ如キ主要産地ニ酷似シテ内外ノ需用ニ適スルモ此天然ノ適地ハ却テ人爲的進歩ニ後レテ其製茶ハ形狀ノ點ニ於テ他地方産ニ劣ルモノ多ク又小製造家各自ニ製造ヲナス爲メ品質ノ統一ヲ缺キ生産費ノ多額ヲ要スルモノ尠ナカラサルヲ以テ之レカ改良ト節約ヲ計リ毎年繼續シテ技術員ノ養成ニ勉メ本年度ハ村内ニ傳習所ヲ開設シテ職工ノ養成ヲ便ニシ又共同製茶場ヲ建築シ森田式共同蒸器ヲ設置シテ共同製造ヲ實施セシメ其製品ヲ共同販賣セシムル等專ラ當業者ノ利益増進ニ勉メタリ其生産額四千八百拾七貫ニシテ今後肥培上一段ノ指導獎勵ヲナスニ於テハ現在茶園反別ハ八町八反步ノ現状ヲ維持スルノミトスルモ産額ハ尙相當ノ増加ヲナスヘキ見込確實ナリトス山林ハ七百七拾壹町步其面積敢テ尠カラサルモ概ネ精土ニシテ杉檜ノ良材ヲ産セス林業思想又甚タ幼稚ニシテ現在ニ於テハ天然更新ニヨル松雜木ノ産出其大部分ヲ占メ松ハ一部建築用材トナルモ多クハ薪材トナリ雜木ハ製炭ニシテ各地ニ搬出ス之レ等林産物中薪材ハ陶器ノ好況ニヨリ炭ハ石炭ノ騰貴ト各種工業ノ發達ニヨリ何レ

モ需用ノ激増ト共ニ價額頓ニ騰貴シ當業者ノ收益尠ナカラス殊ニ製炭ハ前年講習會ヲ開催シテ當業者ノ子弟ニ改良製炭法ヲ傳習セシメタル効果ニヨリ品質ノ改良販路ノ開拓ヲナシ得タルヲ以テ一層好機會ニ遭迎シタルモノナリトス其他副産物トシテハ松茸香茸雜茸ノ如キ陶土石材乾草小柴水苔ノ如キ之レヲ採取シテ家計ヲ補クル七百六拾本ニシテ多クハ村苗圃ニ於テ育成シタルモノヲ分配シ一部ハ共同購入ヲ行ヒタルモノナリトス其他補植ニ天然下種萌芽ニヨリ山林ノ繁殖ヲ保護スルモノ尠ナカラス一般ノ副業ハ主タル農業又ハ商工業ニ惡影響ヲ及ホサ、ル程度ニ於テ之レヲ獎勵シ就中稻作ニ對スル努力ノ分配ハ最モ注意ヲ拂フ處ニシテ常ニ農閑ヲ利用シ老幼婦女共ニ容易ニ從事シ得ヘキ簡易ナル事業ヲ撰擇スルモノニシテ其種類ノ重モノヲ擧クレハ藁繩糞製品檜籐細工經木眞田東洋バナ帽子ノ製作手織木綿家禽ノ飼養淡水魚ノ養殖捕獲等ナリ

六、自治ト産業組合

産業組合ハ明治四十一年ノ設立ニシテ無限責任ノ組織ニ成リ現住五百四十三戸ノ内七戸ノ人寄留者ヲ除外シタル五百三十六戸ノ戸主同居ノ家族ニシテ他日分家又ハ獨立ノ生計ヲ立テントスルモノ拾五名ヲ併セテ本年末現在組合員數五百五拾一名眞一村一團ノ組織ヲ完成シタルモノナルヲ以テ之レカ事業ノ成績ヲ擧ケ村民福ヲ増進スルハ最モ重要ナル事項トシ常ニ之レカ保護援助ヲ怠ルコトナシ元來本事業ハ零碎ノ資金ヲ多數共同ノ力ト幾多年月ニ待チテ蓄積シ一面之レヲ有利ノ産業資本ニ供給シ以テ生産ノ發達ヲ計リ併セテ共同互助ノ美風ヲ練成セシメントスルニアリ其出資口數千八百九十口出資金額參万七千八百圓ニシテ創立當時ノ豫定計畫ニヨリ毎月勤勉貯金ヲ實行シ之レニヨリテ出資拂込ヲ完了シタルモノニシテ既ニ準備金ヲ蓄積シタルモノ四千八百六拾五圓貯金ノ殘高壹萬參千七百四拾五圓預ケ金四千貳百貳拾五圓之レ等ノ純資力ヲ合シテ組合員ノ爲メニ低利ノ産業資金ヲ供給シ或ハ高利舊債ノ整理ニ或ハ細農ノ土地所有資金ニ將農業倉庫ニ預托スル穀物ノ保管證ニヨリ簡易ナル資金ノ融通ヲ與ヘテ專ラ組合員ノ便ヲ計リ大正五年中貸付シタル總額九万九千八百六拾八圓其金利歩合ハ凡テ年利八朱ノ均一ナリトス斯ノ如ク産業組合ハ勤勞ヲ獎メテ貯金ヲ實行セシメ低利ノ資金ヲ供給シテ生産ノ發達ヲ獎勵スルノミナラス專ラ共同事業ヲ勸メ村内ニ四個ノ農業倉庫ヲ設置シテ生産品ノ販賣需用品ノ

購入ヲ行ヒ直接ニ間接ニ組合員ノ利益ヲ増進スルモノ尠ナカラス其成績最モ佳良ニシテ一年ニ取扱分量ヲ増加シ本年中取扱ヒタル販賣物品ハ米ノ壹萬壹千四百拾六俵ヲ最多トシテ繭茶藁繩經木眞田等價格總計七萬參千七百貳拾參圓ニ上リ購入物品ハ魚肥壹萬六千四百五拾七貫食鹽參萬七千參百五拾斤ヲ最多トシ雜肥種子種苗乾魚等價格總計壹萬貳千七百七拾八圓ニ上リ之レヲ通算スルニ購買販賣物品ノ價格九萬九千八百八拾圓ナリトス産業組合ノ事業ハ組合長以下理事等熱誠親切ヲ以テ其經營ニ當リ村吏員等又公務ノ餘暇ヲ以テ及フ限リノ援助ヲ與フルヲ以テ組合事務ノ運行最モ敏活ニ行ハレ書記ヲ置カス雇員ヲ用ヒス何レモ無報酬無手當ヲ以テ執掌多年敢テ倦怠ノ色ナク組合員ノ爲メニハ極メテ低利ノ資金ヲ貸付シ貯金ハ比較的高利ニ運用シ購買販賣物品ニ對シテハ多額ニシテ最モ繁雜ナル取扱ヲナスモ更ラニ歩合金ヲ徴收スルコトナク專ラ組合員ノ利益ヲ計リ或ハ組合員ヲ獎勵シ毎年一回優良農區十人組及組合員個人ノ事績ヲ調査シテ之レヲ表彰シ倍々共同ノ事業ヲ獎メ併セテ民風ノ作興ニ資セントス而シテ之レ等獎勵事業ニ要スル經費ノ支出ハ毫モ之レヲ惜ムコトナキモ日常諸般ノ經費ニ至リテハ最モ節約ヲ加ヘ只僅カニ諸帳簿用紙通信諸費等ニ止ルヲ以テ組合事業ノ益金ハ全ク組合員勘定ニ歸屬スルノ割合トナリ本年度ノ剩餘金參千參百六圓ヲ得テ内金壹千圓ヲ準備金ニ貳千貳百六拾八圓ヲ配當金ニ參拾八圓ヲ特別積立金トナシタルカ如キ相當ノ好成绩ナリトス殊ニ組合ノ出資ハ大正四年ヲ以テ全部拂込ヲ告ケ向後ノ貯金ハ出資ノ増口負債ノ償却細民ノ土地所有資金ニ對シ一部充當セラル、モノ、外振替拂戻ノ要ナク累進的ニ増加スヘキヲ以テ之レカ運用上ノ利鞘ハ自然ニ組合ノ利益ノ増進トナリ組合利益ハ年度末剩餘金ノ増加トナリ延テ準備金ノ漸次増加ヲ及ホスモノナルヲ以テ設立滿二十年ノ曉ニ於テハ此組合ニヨリテ貳拾萬圓ノ資力ヲ造成シ村民ノ何人ニモ一種ノ恒産ヲ得セシムルヲ理想トス蓋シ産業組合ノ事業ハ物質的數字上ノ進歩ノミヲ以テ其目的ヲ遂行シタリトナスヘカラス要ハ能ク經濟ト道德ヲ調和シ訓練指導ノ宜シキヲ得テ一般善良ノ民風ヲ作興シ産業教育納稅衛生其他各方面ノ事業着々トシテ整ヒ何等ノ煩累ヲ村治ニ及ホスコトナキノ進境ニ達スヘキ希望ヲ以テ組合當事者ト共ニ勤勉努力シテ大ニ保護獎勵ヲナシツ、アリ

七、共同集積倉庫ト米穀共同販賣

本村ノ重要物産タル米ノ共同販賣ハ往年阿山郡俵裝米品評會ニ其端緒ヲ開キ明治三十七年軍需米ノ供出ニヨリ

テ倍々其便益ヲ認メタリシガ當時ノ産米ハ一定ノ検査ヲ經タルモノニアラサリシヲ以テ其賣行等級ト價格ノ決定ニ對シ往々供出者ノ不平ヲ聞クコトアリキ從テ米ノ共同販賣ヲナサントスルニハ先ツ產地検査ヲ開始シ種類等級ヲ査定シ秤量ヲ確實ニシ俵裝ヲ一定シ検査ノ上一々之レガ證票ヲ附シ以テ明カニ其優劣ヲ區別シ置クノ必要ヲ認メ明治三十七年地主小作人協議會ヲ開キ獎勵規定ヲ設ケテ小作米ノ審査ヲ開始セリ三十八年阿山郡ニ米穀同業組合ノ設置セラル、ニ當リテハ率先シテ産米ノ検査ヲ實行シ村外ニ搬出スル俵米ニ對シテハ悉ク俵箋ヲ附シテ種類等級質量並ニ作人氏名ヲ表示シタリ茲ニ於テ共同販賣ニ對スル供出米ノ整理ハ稍其緒ニ就クヲ得タルカ次テ三重縣米穀検査規則ノ發布セラル、アリ米ノ品位等級ハ倍々確實ニ判別セラレ各市場ニ於ケル信用漸次増進シ價格又著敷向上シタルヲ以テ米作者ヲ勸メテ時々共同販賣ヲ實行セシメ常ニ村農會ヲシテ之レカ幹旋ヲナサシメタリ從來又特ニ關西線深川佐那具ノ兩驛ニ運送業者ノ倉庫ヲ賃借シテ常ニ産米ヲ蓄積シ商況ニ應シテ共同販賣ヲ試ムル事アリシト雖モ村内ニ於テ行フモノハ一定ノ集積所ナキヲ以テ其販賣米ノ收集取纏中往々ニシテ商機ヲ逸シ又附近停車場ニアルモノハ遠隔ノ爲メ管理ノ便ヲ缺キ充分ナル効果ヲ奏スルコトヲ得ザルノミナラス稍モスレハ地方商人ノ爲メニ其利益ヲ壟斷セラル、カ如キ弊ナキニシモアラサリシヲ以テ地主會ノ決議ト村農會ノ援助ニヨリテ村ニ共同集積倉庫ヲ設立シ毎月一回期日ヲ定メテ共同販賣ヲ行ヒ又商況ニ應シテ何時ニテモ共同販賣ヲ行ヘル便ヲ開カント欲シ四十二年九月規定ヲ設ケテ各大字ニ一ヶ所ノ集積倉庫ヲ設置シ毎月一回若クハ二回ノ共同販賣ヲ實施スルニ至レリ而シテ明治四十二年産米ノ共同販賣開始ハ十二月二十四日ヲ第一回トシ以來毎月間斷ナク之レヲ施行シ明治四十三年九月七日迄ニ定時八回臨時三回都合十一回ニ於テ販賣シタル米ノ總數六千六百四俵此代金參万貳千五百四圓一回ノ販賣米最多九百五拾六俵最少參百貳拾參俵ニシテ毎月ノ賣行價格ハ之レヲ地方商人ノ普通買取値段ニ比シ壹石拾五錢乃至六拾六錢ノ高値ヲ示シ通計價格ノ差益壹千貳百四圓即チ壹俵ノ平均拾八錢強ノ利益ヲ見ルカ如キ狀況ナリシヲ以テ一般米作者モ共同販賣ノ利益ヲ悟リテ漸次之レニ參加スルモノ多ク毎回販賣米ノ出庫終ルトキハ次キノ販賣米ヲ倉庫ニ預ケ入ル、ヲ例トシ爲メニ現在設備ニ係ル各大字三個ノ倉庫ニテハ往々狹隘ヲ訴フルニ至ル抑モ同年度ノ事業ハ村農會カ地主會ヲ勸誘扶掖シテ遂ニ之レカ實施ヲ見ルニ至リタルモノニシテ創業日尙淺ク供出者ノ利益ヲ保護スル爲メニハ勉メテ

費用ノ節約ヲ計ラサルヘカヲササルヲ以テ販賣ニ關スル事務ハ村農會專ラ之レカ取扱ヲナシ倉庫ノ管理ハ地主ノ重モノナルモノヲ擧ケテ其主任トシ皆無報酬ニテ熱心之レニ從事シツ、アリ誠實精勵最モ良好ナル成績ヲ擧ケ村民ヲシテ共同的施設ノ收益ヲ知ラシメ他日之レヲ以テ産業組合法ニヨル購買販賣組合ノ組織ニ改造スルハ本村農會及地主カ等シク抱負トスル處ナリシカ事業ノ成績ニ伴フ豫定計畫ノ進行ハ一層其速カナルコトヲ得テ明治四十三年末ニハ無限責任玉瀧信用組合ニ合併ノ議整ヒ組合ハ直チニ定款ヲ變更シテ購買販賣事業ヲ兼營スルニ至リ現今ニテハ無限責任玉瀧信用購買販賣組合附屬集積倉庫ト稱スルニ至ル今其規定ト取扱方法ヲ概記スレハ左ノ如シ

一 規定

明治四十二年八月協定シタルモノハ地主會ノ事業ニシテ本村地主會ノ事務ハ附則第二十七條ニヨリ當分ノ内役員ヲ置カス凡テ村農會ニ取扱ヒテ委任ストアルニ付集積倉庫ノ事務モ亦全部村農會ノ取扱ヒニ屬シタルモノナリシカ明治四十四年一月規定ヲ改正シテ産業組合ノ事業トナリタルモノナリ

二 米穀保管臺帳

各倉庫ニ備付アル臺帳ニシテ之レニヨリテ入庫米及出庫米數量ヲ調査ス本帳簿内供出者トアルハ小作人其他倉庫ニ米ヲ搬入シタルモノ預托者トアルハ其米ノ所有者ヲ云フ

三 保管證(簡易ナル米券)

倉庫ニ玄米ヲ預入シタルモノニ交付スル證ニシテ供出人ト預托人トヲ區別シテ記名スルハ小作人カ地主ニ納付スル小作米ヲ便宜集積倉庫ニ搬入シ其證券ヲ以テ小作米ノ決済ヲナスノ便ヲ與ヘタルモノナリ又預托者氏名ノ次欄ニ借用金ノ記入ヲナシタルモノハ米ノ預托者カ其販賣以前ニ地租ノ上納肥料ノ購入其他必要ナル資金ノ需用生シタルトキ此保管證ヲ玉瀧信用購買販賣組合ニ提供シ最高年利八朱ノ割合ニヨル日歩計算利子ヲ以テ何時ニテモ簡易ナル資金ノ立替又ハ貸付ヲ受クルノ便ヲ開キタルモノナリ

(本村現住五百四十三戸ノ内入寄留者ヲ除キタル五百三拾二戸ハ玉瀧信用購買販賣組合ノ組合員ナルヲ以テ本事業ハ全ク村一團ノ事業ニ同シ)

四 米穀共同販賣廣告

毎月五日二十日ノ兩度各倉庫ノ販賣米ヲ調査シ販賣期日ヲ定メテ京都大津ヲ初メ各地信用アル商人ニ通知ヲナスモノニシテ最モ商人ノ多キ地方ヘモ開札當日早天委員出張シテ入札書ヲ取集メ即夜開札スルヲ例トス之レ地方商人等カ聯合結托シテ利益ヲ壟斷セントスルノ弊害ヲ避クルノ用意ニ出テタルモノナリトス

五 玄米入札書

共同販賣廣告ト共ニ發送スルモノニシテ此用紙ヲ交付セラレタルモノニ限リ入札ニ參加ス此ノ故ニ此用紙ナキ入札者ハ特ニ指名入札ニ參加スル同業者ノ照會證明アルニアラサレハ入札ニ參加スルヲ許サ、ルナリ

六 落札通知書

開札ノ結果ニヨリ即時落札者ニ發送スル通知書ニシテ此通知書ヲ受領シタル落札者ハ遲滞ナク代價百分ノ十ニ相當スル保證金ヲ納入ス之レト同時ニ倉庫ニテハ買受人指定ノ場所ニ産米ヲ搬出シ七日以内ニ取引ヲ完了スルモノトス

七 價格一覽表

本村産米ノ眞價ヲ知ラシメ次回入札ノ參考ニ供スル爲メ開札即夜之レヲ各入札者ニ郵送シ又當日參會シタル各農區委員ハ勿論米供出者等ニ配布シ以テ産米ノ眞價ヲ周知セシムルモノナリ

○無任玉瀧信用購買販賣組合附屬共同集積倉庫規定

第一條 重要物産タル米ノ種類ヲ一定シ品質ヲ改善シ販賣機關ノ完備ヲ期スルヲ目的トシ共同集積倉庫ヲ設置ス

第二條 共同集積倉庫ハ無限責任玉瀧信用購買販賣組合ノ管理ニ屬シ各大字ニ一ヶ所宛ヲ設置ス

第三條 本村ノ米作者ハ何時ニテモ其産米ヲ共同集積倉庫ニ預入スルコトヲ得ルモノトス小作人ノ納ムル小作米ハ可成之レヲ共同集積倉庫ニ收容シ一定ノ期間ニ於テ検査ヲ受クルモノトス

第四條 共同集積倉庫ニ預托シタル産米ハ検査ノ上入庫證ヲ交付ス

第五條 共同集積倉庫ノ事務ヲ處理セシムル爲メ左ノ役員ヲ置ク

倉庫主任三名 各大字ニ一名トシ米ノ出入及米券ノ發行ヲ掌リ共同販賣其他諸般ノ事務ヲ統理スルモノトス

評議員拾二名 各農區三名ヲ配置シ倉庫主任ヲ補佐シテ共同販賣其他諸般ノ事務ニ參與スルモノトス

本條ノ外米ノ集散取扱ニ關シ臨時雇ヲ要スル場合ハ倉庫主任之レヲ専決ス

第六條 共同集積倉庫ニ於テハ毎月一回乃至二回米ノ種類等級ヲ揭示シテ共同販賣ヲ行フ

但評議員會ノ決議ニヨリ其回数ヲ増加スルコトアルベシ

第七條 産米ノ預托者ハ其預入ノ時又ハ毎月共同販賣期日以前ニ其共同販賣ヲナスヘキ俵數ヲ決定シ之レヲ倉庫主任ニ申告シ置クモノトス

第八條 倉庫ニ預入米ヲ有スルモノ資金ノ必要アルトキハ其時價十分ノ八ヲ限度トシ無限責任玉瀧信用購買販賣組合ヨリ何時ニテモ資金ノ融通ヲ受クルコトヲ得

第九條 倉庫ニ預入シタル米ノ品位等級ハ三重縣米穀検査員ノ検査又ハ共同販賣米買取人ノ認定ニ對シ異議ヲ申立ツル事ヲ得ス

第十條 共同集積倉庫ニ産米ヲ預托シタルモノハ毎月共同販賣期日ニ集合シ米撰俵裝ノ改良又ハ生産品販賣需用品ノ購入方法等ニ關シ懇話會ヲ開クモノトス

第十一條 共同集積倉庫ノ事業ニ對シテハ村農會長三重縣米穀検査員並ニ村内特志老農ヲ其顧問トシ常ニ指導監督ヲ受クルモノトス

第十二條 本事業ノ爲メ要スル經費ハ當分ノ内左ノ資源ニヨルモノトス

一 倉庫ノ借入又ハ設備費ヲ超過セサル範圍ニ於テ村又ハ村農會ノ補助ヲ受クルコト

二 共同販賣ハ成績良好ナリシ場合ニ限リ參加者ノ同意ヲ得テ一俵ニ付金壹錢以内ノ寄附ヲナサシメ之レヲ雜費並ニ役員ノ慰勞手當トナス事

三 前二項ノ收入ニテ尙不足スルトキハ玉瀧信用購買販賣組合ノ事業費ヨリ支辨スルモノトス

第十三條 米ノ共同販賣ヲナスノ外本村生産品ノ販賣需用品ノ購入ニ就テモ此集積倉庫ヲ利用スルモノトス

第十四條 本規約ヲ改正セントスルトキハ無限責任玉瀧信用購買販賣組合ノ總會ヲ開キ其決議ヲ經ルモノトス

○米穀保管臺帳

年月日	領收證番號	米ノ種類	等級	俵數	出庫事由	供出者氏名	預托者氏名

○保管證

第 號	保管證 (第 回分)
一、玄米	俵也 但四斗入俵裝濟
検査等級	等 等 等 俵 俵 俵
右	殿ヨリ供出ニ付正ニ保管候也
大正 年 月 日	無 限 玉 瀧 信 用 購 買 販 賣 組 合 責 任 共 同 集 積 倉 庫 主 任 森 井 彌 三 郎
前書預托米ニ對シ金	御立換被下正ニ借用仕候也
大正 年 月 日	借 主
票 賣却年月日	賣却米代金
大正 年 月 日	立換數金
立換數	積換數金
利息金	差引支拂スヘキ
殘金	

○米穀共同販賣廣告

番 號	大正 年 月 日	種 類	等級	俵數	供 出 人	預 托 人

大正 年度米穀共同販賣廣告

一大正 年產米 俵 但正量四斗入完全ナル俵裝ヲナシ
三重縣米穀検査所検査濟

内 譯

種 類	等 級	俵 數	種 類	等 級	俵 數
嶺 山 錦	一 等		竹 成 神 力	二 等	
關 取 同			同	三 等	
竹 成 同					

右大正 年 月 日競争入札ヲ以テ賣却可致候條左記條項御承諾ノ上入札被成下度候
 一 米ノ種類等級ハ見本ノ通りナルモ御望ノ方ハ何時ニテモ共同集積倉庫ニ就キテ現品御一覽ヲ望ム開札ハ當日午後 時
 二 現品ハ佐那具柘植深川放シ若クハ大字何々倉庫放シト御指定ノ事
 三 落札者ハ代價百分ノ十五以上ヲ契約保證金トシテ即時御差入ノ事現品ハ契約ノ日ヨリ七

日以内ニ受渡シ了スル事
 四本村ノ共同販賣ハ徳義ヲ旨トシ入札保證金ヲ申受ケサルニ付万一入札ノ上違約不正ノ行
 爲アリタル時ハ其人ニ對シ永久取引ヲ爲サ、ルコトヲ宣言ス
 右ノ通りニ候也
 大正 年 月 日
 無限玉瀧信用購買販賣組合
 責任

⑤玄米入札書

種類	検査等級	俵数	拾石ノ代價
阿山郡玉瀧村大正	年度米入札書	但米ノ種類ハ主タル系統ヲ示スノミ 現品受渡ハ	驛
榎山錦一	等		
關取同			
竹成同			
竹成神力二	等		
同	三等		

前記代金ヲ以テ買受申度入札仕候就テハ落札ノ上ハ御通知ニ基キ契約保證金トシテ代價百
 分ノ十五以上ヲ即時納付シ現品ハ七日以内ニ代金引換ニテ受渡可致万一期日ヲ經過シタル
 トキハ此賣約ヲ無効トシ保證金ハ損害賠償ニ充當セラル、事ヲ承諾ノ上入札仕候也
 大正 年 月 日
 住所
 無限玉瀧信用購買販賣組合長理事木津慶次郎殿
 責任

⑥落札通知書

阿山郡玉瀧村産米共同販賣落札通知書

一大正 年産米 俵 但一俵ノ正量四斗入
 三重縣米穀検査済

此代價金

此契約保證金

種類	検査等級	俵数	代價	一俵ノ代價

右ノ通貴殿へ落札相成候ニ付入札廣告第三ニ因リ契約保證金ハ即時御差入被下度尙現品ノ
 義ハ 月 日 驛ニ於テ代金引換ニ御引取被下度此段御通知申上候也
 無限玉瀧信用購買販賣組合
 責任 組合長理事 木津慶次郎 殿
 大正 年 月 日

⑤價格一覽表

大正		年産米第		回共同販賣米價格一覽表		買所氏名	受入
種	類	等	級	拾石ノ代價	四斗入俵ノ價格		
赤符	槇山錦	一	等				
赤符	關取	一	等				
赤符	竹成	一	等				
竹成	竹成	同					
赤符	竹成神力	二	等				
竹成	竹成神力	同					
赤符	竹成神力	三	等				
竹成	竹成神力	同					

無限責任玉瀧信用購買販賣組合

右大正 年 月 日午後八時開札

表中赤符トアルハ大暑後ノ米ハ秋收當時ノ産地検査等級ニ比シ多少ノ變質ト虫害ヲ生スルモノアルヲ免レス就テハ信用ヲ維持シ取引上ノ確實ヲ計ルヲ目的トシ七月以後ノ販賣米ハ總テ再度ノ検査ヲ受ケ異狀ナキモノニ赤紙ヲ附シ少シニテモ變質虫害アルモノヲ無印トシ以テ其ノ區別ヲ明カニシタルモノナリ

八、勤儉貯蓄

本村ハ山間ノ僻村ニシテ耕地ニ乏シク且土質ハ強性ノ粘土質ニシテ冬期モ尙水ヲ湛ルヲ以テ裏作ノ利ナク馬耕ノ便ナク用水ニ乏シク一度旱害ニ遇フトキハ田面龜裂シテ之レガ水止工事ノ爲メ一反歩五十人ノ人夫ヲ要スト云フ極メテ自然ノ恩惠ニ乏シキ土地柄ナリ故ニ村政ノ發達ヲ期スルニハ勤儉力行ニ依ルノ外ナク教育モ勸業モ其他ノ施設モ皆此ノ方針ノ實現ニ向ツテ努力セラレツ、アリ今其施設ヲ一々紹介スルノ餘祐ヲ有セサルモ要スルニ上記ノ如ク自然ノ恩惠ニ乏シク尙嘗テ殆ント窮陥ノ域ニ瀕シタル本村ガ僅カニ二十年間ニシテ左記ノ如キ餘力ヲ生スルニ至リタルハ其諸般ノ心懸ノ尋常ナラサルヲ推知スルニ難カラス

民間ノ餘力 (十年前ニ比シ拾四万六百四拾五圓ヲ増加ス)
 株式會社玉瀧銀行ハ村民ノミニ株主組織ニヨリ設立セラレタルモノニシテ拂込資本金壹万五千圓積立其他ノ準備金參万參千八百參拾七圓又各種ノ預金參拾六万壹千五百拾貳圓其内他村人ノ預金ヲ引去リ本村民ノ預金拾七万八百七拾五圓ノ多キニ達ス其他郵便貯金ハ勤勞ノ餘資ヲ預入セシメ大正五年三月調ニヨル現在高壹万貳百六拾參圓戰役行賞賜金及特別賜金ハ共濟會ヲ設ケテ之レヲ保護シ現在ノ保存金額貳万千參百參拾貳圓ニ上リ或ハ有價證券ノ購入村外土地山林ノ放資等又鈔ナカラストス
 今ヲ去ル事二十五年前ハ本村民カ土地建物ヲ抵當トシ村外ニ負債ヲナシタル金額四万五千五百六拾圓每年利子七千圓以上ヲ村外ニ支拂ヒタルモノナリシガ農事ノ改良勤勉節約ノ効果ハ漸次ニ其負債ヲ償却シ今ハ全ク村外ニ負債ナキノミナラス土地ノ出入關係ハ小作米ノ收入超過トナリ尙且前記ノ如キ幾多ノ餘力ヲ存スルニ至リタルナリ然ルニ大正二年ハ重要物産タル米價低落シ加ルニ旱害水害並ヒ來リテ各種農作物ハ其收穫ヲ減シタルノミナラス災害復舊工事費ノ概算參万五千五百圓ニ上リ大正三年モ亦水害ヲ受ケテ堤防工事ノ復舊費九千八百拾參圓ヲ要シ其内金參千四百五拾圓ヲ縣費ヨリ補助セラレタルモ殘餘ノ六千參百六拾參圓ハ悉ク村民ノ負擔ニ屬シタルモノナルヲ以テ生産收入ノ減少ト反比例ニ消費支出ノ激増ハ大ニ民力ヲ萎靡セシメタルモノアリ之レカ創痕ハ數年ノ後ニアラサレハ回復スルコト能ハサルヘキモ大正四年ハ幸ニシテ稻作豐饒ニシテ其販賣米實數ノ如キ大正二年ノ壹万貳千八百四俵大正三年ノ壹万參千五百七拾俵ニ比シ大正四年ハ壹万四千參百八拾俵ニ増加シ

大正五年ハ更ニ尙幾分ノ増加ヲナスヘキ見込ナルノミナラス品質ノ改良販賣機關ノ施設ニヨリ普通取引値段ニ比シ壹石最高八拾參錢最低參拾錢強ノ高價ニ賣行クヲ常トス而カモ之レヲ大正元年前後ノ米價好況時代ニ比スレハ農家ノ收入ヲ減少スルコト甚シク從テ往年米價好況時代ニ於テ樂觀ニ過キ生計ヲ向上シ既ニ家政ヲ過チタルモノハ困難ノ色一層甚タシキヲ加ヘ來リタルモ數年農村ノ不振ニ警戒節約シ能ク勤勉力行シタルモノハ却テ斯ル機會ニ於テ資産ヲ増殖シ堅實ナル家計ノ基礎ヲ作りタルモノ又尠ナカラズトス

九、基本財産其他

村ノ基本財産蓄積高 參万九百拾七圓(十年前ニ比シ貳万六千五百四拾四圓ヲ増加ス)
村有殖林地百貳拾壹町參反四畝拾七步
學校演習林參町參反九畝貳拾七步
以上ノ外村有土地建物ノ價格壹万八千六拾貳圓
神社ノ基本財産蓄積高參千六百四拾五圓(十年前ニハ蓄積ナシ)
神社有土地ノ價格八千八拾壹圓

奈良縣生駒郡北倭村

一、村勢概要

本村ハ大和國ノ北隅ニ位シ奈良縣廳ヲ距ルコト四里大阪軌道富雄停留場迄一里九丁アリ村ハ五大字、十區ニ分レ戶數一、〇八一人口五、五三四耕地六百八十四丁步畑七十七丁步一戶當七反十五步ニシテ蛭川村ノ六反一畝五步、玉瀧村ノ八反步ニ比シ其中間ニ在リ外ニ山林六百九十五丁步アリ生業ハ農ヲ主トシ農業八百七十六戶内自作農二百八十四戶自作兼小作農四百三十一戶小作農六百一十一戶ニシテ小作農ハ十五年前ニ比シ七十七戶減少セリ土地所有ノ狀況ヲ見ルニ田十町步以上一人、五町步以上十五人、三町步以上四十二人、二町步以上四十五人、五反步以上百四十五人、三反步以上百二十五人、土地ヲ所有セザルモノ百三人ニシテ全戶數ノ約一割ニ當ル村ノ機關トシテハ村長助役二、收入役書記四人雇二人、附屬員(區總代ヲ云フ)十八組

頭七十人ヲ置ク本村ハ戶數一千餘ヲ有スル大村ナルニ部内能ク統一シ諸般ノ治務洽ク行ハル、ハ主トシテコノ組頭ノ制アルニ因ル而シテ組頭ハ

▲所謂五人組 ニシテ十五戶乃至二十戶ヲ小組トシ之ヲ垣内ト稱シ之ニ組頭一人ヲ置ク組頭ハ附屬員即チ區總代ヲ補佐シ其指揮ヲ受ケテ人民ニ對スル通達又ハ諸般ノ調査ヲ行ヒ兼テ垣内ニ關スル事項ヲ決定スルノ機關ナリ本村ノ經費ハ大正六年度ニ於テ歲入二九、五〇九圓内村稅一八、六七七圓直接國稅附加稅ハ制限率、戶數割ハ一戶平均一三圓五一〇縣稅營業稅附加稅ハ本稅一圓ニ付九十錢ナリ歲出ハ經常部二四、二一九圓ニシテ内役場費三、九一三圓教育費一一、六九一圓基本財産造成費五、五八九圓臨時部五、二九〇圓ニシテ内土木費三、九九〇圓補助費四〇〇圓等其重ナルモノナリ

本村ハ維新前ニ在リテハ一大名、三旗下、一天領ニ分レ統治セラレタルヲ以テ領主ハ多ク隔遠ノ地ニ在リ代官等恣ニ誅求ヲ事トシ且ツ山林ノ如キ多クハ禁伐林ニ屬シ部民頗ル困却セリ當時ノ狀況ヲ聞クニ村民ハ朝ハ未明ニ起キ蓆二枚ヲ織ルヲ例トシ食事ハ米五分麥五分ヲ上食トセリ、明治ノ始メ車駕東遷セラレ、ヤ近畿地方ノ經濟界頓ニ不況ヲ被リタルモ人民ハ之ヲ以テ一時ノ現象トナシテ意ニ介セズ次テ地租ノ改定ニ依リ負擔俄ニ輕減セラレタルモ從來疲弊ノ極ニ達セル住民ハ其反動トシテ却テ遊惰ノ風ヲ生ジ漸ク資産ヲ傾クルモノヲ出スニ至レリ明治十三年ノ頃旱害甚シク全村殆ンド窮乏ノ極ニ達シ村内財産ノ大半ハ村外ニ流亡シ一村殆ンド破産ノ狀況ニ瀕セリ物窮スレバ即チ通ズ明治十八九年ノ頃ヨリ人民漸ク自覺シ町村制實施ニ當リテハ有志奮起シテ力ヲ民力ノ充實ニ用キ種々ノ施設ヲナシ以テ村勢挽回ノ方策ヲ講ズルニ至レリ、於是乎村民ハ遊惰放逸ノ大ニ戒ムベキヲ悟リ往時舊幕時代ノ苛政ニ顧ミ困苦ヲ冒シテ再ビ家業ニ精勵シタルヲ以テ數年ニシテ村勢挽回ノ曙光ヲ認ムルニ至レリ本村ニハ特ニ稱スベキ篤志家ナク而シテ今日ノ盛況ヲ見ルニ至リタルハ主トシテ村民ノ多數ノ覺醒ニ因ルモノニシテ實ニ困苦ノ賜ト謂ハザル可カラズ

明治三十三年村勢ノ調査ヲ行ヒ(大日本農會ノ委託ニ因ル)村是ヲ確立シ之ニ依リテ各種ノ施設ヲナシ其結果十數年ニシテ數字上ニ顯ハレタル成績ヲ舉グレバ調査當時ニ比シ副業生産七五、〇〇〇圓ヲ増シ村民ノ負債一四、〇〇〇圓ヲ減シ貯蓄額一三〇、〇〇〇圓ヲ増シ土地所有權六二町八反步ヲ増加セリ

左記事項ハ民情一般ヲ窺フニ足ルモノアルヲ以テ之ヲ採録ス

一、選舉

各種ノ選舉ヲ通ジ豫メ候補者ヲ協定スルヲ常例トシ嘗テ反對ノ投票ヲ見タルコトナシ

二、納稅成績

明治二十二年以來滯納處分ヲナシタルコトナシ

三、訴訟及私生子

近來殆ンド絶無ナリ又離婚ハ逐年其數ヲ減ジ大正四年ハ二件アリ訴訟ハ村民ノ申合ゼニ依リ組頭又ハ總代ノ

認諾ヲ受クルニアラザレバ出訴セズ

四、勤勞

勤勞ノ風ニ富ミ村内七百餘町歩ノ耕地ハ村民ノ手ニ耕サレ且ツ山林ノ開墾、溜池ノ修築及副業ノ如キ何レモ

村民ノ手ニ成ラザルハナシ且ツ明治四十年ヨリ縣事業トシテ村内ニ砂防工事ヲ施行セラレ毎年延六千人以上

ノ人夫使役ニ應シ尙夏期ヲ除クノ外夜業ニ從事セザルモノ稀ナリ

二、教育

教育ハ本村ニ於テ最モ意ヲ用ユルノ事業タルコトハ其經費支出ノ狀況ニ徴シテ明ナリ目下小學校ハ尋常高等小
學校一、尋常小學校一、分教場一、高等科ハ學級一、生徒數一八八、尋常科學級一二、生徒六五六人教員ハ正
一二人代用二人俸給尋常高等正教員平均廿六圓二十錢、尋常正教員廿三圓二十錢ナリ就學歩合ハ明治三十六年
以來一人ノ不就學者ナシ又尋常科卒業者百分ノ八十内外ハ高等小學校及郡立農業學校女子實業學校ニ入學スル
ノ狀況ナリ、茲ニ注目スベキハ高等科生徒ノ少數ナルコトナリ由來本村ハ教育ノ方針ヲ確立シテ専ラ實業教育
ニ力ヲ用ヒ尋常科卒業後ハ男子ハ農業學校若クハ農業補習學校ニ女子ハ村立ノ女子實業學校ニ入ルヲ例トシ高等
科ニ入ルモノハ村内有數ノ資産家ノ子弟ニシテ更ニ高等ノ學校ニ入學セントスルモノニ限ルノ狀態ニシテ所謂
高等遊民ト新シキ女ノ發生ヲ防遏シツ、アリ

▲補習教育 農業補習學校ハ是又注目ニ値スベキモノ、一ナリ今大字高山ニ於ル補習教育ノ狀況ヲ見ルニ以前

ハ青年夜學會ニ等シク教員ハ會所ニ出張シテ教授シタリ會員モ亦十五歳以上二十五歳迄ニシテ年齡學科程度共
不同ノ爲成績良好ナラザリシガ昨年九月ヨリ其方法ヲ改メ全部一學校ニ集合シテ教授スルノ方法ヲ謀レリ就學
年齡ハ學校教育ヲ終タルモノニシテ壯丁ニ達スル迄ヲ程度トス學級ハ編成ハ尋常卒業程度ノモノヲ一學年トシ
高等科又ハ農業學校ノ中途退學者ヲ以テ二學年トシ高等科卒業者ヲ以テ三學年トス修業年限ハ各二ケ年トス學科
ハ戊申詔書教育勅語本村選奨ノ時ノ村民大會ノ決議事項ヲ主トシテ之ニ偶發事項ヲ加ヘテ教授ス國語算術ハ一
學年ニハ尋常五六年用ノモノニ二學年ニハ高等科一學年用ノモノニ三學年ニハ高等科二學年用ノモノヲ課ス農業ハ
郡教育會ニテ青年讀本トシテ作りタル農業教科書ニヨル而シテ三學年ニハ村ノ實際ニ就テ教授ス教員受持ハ第
一學年ハ學級擔任トシ第二學年以上ハ分科擔任トス農業ハ郡立農學校長ニ囑托シ他ハ小學校教員中適任者ヲ選
ンテ擔當セシム教育期間ハ九ケ月及ビ一二三四月ノ六ケ月間毎週月水金ノ三日間午後七時ヨリ九時迄トス就學
者ハ第一學年四十人第二學年二十人第三學年五十人計百十人ニシテ通學ノ最遠距離ハ四十丁以上ノモノアルモ
毎日ノ出席歩合ハ八割五分ニ達ス補習教育ヲ受クルモノト青年會員ハ略同一ナルヲ以テ出席獎勵ノ方法ノ如キ
青年會ニ於テ共勵スルノ狀況ナリ學校ニ於ケル出席獎勵法ハ出席簿ヲ二重ニ作り一ハ學級別出席簿一ハ部落別
出席簿トス學級別出席簿ハ教員ニ於テ部落別出席簿ハ青年會幹事ニ於テ取扱ヒ日別出席一覽ヲ二様ニ作り各
員ニ示ス

缺席セントスルモノハ幹事ニ報告スルコト、シ又缺席二日以上ニ至ルモノハ會長ヨリ區總代ニ報告シ區總代ハ
戶主父兄等ニ通告シテ獎勵ス又二ケ月毎ニ團體トシテ其出席成績良好ナルモノニ對シテ賞與ヲ行ヒ其出席歩合
ハ百分ノ七十ヲ下ルヲ許サズ

又個人トシテ無缺席者一日缺席者ニ對シテモ賞與ヲ行フ如斯キモノ全生徒ノ約一割五分ニ達ス經費ハ囑托年額
二十圓教員手當十五圓生徒賞與二十三圓消耗品代三十圓計八十八圓

大字高山以外他ノ學校區域ニ於テ補習教育ヲ行ヒツ、アルモ其方法ハ大同小異ナリ又女子實業學校ハ明治四
十二年四月徒弟學校令ニ依リ設立シ現在生徒百四十三人學級四經費四千二百餘圓ヲ要ス本科三年專科年限ナシ
補習科一年ニ別テ教科目ハ本科ハ修身、裁縫、染色、洗濯、國語、數學、編物、刺繡、理科、家事、圖畫、唱

歌、体操ニシテ隨意科トシテ割烹生花抹茶ヲ置キ専科ハ修身裁縫トシテ染色、機織、洗濯、刺繡ヲ置キ補習科ハ本科ノ教科目ヨリ數學理科洗濯ヲ除ク而シテ専科ハ農閑期五ヶ月間トス

三、勸業

- 一、害虫驅除 防除委員二十三名ヲ置キ部署ヲ定メ怠リナク害虫驅除豫防ニ從事セシム稻螟虫ノ驅除ハ明治二十九年ニ卵塊ノ買上ヲ始メ爾來賞與ノ法ヲ講ジ三十六年以來懸賞法及ビ賞與法ニ依リ捕蛾並ニ卵塊枯莖ノ採取ヲ爲サシム大正五年ノ採卵數ハ二百六十万二千十一塊蛾百二十六万五千四百八十三羽枯莖七百四十一万四千五百五十六本ナリ
- 二、綠肥及堆肥ノ改良 綠肥ハ紫雲英及ビ大豆ノ間作ヲ獎勵シ其反別年ヲ追ツテ増加セリ堆肥ハ改良模範堆肥舎ノ建築ニ對シ建坪一坪ニ金三圓宛ノ補助ヲ與ヘ以テ獎勵ヲ加ヘ今ヤ七十餘個所ノ建築ヲ見ルニ至リ堆肥積込切換等ノ實地指導ヲ行ヘリ堆肥舎ノ建設ニ就テハ建設組合ヲ設ク
- 三、蠶業 稚蠶共同飼育所二十ヶ所ヲ設ケ且ツ蠶病豫防ヲ嚴行ス桑園ノ獎勵ニ就テハ村農會ニ於テ砧木ヲ栽培シ之ヲ無代交付シ接木傳習ヲ行ヒ且ツ秋蠶用ノモノニハ新設一反歩ニ金三圓ノ補助ヲ與ヘ春蠶種ハ村農會ニ於テ製造シ實費拂下ヲ爲シ且ツ村農會ニ貯藏器ヲ備ヘ共同貯藏ヲナス秋蠶ハ框製一枚ニ付金二十錢ノ補助ヲ與ヘ共同購入ヲ爲ス女子實業學校生徒ニ對シテハ蠶種ヲ無代交付シ夏期休業中ニ飼育セシメ其成績ニ對シ賞品ヲ授ケ以テ斯業ノ普及ヲ企圖ス
- 四、水稻共同苗代組合 一區一組即チ十組合ヲ組織シ種類ハ早中晩各種以內ニ限定シ粳種ハ種田ヨリ選定採取ス經費ハ村農會ヨリ苗代一反歩ニ金五圓ヲ補助スル外耕作反別ニ賦課ス成績佳良ナル組合ニ對シテ賞金ヲ授與ス
- 五、稻種田 各農區ニ五反歩以上耕作セル農家ヲシテ各一ヶ所ヅ、ヲ設ケシメ水稻共同苗代組合ノ種子ヲ供給ス大正五年ヨリ農村會ハ種田採種田十ヶ所反別一町步餘ヲ設置シ種子ヲ供給ス尙ホ逐年反別ヲ増加シテ將來全部種子ヲ供給セントスルノ計畫ナリ
- 六、農事試作場 村農會ニ一ヶ所ヲ設置シ稻作ニ對スル試作ヲ行フ

- 七、苗圃 三ヶ所ヲ設置シ松及ビ桑砧木並ニ桑苗栽培ヲ行ヒ實費ヲ以テ拂下グ
- 八、青年會模範作 試驗成績應用ノ目的ヲ以テ設置シ各青年會ヲシテ一ヶ所宛ヲ試作セシメ村農會ヨリ一ヶ所ニ對シ金五圓宛ノ補助金ヲ交付ス
- 九、産米改良 乾燥調製ヲ監督シ(生産輸出検査ハ縣ヨリ實行セラル)小作人ニハ特ニ村農會及地主會ニ於テ賞與ノ道ヲ講ジ價格數年前ニ比シ約壹圓五拾錢以上ヲ高メタリ
- 十、産米及藪共同販賣 産米ノ優良ナル一種類ニ限り各農區ニ設ケタル共同倉庫ニ庭検査及倉入検査ヲ行ヒ合格米ヲ納付シ灘堺伏見等ノ酒造家一手販賣ヲナシ價格一石對約壹圓ヲ高メ得タリ藪ハ春秋二回村農會ニ集メ一手販賣ヲ行フ販賣米ト小作米ヲ納入シタルモノニハ差額ノ半額ヲ地主ヨリ小作人ニ與フ
- 十一、地主會 五反歩以上小作セシムル者及七反歩以上有スル地主ヲ以テ組織シ小作人ノ保護農事ノ改良農村道徳ノ喚起ニ努ム
- 十二、模範小作人撰獎 小作人ニシテ衆多ノ模範タルベキ者ニ毎年賞狀及賞品ヲ授與ス而シテ受賞者ハ地主ノ投票ニ依リ之レヲ定ム
- 十三、肥料配合組合 各區ニ一組合計十個ノ組合ヲ設ケ原料ヲ共同購入シ合理的配合ヲ行ヒ夏作及冬作ニ對スル施肥ヲ行フ
- 十四、小學校生徒ノ一坪農業及一蛾養蠶 尋常科四年以上ノ生徒ニ種子ヲ交付シ各自宅ニテ一坪農業ヲ爲サシメ又全五年以上ニ原種ヲ交付シ一蛾養蠶ヲナサシメ村農會ヨリ成績ヲ審査シ賞品ヲ授ケ以テ農業思想ノ普及ニ資ス
- 十五、米俵小作米品評會 小作人ガ地主ニ納メタル年貢米及米俵ヲ集メ審査ヲ行ヒ賞品ヲ授ケ以テ小作米ノ改善ニ資ス
- 十六、稻立毛品評會 稻作ノ改善ヲ圖ル目的ヲ以テ稻立毛品評會ヲ開キ成育及成熟ノ審査ヲ行ヒ賞品ヲ授與ス
- 十七、桑園品評會 桑ノ改善ヲ圖ル目的ヲ以テ桑園品評會ヲ開キ審査成績ニ依リ賞品ヲ授與ス
- 十八、著名物産 茶釜ハ本村ノ特有物産ニテ全國ニ於テ本村ノ外他ニ産スル地ナシ製造戸數十四戸年額内地向

約拾貳萬本輸出向參萬本ヲ産ス

要スルニ本村ハ農ヲ主トスルモ其副業生産ノ如キ亦輕視スベカラザルモノアリ今生産ノ重ナルモノヲ舉クレバ左ノ如シ

米壹萬六千石麥參千拾壹石豆類貳百五拾石

副業ノ産額 拾壹萬貳千餘圓石材壹萬四千貳百八拾圓蠶業壹萬六千圓菓細工壹萬壹千九百圓養鶏五千五百圓ナリ

四、貯蓄ト産業組合

一、勤儉貯蓄 協同組合貯金昨大正五年六月末現在參萬七千七百七拾八圓五拾壹錢六厘ニシテ組合規約ノ規定ニ依リ戊申詔書ノ御主意ヲ實行ニ努ム

二、産業組合 信用組合數八個出資總額四萬千八百拾圓積立金八千六百七拾壹圓貯金五千貳百八拾參圓貸付金五萬參千百拾四圓組合人員ハ百五十四人出資口數參千九百貳口ナリ

五、村是調査

明治三十三年中大日本實業會監督前田正名氏ノ指定ニヨリ日本八大實業區ノ一ナル京攝實業區ノ中心トシテ模範的ニ調査シタルモノナリ今村是實行上ノ效果ニ關シテハ一々之ヲ紹介スルノ餘裕ヲ有セザルモ大正四年迄ニ顯ハレタル成績ノ大樣ヲ示セバ調査當時ニ比シ副業生産七萬五千參百圓ヲ増加シ村民ノ負債壹萬四千圓ヲ減ジ貯蓄額拾三萬四百圓ヲ増シ土地所有六拾貳町步ヲ増加セリ

以上ハ三村ノ概況ニシテ治務ノ一端ヲ紹介シタルニ過ギサルモ其道德、經濟ノ調和發達セルコト洵ニ感嘆ニ値スルモノアリ而シテ發達ノ動機ニ就テハ各村多少ノ趣ヲ異ニスルモノナキニアラザルモ其徑路ニ至リテハ亦共通ノ点ナキニアラズ即チ特志ナル役場吏員ノ熱誠ニヨリ村内各種機關ノ活動ヲ促シタルコト村内ニ五人組ノ制度ノ存スル事巡回講話等ノ方法等ヨリ村内ノ事情ヲ村民ニ了解會得セシメ以テ之ガ自覺ヲ促シタルコト等ニシテ要スルニ町村自治ノ發達ハ役場吏員ノ熱誠ト町村民ノ自覺トニ待ツノ外ナキモノ、如シ

縣外優良町村視察概要

五月 女 甚 一郎

本年ノ地方改良講習會施設ニ係ル縣外優良町村視察團第二方面ハ小職並左ノ八名ニシテ七月十日出發新潟縣北蒲原村川東村、中蒲原郡七谷村、南蒲原郡今町及群馬縣勢多郡木瀬村野中信用購買販賣生産組合、山田郡境野村ノ視察ヲ了シ同月十六日歸廳シタル概況左ノ如シ

- 河内郡妻川村長 坪 山 多 一郎
- 上都賀郡菊澤村長 邊 大 順
- 芳賀郡逆川村長 河 原 重 邦
- 下都賀郡小野寺村長 松 永 和 一郎
- 鹽谷郡藤原村長 星 藤 太
- 那須郡磯町長 山 口 兵 吉
- 安蘇郡植野村助役 店 網 米 藏
- 足利郡筑波村長 岩 井 田 彬 一郎

新潟縣北蒲原郡川東村

一、全体ノ概況

(イ)位置、戸口、沿革 本村ハ北蒲原郡ノ東部ニ位シ縣廳ヲ距ル東七里三十町郡衙所在地タル村上線新發田驛ヲ距ル約二里ニシテ東西ニ短ク南北ニ長シ加治川ノ東岸ニ位シ現住千七十八戸、人口七千三百六十村民概ネ淳朴ニシテ勤儉ノ美風ニ富ミ町村制施行當時ハ竹俣、大宮、板津、石田ノ四ヶ村ナリシガ明治三十四年十一月之ヲ合併シテ川東村ト稱スルニ至レリ

(ロ)生産物 大正六年二月現在ハ農産二十五万三千七十七圓、畜産二千七百五十二圓、林産七千四百十圓、礦産三万六千六百圓、水産千六百六十一圓、工産八千五十圓、總額三十万九千五百圓ニシテ一戸當二百八十七圓七

十五錢、一人當四十六圓十二錢強、物産ノ主ナルモノハ米ノ二万六千石以上、蒲原粘土價格三万四千餘圓ニシテ粘土ハ村ノ南端宇小戸地内殆ンド無盡藏ニシテ今ヨリ十二三年前ヨリ採掘セラレ紙晒、石鹼、齒磨粉ノ原料トシテ盛ニ縣外ニ輸出セララル、ノミナラズ石油沈澱原料トシテ縣内及ビ遠ク米國ノ油田地ニ迄搬出セラル、ニ至レリ

二、公職其他ノ機關

村長ハ本間百在門氏ニシテ明治四十年就職以來引續キ今日ニ至リ自治殖産ノ振興ニ於テ効績著シキヲ以テ大正五年二月十一日縣ヨリ表彰ヲ受ケタリ、助役收入役各一人、書記四人ナルガ收入役ハ勤績三十年以上ニ及ベリ外ニ申合機關トシテ合併前ノ舊四ヶ村ニ各一人宛四人ノ常設委員アリテ隨時諮問會ヲ開キ商議ヲ決定シ以テ村長ヲ補佐スルノ例ニシテ同村ノ今日アルニ至レルハ元ヨリ村長ノ自治ニ熱誠ナルト住民ノ勤績力行ナルニ因ルベシト雖モ亦此ノ機關ノ存スルコトモ與テ力アルモノト信ズ、村會議員ハ十八名ニシテ内町村制實施以來ノ議員七名アリ、而シテ選舉ハ舊四ヶ村ヲ申合區域トシテ各區ヨリ候補者ヲ申出ツルノ有様ナルヲ以テ甚ダ平穩ニ無競争ニテ當選スルノ状態ナリト云フ

三、納税ニ關スル施設ト擔負ノ輕重

本村ハ納税組合ヲ設ケズシテ徵稅令書交付ノ際並ニ徵收期日ノ朝必ズ大字區長附ノ使丁ヲシテ納税ヲ怠ラザル様注意ヲ與ヘ且納税毎ニ其稅目期日ヲ小學校ニ通知シ各學年ノ程度ニ應ジ稅ノ性質並ニ納稅義務ノ重ンズベキコトヲ教ヘシメ以テ納稅思想ヲ涵養スルニ勗メ徵收ノ方法ハ各區ニ於テ取纏メ納付スルモノ十一大字、直接役場ヘ納付スルモノ五大字、吏員出張徵收ヲナスモノ五大字ニシテ取纏メ納付スル大字ニハ現在戸數ヲ標準トシテ一ヶ年一戸ニ付キ金五錢ノ納稅督勵手當ヲ支給シツ、アリ

納稅成績ハ國縣村稅共各納期末日マデノ納入歩合何レモ百分ノ百ニシテ未納者アリタルコトナシト云フ思フニ是等ハ前述ノ小學兒童ヲ通ジテ納稅ノ重ンズベキヲ父兄ニ知ラシムルニヨルコト大ナルベシト云フ思フニ負擔ノ割合村稅ハ大正六年度豫算ニヨルモノ一戸當十二圓六十錢、國縣稅ハ大正四年度決算ニヨルモノ縣稅一戸當十九圓二十錢、國稅一戸當廿四圓七十錢ニシテ我栃木縣ノ平均額ヨリ何レモ重キガ如シト雖モ村稅ニ於ケル地

租其他ノ國稅附加稅ハ何レモ制限迄ニシテ、戸數割ノ一戸當五圓ハ本縣ノ平均ヨリ輕キヲ以テ見レバ一般ニ富ノ程度ニ向上シアルモノト信ズ

四、教化事業ノ施設

(イ) 補習教育 毎年十二月ヨリ翌年三月ニ至ル雪季四ヶ月間ハ女子ニ對シ小學校ニ於テ裁縫ヲ教授ス生徒ハ四十五名内外ニシテ近ク補習學校トナス計劃アリ、青年團ハ全村一團ニシテ團員四百二十名ヲ有シ補習教育ノ意味ヲ以テ之ヲ三區ニ分チ各小學校ヲ支部トシ一個所百四十名内外ノ生徒ヲ更ニ高等科卒業生ヲ甲組トシ尋常科卒業生ヲ乙組トシ毎月一回第三日曜日ヲ以テ學藝練習會ヲ開キ、各學校職員ヲシテ綴方、讀方、算術、体操ヲ教授セシム、出席ノ督勵法トシテ家長ヨリ正當ノ事由アル場合ノ外缺席セシメザル旨ノ誓約書ヲ徵シ若シ缺席者アル場合ハ各區長ニ命シ其ノ事由ヲ糺シタル結果現今ニ於テハ百人中八十五人ノ出席歩合ヲ示スニ至レリ、經費ハ村費ヲ以テ年額四十圓ヲ支出シ教員手當ハ年一人二圓ナリトス。尙右ノ外毎年八月一回青年聯合大會ヲ開キ文學博士其他ノ名士ヲ聘シ午前講話ヲナシ午後ハ體育獎勵ノ多メ相撲、擊劍ヲ催シ賞品ヲ與ヘ又別ニ落語家ヲ招キ之ヲ聽カシムル等ノ組織ナルガ經費ハ三十圓ヲ村費ヨリ補助スルモノナリト云フ

(ロ) 學齡兒童保護會 本會ハ戊申詔書奉戴ノ記念トシテ設置セラレ貧困者ノ子弟ヲ就學セシムルヲ以テ目的トスルモノニシテ會員ハ地價三千圓以上ノ賛成者及小學校長ハ年額金一圓、地價千圓以上ノ者及ビ正教員ハ五十錢、地價五百圓以上ノ者ハ三十錢宛ノ會費ヲ納メ年額約九十圓ヲ得テ三學校生徒千二百名中ノ貧困者ニ金員及雨具、學用品等ヲ給與スル規約アリ

(ハ) 育英施設 秀才ナルモ學資不足ノタメ高等ノ學術ヲ修習シ得ザルモノノタメニハ有志ノ釀金ヲ以テ高等學校在學中ハ年額百二十圓、大學生ハ年額百五十圓宛ヲ無利子ニテ貸與シ隨時償却ノ方法ニテ修業セシメタルモノ現ニ地方理事官一名アリト云フ

五、勸業ニ關スル施設

(イ) 産業組合 二アリ、一ハ川東信用購買販賣生産組合ニシテ明治四十一年七月ノ創立ニ係リ組合員數四百四十七人、出資金額五千八百五十圓(一口、十圓、五百八十五口)貯金高五万二千〇五圓、貸付金高三万三千四百七

十六圓、預金二万五千百十五圓、購買金高一万二千六百二十九圓ノ現況ニシテ設立日尙淺キニ拘ハラズスカ
 ル急速ナル發展ヲナシ、就中貯金ノ割合ニ多キハ、貸付金ノ利子ハ日歩二錢二厘(年八分)ニ對シ貯金利子ハ
 一年以上年六分、半年以上五分五厘、當座一錢ニシテ郵便貯金ヨリ有利ナルト、他ニ銀行其他ノ金融機
 關ノ設ケナキニ因ルベシト雖モ、近時同村民ガ他町村ヘ所有スル土地ニ比シ、他町村民ノ同村ニ所有スル土
 地漸次増大スル傾向アリシヲ以テ大ニ勤儉貯蓄ヲ獎勵シタル結果ニシテ、又組合ヨリ借入ル、負債ノ多クハ
 土地購入ノ資ニシテ村内ノ賣買ハ之ヲ相殺シ、同村民ガ他町村ヘ賣却シタル田地ハ元年ニ一町一反七畝七步
 貳年ニ一町四反四畝十九步、三年ニ一町一反五畝廿步計三町七反七畝十六步ニ對シ、村外所有者ヨリ買得シ
 タルモノ、元年三町五反九畝廿七步、二年十町二反九畝一步、三年一町一反三畝廿一步計十五町二畝十九步
 ニシテ差引十一町三反步ノ入過ヲ示セル狀態ナリ、亦以テ同村民ガ勤儉力行之ガ回復ヲ謀リツ、アルカヲ推
 知スルニ足ル。川東米券倉庫組合ハ事業全部ヲ本組合ニ引繼ギ、取扱タル入庫米ハ總數四千百三十九俵ナリ
 其ノ二ハ板山購買組合ニシテ組合員九十三人、出資額六百十八圓ニシテ購買高ハ五千二百三十九圓即チ資金
 ノ九倍ニ相當スル取扱高ヲ示シツ、アリ。

(ロ)地主ト小作人 同村ノ田小作料ハ一反步最高一石二斗、平均八斗七升、最低五斗ニシテ即チ收穫高ニ對シ地
 主五分五厘、小作人四分五厘ノ割合ニシテ大正五年ヨリ縣ノ產米檢査施行セラレタルヲ以テ地主會ノ申合セ
 ニヨリ上米一俵二十錢、中米十錢並米五錢宛ノ獎勵金ヲ小作人ニ交付スルコトトシ且ツ農業倉庫(三千俵入)
 ヲ設ケ寄託、金融ノ途ヲ探リツ、アリ、斯カル狀態ナルヲ以テ兩者間ハ頗ル圓滿ニシテ曾テ紛擾ヲ醸シタル
 コトナク、又多クハ小作證書ノ作製ナク單ニ口約ニヨルト云フ、近來人口ノ増加ニ伴ヒ小作ノ需用漸ク逼迫
 ヲ告ゲ互ニ相競フノ傾キアルニ乘ジ地主ハ定米引上ヲ圖リ或ハ小作人ニシテ同盟休耕ヲ企ツル等紛擾アル地
 方ニ比スレバ如何ニ同村民ガ朴直ニシテ常ニ地主ニ信賴シ、地主又小作者ヲ愛撫スルノ美風存スルヤヲ思ハ
 シム

六、村是調査及實施ノ概要

本村ハ大正四年村是調査ヲナシ、其ノ副産物トシテ各個人ノ生計不足ナルヲ認め大正五年一月一日ヨリ村是ヲ

確立シ之ガ實行ヲ訓示シタリ

(イ)村是ノ大綱

甲、土地ニ關スル事項

A 本村ノ米作平均收量ヲ一反步二石三斗ニ向上セシムルタメ左ノ事項ヲ實行スルコト

(一)耕地整理ノ實行ヲ獎勵スルコト

(二)農業教育ヲ獎勵スルコト

(三)牛馬耕ヲ獎勵スルコト

(四)肥料ノ改善ヲ圖リ綠肥ノ栽培堆肥ノ完全ヲ期スルコト

乙、殖林ヲ獎勵スルコト

丙、副業ニ關スル事項

A 養雞ヲ獎勵スルコト

B 牛馬ノ繁殖ヲ獎勵スルコト

C 養蠶ヲ獎勵スルコト

D 藁細工ヲ獎勵スルコト

丙、風俗ニ關スルコト

A 質素ノ風ヲ養成スルコト

B 時間ヲ勵行スベキコト

C 災害佛事ニ禁酒ノコト

D 軍人送迎ニ金品ノ贈答ヲナサザルコト

(ロ)實施ノ概況 實行組合ハ六十四區ニ分チ各區ニ組長一名ヲ置キ村長ノ指揮ニ從ヒ組合員ヲ督勵スルモノトシ

一組合員ハ七名乃至二十一名トシ組合ノ活動ニ對シテハ村農會役員、議員區長、重立、青年會、小學教員、

社掌、僧侶等之ヲ援助スルモノトス

村農會ヨリハ年中行事ヲ配布シ實行ノ適期ヲ失セザルコトニ努ム、農會長菅得四郎氏ハ同村第一ノ資産家ニシテ米麥品種ノ改良、堆肥舎ノ改良、害虫驅除、其他副業ノ獎勵ニ至ルマデ施設經營大ニ見ルベキモノアリ然ルニ年報酬僅々三圓ニシテ日勤怠ラズト例ヘ資産家トハ云ヒ以テ氏ガ如何ニ公共ノタメ盡力セラル、カヲ知ルベキナリ

(ハ) 農學校入學ノ獎勵 本村ハ河川丘陵ニヨリ都會ト隔リ縣道鐵道ノ接續ナキヲ以テ到底商工業地ニアラズトシ農業ヲ以テ村是ノ基礎トナシ爾來子弟ノ教育方針ニ就テハ年々小學校卒業期前ニ於テ村長並ニ小學校長ハ農學校入學ニ適當ト認ムル卒業生徒ノ家庭及本人ニ對シ農業教育ノ必要ヲ説示シ可成多數ノ入學ヲ獎勵シタル結果大正五年四月新發田町乙種農學校本科へ入學セシモノ十名、同年二月同校別科ニ入り修業セシモノ二十名アリ。本村ノ大地主ハ地價二万六千圓以上一人、壹万以上四人、千圓以上百二十餘人アリテ何レモ實業ニ熱心ニシテ是等ノ子弟ハ目下中等學校在學生三十餘名アルモ内二十七、八名ハ甲種農學校及ビ他ノ實業學校ニ在學シ中學校在學生ハ僅々三名(一割)ニ過ギズシテ中學卒業生ハ目下ノ精農家タルニ至リテハ又以テ同村ガ如何ニ農業ニ熱心ナルヤヲ知ルベキナリ、右ノ外高等小學校ニ實習地ヲ設ケ農科教授ヲナスモノナルガ偶々高等二學年生徒三十餘名ノ實習地ヨリ晝餐ノタメ歸校スルヲ見タルニ氣温九十度以上、炎熱砂ヲ灼クノ時ニ於テモ尚洗足ニ加フルニ衣服ノ裾ヲ腰間ニ纏メ頭上鰻頭笠ヲ頂キ鍬ヲ肩ニシテ何等苦痛ノ様ナシ、勞働ヲ厭ハズ質素剛健ナル氣風ハ我栃木縣ニ於ケル實習兒童ノ遠ク及バザルヲ思ヒ轉タ感慨ニ堪エザリキ。

中蒲原郡七谷村

一、全体ノ概況

(イ) 位置、戸口、沿革 本村ハ郡ノ南端ニ位シ、郡衙ノ所在地タル信越線加茂驛ヲ去ル東方一里十六町ノ所ニアリ、現住ノ戸數六百四十八、人口、四千三十五ヲ算シ、民有地ノ中耕地ハ五百七十四町八反餘歩ニシテ山林三千廿三町八反餘歩ハ全村ヲ圍繞ス、山勢起伏シテ所謂七峽ニ十一部落散在シ、各々民情、風俗ヲ異ニシ、

各部落間ノ交通又頗ル不便ナリシガ、村長中野潔氏ハ深ク之ヲ憂ヘ明治二十四年先ヅ里道ヲ改修シテ民心ヲ統一ヲ圖リ以テ殖産興業ニ資センコトヲ企テ遂ニ其ノ功成ルニ至ル現時ニ於テハ車馬ノ通ゼザルナク部落民ノ交情益々温クテ協同輯睦ノ念歲ト共ニ加ハリ自治体ノ事績大ニ其面目ヲ一新シテ百事整然トシテ舉リ明治四十三年二月内務省ノ選奨ヲ受クルニ至レリ

(ロ) 一ヶ年ノ生産收入ハ二十万圓以上ニシテ平均一戸當三百八圓餘、一人當四十六圓ナルヲ以テ一戸當ニ於テハ川東村ト大差ナキモ、村民土地ノ分配稍々宜シキヲ得、大正五年末現在土地總地價金十八万五千〇七十三圓ノ中村民ノ所有地價ハ十七万五千七百八十八圓ヲ占メ他町村民ノ所有ニ係ルモノ九千三百五十五圓ニシテ同村民ガ他町村ニ有スル地價ハ一万五千八百十六圓ナルヲ以テ見ルモ本村富力ノ程度ヲ推知スルニ足ルモノナリ

二、公職其他ノ機關

村長小野周平氏ハ町村制施行當時同村ノ書記トナリ助役ニ就職シ明治三十三年四月村長トナリ今日ニ至リシモ常ニ周到ナル注意ヲ以テ村政ヲ掌理シ施設經營共ニ宜シキヲ得諸務ヨク整理セラル、助役鶴壽龜太郎氏ハ本村第一ノ素封家ニシテ且ツ名望アリ明治二十八年四月前村長中野氏ノ後ヲ受ケテ村長トナリシガ就職五年ニシテ當時助役タリシ小野氏ヲ後任ニ推シ自ラ下リテ助役ノ椅子ヲ占メ陰ニ陽ニ現村長ヲ補ケテ村治ニ盡瘁ス其治績ノ隆々タルモノ又同氏ノ努力ニ基スルモノ多キモ大正四年一月病沒セラレ其後任ハ同村ノ素封家ニシテ現助役中野榮氏ナリ、外ニ收入役坂上重太郎氏ハ前任者山崎豐太郎氏十七年勤續シ死亡セル跡ヲ繼ギ明治三十九年二月就職シ現今ニ至ル、他ハ書記二名ナリ。本村ニ於テモ申合ニヨル常設委員四名アリ、克ク村長ヲ補佐シ居レリ、村會議員ハ定員十四名ニシテ選舉ハ毎回競争等アルコトナク、先ヅ候補者ヲ定ムルニ當リ小壯者ハ先輩ヲ推シ先輩亦後進者ヲ舉ゲントシ互ニ推讓シテ止マザルノ有様ニシテ現ニ廿五年以上勤續ノ議員三名アルヲ以テ見ルモ如何ニソノ平穩ナルヤヲ思ハシム

三、納稅ト負擔ノ狀況

納稅ハ約十七年前ヨリ督促狀ヲ要スルコト甚タ稀ニシテ極メテ良好ナリ、國縣村稅共十數年以來會テ納期ヲ誤リタル者ナク、其ノ徵收方法ハ先ヅ徵稅令書ヲ十二人ノ區長ニ送り、區長ハ之ヲ納稅人ニ配付シ稅金ヲ取擧メ

納期ニ完納シ(役場所在ノ一字ハ直接納入)受領書ハ一時保管シ置キ次ノ令書ノ送付アリタル際令書ト共ニ受領證ヲ各人ニ配付スルノ例ニシテ此一事ヲ以テ見ルモ村民ハ當局者ヲ信賴シ當局者亦眞摯ナル態度ヲ以テ職ニ當ルノ一斑ヲ思ハシム

諸稅負擔、國稅一戸當十八圓廿四錢縣稅十一圓六十錢、村稅十四圓四十錢、地租其他國稅ノ附加稅ハ何レモ制限迄ニシテ戸數割附加稅ハ一戸當九圓一錢餘ナリ。

四、教育及教化事業

小學校ハ明治二十五年、五校ヲ合併シテ二校トナセリ然ルニ其ノ結果、區域ニヨリ人心ニ派ニ分レ漸次村ノ統一上不良トナル傾向アリシヲ以テ明治三十三年ニ至リ更ニ通學道路ヲ改修シ同時ニ二校ヲ合シテ一校トナシ之ニ高等科ヲ併置セシメ最遠部落ノ生徒ニハ特ニ雪途保護人夫ヲ附スルノ方法ヲ講シタル結果近時人心頓ニ統一セリ、爾來常ニ兒童ノ就學及出席ノ獎勵ニ力メ就學歩合百分ノ九十九人一分三厘、出席歩合尋常科ハ九十六人五厘高等科ハ九十八人三厘ノ成績ヲ示スニ至リ、實業教育ノタメニハ小學校ニ農業實習地一反歩ヲ置キ農藝ニ關スル學理ト實地トヲ教授シ別ニ學林一町六反餘歩ヲ設ケ杉苗九千八百五十株ヲ栽植シ以テ兒童ヲシテ興味ヲ感ゼシメ、勤勞ヲ獎メ兼テ愛林思想ヲ養成シツ、アリト云フ。

(イ)補習教育、男子ニ對シテハ小學卒業後二十歲迄ヲ毎月三日間(五日、十五日、二十五日)保護者、雇人ノ別ナク教授スルコト、シ現在生徒ハ二百八十名ニ達シ學力、年齡等ニヨリ之ヲ五學級ニ分テリ、出席歩合ハ百分ノ九十三人四分ニシテ前年ニ比シ好成績ヲ示シ居レリ、尙ホ自修ノタメ宿題ヲ課シテ進歩ヲ圖リ教員ノ報酬ハ全部ニ年額五十圓ヲ支給シ居レリ、又女子ニ對シテハ毎月一日其他ハ民間休業日ヲ以テ裁縫ヲ教授スルモノニシテ現在生徒百六十名アリ、出席歩合ハ男子ニ優ルノ成績ナリト云フ。

五、勸業施設

(イ)造林事業、本村ノ山林ハ前記ノ如ク民有地ノ約八割ヲ占メ而モ其ノ多クハ杉ノ栽植ニ好適地ナルモ、村道ノ改修セラレザリシ以前ハ道路險惡ニシテ加茂川沿岸ヲ除クノ外運輸ノ便ナク隨ツテ造林ニ力ヲ注グモノナカリシガ近年薪炭ノ需用年ヲ追フテ繁ク濫伐荒廢ノ傾向アルヲ以テ村當局並ニ重立ハ深ク造林經營ノ急要ヲ認

ムルト共ニ將來ノ富源ハ殖林ニアリトシ道路開修ノ完成ト同時ニ造林事業ノ大方針ヲ確立シ、専門家ヲ聘シ講習ニ實施指導ニ極力獎勵ニ努メシカバ著々功ヲ奏シ近ク十數年來ノ成績ハ年々三十町歩内外ニ杉苗十萬本以上ノ植付ヲ行ヒ今ヤ杉樹ノ栽植セラレタルモノ通ジテ二百二十萬本面積六百五十餘町歩ニ達シタルモ未ダ初步ニ過ギザルヲ以テ近ク本事業ノ完成ヲ見ルニ於テハ其ノ富力實ニ測リ知ルベカラズ。

(ロ)信用組合ト勤儉貯蓄、本村信用組合ハ有限責任ニシテ大正五年一月現在組合員五百二十三、出資口數千五百六十四、出資金額ハ七千八百二十圓ナルガ貯金二萬八千六圓、積立金四萬三千七百四十圓、貸付金二萬三千九百七十七圓、銀行預金一萬四千五百二十二圓其他ノ有價證券等ヲ合スレバ全財産拾參萬四千圓以上ニ達スル好況ナルガ故ニ大正元年支會、同三年、中央會ヨリ表彰セラレタリ。本組合ノ前身ハ勤儉貯蓄組合ニシテ明治三十七年日露戰役ノ際記念施設トシテ村長管理ノ下ニ組織セラレ五ケ年間毎月一口金十錢ツ、貯蓄セルモノニシテ滿期ニ至リテハ信用組合ヲ組織セントコトヲ目的トシテ獎勵シタル結果人員四百二十四名其ノ額五千八百餘圓ノ共同貯蓄トナリタルヲ以テ明治四十二年十一月全部之ヲ出資金ニ充テ信用組合ト改メタルモノナリト云フ

(ハ)副業ノ獎勵、製紙ハ由來本村ノ有力ナル副業ニシテ近年著シク進歩發展シ現今ニ於テハ年產額十五萬圓、純益五萬圓ニ及ブト云フ本村ノ如キ降雪多キ地ニ在リテハ冬期間ノ業務トシ最モ適當ナルヲ認メ明治四十二年

二月教師ヲ聘シ講習所ヲ開キ製紙ノ改良ヲ企リタルヲ以テ益々需用者ヲ信用ヲ博シ販路大ニ擴張シ婦女老幼ヲ問ハズ從事シ得ラル、ヲ以テ自然勤儉ノ風ヲ馴致スルニ至リ、一面養蠶業ヲ獎勵シツ、アルモ、畑地ハ楮ノ栽培多クシテ桑畑ノ餘地ナキヲ以テ夏秋蠶ノミニ止メ、目下七十石餘ノ生産ニ過ギズト云フ。

(ニ)地主ト小作人、本村ノ大地主ハ地價一萬四千圓以上一人、一萬二千圓以上一人、八千圓以上一人、六千圓未滿千圓以上三十八人ナルガ小作人トノ關係圓滿ニシテ何等ノ波動ヲ認メズ、其ノ小作人ト稱スルモ俗ニ水吞百姓ト云フガ如キハ少クシテ多クハ自作兼小作者ニシテ他ハ製紙業其他一定ノ正業ヲ有シ、所謂内福ナルヲ見ル想フニ恒産アリテ恒心アリ、本村生産業ノ發展スル又茲ニ存スベシ、而シテ小作料ハ上田一反歩(地價四十圓)一石一斗、中田(地價三十圓)八斗五升、下田六斗位ナルガ總テ金納トナスモノニシテ毎年二月七日

定日トシ、村内地主會同シテ代價ヲ定メ小作人ハ其ノ相場ニヨリ喜ンデ之ヲ納ムルノ例ニシテ而モ此會同ハ新年宴會ヲ兼テ農事ノ改良ヲ協議シ或ハ自治ノ經營ヲ談ジ益々親睦ヲ厚フスルニ至ルト云フ

五、村是調査
 村是調査ハ目下續行中ニシテ未ダ確立シタルモノナシト雖モ年中行事ヲ印刷シ産業ノ施業期節ヨリ衛生、教育、祝祭日ノ注意事項並ニ納稅期限等ヲ記載シテ毎戶見易キ所ニ貼付セシメ、村内戶口ノ行務ヲシテ時期ヲ愆マルコトナカラシムルニ努メ又當局者ハ自治ノ要素ヲ調査シ村格ノ三基石ヲ作り村民大會ニ於テ全會一致之ヲ格守スルノ誓ヲ立ツルト共ニ村訓トシテ後繼者ヲシテ永久ニ之ヲ遵守セシメ各種ノ會合ニ際シテハ講演、講話、誘掖鼓吹等怠ラズ其ノ効果甚ダ顯著ナルヲ見ル、而シテ是等實行組合ハ六十二ニ分チ、組合員ハ最多十八戶、最少七戶ニシテ専ラ實行ヲ容易ナラシメタリ

年中行事記載ノ要項

村風
 奉公ノ精神ニ富ム
 協同ノ精神ニ富ム
 自助ノ精神ニ富ム

村民行動
 奉公ト以テ上下和協スルコト
 同情ヲ以テ上下和協スルコト
 致富ト進徳ノ兩道ヲ重ズベキコト
 自治ヲ見ルコト自家ヲ見ルガ如キコト
 自治ヲ見ルコト自家ヲ見ルガ如キコト
 智識ヲ研キ頭迷ニ陥ラヌコト
 下卑タル娛樂ヲ求メヌコト

村内ノ秩序
 治者被治者ノ間ニ義アルコト
 人事ノ進歩ニ方則アルコト
 産業ノ發達ニ組織アルコト
 事業計畫ニ實行方法立チ居ルコト

○村格之三基石

○自治ノ要素

青年會	婦人會	自治ノ要素
遵守教	育勸語	道德
德業相勸	患難相救	隣保和衷
過失相規	協同推讓	禮義公德
團樂和衷	團樂和衷	團樂和衷
忠實服業	惟信惟義	去華就實
自強不息	自強不息	自強不息

○農家五訓

- 一、家ヲ富マスハ國家ノ爲ト心得奢侈ヲ戒メ勤儉ノ心掛肝要ノコト
- 二、一家ノ幸福ハ社會ノ賜ナレバ公共ノタメニハ應分ノ務ニ盡シ公德ヲ修ムルノ心掛肝要ノコト
- 三、一家ノ富ハ事業ノ改良ニ基クコト多キモノナレバ學理ヲ應用スルノ心掛肝要ノコト
- 四、共同戮力ハ最モ大切ノコトナレバ小異ヲ捨テ大同ニ合シ個人ト共ニ公共ノ利益ヲ進ムル心掛肝要ノコト
- 五、農民タルモノハ國民ノ模範的階級タルベキモノト心得武士道ノ相續者ヲ以テ自ラ任ジ自重ノ心掛肝要ノコト

六、選獎記念事業トシテ左ノ五項目ヲ實行シツ、アリ

- (イ) 地方改良事業獎勵金ノ保存及増殖
 内務省ヨリ下賜ノ地方改良事業獎勵金八百圓ハ基本財産トシテ明治四十三年度ヨリ向五十年間複利法ニヨリ増殖スルモノトス
- (ロ) 教育施設ノ擴張
 學校教育ト社會教育トノ効果ヲ一層大ナラシムル爲メ豫算金四千五百圓ヲ以テ土地五反歩ノ買収及ビ建物七十坪ノ建築ヲ行ヒ教育ノ施設ニ一層ノ擴張ヲナスモノトス
- (ハ) 慈善事業基本財産造成ヲ目的トセル植林
 慈善事業基本財産造成目的トシテ鶴巻龜太郎ヨリ寄附ヲ受ケタル山林五町四畝廿四歩ニ造林ヲナシ之ガ大成ヲ期ス

(二)信用組合ノ獎勵事業 七谷信用組合ハ善行者獎勵ノ方法ヲ設ケ良風美俗ノ助長ヲ計ルコト
 (ホ)積善組合員ノ増加ヲ期スルコト 積善組合ノ事業ハ地方興新ニ資スル所少カラズ、今回本部ニ交渉シテ集金
 取扱所ヲ設置シ以テ諸般ノ利便ヲ計リ組合員ノ増加ヲ期スルコト
 想フニ同村ハ曩キニ里道ヲ改修シ學校ヲ合併シタル中野氏ニ次ギ推讓ノ美德ニ富メル鶴巻村長出デ熱誠篤實ナル
 現村長其ノ後任トナリ、學校統一ノ完キヲ得、互ニ同心協力シテ利源ノ開發、教育ノ振張、人心ノ統一、勤儉治
 産、村風ノ興新ニ努力シ其背後ニハ中野、笠原、山崎等ノ有力者アリテ献身的ニ村長ヲ補助シタル結果今日アル
 ニ至リタルモノナルベシ

南蒲原郡今町

一、全体ノ概要

(イ)位置、戸口、沿革 同町ハ信越線見附驛ヨリ約一里ノ處ニアリ大字ハ今町、上新田ノ二字ナレドモ大部分市
 街地ナルヲ以テ面積狹ク中央ヨリ町境迄遠キモ十五町ニ過ギズ。現住戸數六百二十六、人口、四千七十七人
 ニシテ口碑ノ傳フル所ニ依レバ當地ハ元今町新田ト呼ビ約二里ヲ隔ツル海濱ノ寺泊ニ山形縣酒田町ノ漂流人
 ガ移リタルノ故ヲ以テ今町ト稱セシナリト云フ
 (ロ)物産ノ主ナルモノハ筆ノ二十万本價格二万圓、米、織物、木綿及絹綿交織七千反價格一万五十圓、外ニ麻ノ
 小額ヲ産スルノミニシテ住民ノ多クハ商業ニ従事シ居レリ

二、町吏員

町長土屋房太郎氏ハ元小學校長タリシガ昨年高橋前町長死亡ノ後ヲ承ケテ就職シ性温厚篤實職務ニ忠實ニシテ
 報酬月額十八圓、助役ハ有給ニシテ六ヶ年勤績者給料月額二十二圓、收入役ハ昨年ノ就職ニシテ月給十一圓、
 書記定員三名月額平均十三圓ナルモ内一名ハ耕地整理事業兼務ニシテ前收入役タリシモノナリ、本町ニ於テモ
 川東、七谷兩村ノ如ク常設委員五名アリテ町政各般ノ諮問機關トシテ活動シツ、アリ
 三、納税ノ狀況ト負擔ノ輕重

本町ハ元、政争ノタメニ派ニ分レ軋絶エザリシタメ、町政振ハズ隨テ納税等最モ不良ナリシヲ前町長高橋永
 恒氏(元小學校長)明治四十一年就職以來専ラ民心ノ統一ニ努メ滯納ノ弊ヲ矯正シ納税貯金、納税袋ノ配付及ビ
 一ヶ月前ニ納税額ヲ豫告スル等種々ナル手段ヲ以テ納税義務ノ重ンズベキヲ知得セシメ、以テ滯納五六年ニ亘
 リシ宿弊ヲ同四十二年迄ニ一掃シ納税整理ノ實ヲ舉ゲタリ、爾來成績良好ニシテ毎納期完納ヲ見ルニ至ル、尤
 モ徴收ニ關シテハ懇切丁寧ヲ旨トシ日曜日モ之ヲ取扱ヒ納税期日ニハ夜十時マデ執務セリト云ヘバ住民モ大ニ
 感動シタル結果ナルベシ、諸稅負擔ハ一戸當、國稅金十三圓八十錢、縣稅金九圓二十八錢、町稅金十四圓四十
 錢ニシテ町稅ニ於テハ川東村ヨリ重ク七谷村ト同一ナルガ國縣稅ノ兩村ヨリ輕キヲ以テ見レバ同町ノ民力一般
 ニ低ク町民ノ富力程度又不平均ナリト云ハザルベカラズ

四、教化事業ト施設

實業補習學校、男子部生徒ハ現在四十六名ニシテ女子ノタメニ設ケタル裁縫補習學校ハ専ラ技藝ヲ授クルヲ目
 的トシ學科ニ主キヲ置カザリシガ昨年度ヨリ學則ヲ改正シ學科ト裁縫トヲ合セ授クルヲ本科トシ、裁縫ニ重キ
 ヲ措クヲ専科トシ、本科ノタメニ特ニ學科教員一名、作法教員一名ヲ任用シ兩部共ニ授業料ヲ徴收セズ、
 經費、男子部教員ハ小學校職員ニ囑託スルモノ、ミナルヲ以テ手當六十八圓、女子部ハ囑託教員外ニ專屬教員
 三名ヲ給料ヲ合算スルヲ以テ五百九十四圓ヲ要スト云フ

五、産業ニ關スル施設

(イ)農會 會長種田十次郎氏ハ同町ノ大地主ニシテ年手當金五圓ナリ。農會經費ハ大正六年度豫算八百八十三圓
 ニシテ前年度ヨリ三百三十三圓ヲ増加シ町費ヨリハ僅ニ五圓ヲ補助スルノミ。會費ハ耕地々價割地價百圓ニ
 付キ八十九錢四厘ノ割合ヲ以テ徴收ス、事業ノ主ナルモノハ水稻改良、採種田補助、撰種、講習會、堆肥舍建
 設獎勵、視察等ニシテ是等ニ對スル費用三百二十一圓ヲ補助シ(堆肥舍建設補助費ハ一棟五圓)其他苗代田保
 護ノタメ町内各田ノ灌溉、排水、害虫其他ノ被害、等ニ注意スベク擔當人ヲ定メテ巡回ヒシメ又畑作改良ト
 シテハ蔬菜種子ノ無償配付又ハ補助ヲ與ヘ、適當ナル改良農具ノ購入者ニ補助シ、害虫、害鳥ノ驅除油ノ無
 償配付或ハ野鼠驅除等ヲ獎勵シ著々効果ヲ收メツ、アリト云フ

(ロ) 副業ノ獎勵 蔬菜栽培ヲ第一トシ其他養雞、賃織等ヲ獎勵シツ、アリ
六、町是制定

本町是ハ大正五年十二月ノ制定ニシテ其要目左ノ如シ

(イ) 基本財産ノ造成

(ロ) 道路ノ改修

(ハ) 實業ニ關スル施設

(ニ) 上水ノ施設

(ホ) 下水ノ改良

(ヘ) 衛生ニ關スル施設

(ト) 教育ニ關スル施設

實行ハ町内ヲ十九區ニ分チ古ノ五人組制ニ則リ各區長ノ下ニ實行委員五名ヲ置キ必行ニ勵精ナレトモ制定日尙淺キヲ以テ實行ノ見ルヘキモノナシ

本町ノ特色ハ補習教育及納稅成績ノ良好ナルト書類簿冊ノ整理完全ナルモノ等ニシテ事務ニ熱心ナル高橋前町長ニ次キ温厚篤實ナル現町長就職シ住民克ク命令ヲ遵奉スル美風アルノ結果今日ニ至リタルモノト推スルナリ

以上ハ新潟縣下ニ於テ觀察シタル優良町村ノ概況ナルガ同縣ハ米產地トシテ知ラル、モ耕地肥沃ナリト云フヲ得サルニ斯、著シキハ耕作人ノ勤勉ナル其ノ一因ナリト信ス農作戸數ニ於テハ本縣ノ二倍ナルニ田區ノ如キハ我が六万九千町歩ニ比シ彼ハ十七万九千町步約二倍半ニ相當スル面積ヲ有スルニ拘ハラズ而モ其ノ稻作ハ殆んど正條植ニシテ畦畔ニハ全部大豆ヲ蒔付ケ刈取リタル稻亦大部分架干ヲ實行セラル、ニ至ツテハ其ノ勞苦ノ大ナル實ニ本縣農民ニ倍スルナリ而シテ多額納稅者ハ地價百方ト稱スル市島徳三郎氏ヲ第一ニ二十五名ノ最下位ニアル者ニシテ尙地價八万圓以上ヲ有スル何レモ農業家ナリ是等ノ多クハ蒲原五郡ニ在リト云フニ至ツテハ大ナル原因ヲ有スモノアラント想像シタルニ彼ノ越後ノ謙信即チ上杉氏ハ國力發展ノ爲メ夙ニ人口ノ増加ヲ謀リ來リ、住スル者ヲ歡迎シ關所ノ定法ニ「當國へ入ル者ハ構ヒナシ他國へ出ツル者ハ嚴ニ之ヲ改ム」トアリシハ固ヨリ軍略上ノ必要

モアルヘケレド亦來ル者ヲ歡迎スルニ基ケリト又北越風土記ニ「謙信公ノ軍ヲ出スヤ毎度分捕リ多ク人民共ニ伴ヒ來リ國中ニ頒布ス別シテ蒲原郡ハ浮沼地洲ノ類甚ダ多シ故ニ分捕人民ヲシテ之ヲ開墾セシメ以テ熟田トナス是ヲ以テ謙信ハ軍ヲ出シナカラニ國ヲ富ニセリ」今日越後ノ富饒ナルハ偏ニ不識庵殿謙信ニ基スト言ヒ居ルモ大ニ首肯セラル、所ナリ而シテ現住民ノ質素勤儉ナル美風モ斯ノ如キ黨育ヲ受ケタル者其ノ先ヲ爲スニ胚胎スルモノト信ズ

群馬縣勢多郡木瀨村

野中信用、購買、販賣、生産組合

一、組織及經營

本組合事務所ハ兩毛線駒形驛ヨリ西北里許ヲ隔ツル同村大字野中ニシテ組合長清水及衛氏ハ創立當時ヨリ現職ニアリ初メ部落民共同販賣又ハ購買ヲ爲シ來リシモ明治三十五年産業組合法實施ト共ニ同農家ヲ組合員トシ無限責任信用組合ヲ經營シ貯金ノ便宜、貸利資金ノ融通ヲ計リ尋テ明治四十三年ヨリ事業ヲ擴張シ購買、販賣、生産業ヲ兼營スルニ至リ其概要左ノ如シ

(イ) 貯金利子 年七分トシ組合員ニハ年九分以下ノ貸利貸付ヲ爲ス方法ナルヲ以テ組合員ハ多大ノ利益ヲ受ケ居

(ロ) 組合ハ組合員ニ代ツテ適當ナル肥料ノ共同購入ヲナスノミナラス共同配合肥料ヲ作り之ヲ配布シテ多大ノ便

益ヲ與フルニ努メ各組合員ヲシテ豫メ耕作物(稻麥桑)ニツキ各自ノ作付反別ヲ報告セシメ之ヲ基礎トシテ其

ノ年ニ於ケル全組合員使用ノ肥料總量ヲ決定シ原料ヲ組合ニ於テ購入シテ共同配合ヲ行フ其ノ方法ハ組合長

監督指導ノ下ニ行ハルルモノニシテ更ニ組合ハ出來上リタル完全肥料ヲ一反步當使用量單位ノ俵裝トナシ之ヲ各組合員ノ申込量ニ應シ配付上使用セシム

(ハ) 組合ハ極メテ簡單ナル設備ヲ以テ組合員ノ生産シタル米麥ニ加工シ組合員ノ收益ヲ増大ナラシムルニ努メツ、アリ其ノ設備ノ概要ハ幅約四尺深サ一尺餘灌溉用水ヲ利用シ落差僅ニ二尺五寸内外ノ所ニ直徑五尺未滿ノ

金屬製水車ヲ据付ク五馬力ノ動力ヲ起シ精穀器、割挽器、製粉器、乾燥器ヲ運轉セシメ米麥ニ加工スルモノ
ノ外生糶ヲ乾燥シ或ハ大豆粕ヲ粉碎シ居レリ(設備費總計金千五百圓) 右經營ニ要スル人夫賃 三百十九圓(六百三十八人分)
消耗スル油類木炭其他 百四十五圓六十三錢
資金償却年金 百一圓廿四錢

修繕費

百一十一圓

固定資本利子(千五百圓ニ對スル年五分八厘利) 八十七圓
支出計金七百六十三圓八十七錢ナレガ

加工ニ因ル生産ノ増加額(一日十時間運轉)

精穀器一日六石 加工總數千七百七十石 一石一圓増加トシテ 千七百七十圓

製粉器一日六石 同 四百八十石 一石一圓五十錢 同 七百二十圓

乾燥器一日六十貫 生糶石數二千四十貫 一石一圓五錢 同 三百九十九圓

收入計金二千八百八十九圓

差引利益金二千二百二十圓ナリ

外ニ組合員ハ勞力ヲ著シク節減シ得タリ即チ從來ハ六十五町歩ノ肥料共同配合ニハ二百五十人ヲ要セシニ今
ハ僅ニ三十人ヲ以テ足ルニ至レリ(共同配合ノ際大豆粕ノ粉碎ニ最モ勞力ヲ要セシカ動力ト機械トニヨリ其
ノ粉碎極メテ容易ナルニ至リシニ因ル) 其ノ他麥ノ加工ニ就テモ多大ノ勞力ヲ減シ得ルニ至レリ

(ニ) 副産物 組合員ハ生産加工ノ結果トシテ糠類ヲ多量ニ收得スルニ至リシカバ之ヲ用ヒテ盛ニ養鶏ヲナスニ至
リ從來ハ一戸平均五羽以下ナリシニ今ハ每戸十羽以上ヲ飼育シ以前投棄セラレタル鶏糞ハ堆肥ニ加フルノ結
果金肥使用量ヲ多少減シ得ルニ至リタリト云フ

二、同組合ノ特色

(イ) 農家經營法 農家ノ疲弊困憊ニ陥ルハ高價ナル肥料ヲ多量ニ購入シ無効ニ消費スルニアリトシ組合長ハ其ノ
所要施肥量ヲ考査シ以外ノ肥料ヲ費消セムトスルモ賢却セザル方法ヲ採リ且一定ノ樣式ニ依ル農家ヲ計簿及
農業日誌ヲ配付シ野人會ナルモノヲ組織シテ各耕作前刈調査ヲナシ田區ニ於ケル實地試驗ヲ行ヒ且ツ勞力ノ
分配ヲ適當ナラシメ併セテ勤儉ノ美風ヲ養成スルコトニ努メツ、アリ而シテ明治四十年前ト現今ト金肥消
費高ヲ比較スルニ其ノ購入高壹千餘圓ヲ減スルニ至レリト實ニ大ナリト謂フベシ

(ロ) 風紀ノ改良

冠婚葬祭等ニ就テハ從來種々ノ弊害アリシモ會葬者ヲ制限シテ費用ト時間トヲ節約シ總テノ會
合ニ酒肴ヲ供セサルコトトシ葬式ニハ會葬者名簿ヲ備ヘ會葬者ハ之ニ氏名ヲ記入シ歸宅スル故施主ハ會葬者
ニ響應ノ費用ヲ節スルト同時ニ以前ノ如ク手傳名義ノ下ニ葬送スルニアラサルヲ以テ全部禮服ヲ着用シ却テ
盛ナル葬儀ヲ執行スルヲ得ルニ至レリ

(ハ) 衛生上ノ施設

健康保持ノ爲組合ニ於テ主治醫ヲ依囑シ置キ組合員一人一ヶ月金五錢宛ノ醫療貯金ヲ年二回
ニ出金セシメ此時醫師ハ每半期分ノ往診料藥價等一切ノ明細表ヲ組合ニ提出シ組合ハ病名調査ヲナシ花柳病
患者ヲ除キ支拂スルノ方法ナルヲ以テ青年ハ花柳病患者タルヲ恥チ漸次風紀モ改善セラレタリト而シテ全組
合員五十六戸(四百人)ニ對スル一ヶ年ノ醫料ハ貳百圓乃至貳百五十圓位ナリト云フ此ノ貯金ハ利子ヲ附セス
過不足ハ組合ノ利益計算ト共通ナルヲ以テ組合員ハ發病ノ初期ニ於テ直ニ醫療ヲ請フヲ以テ全治モ隨テ速ナ
リ

同縣山田郡境野村

以上ノ如ク組合長ハ農事ノ獎勵、風紀ノ改良、納稅ニ至ル迄盡力シタル結果創立當時ハ地主六分小作人四分ナリ
シモ現今ハ地主ハ八分五厘ニ増加シ小作人一分五厘ニ減シタリ斯ノ如ク功勞顯著ナルノ故ヲ以テ明治四十四年三
月十日大日本農會伏見總裁宮殿下ヨリ名譽賞狀ヲ下付セラレタリ亦以テ感セサルヲ得サルナリ

一、全体ノ概況

(イ) 位置、戶口、沿革 本村ハ山田郡役所々在地タル桐生町ヨリ東南二十九町ノ所ニ在リ現住七百五十七戸四千

四百七十九人舊旗下ノ所領ニシテ村内三領主アリキ町村制施行當時村内二派ニ分レ軋轢歎ムコトナカリシモ明治二十四年前村長野邊三左氏舉ケラレテ其職ニ就クヤ村民一般ニ對シ協同一致ノ必要ナル旨ヲ諭シ自ラ二宮式實踐躬行ヲ以テ衆ヲ率エタリシカハ村民モ其ノ誠意ニ感シ從來ノ不和モ全ク其ノ跡ヲ絶ツニ至リ相共ニ力ヲ戮セ村治ノ整善ヲ圖ルニ至レリ

ロ) 本村ノ物産中農産ハ耕地僅ニ二百町歩(山林原野ナシ)ニ過キサルヲ以テ米二千餘石麥類千六百石ノ生産ナルカ機業地ナルヲ以テ織元二十餘戸ノ製作スル織物年産額六七十万圓ニ上リ村民女子ノ多クハ賃織業ニ従事シ男子ハ之ヲ補助シ傍ヲ撚糸業ヲ爲シ居レリ

二、公職其ノ他ノ機關

村長(有給)高田菊一郎氏ハ福島縣人ナルカ元稅務署長ヲ奉職シ同地ニ緣故アリシヲ以テ大正四年八月前村長病氣退職ノ後ヲ襲キ就職シタルモ當時納稅成績稍々不良ニ陥リタルモ努力ノ結果之ヲ矯正シ現今ニ至レリ外助役(有給)一人收入役一人書記四人ナルカ助役ハ十四年勤續書記ノ内一人ハ十八年勤續者アリテ何レモ克ク村長ヲ補佐シ待遇トシテハ退職給與金條例ノ設ケアリ議員ハ拾貳名ニシテ前年度迄實費辨償ノ規程ナカリシモ本年度ヨリ豫算ニ(一回二十五錢)計上セシモ實際ノ支出ナシ又出張等ノ場合モ旅費日當ヲ請求スル者ナシ選舉ニ際シテモ競爭等事例ナシ區長七名(七字)ノ下ニ二十六組ニ分テテ各組伍長一人宛(三ヶ年交替)ヲ置キ之ト同數ノ農區委員、納稅委員、衛生委員、父兄惣代ノ職ヲ置キ(内一二ノ職ヲ兼スル者アリ)協力村治ニ盡瘁スルノ美風アリ

三、納稅ニ關スル施設ト負擔ノ輕重

從來村民ノ多クハ滯納ノ弊久シキ故前村長ハ之ヲ矯正セントシテ明治三十七年督促手數料條例ヲ村會ニ提案シタルニ該條例ノ設定ハ將來滯納アルヲ豫期スルモノニシテ加之軍國多事ノ今日斯カル條例ヲ設クルハ寧ロ一村ノ恥辱ナリトシ議員ノ全部ハ之ヲ却テ當局者ト力ヲ戮セ必ス滯納ノ事實ナカラシムルコトヲ期シ直ニ納稅組合七箇ヲ設ケ村民全部ヲ組合員トシ銳意皆納ニ努メタルノ結果積年ノ弊習ヲ一掃スルニ至リ國縣村稅ニ至ル迄完納ノ成績ヲ收メツ、アルモ別ニ獎勵金交付等ノ規程ナシ、村稅ノ負擔ハ直接國稅少キ爲メ總額九千餘圓ノ内戶數割附加稅七千七百圓ナルガ資力ノ上位ニアル者ニ重ク下級者ニ輕ク負擔スルノ美風アリテ等級三十九等ニ分

チ最高七百圓最下四十六錢ニシテ一戸平均十圓二十九錢六厘ニ當レリ

四、教化事業ノ施設

本村ノ普通教育ハ機業地ナルガ故女子ノ就學頗ル少カリシモ前村長深ク之ヲ憂ヒ巡回父兄會ナルモノヲ設ケ毎年二回之ヲ開催シ專ラ就學督勵ニ努メ更ニ明治三十九年以來村内ヲ數十組ニ分テ各組ヨリ父兄惣代ヲ選出セシメ毎月一回惣代會ヲ開キ小學校長、村長、駐在巡查、學務委員、學校醫等皆之ニ出席シ以テ學校ト家庭トノ聯絡ヲ圖リシ爲好成績ヲ見ルニ至リ現今ニテハ就學歩合九九人六分出席歩合尋常科ハ九七人三七高等科九八、八二ニシテ縣内ニ卓越スルニ至レリト云フ

イ) 通信教育ハ本村ノ施設ニ係ルモノナシト雖モ郡ノ施設トシテ毎年一回講師出張ノ上講演幻燈會ヲ開催シ居レリ

ロ) 補習教育ハ實業補習學校ノ設置ナキモ毎年十二月ヨリ翌年三月迄五ヶ月間學校、會社、寺、神社等五ヶ所ニ夜學會ヲ開キ尋常若シクハ高等科卒業後徵兵適齡迄ノ者ヲ收容シ教育シツ、アルガ現在ハ百數十名ノ生徒アリ青年會ハ村長自ラ會長ニ任シ小學校長ヲ副會長トシ村内ヲ九部ニ分テ會員總數四百餘人ニシテ一人一ヶ月金壹錢宛ノ會費ヲ徵收シツ、アルモ實際集合スルモノハ貳百餘人ニ過ギズ之ガ施設事業トシテハ毎年入學者ノ優遇法トシテ軍服贈呈規定ヲ設ケ合格以外ノ壯丁一人金壹圓宛ヲ出金シテ入營者ニ正服壹着(參圓五十錢位ノモノ)ヲ贈リ入營ニ際シ神前ニ奉告祭ヲ行フヲ例トセリ

ハ) 明治四十三年ヨリ養老會ヲ設ケ七十七才以上ノ高齢者ヲ以テ組織シ毎年一回五月五日慰安會ヲ開クヲ例トシ同時ニ小學校、軍人分會、青年會ノ聯合大運動會ヲ催シ琵琶、琴、義太夫等ノ余興ヲ觀覽セシメ老人ニ對シテハ中食、並、座蒲團、草履、瀬戸焼ノ肉叩キ等ヲ給シ外ニ新加入ノ老人ニハ紀念寫眞一枚宛ヲ配付スルモノナリ而シテ之ガ經費ハ毎戸十二錢宛ノ寄附ヲ集メ(總額百餘圓)一切ノ世話役ハ父兄惣代之ヲ擔任スルモノナリ

五、産業ニ關スル施設事業

イ) 農作業ノ改良漸次行ハレ別ニ米麥品評會ヲ開催シ審査員六名之ヲ擔任シテ數年間實施シツ、アリ其他種子ノ

鹽水撰等行ハレリ

(ロ) 副業ハ賃機業尤モ村内全般ニ亘リ之ニ從事シ殆ンド正業ニ近キモノナルヲ以テ別ニ獎勵スルノ余地ナシ養蠶ハ盛ナリシモ前年絲價下落ノ爲減少シタル傾キアリ

(ハ) 産業組合ノ設置

本年三月購買組合ヲ設ケ中産以上ノ者六十四戸ヲ以テ組織シ出資五十圓ヲ以テ専ラ機業原料品ヲ購入シ供給スル目的ナリト云フ

(ニ) 地主會ノ設置ト全會ノ事業

大正五年五月村地主會ヲ設置シ専ラ地主小作者間ノ親和ヲ圖リ相互ノ福利ヲ増進シ且農事ノ改良發達ヲ期スル爲左ノ事業ヲ行フ

一、米麥品種改良統一

二、耕耘、肥培及收穫物乾燥調製ノ改善

三、産米改良俵裝ノ傳習競技、品評會ノ開催

四、優良ナル小作米麥ノ納入者ニ對シ俵裝代、獎勵米ノ給與

五、農事ニ精勵シ善行アル小作者ノ表彰

外二項

尙同會ニテハ小作者獎勵規約ヲ結ビ米麥検査ニ合格シタル米麥ヲ納入シタル小作人ニ對シ左ノ標準ヲ以テ獎勵金品ヲ給與スルコト但米ハ其年十二月廿五日迄ニ納入シタルモノニ限ル

甲米壹俵四斗入ニ付立米參升

乙米壹俵全

丙米壹俵全

小麥壹俵四斗入ニ付小麥貳升

大麥壹俵五斗入ニ付大麥參升

全 貳升 俵裝料壹俵ニ付金五錢以内

全 壹升

小作米ニ附スル票箋紙ハ地主會ヨリ小作者ニ無償配付ス
凶作災害ノ爲收穫著シク減ジタルトキ程度ニ應ジ減額ス
米麥ノ容量ハ規定ノ外、乘トシテ參合ヲ入レシム

若シ不合格米麥ヲ納ムル場合ハ共ニ三升以上ヲ増加セシム小作ハ通常地主六分小作者四分ノ割合ナリト云フ

モ本縣ヨリ稍々高キニ在ルモ能ク納期日ヲ怠ラズ皆納スルヲ常トスルハ斯カル施設事業與テ力アルモノト信ス

六、村是制定ノ有無

村是トシテ制定シタルモノナケレドモ前村長ノ意思ヲ襲キ基本財産ノ増殖ヲ以テ村是トシ其他各區ノ父兄惣代

幹旋ノ下ニ冠婚葬祭ノ費用ヲ節シテ學校基本財産中へ寄附スル毎年貳百圓以上アリ

(イ) 村基本財産ノ狀況

現金貳千五百貳拾五圓

國庫債券價額壹万貳千五百圓

農工銀行株券價額六百貳拾五圓

宅地原野四反八步

(ロ) 學校基本財産ノ狀況

現金參百貳拾六圓

國庫債券價額參千圓

農工銀行株券價額參拾五圓

以上ハ本村概況ナルガ納稅ノ成績普通教育ノ成績顯著ナルヲ以テ明治四十三年二月内務省ノ表彰ヲ受ケタリ
今回視察シタル各所ノ優良團體トナレルハ何レモ大同小異ニシテ理事者ノ努力ト被治者ノ共同一致トカ其ノ大因ヲ爲スモノニシテ視察時間(一ヶ所二三時間)ノ短キニ不拘大ニ視察員ヲシテ感セシメリ

視察報告

岐阜縣惠那郡蛭川村

河内郡雀宮村助役 山崎正次郎

一一八

一、全体概況

蛭川村ハ岐阜縣惠那郡ノ西北隅ニ位置シ北ニ二ツ森西ニ笠置山ノ二山峙チ其連亘セル山脈ニヨリテ三面ヲ圍繞セラルル東北ハ本郡福岡村加茂郡黒川村ニ接シ西ハ加茂郡蘇原村及本郡中野及笠置村ニ接シ南ハ木曾川ヲ隔テ、本郡大井町ト相對シ東西ニ里南北三里面積六方里ニ達ス地勢東西北ノ村界ハ一般ニ土地高ク漸次村ノ中央ニ向テ傾斜シ南方ハ低ク開放ス其低部緩斜ノ地ニ村落ヲ形成シ標高千三百ニ及ベリ村ノ中央ヨリ大井停車場ニ達スル里程二里貳十町ナリ戸數五百人口三千二百六十人男一六四三民有土地總反別三千三町二反六畝十八步田二百十九町五反四畝一步畑八二町三反五畝貳拾一步宅地十八町八反五畝貳拾六步山林二千五百四十四町九反七畝貳拾四步原野十八町八反一畝十一步保安林百五十町七反五畝貳拾四步池沼十貳步一戸當リ反別六反一畝五步一人當リ九畝貳拾步企業ハ普通農業ヲ主トシ副業トシテ養蠶及林業ニ從フ、重要物産ハ米(四千六十石)麥(二千三百九十七石)薪炭材木齒蠶種其他工産物等ナリ民情質朴ニシテ公共心ニ富ミ會テ紛議ヲ醸シタルコトナク輯睦和協ノ美風ハ翕然トシテ全村ニ興リ舉民恰モ一家ノ如ク民力モ亦年ト共ニ漸次増進シツ、アルヲ見ル

二、町村發達原因

村ニ篤志家アリ奥田正道ト曰フ氏ハ舊家ニシテ篤學盛徳ノ君子ニシテ公共心ニ富ム夙ニ報徳教信者トシテ一村ノ景仰スル處タリ明治二十五年報徳社ト稱スルモノヲ創立シテ道義ノ講究ヲ開始シ越テ明治二十七年ニ至リ安弘見報徳社ヲ結成シ推サレテ社長トナル之レヨリ先キ町村制實施ノ際選バレテ村長トナルヤ専ラ自治ノ經營ニ一村ノ和合風教ノ進善ニ努力シ更ニ村治ノ方針トシテ教育勸業ノ二項目ヲ定メ以テ村民ノ歸嚮スル處ヲ明カニシ勤續十年各方面ニ向テ施措計畫共ニ其宜敷ヲ得茲ニ村治發展ノ端ヲ開キタリ爾後當局交迭アル毎ニ能ク其人ヲ得順次前任者ノ方針ヲ繼承シテ更ニ有利ノ細目ヲ定メ事ニ當テ勉勵最モ力メタルハ蓋シ他町村ノ好參考トス

ベシ要スルニ蛭川村ヲシテ今日ノ治績ヲ舉ゲシメタルノ原因ハ不文ノ中自ラ一定ノ村是ヲ立テ三十年來終始一貫ノ方針ヲ變更セズ村民相一致シテ之レヲ實踐シタル結果ニ外ナラズ

二、理事者ノ努力

村長桃井英次郎氏ハ本年四月舉ゲラレテ現職ニ就ク性温厚篤實ニシテ人望高ク郷黨ノ尊敬厚シ助役田口久夫氏ハ明治二十三年書記トナリ三十一年稅務屬ニ轉ジ三十四年再ビ書記トナリ三十五年助役ニ舉ゲラレ大正二年村長就職大正六年四月再ビ助役トナリ爾來勤續今日ニ至ル事務ニ從フ事前後通ジテ二十有八年精勵能ク其職ヲ竭シ常ニ事瑣末ノ微不至ル迄注意周到ニシテ諸般ノ事務克ク整理セラル又巡回講話ヲ開始シ村長ト交代各區ニ出張シ夜間適宜ノ場所ニ戸主ハ勿論老幼婦女子ニ至ル迄多數集合セシメ村民ヲシテ常ニ恪守ス可キ要項ヲ懇篤說示スル等如何ニ用意ノ周密ナルカヲ窺フニ足ル其他收入役以下吏員ニ在リテモ何レモ其人ヲ得事務ノ練達勤勉ニシテ忠實克ク事務ニ服シ村民ニ接スルコト亦懇切ナリ是レヲ以テ何レモ信賴頗ル厚シト

三、町村吏員

1 吏員數 八名
村長助役收入役各一名 書記三人 技手一人
村長報酬一五〇圓 助役報酬二四〇圓 書記平均十二圓五十錢 收入役月額一三圓
2 其他待遇方法トシテハ隱退料條例 一時金給與條例アリ六十才以上ニ至リ退職ノ場合ハ退隱料六十歳以下ニテ退職ノ場合ハ一時金ヲ給與スル方法ナリ

四、町村會議員

1 議員數 十二人 一區一人 待遇法實費一日金四十錢
議員選舉ハ選舉期前豫選會ヲ開キ其人選ヲ定メ本人ニ交渉シ承諾ヲ得テ選舉ス故ニ競争ナク極メテ平穩ナリト村會議員ハ村内十二區各一名ノ配置ナリ何レモ穩健ナル村内ノ有力者資産家ニシテ村會ノ議事ハ極メテ平穩ニシテ理事者トノ間亦能ク融和シ會テ論議ニ宜リタルコトナク談笑ノ間ニ議了スルヲ常トス去レハ大正五年度村費豫算議定會ノ如キ本年七月十日一日ノ會期ヲ以テ村會ヲ召集シ即日閉會セリ

一一九

五、事務處理方法 法令例規ノ改廢加除ハ一ヶ月毎ニ之レヲ行ヒ一々改廢年月日ヲ欄外ニ記載シ沿革ヲ明瞭ナラシム臺帳原簿ハ種別毎ニ用器ヲ區別シ用器ニハ内容簿冊ノ名稱ヲ記載シ散逸ヲ防キ檢索ニ便シ其重要ナルモノハ倉庫内ニ藏置シ日常必要ニ應ジ事務室ニ移シ處理濟ノ上ハ直チニ元ノ位置ニ復シ秩序井然暗中ト雖モ尙能ク檢簿シ得ルノ整頓ヲナス書類保存方法ハ書類ハ永年一種五年二種ニ區分シ一々目錄ヲ付シ編綴シテ容器ニ納メ更ニ纏メテ之レヲ倉庫内ニ格納ス容器ニハ書類ノ名稱保存年限ヲ付記シ所在ヲ明ニシ戶籍兵事土地出納ニ關スルモノハ特ニ保管シ注意シ非常ノ場合ニ容易ニ移送シ得ル如ク赤紙ヲ貼付シアリ未決書類整理方法日常ノ事務ニ就テハ即日處理ノ方針ヲ探リ若シ其日ニ處理シ難キ場合ハ村長ニ申告シ未決書類綴ニ編綴シ毎日村長ノ查閱ヲ經テ延滞ナカラシムコトヲ期シ居レリ

文書收受方法 收受文書ハ書類ノ種別性質ヲ查察シ助役ニ於テ之レヲ各主任ヘ配布シ主人處理案ヲ作製シテ助役ヲ經村長ニ提示シ決裁ヲ經テ發送ス一般事務ニ就テハ處務ノ規程ニ依リ之レヲ勵行シ殊ニ村民ノ願屆書ノ如キハ出來得ル限リ吏員ニ於テ作製シ事務ノ簡捷ト便宜トヲ圖リツ、アリ

報告期限ニ關スル注意方法 報告統計其他官署ヘノ申報ハ常ニ最モ留意シテ嚴重ニ其期日ヲ守リ定期報告物ハ階上ノ一隅ニ名稱期日ヲ月毎ニ小札ニ記載之レヲ揭示シ各係競フテ其期ニ後レザランコトニカム又最モ至難トスル人口統計年齡別表ノ如キハ別ニ生年別一覽簿ヲ調製シ置キ之レニ村總人員ヲ生年月日順ニ男女別ニ登錄シ異動アル毎ニ一々加除ヲ怠ラズ之レヲ調査ノ資料トナスヲ以テ數時間ニシテ正確ナル計數ヲ求ムルコトヲ得セシム其他徵兵適齡者國民兵役ノ編入種痘定期ニアルモノ又ハ學齡調査ニモ利用セラレテ便宜實ニ大ナルモノアリ是實ニ吏員研究ノ餘ニ案出セラレタルモノニシテ如何ニ事務ニ心切ニ用意ノ周到ナルカ以テ一端ヲ窺フニ足ル

六、豫算 一金壹万三千七百貳拾貳圓 歲入總豫算高 金壹万九千九百九十六圓 經常部總豫算高 金三千六百貳拾六圓 臨時部總豫算高 合計金壹万三千七百貳拾貳圓

二 負擔ノ輕重 戶數五百戶、小村ニシテ一萬三千七百貳拾貳圓ノ經費負擔ハ一見過重ナルガ如キモ今歲入ノ財源ヲ見ルニ財產ノ收入國縣稅交付金縣郡補助金ニテ其七分ヲ補ヘ八百九十九圓ノ教育費土木費ノ指定寄付

全ク村稅ニ賦課セラル、額ハ三千九百九十四圓ナリ内地租營業所得ハ制限率縣稅工業雜種稅附加稅ハ課率三十五歩戶數別ハ一戶平均五圓八十一錢ナルヲ以テ民資澤々タル村民ノ負擔トシテ決シテ重シトナサズ

三 増減ノ趨勢 本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比スルニ七百五十五圓ノ減額ヲ示セリ之レ經常費ニ於テ千六百七十三圓ヲ増シ臨時費ニ於テ二千四百二十八圓減額シタルニ因ルモノニシテ此程度ノ増減ハ施設事業關係上以後數年間ハ繰返サルベシ然レドモ本村ハ殖林事業ノ完成ト基本財產造成トニヨリ全ク無村稅ニ至ルベシ

七 納稅成績ハ頗ル佳良ニシテ國縣稅ニ關シ會テ滯納報告ヲ爲シタルコトナク村稅モ亦指定ノ期日ニ完納シ敢テ國縣稅ト輕重スルノ弊毫モナシ之レ等ノ良習慣ハ特殊ノ督勵ニ基キタルモノニアラズト雖モ巡回講話納稅豫告等當局者注意ト村民ノ納稅ヲ重スル精神トハ能ク此美風ヲ馴致セシナリ

勤儉貯蓄蛭川村勤儉貯蓄組合アリ明治三十七年五月十日設立ニシテ明治四十六年四月迄滿十ヶ年ノ期間ナリシガ滿期ト同時ニ更ニ大正三年ヨリ同十三年迄繼續積立ヲナス事トシ爾後確實ニ實行シツ、アリ本組合ハ勤儉ヲ獎勵シ奢侈ヲ戒シメ餘業ノ共勵其他風紀ノ改善等社會教化ニ益スル所少ナカラス積立ノ方法ハ最少ヲ十錢トシ各分限ニ應ジ一等ヨリ四十等迄ニテ數等級ニ準ジ各分限ヲ定メ組合員毎月交代集金ス組合員四百四十六人ニシテ貯金高三千二百一圓四錢五厘ニ達セリ其他團體貯金トシテ

青年會員百四十人 貯金額五百六十六圓二十四錢五厘

在郷軍人會員六十人 貯金額百〇一圓三十錢五厘

安弘見報德社百四十人 貯金額五千四百四十圓九十二錢二厘

婦人會員二百六十四人 貯金高一千七百十圓六十二錢

小學校生徒三百七十七人 同 一千八百八十九圓六十八錢四厘

八、基本財產造成及管理ノ狀況

收益財產土地田二反一畝二十歩畑八畝十二歩宅地一反歩山林八百二町五反〇二十四歩原野二反二畝二十五歩保
安林百五十町七反五畝十三歩現金七千二百圓八十七錢六厘 蓄積
村基本財產蓄積條例ヲ設定シ明治四十四年ヨリ三十三年間即大正三十二年迄ニ四萬圓ニ達セシムル見込ヲ以テ

毎年約八百圓又小學校基本財産ハ基金收入ヲ以テ教育費支辨シ得ルニ至ルノ程度トシテ毎年約八百圓ノ蓄積ヲ實行シ現ニ八千三百五十七圓ニ達セリ

管理狀況現金ハ有價證券株券ヲ購入シ又ハ郵便貯金銀行預金トシテ潤殖ス

收益財産村有林ハ實測面積千五百町步ニ達スト雖モ町村制施行以前既ニ濫伐ノ弊ニ陥リ荒廢シタルヲ以テ當時保護規約ヲ設ケ爾來之レガ恢復ニ努メタルモ未ダ其收益ハ微々タルヲ以テ明治十八年ニ至リ本山林ノ施業確定シ造林條例ヲ設ケ以テ植林事業ニ着手ス其計畫ノ大要ハ全面積ノ内八百町步ヲ造林シ其他ヲ赤松及雜木ノ混合林トシテ天然更新トナス而シテ造林ハ前後二十ケ年間ヲ一期トシ毎年二十町步ツ、ノ杉檜ヲ植栽シ之レガ造林費ハ現在立木ノ全部ヲ二十ケ年間ニ伐採シ其賣却代金ヲ以テ第一期費用ニ充テ殘餘金ハ基本財産トシテ蓄積シ之レガ利息及間伐代金ヲ以テ第二期費用ニ充當スルコトトセリ本事業遂行ノ爲特ニ技術員一名ヲ常設シ監督セシム而シテ同三十八年ヨリ着々豫定ノ計畫ヲ實行シ既ニ造林ヲ了シタルモノ二百六十町步強ニ達ス之レガ育成良好ニシテ本業完成シテ伐期ニ至ラバ實ニ數百萬ノ價值アル基本財産ヲ有スル計算ナリトス

十、教化事業ニ關スル施設 小學校

蛭川村立蛭川尋常高等小學校 一 尋常小學校 一 分教場 一 學級數 一一

教員 一二人 內正教員 七 准教員 一 代用 四

就學步合 男九九、三一 計九九五八、出席步合 男九五、五八 計九五、五八

經費四〇二二圓 一戸平均八圓 村費對教育費步合四割

教員給本科正教員月平均二十二圓 代用十三圓三十三錢 准教員平均九圓

教員住宅二、校地一、七、一六坪 教室坪數三九五坪

1 通俗教育 年一回通俗教育講演會ヲ開催ス

2 補習教育(青年會等)

實業ニ從事シ又ハ從事セントスルモノニ須要ナル智識技能ヲ授クルト同時ニ普通教育ノ補習ヲ目的トシ農業補習學校ヲ村內四ヶ所ニ分置ス一ハ併置校ニ一ハ分教場ニ外二ヶハ區ノ集合所ニ附設ス組織ハ男子部女子部ニ區

別シ女子部ハ併置校ニ附設修業年限ヲ三ケ年トシ小學校卒業ノモノヲ入學セシム

期間 自四月一日ヲ一期トシ 自十一月十五日ヲ二期トス

教授時間 男ハ夜學ニシテ一週二夜(其外大祭祝日休業日)午後七時開始女ハ每日午前九時ヨリ午後四時迄トス

教科目 男子部ハ國語算術農業ヲ科シ

女子部ハ修身國語家事裁縫農業ヲ科ス

男女ヲ通ジ三ケ年間ハ義務教育トシテ必ズ就學セシム夫レ以上ハ研究科トシテ教授ス

生徒數男一〇六人 女四六人 出席步合 男七四、七二 (大正五年度事實)

教員 六人 兼任 女六 給料年平均十四、五〇〇

經費 三〇八圓 授業料一ケ月十錢

就學督促ノ方法ハ小學校卒業シテ廢學セシモノ、人名ヲ調査シ之レヲ青年會ニ移牒シ區監督各戸訪問就學獎勵出席督勵モ青年會ニ於テ專ラ之レニ任ジ等閑ニ付スルコトナシト

青年會ハ村一團ノ組織ニシテ總裁一、會長一、副會長一、幹事四、區監督一二、ヲ置キ年一回總會ヲ開キ毎月一回部落會ヲ開ク會員ハ常ニ品位ヲ高尚ニセンコトヲ期シ人格ヲ養成シテ一致團結ノ美風ヲ保持シ一ニ公德ヲ重シ自治ノ發達ヲ謀リ誠意誠心ヲ旨トシ勤儉力行ノ風ヲ馴致スルニ勉ム本會ハ基本財産ノ蓄積七百五十七圓五十一錢二厘又青年會員トシテ勤儉ノ餘資ヲ蓄積シタルモノ百四十八人ニシテ其額五百六十六圓二十四錢五厘ニ達シ尙競フテ實行増殖ニカメツ、アリ本會ハ補習教育ノ施設其宜敷ニ適シ成績優良ノ廉ヲ以テ明治四十四年五月廿七日文部大臣ヨリ表彰セララル

村立濟美圖書館アリ明治四十三年十一月一日村表彰紀念トシ小學校地内ニ設立セラレタルモノナリ建坪十三坪五合工費六百圓館ノ經費年額八十圓圖書部數七六二、冊數一、八二五ニシテ小學校長之レヲ監督シ一日平均七人ノ讀者アリト云フ其他巡回文庫アリ各部會ヘ回付シ閱覽セシム其他教育勸語戊申詔書ノ聖旨ヲ體シ婦人ノ智德勤儉ノ美風ヲ修養スルコトヲ目的トスル婦人會アリ現在會員四百五十三ニシテ會員ノ貯金千七百十圓アリ青年會ノ事業トシテ毎年四月十五日敬老會(七十歳以上ノ老齡)ヲ開催シ酒肴ヲ呈シ餘興トシテ俄芝居ヲ行ヒ娛樂

ニ供シ紀念トシテ座蒲團ヲ寄贈ス

一、公衆衛生ニ關スル施設

村ニ衛生組合アリ毎年村内ヲ通ジ春秋二期ニ大清潔法ヲ行ヒトラホーム檢診ハ全村ヲ通ジテ之レヲ勵行シ村醫二人ヲ置キ出日ノ手當ヲ給シ豫防救治ニ從事セシム然レドモ根絶スルニ至ラズ現患者人口百ニ對シ一人強ナリ又村醫村吏員協力シテ巡回講話會ヲ開催シ衛生思想ノ涵養ニカム

2 上下水ノ設備ナシ

3 傳染病豫防ニ關スル施設

隔離舎ハ明治三十二年十二月十日建築工費千三百九圓六十七錢敷地坪數三反三畝二十七步病室三十五坪事務室十三坪五合消却室九坪屍室二坪燒却室二坪十五棟ニシテ内外ノ設備共ニ整頓ス傳染病豫防ニ關シテハ村民ヲ集メ豫防ニ關スル心得ヲ諭シ患者隱蔽ノ危險ナルコトヲ知ラシムル等専ラ公衆衛生ノ思想ヲ向上セシメタル結果村民常ニ衛生上ノ注意怠ラズ明治二十九年以來全ク病跡ヲ絶チ病舎ノ設置アリト雖モ之レヲ利用スルニ至ラズ是レ蓋シ村當局者衛生組合ノ指導宜敷ト村民衛生ヲ重ズルニ至リタルトノ賜ナラズンバアラズ

一、産米ニ關スル施設 農事改良特ニ産米改良ノ狀況

農事ノ改良蠶業ノ發達造林植樹ノ獎勵ハ本村ニ於ケル重要ナル必行事項ニシテ三十年來繼續實行シ來リタルモノナリ明治三十六年農業補習學校ヲ開キ農業上ノ智識ヲ授ケ村農會ノ施設ト相待テ米麥種子ノ交換稻ノ正條植ヲ獎勵シ農事講習會農事試驗場ヲ設ケテ試作ヲ爲シ其成績ヲ知ラシメ綠肥間作ヲ獎勵シ或ハ肥料ノ共同購入ヲ行ヒ經濟ノ圓滿ヲ圖リ農産物品評會ヲ開催シ競争努力ノ念ヲ喚起シ馬耕競技會ヲ開キテ整地改良ヲ促シ産米改良ニ就テハ此地未ダ米檢制度行ハレサルヲ以テ適期刈取り乾燥調製ニ至ル迄極力指導ニ任ジ或ハ小作米品評會ヲ開催シ賞ヲ擬シ當業者ノ注意ヲ喚起獎勵ニ力メ以テ品位ヲ向上シ市場ノ信用ヲ高ムル等甚ダ至リ去レバ年ヲ逐テ漸次改良ノ緒ニ就キ是一度村内ニ入ラバ田畑ノ光景自ラ目ヲ新ニスルアリ

2 殖林概況 造林植樹及保護ニ就テハ當局ノ最モ苦心セル處ナリ私有林ノ地積モ亦甚ダ廣大ニシテ實測面積實ニ千五百町歩ト稱ス村有林ニ在リテハ基本財産管理經營ノ部ニ於テ其狀況ヲ詳説セシ如ク大規模ノ造林計畫ヲ

確立シ着々之レヲ實行シ私有林ニ就テモ村有林經營ニ準ジ増殖ヲ獎勵シ一面保護方法ヲ定メテ濫伐ノ弊ヲ矯正シ苗木ハ村ヨリ之レヲ交付シ強制的ニ殖樹セシメ村民又一一致シテ之レガ實行ニ怠ラズ漸次理想的植樹行ハルレバ翁齡タル美林年一年ニ増加シ村有林ト共ニ伐期ニ至ラバ收入莫大ニシテ村ノ至福實ニ羨ム可キナリ

3 副業獎勵ノ概況

就中蠶業ヲ主トシ蠶業研究會桑園各種ノ試驗ヲ實行シ蠶種ノ共同購入ヨリ桑園施設改良等専ラ普及發達ニ力メタル結果今日ニ至リテハ漸ク盛ニナリ養蠶戶數春蠶二〇五戸掃立枚數モ著シク増加シ收購一千七百〇七石價格九万二千五百四十二圓蠶種一萬九千〇六枚秋蠶三一三戸三六枚價格八千七百二十圓ニシテ益々發展シツ、アリ其他副産物ノ重ナルモノヲ舉グレバ養鶏二千二百七十二圓林産物木材一万一千九百四十六圓、薪炭八千圓菌類一千八十圓木炭一万〇八百圓養魚千五百三十七圓工産物一万八千二百九十九圓ナリト

4 産業組合會社ノ狀況

蛭川購買生産販賣組合アリ明治四十一年四月ノ創立ニ係リ前村長瀨顯秋三郎氏組合長タリ出資總額一万二千五百圓ニシテ産業用品生計用品ノ購買生産物ノ受入又ハ委託販賣ヲナシ或ハ産業上必須ノ資ヲ授ケテ農産ノ改良進歩ヲ圖リ一面ニハ勤儉力行ノ實ヲ舉ゲ餘資蓄積ノ美風ヲ起シ延テ一般ニ共同ノ利益甚大ナルコトヲ會得セシムル等社界教化ニ資スル處少ナカラズ

交通 交通便否ガ産業開發ニ至大ノ關係ヲ有スルコト言フ俟タズ村ハ至處山岳起伏スルアリテ交通極メテ不便ナリシカ故ニ土木事業トシテ道路改修ニ最モ重キヲ置キ努力ヲ致セリ之レヲ以テ改修及修繕ニ要スル費用巨額ニ上リ村民ノ負擔ハ實ニ輕カラザリト雖モ明治三十一年以來數萬圓ノ工費ヲ投ジテ奥戸渡街道黒川街道其他耕作道ニ至ル迄漸次改修、橋梁ノ架設及修理ヲ完全ニ施行シ大正五年度ニハ千三百圓ノ經費ヲ以テ加茂街道ノ改修架橋工事ヲ起シ完成スル等常ニ注意ヲ怠ラズ今ヤ交通機關殆ンド整備ノ域ニ達シ村内各部車輛ノ通ゼザル處ナキニ至レリ

5 地主小作人ノ關係

兩者間極メテ圓滿ニシテ會テ風波ノ起リシコトナシト今如何ニ融和シ居ルカ左ニ一例ヲ紹介セン

選米及小作人獎勵法トシテ青年會之レガ主催トナリ年々小作米品評會ヲ開催セラルルヤ地主競フテ之レニ出品シ受賞者ヘハ更ニ地主ヨリ副賞ヲ與ヘ授與式後出品物ヲ賣却シテ酒肴ヲ調ヘ小作人ヲ招シテ大ニ歡待シ娛樂ヲ與ヘ或ハ獻酬ノ間ニ農事改良上ノ談話ヲ交換シ意志ノ疏通ヲ圖リ又小作人側ニ於テモ日ヲ期シテ地主ヲ招キ優待シ之レニ報ユルヲ例トス

十三、其他特種ノ施設。感化救濟ニ關スル施設 著シキモノナシ
娛樂ニ關スル施設 村ノ中央ニ一棟ノ娛樂場アリ有志寄付ヲ以テ建築セラレタルモノ今ハ村有營造物トシテ監理シアルモ修繕費ハ有志寄付ヲ以テ支辨シツ、アリ而シテ用途ハ演劇年四回其他ハ演武會兵士ノ送迎會場等ニ充ツ

自治思想ノ養成部落間ノ融和其他ノ施設 著シキ施設ナシト雖モ明治三十六年ヨリ毎年一月、七月、夜間若シクハ晝間巡回講演ヲ開催シ村勢ノ一般豫算内容ノ開示村民トシテ恪守ス可キ事項ヲ懇篤説示ニ勉ム

十四、町村是調査及實施ノ概 本村ニハ村是ノ制定ナシト云フ

十五、農會事業

農會長 一 副會長 一(現助役) 評議員 六 技手 一
經費四百四十七圓 內村費補助八〇圓
事業トシテハ害虫驅除獎勵 米麥品種ノ改良原種栽培普及種子ノ交換正條植、獎勵肥料共同購入農事講習會ヲ開催シ農事智識ノ普及ヲ圖リ農事試驗場ヲ設ケ試作ヲナシ其成績ヲ知ラシム其他農產物品評會ヲ開催シテ競爭努力ノ念ヲ喚起獎勵ニ力メ只管農事ノ改良ニ餘念ナシ本村ハ田畑共ニ馬耕行ハル是レ村農會ガ數回馬耕競技會ヲ開催シ盛ニ之レヲ獎勵セル結果ナリト

三重縣阿山郡玉瀧村

一、全体ノ概況

玉瀧村ハ三重縣阿山郡ニ屬シ關西線ノ佐那具驛ヨリ北方ヘ約三里ノ地點ニアリ山巒四圍ニ連亘シ聚落點級別ニ

一 寰ヲ有ス純然タル農村ナリ戸數五百四十三戸人口三千〇二十人面積千三百三十五町四反八畝一步田三百七十八町一反二畝十七步畑六十五町六反六畝步宅地三十四町九反步山林原野七百七十町八反六畝池沼二十五町四畝十七步外六十町八反八畝二十一歩ノ國有林アリ重要物産米工產物種油伊賀燒陶器林產物薪炭香茸製茶等ニシテ企業ハ普通農業ヲ主トシ副業トシテ養蠶木炭製造、陶器製造ニ従事ス民俗敦厚ニシテ共同ノ念厚ク質素勤勉ニシテ貯蓄心ニ富ム常ニ融然トシテ村民一家ノ如ク輯睦ノ狀實ニ擲ス可シ
村ノ組織ハ五人組制度ノ遺風ニヨリ十戸乃至十五戸ヲ以テ一組トシ二組乃至四組ヲ合シテ一農區トシ更ニ數農區ヲ合シテ一大字ヲ成ス即チ三大字十二農區四十四組トス大字ニ區長ヲ置キ農區ニ委員ヲ置キ組ニ組頭ヲ置キ補佐機關タラシム此機關ノ委員ハ常ニ勵精シテ村治ヲ維持ス組ハ吉凶共ニ相頼リ相扶クルモノニシテ風紀ノ維持就學ノ督勵農事共勵納稅衛生組合產業組合勤儉貯蓄等皆此組合ヲ基礎トシ穩和ニシテ而カモ有効ナル社會的制裁ハ自然ニ人心ヲ感化遷善セシム

二、町村發達ノ原因

前村長木津慶次郎氏ガ村長ニ就職セラレテヨリ一村ノ面目次第ニ改マリ内務大臣ヨリ表彰サル、ノ名譽ヲ得ルニ至リシナリ氏ハ町村制施行ノ際書記トナリ收入役助役ヲ經テ村長トナリ村務ニ服スルコト二十有四年職ニ忠實ナルノ常人ノ能ク模倣シ得ル處ニアラス頭腦亦明晰頗ル創設ノ才ニ富ム上ニ多年ノ修熟ヲ經テ瑣末ノ微事ニ至ル迄殆ント注意ノ致ラサルナク土木衛生勸業教育勤儉貯蓄、產業組合、銀行等一トシテ氏ノ畫策ニ基カサルナク殊ニ生産、消費ヲ調査シテ村是ヲ定メ村民ノ歸嚮スル處ヲ明ニシ之レニ向テ實踐躬行シ村有志又公共事業ノ爲メニ自己ノ利害ヲ顧ミス之レニ奔走盡力シ村民モ亦共同一致能ク勤勞シタル如キハ以テ本村發達ノ原因タラズンバアラズ木津氏ハ現ニ玉瀧銀行頭取農會長ノ現職ニ在リ本村中心人物トシテ尊敬セラレ
2 理事者ノ努力 村長岩島龜次郎氏ハ前職ノ遺緒ヲ繼承シ勵精力ヲ事務ノ整理ト村政ノ發展トニ致シ平素勤儉己ヲ持シ部民ヲ統率シテ指揮常ニ宜敷ヲ失ハス又助役内保鹿次郎氏ハ書記收入役ヲ經テ助役ニ擧ケラレ今日ニ至リタルモノニテ勤續十七年多年ノ經歷事務ニ練達耐能ニシテ能ク補佐ノ任ヲ完フシ其他ノ吏員モ何レモ十年以上ノ勤續者ニシテ事務ニ精通勤勉ニシテ協力一致事務ノ整頓ヲ期シ成績殊ニ優良ヲ示セリ内保助役ハ市町村

吏員獎勵規定ニヨリ三重縣ヨリ金三十圓賞與表彰收入役ハ縣農會ヨリ特別表功狀並ニ目錄物品授與ト統計事務
精勵シタル功績ニヨリ銀側時計一ヶ贈與市町村吏員獎勵規程ニヨリ三重縣金三十圓賞與其他書記磯夫ハ市町村
吏員獎勵規定ニヨリ三重縣ヨリ金二十圓賞與何レモ自治功勞者ナリ

3 村治ニ對スル意見 自治經營ノ方針タル村是確定シタルヲ以テ之レニ向テ實踐シ勤儉治産ヲ旨トシ智識技能
ノ發達ヲ期シ學校教育補習教育ノ力ニヨリ堅實ナル村民ヲ作り最モ必要ナル勤勞ノ美風ヲ維持セントス

三、村吏員 六人

村長年報酬貳百圓 助役百六拾圓 收入役月十四圓五十錢 書記三人 平均月十四圓五十錢

待遇ノ方法トシテ有給吏員給料支給規則アリ收入役書記ヲ通ジ初任十級九圓九級十圓八級十一圓七級十二圓六
級十三圓五級十四圓四級十五圓三級十六圓二級十八圓一級二十圓ヲ昇給スルノ外他ニ待遇方法設ケナシ

四、町村會議員

議員數 十二人 待遇方法 一人一日四十錢

議員ハ時間ヲ勵行シ皆能ク出勤ス會議ハ極メテ平穩ニシテ何レモ忠實ニ村政ヲ顧慮シ深ク當局ヲ信シ輯睦協贊
スルヲ常トシ會テ議論ニ涉リシコトナシト

五、事務處理方法 イ書類整理法令規ノ整理

法令規ノ編纂井然トシテ秩序アリ一令ノ發布改廢アル毎ニ其都度加除訂正シ敢テ怠ルコトナシ日常施務ニ要
スル書類ハ毎部毎ニ書類ニ收メ置キ事務處理ニ當リ事務室ニ搬出シテ處辨シ退場ノ際ハ倉庫内ニ藏メ執務時間
以外ニハ事務室ト雖モ一モ書類ノ存在スルコトナシ

臺帳原簿ノ整頓凡テ簿冊ハ一々藏置箱ニ納メ名稱番號ヲ付記シテ所在ヲ明ニシ其簡易ナルモノハ事務室内ニ重
要ナルモノハ倉庫内ニ格納シ秩序井然簿冊ノ紛失ヲ見ルカ如キコトナシ

書類保存方法 完結シタル文書類ハ各主任ニ於テ編纂シ索引ヲ付シ一種永年二種五年一年ニ分チ之レヲ倉庫ニ
格納シ其所在ハ目錄ニヨリテ何人ト雖モ直チニ之レヲ搜索スルコトヲ得セシム

二、未決書類ノ整理方法 即日處理ノ方針ヲ恪守シ夜更ニ至ルモ受付タル書類ハ必ス其日ニ結了セシムルヲ以テ

未決書類殆ンドナシト

執務方法 文書收受方法

來翰ハ村長之レヲ受付一々其性質ヲ鑑別シテ各主任ヘ受付各主人ハ處理案ヲ作り之レヲ村長ニ提出村長ヨリ更
ニ主任ヘ回付發送ス又口頭申請處理簿ヲ設ケ簡易ナル事件ハ口頭申請ヲ受理シ處辨シ願屆書ハ多ク吏員ノ手ニ
作製シ人民ノ利便ヲ計リツ、アリ

報告期限ニ關スル注意方法 別ニ新規ノ施設ヲ見ズ只杖立式ノ期限表ヲ揭示シアルニ過キス然レトモ報告統計
事務ハ當局ノ最モ意ヲ用ユル處ニシテ會テ之レカ報告ヲ懲リタルコトナシ統計調查方法ハ小票調査ト巡廻調査
ニシテ各區ニ調査委員ヲ置キ常ニ配布シアル用紙ニ調査事項ヲ記入セシメ之レヲ集計表製ス

六、豫算

歲入

一金八三三九、一〇〇

歲入總豫算高

歲出

一金八壹三四、一〇〇

經常部豫算高

一金 二〇五、〇〇〇

臨時部

計八三三九、一〇〇

負擔輕重 村稅ハ四二四七、〇〇〇地租營業所得稅附加稅率制限極度ヲ以テシ戸數割ハ一戸平均四圓二十錢一
厘等級割外ニ二千八百圓ハ小學校教育費指定寄付ニシテ戸主會ノ申合ニヨリ釀出セラレ地價戸數等強制セサル
ノ美風アリ民資充實セル村民ノ負擔トシテ決シテ重シトセス

増減ノ趨勢 本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比シ一千三百七十五圓二十三錢ノ減額ヲ示セリ本村ハ災害土木費
ノ支出ナキ限リ四五千圓ハ増減ナカルベシ尙大正二十四年ニ至レバ基本財産蓄積二十万ニ達スル計算ナルヲ以
テ利子ノ收入ニヨリ優ニ村費全部ヲ支辨シ餘リアルニ至ルベシ

七、納稅獎勵ニ關スル施設

納稅組合 納稅成績ノ良好ナルハ本村美點ノ一ニシテ即チ町村制實施以來國縣稅ハ勿論村稅ニ至ル迄會テ一人ノ滯納ナク納期內悉ク完納スルヲ例トス納稅ノ施設トシテハ十人組ヲ中心トシ納稅組合規約ヲ定メ協勵セシメ産業組合ト聯絡ヲ取リ納稅金ノ融通ヲ圓滿ナラシメ納稅成績佳良ナルモノヲ推獎ス納稅ノ方法ハ組長之レヲ取

勤儉貯蓄 信用購買販賣組合ト共ニ村民ノ經濟機關トシテ活動シツ、アル玉瀧銀行アリ本行ハ當初日掛一錢月額金三十錢以上ノ貯金又ハ年額一口金五圓掛ノ貯金ヲ勵ミ、實行十年ニシテ蓄積一萬以上ニ達シ漸次利培増殖シ明治三十年ニ至リ此資本ヲ根基トシテ今ノ玉瀧銀行ヲ設立シタルモノナリト云フ去レハ村民ノモノ株主組織ニシテ拂込資金一萬五千圓積立其他準備金三萬三千八百三十七圓又各種預金三十六萬一千五百十二圓其内他村民ノ預金ヲ引去リ本村民ノ預金十七萬八百七十五圓ノ多キニ達シ其他郵便貯金ハ勤勞ノ餘資ヲ預入セシメ大正五年三月現在高一萬二百六十三圓ニ達シ益々増殖シツ、アリ尙戰役行賞賜金及特別資金ハ共濟會ヲ設ケテ之レヲ保管シ現在ノ保存金二萬三千三百三十二圓ニ上リ或ハ有價證券購入村内土地ノ放資等又少ナカラスト云フ

八、基本財産造成及管理狀況

明治三十四年基本財産蓄積例ヲ制定シ更ニ四十二年條例ヲ改正シテ三十年計劃ヲ立テ爾來實行中ナルガ其額積テ三萬九百十七圓ニ達ス而シテ大正六年度基本財産蓄積豫算ハ四千五百九十八圓三十二錢ニシテ其歲入ハ一般會計ヨリ受入金及預金利子公債利子株式配當金貸地料手數料國縣稅交付金ニシテ永續シ得ベキ確實ナル財源ナリ大正二十四年迄ニハ二十萬ノ基本財産ヲ蓄積シ之レニヨリ村ノ經費ハ村稅ニ據ラスシテ支辨スル目的ナリト學校基本財産蓄積額九千二百圓造成方法ハ預金利子公債證書利子其他篤志ノ寄付獎學資金蓄積額五百圓造成ノ方法ハ預金利子其他篤志者祝慶弔祭ノ費ヲ節約シ得タル餘資ノ寄付金罹災救助資金蓄積額四千七百圓造成方法ハ預金利子當該豫算計剩餘金ナリト

其他村有殖林地百二十一町三反四畝十七步學校演習地林三町三反九畝二十七步以上ノ外村有土地建物價格一萬八千六十二圓ナリト

管理ノ狀況 擔保付銀行定期預金 五分利公債 配當金年一割ノ三重縣農工銀行舊新株券 土地田畑宅地山林

九、購入等ニシテ管理利殖ノ方法確實ナリ

九、部落有財産統一方法 部落有財産ハ大正四年ノ統一ニシテ三大字ヲ通シ山林五百町步ナリ然ルニ各所有スル處ノ反別ニ甚シキ懸隔アリ各字ノ主張區々ニシテ一致セス依テ部落全部ノ山林ヲ評價シ價格ヲ定メ最モ多ク所有スル部落ヲ標準トシ小部落ハ山林全部ヲ提供シ不足ハ現金ヲ釀出セシメテ村有ニ移シ統一シ百二十五町ノ基本林ヲ造成シ三百七十五町ハ永遠ニ村有トシ地上權ヲ永久ニ與ヘ殖樹ハ松ヲ植付ケ二十年計畫ニテ完成スルモノナリト

十、教化事業ニ關スル施設

小學校ハ明治三十四年二校ヲ合併シ教授管理ノ方法ヲ統一シ三校舎ヲ一ヶ所ニ新築ス次テ三十八年講堂ヲ建築シ尙四十二年裁縫補習ノ爲メ特別室ヲ建設ス之レニ要セシ費用ハ一萬四千六百圓ニシテ凡テ村民特殊ノ寄付ヲ以テ支辨セリ本村ノ臨時費ハ勿論經常部教育費ノ如キ毎年寄付ノ形式ヲ以テ支辨シ來レリ本年度ノ教育費三千九百四十九圓六十三錢ノ内二千八百圓ハ三大字五百四十三人ヨリ指定寄付ニシテ戶主會ノ申合セニヨリ釀出スルモノナリト此ノ如キハ全ク他ニ類例稀レナル美風トス

就學督勵出席歩合ノ向上ニ就テハ當局ノ最モ留意スル處ニシテ極力獎勵シタル結果明治三十九年以來村ニ一人ノ不就學者ナク出席歩合モ就學百ニ對シ九八、ノ好成绩ヲ示スニ至リ教科目ハ必須科目ノ外男子ノ爲メニハ農業科ヲ設ケ女子ノ爲メニハ裁縫科ヲ(補習科)置キ更ニ手工科ヲ加設シ或ハ兒童園ヲ設ケ果樹園ヲ作リ更ニ農業實習地ヲモ置ケリ學校教員ニアリテモ亦協心戮力シテ能ク其職ニ服シ校外教化ニ關シテモ公平常ニ其意ヲ用キ或ハ暑中休暇ニ低能兒教育ニ從ヒ或ハ青年團夜學ノ教授ニ任シ其他吏員ヲ佐ケテ共ニ村内風教ノ改善ニ盡カスル等其勞少ナカラス

通俗教育 年四回或ハ六回通俗教育講演會ヲ開催シ或ハ講師ヲ聘シ娛樂ヲ加味シ知名ノ士ヲ聘シテ古ノ善行美蹟ヲ説カシメ專ラ忠君愛國共同一致ノ精神ノ涵養ニ勉メ民風作興ヲ計リ其他社會教育トシテ紀念文庫ヲ設置シ圖書雜誌ヲ回覽セシム

補習教育 青年會

青年會ハ明治二十一年始メテ夜學ヲ開始シ漸次若衆組ヲ改善シタルモノニシテ明治四十年八月村團ニ統一ス現在會員百八十六名ニシテ滿二十才迄ヲ修學部ニ編入ス就學部會員ノ爲メニ毎月十日間斷ナク夜學ヲ開キ毎年一回農事講習會ヲ開催ス四十一年事業部ヲ開始シ共同事業トシテ稻田五反步桑園二反七畝步苗圃五畝步殖林三反七畝經營セシメ外ニ本年度ニ於テハ團員ノ管理スル共同苗代八ヶ所反別一町二反七畝採種田二十六ヶ所増收品評會ノ參加田二十一ヶ所ヲ有ス其他義勇團ヲ組織シ摯實剛健ノ氣象ヲ養ヒ公共事業ヲ幫助シテ勤勞ノ美風ト共同精神ヲ涵養セシム現今團員ノ貯金六千四百四十錢又毎年一回事業成績品展覽會ヲ開催シ競争努力ノ念ノ喚起ニ勉ム

處女會ハ現在會員百四十九名裁縫補習科ニ於テ專ラ技藝ヲ授ケ巡回圖書函ヲ設ケテ家庭ニ於ケル讀書ノ便ヲ與ヘ日曜祭日ニハ禮儀作法花茶并ニ簡易ナル料理法ヲ練習セシメ毎月十三日ハ修養日トシテ全員ヲ尋常高等小學校ニ集メ常時家庭ニ於テ研究實行事項ヲ集メテ年二回雜誌ヲ發行シ毎年一回成績展覽會ヲ開催ス

本村教育ノ施設ハ凡テ農業ヲ加味シ力農ヲ獎勵シ子弟ヲシテ專ラ農業ニ親ミ勤勞ニ堪ユル要素ヲ授クルヲ目的トセラル以上ノ事項ハ學校職員村當局ト一致協力シ熱心ニ施設スル處ノモノニシテ其反映ハ着々トシテ善良ノ成績ヲ擧ケテ勤勞ノ風醇厚ノ性ヲ維持スルヲ得

十一、公衆衛生ニ關スル施設

1 衛生思想發達獎勵方法 衛生上ノ施設ハ十人組ヲ中心トシテ村内四十四ノ衛生組合ヲ設ケ各組合ニ組長ヲ置キ隣保相扶ノ習慣ヲ尊重シテ共同警戒ヲシム其他村醫ヲ置キ衛生組合ヲ督勵シ春秋二回ハ勿論臨時ニ清潔法ヲ施行シ時ニ衛生上ノ注意事項ヲ配付シ又ハ衛生講話會ヲ開催シテ衛生思想ヲ涵養シトラホーム豫防救治ニ就テハ村内ニ治療所ヲ設置シテ其治療ヲ強制シ中重症ハ醫師ニ托シテ治療撲滅ニ勉メ其經費ハ凡テ村費支辨ニシテ漸次良好ノ成績ヲ擧ケツ、アリ

2 上下水ノ設備 著シキ設備ナシト雖モ井水ノ設備ハ普通ニシテ清潔ヲ保チ溝渠ハ稍々完全ニ浚渫シアリ

3 傳染病ニ關スル施設 隔離病舎ノ設備アリ然レトモ大正元年以來一名ノ患者ナカリシト云フ之レ一般ニ衛生ニ重キヲ置キ常ニ注意深

キノ致ス處ナルヘシ

十二、産業ニ關スル施設

1 農事改良特ニ産米改良ノ狀況

本村ノ産業ハ明治三十五年設定シタル村是ニ則リ力ヲ農事ノ改良ニ注キ就中稻作ヲ重要ナルモノトシ原種田ヲ設ケ稻作田ヲ設ケテ共同探種ヲ督勵シ以テ品種ノ改善統一ヲ圖リ綠肥ノ栽培ヲ獎メ肥料共同購入共同苗代ノ設置正條植害虫驅除豫防ヲ獎勵シ稻架乾燥ニ重蒸乾ノ普及調製俵裝ノ改良貯穀上ノ注意就中産米改良ニ就テハ特ニ意ヲ用キタリ當村ノ米ハ種類雜駁ニシテ品質劣等價格亦安カリキ是ヲ以テ地主小作人ノ相談會ヲ開キ選種俵裝改良選米ノ獎勵ヲ決議シ實行ニ勉ムルコトセリ選米ノ爲ニハ選米委員(今日ノ検査員)ヲ特設シ置キ一等米ノ審査封箋ヲ付セラル、モノニハ一俵ニ就キ十五錢二等米ニハ十二錢三等米ニハ八錢ヲ與ヘ合格セザリシモノハ地主之レヲ受理セス如此ニシテ産額ノ増加ト共ニ品質ノ向上ヲ計リシ爲メ明治三十五年反當リ一石九斗ナリシモノ今ヤ實行十五年ニシテ反當リ二石四斗ヲ示シ其産米ノ聲價ハ三十五年頃近江米ニ比シ一石實ニ五十錢下位ニアリタルモノ今ヤ近江米ヲ凌駕シ石八十錢乃至一圓高トナリ優良米關取ノ如キハ全國第一位ノ高價ナリト云フ收量ニ於テ品質價格ニ於テ斯カル好成绩ヲ收ムルニ至リタルハ偏ニ農事改良上ノ施設計劃ヲ確適ニ實行シタル効果ナリトス亦産業上ノ改良ト共ニ通路ノ改善ヲナシ自由ニ車馬ヲ通セシメ或ハ水利ニ便シ旱害ノ憂ヲ除カシ爲メ八ヶ所ノ貯水池ヲ作ル等見ル可キモノ少ナカラズ

2 殖林ノ概況 山林ハ林野整理規則ニ基キ殆ント整理ヲ遂ケ天然林ノ保護繁殖ヲ爲スモノ二百二十町步ニシテ輪伐法ヲ設ケ一度ニ荒廢セサル方法ヲ取り造林豫定地百七十町ハ二十ヶ年計劃ヲ以テ着々殖樹ヲ實行シ樹苗ハ松檜樺山橙ニシテ公有個人有共村苗圃ヲ設ケ青年團ヲシテ育成セシメ或ハ縣郡苗圃ヨリ幾多樹苗ノ配付ヲ受ケ植栽シツ、アリ

3 副業獎勵ノ概況 副業ハ主タル農業若シクハ商工業ニ影響ヲ及ハサル程度ニ於テ糞糶ノ製造、經木眞田、檜藤細工、バナマ家禽其産卵其他蕙ノ製造等寸陰ヲ惜テ製作スル副產品ノ産額約一万五千圓ニ達シ蠶業ニ就テハ勞力ノ分配上常ニ普通農事トノ勞働關係ヲ酌量シ副業的ニ及フ限リノ發達ヲ期スルヲ以テ主眼トナセリ春蠶ノ如

キハ必ス稚蠶共同飼育ノ方法ニ依リ蠶具其他必要ノ物品ハ凡テ共同經營トシ購入貯蔵ノ途ヲ講シ或ハ村費ヲ以テ消毒器具ヲ設備シ委員ヲシテ蠶病消毒ヲ勵行シ又蠶具ノ熱氣消毒ハ一區若シクハ一部共同ニ行ヒテ今ヤ漸ク一般ニ之レヲ普及セシメ又山林原野ヲ開墾シテ桑園ヲ造成セシムル等、之レガ改良獎勵ニ怠ルナシ又木炭製造山村ニ於ケル適當ノ副業ニシテ就業戸數七十餘戸生産高約十萬貫ヲ産セリ近年検査ヲ行ヒテ粗製濫造ノ弊ヲ矯シ共同販賣ニ附シ價格ノ向上ニ勉メ居レリ

4 産業組合金融ノ概況 産業組合ハ一村一團ノ無限責任組織ニシテ現住五百四十三戸内永住ノ見込ナキ入寄留者七戸ヲ除キタル外ハ組合員トナリ尙又同居家族中他日獨立ノ生計ヲナサントスル者十五名ヲ加ヘ總數五百五十一名ナリ隣保相助勸勉力行ヲ其精神トス而シテ組合員ハ將來組合事業ノ發展ト共同團結ノ力ニヨリ永久其財產ヲ保護セラレ存立二十ケ年ニシテ二十萬圓ノ資力ヲ増成スル目的ナリトス組合ノ出資及貯金ハ當用産業資本ニ貸付殘餘ハ組合員ノ高利舊債整理ヲ目的トシ長期年賦償還貸付ヲ行ヒ或ハ細農ニ土地所有スル便宜ヲ與ヘ又村内太字ニ共同集積倉庫ヲ設置シ米麥ニヨリ簡易ナル資金ノ融通ヲ爲シ毎月二回米ノ共同販賣ヲ行ヒ又臨時生産品ノ販賣ヲ行ヒ或ハ肥料食糧種子種苗其他必要品ノ共同購入ヲ行ヒ以テ農家經濟ノ調和ヲ計リツ、アリ組合員數五百五十一人 出資口數千八百九十 出資總額三萬七千八百圓己ニ拂込ヲ了シ準備金及特別積立四、八六四、六〇〇貯金現在一萬三千七百四十五圓十六錢九厘産業資金九萬九千八百六十八圓十五錢ニテ貸付現在高五萬六千九百三十三圓七十五錢二厘預ケ金四千二百二十五圓九十八錢四厘販賣價格七萬三千七百二十二圓六十五錢五厘購買價格一萬二千七百七十八圓十錢五厘ノ多額ニ達セリ

5 地主ト小作人關係 小作人ニシテ土地ヲ有セザルモノモ勸勉蓄積ノ實行ニヨリ資力ハ漸次增長シ他町村ニ占有セラレタル土地ヲ買戻シ各自ノ負債モ償却シ生計上餘裕ヲ生ジ來レリ去レハ本村ノ小作又ハ地主兼小作人ト云フ位置ニアルヲ以テ小作料ノ如キ遅クモ期日迄ニハ完済シ非常凶歉ニアラサル限り小作料ノ減免スルヲナク頗ル圓滿ニシテ何等ノ惡感情ヲ認メス親睦益々厚シ是レ殖産アリ恒心アル村農民ノ正目ヲ躍如タラシムルニアラサルナキカ

6 農會事業 村農會ハ三大字ヲ四十五組ニ分チ各一名ノ組頭ヲ置キ更ニ四組又ハ五組ヲ合シテ農區即チ一ツノ

共勵區トシ十二共勵區ニ分チ各一名ノ農事獎勵委員ヲ配置ス該委員ハ専ラ農事指導獎勵ニ任シ一面補助機關タラシムト同時ニ村ノ實行項目ヲ確實ニ勵行セシム

事業トシテハ明治三十五年制定シタル村是ト明治四十二年調査シタル勸業上ノ計劃ヲ基礎トシカテ農事ノ改良ニ注キ原種田ノ設置品種改良ノ統一、家畜ノ飼養堆肥ノ製造綠肥ノ栽培金肥節約肥料共同購入共同苗代ノ設置正條植ノ勵行専ラ長方形密植ヲ指導シ或ハ除草管理害虫驅除豫防督勵ヲ獎勵シ稻架二重莖乾ノ普及調製俵裝ノ改良貯穀上ノ注意産額ノ増加ト共ニ品質ノ向上ヲ計リ其他蠶改良組台稚蠶共同飼育組合事業ヲ指シ蠶業講習屑齒整理講習會ヲ開キ斯業上ノ知識ヲ授ケ又茶園整理製茶ノ改良ヲ獎勵スル等産業改良上ノ施設計劃ヲ適切ニ實行シ頗ル好成绩ヲ收メツ、アリ

一三、其他特種ノ施設 著シキモノナレトモ平素隣保相扶ノ良習慣ヲ維持シ慈善救濟ノ道ヲ開キ救濟ノ資ハ有志金ヲ醸出シ之レニ充テ其他罹災救助資金蓄積條例ヲ設定シ五千圓ノ資金ヲ有シ相當ニ活動シツ、アリ

自治思想ノ養成部落有ノ融和其他ノ施設 毎年度開始前特ニ戸主會ヲ開催シ村治上ニ於ケル一切ノ事柄ヲ説明シ青年會全處女會婦人會ニ對シ村ノ狀況ヲ講話シ共同一致自治ノ觀念ヲ奮起セシメ併セテ矯風シ獎農ヲ圖ルニ在リト今其戸主會ニ於ケル指示事項左ニ記シテ參考ニ資セン

玉瀧村春季戸主總會指示事項

- 一、戸數人口増減説明
- 二、土地ノ現在ト其出入關係
- 三、村費豫算概要
- 四、前年度村費決算
- 五、戸數等級
- 六、基本財産其他ノ財産
- 七、勸業上ノ施設
- 八、教育ニ關スル件
- 九、勤勉貯蓄産業組合
- 一〇、寄附行爲ニ關スル事
- 一一、金圓借入返却ニ關スル事項
- 一二、法規ノ遵守
- 一三、金圓借入返却ニ關スル事項
- 一四、村是調査及實施ノ概況

明治三十三年調査着手シ村是制定ノ端ヲ開キ明治三十四年調査確定シテ三十五年ヨリ實行セリ其稱シテ村是ト云フモ亦新奇ノモノニアラス

一、農作法ヲ改良シテ産額ノ増加ヲ計ル
米ノ現在收量一石九斗ナルヲ品種ノ統一、肥料ノ改良耕耘堆養ノ注意害虫驅除等ニヨリ十二年間ニ二石ニ増收セシムルニアリ

二、米選俵裝ヲ改良シ價格ノ向上ヲ計ル事

乾燥調製ノ改良ニヨリ近江米ト同一ノ價格ニ進メントス調査當時ハ近江米ニ比シ一石五十錢安價ナリシ

三、共同購入ト共同販賣組合ヲ設クル事

生産品ハ共同シテ高價ニ賣却シ日用品ハ精良ノ物品ヲ安價ニ購入シテ農家ノ利益ヲ保護スル事

四、山林ノ整理ヲ完成スル事

開墾造林入會地ヲ區別シ殖林ト天然林保護ヲ爲シ輪伐法ヲ設ケ山林利益ヲ擧ケ並ニ山林ヲ荒廢セシメサルヲ

五、基本財産ヲ造成シテ自治体ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルヲ

基本財産毎年三百圓ヲ蓄積シ二十ヶ年計劃ニテ二万三千三百圓ヲ造成シ村費負擔ヲ輕減セントス

六、餘業ノ種類ヲ選擇スル事

農工ニ及ホサル簡易ノ餘業トシテ麥稈眞田ヲ獎勵シ増業ニヨリテ工賃ノ收入四千五百圓ヲ得ヒシムル事

七、勤勞ヲ進メ蓄積ヲ實行スル事

勤儉貯金ハ日掛一錢貯金ヲ勵行シ二十ヶ年計劃ニテ二万三千四百五十六圓ヲ蓄積シ無資産者ニモ恒産ヲ有セシムルニ在リ

以上此七項ヲ定メタルニ過キス其何レモ實行シ得ヘキモノ、ミヲ選ヒテ勵行シ事ニ當リテ勉勵最モ力メタル結果何レモ豫期以上ノ成績ヲ擧ケタリ

奈良縣生駒郡北倭村

一、全体概況

北倭村ハ奈良縣生駒郡ノ北端ナル山間僻陬ノ地ニ在リ町村制施行ノ際高山鹿畑上、南田原北田原ノ五ヶ村ヲ合シ一村ト成シタルモ大字高山ハ區域廣大ナルヲ以テ六區ニ分チ他ノ四字ヲ合シ十區トナス茶釜ノ特産地トシテ聞ユ東ハ山城北及西ハ河内ニ接シ東西一里二十二町南北二里十八町奈良縣ヲ去ル四里生駒郡役所ヲ去ル三里富雄川其中央ヲ南ニ貫流シ古川モ亦村ノ南端ヲ流下シ木津川ニ入り更ニ天之川アリ北生駒村トノ境ヲ縫フテ淀川ニ合ス各部落ハ其間ニ介在シテ戸數千八十一戸人口五千五百三十四人面積千五百八町一畝十三步田六百八十四町七反三畝步畑七十七町五反八畝五步宅地四十七町八反二畝一步山林六百九十五町五反四畝八步原野二町三反二畝十一步池沼三畝二十五步トス村ハ川ト川トノ間ニ在リト雖モ水害ヲ受クルコトナク却テ旱害アルヲ常トス村ノ機關ハ村長以下吏員、附屬員區惣代十人組頭七十人ニシテ附屬員ハ村長ノ指揮ヲ受ケ組頭ハ附屬員即惣代ノ指揮ニ從ヘ人民ニ對スル通達又ハ諸般ノ調査等總テ此機關ニ依ル重要物産米一万六千石麥三千十一石豆類貳百五十石竹細工手織木綿石材蠶繭養蠶等トス民情質樸ニシテ公共心ニ富ミ洋々タル和氣常ニ村内ニ滿チ舉民恰モ一家ノ如ク民力モ亦年ト共ニ増進シツ、アルヲ見ル

沿革 往古ノ事ハ詳ナラス戰國時代ニ在リテハ土豪高山氏ハ高山村庄田ニ坂上氏ハ北田原ニ居城ヲ構ヘ附近一帶ノ地方ヲ領有セリ江戸幕府時代ニ至リ高山村ハ旗下堀田森兩家ノ混合領地鹿畑村ハ堀田家南田原北田原ノ兩村ハ旗下松平家ノ領地ニシテ上村ハ郡山城主柳澤家ノ領地タリシナリ維新後村治制度ニ幾多ノ變遷アリ明治二十二年自治制實施セラレ、ニ及ヒ高山鹿畑上、南田原北田原ノ五ヶ村ヲ合シ一村トシタルモ大字高山ノ區域廣大ナルヲ以テ六區ニ分チ十區ト成シ現時ノ北倭村始メテ成立セリ

二、町村發達原因 本村ハ明治十六年ノ旱魃ニ際シ稻作多ク枯死ノ慘況ヲ呈シ農民ノ困憊殊ニ甚シク村治亦頗ル紊亂ヲ致セリ殊ニ大字高山ノ如キ區民ハ徒ラニ安逸ヲ貪リ遊惰ニ流レ從來行ハレシ頼母子講ノ如キモ破約者續出シテ是非ヲ法廷ニ訴フルモノ多ク村治ハ益々紛糾シテ殆ント解ク可ラサルニ至レリ爾來年ヲ閱スルコト數年

明治二十二年ニ至リ町村制施行セラル、ヤ村民相議シテ曰ク村治ノ挽回ヲ期センニハ先ツ長老ヲ推舉シテ、村長
 タラシメ吏員議員共ニ相應ジテ内外互ニ相助ケ役場ト村民トヲ打テ一團タラシムルニ在リト大ニ自覺シ各區ニ
 一人ノ惣代ヲ置キ且ツ各字ニハ十戸乃至二十戸ヲ一束トシテ之ヲ垣内ト稱シ組頭一人ヲ置キ諸事ヲ統ベシムル
 コト、セリ其他有力家ハ村長ノ相談役トナリ村治上ノ協議ニ預リ以テ村治ノ圓滿ナル發達ヲ期セリ又明治二十
 三年村是ヲ制定シ村治方針ヲ指示シ以テ村民ノ歸嚮スル處ヲ明ニシ共同一致實行シタル如キ以テ本村發達ノ原
 因タラズンバアラズ明治四十四年優良村トシテ表彰セラレタルモ之レ等ノ理由ニ基クモノナルベシ
 理事者教育家ノ努力 村長杉本久三郎氏ハ明治四十年五月村長ニ舉ケラレ爾來勤績十一年勵精力ヲ事務ノ整理ト
 村勢ノ發展トニ致シ部民ヲ統率指揮常ニ宜敷ヲ失ハス名譽職助役有山正文氏ハ明治二十二年村書記トナリ收入
 役ヲ經テ助役トナリ爾來勤績今日ニ至リタルモノニテ經歷多年事務ニ練達耐能ニシテ能ク補佐ノ任ヲ完フシ信
 任最モ厚シ氏ハ曩ニ學事主任ノ故ヲ以テ文部省ヨリ學事上ノ功勞者ニ擬セラレ金百五十圓ヲ交付セラル、ヤ氏
 ハ直チニ之レヲ貧困兒童ニ對スル保護獎勵基金ニ充テントシ其旨ヲ村ニ申出之レヲ寄付シ爾來年々利子ヲ支出
 シテ保護獎勵ノ途ヲ講セリ又第二小學校長吉川寛治氏ハ就職二十有六年誠意誠心學童教習ノ衝ニ當リテ内ハ設
 備ノ完成ヲ期シ外ハ一村ノ教化ヲ以テ任トナシ當局ト相協力シテ著シキ効績ヲ舉ケ文部省ヨリ教育功勞トシテ
 選奨セラレタルモノ蓋シ偶然ニアラス又現村長モ奈良縣及生駒郡ヨリ教育功勞者トシテ表彰セラレ本村教育ノ
 成績優良ナルハ固ヨリ其功ニ負フ處多シト謂フシベ

三、村吏員

職名	勤	續	俸酬	給料	摘要
村長	自明治四十年五月十一日		年一五〇〇	特別實費二〇〇	
名譽助役	自二十二年三十年		年一三〇〇圓		
有給助役	自明治四十年十一月		年一五六圓		
收入役	自三十二年十四年		月十三圓		
書記	二十一年				戶籍兵事衛生

摘要

書記	十二年	平均
文書	戶籍	平均十一圓
勸業學事議事庶務		
徵稅		月四、〇〇〇
勸業徵稅		年手當二十四圓

待遇方法トシテハ有給吏員ニシテ公務基因傷痍ヲ受ケ若シクハ疾病ニ罹リ又ハ之レニ原因シテ死亡ノ場合ニ療
 治料給助料弔祭遺族扶助料ヲ給シ又傳染病豫防救治ニ從事スル者病毒ニ感シ又ハ死亡シタル場合ニ前同様ノ手
 當ヲ給スル外退職等ノ場合ニ一時給與金又ハ退隱料ノ如キ支給方法ナシ
 四、村會 議員數十八人二級一五人實費年額一人金拾五圓村會ノ狀況村會議員ハ村内ノ有力家ニシテ重任ノ者多
 ク村會ノ議事ハ極メテ平穩理事者トノ間亦能ク融和シ議論ニ涉ラス原案通り可決スルヲ例トス去レバ豫算決算
 ノ如キスラ三日ニ亘リタルコトナク多クハ即日閉會スト云フ

五、事務處理方法

事務分掌。文書係 庶務課 學務係 產業係 會計係トス
 基帳原簿ノ整理方法。凡テノ簿冊ハ一々藏置箱ニ納メ名稱番號ヲ附記シ所在ヲ明ニシ其管易ナルモノハ事務室
 内ニ重要ナルモノハ倉庫内ニ格納シ頗ル整頓ス
 法令例規ノ整理方法。法令例規ノ編纂井然トシテ秩序アリ文書ノ處理ハ概ネ即日之レヲ辨スルヲ例トシ嘗テ淹
 滯ノコトナシ令規改廢ノ訂正ハ其都度之レヲ行ヒ其改廢年月日及文書ノ番號ヲ欄外ニ記入シ改廢ヲ明ニシ主任
 認印ヲ捺シ責任ヲ明ニス

書類保存方法 (一、二、三、種)

文書完結セハ首ニ終結文書ヲ置キ順次編綴シ各主任ニ於テ關係級ニ編綴シ索引ヲ付ス
 簿冊ノ編綴文書ノ番號ハ曆年ニ依リ之レヲ處分ス
 會計事務ニ屬スルモノハ會計年度ニヨル 文書ノ保存ハ文書保存規程ニ基キ之レヲ區別シ保存文書目錄簿ニ記

入シ書箱ニ格納ス文書索引用紙永年ハ黑色十年ハ赤色三年ハ紫ノ文字ニ區別シ各文書簿ニ貼付ス
未決書類ノ整理方法 即日處理ノ方針ナルヲ以テ未決書類殆ントナシト若シ二日以上ニ亙ル場合又ハ期限アル
モノニシテ期間中處辨シ難キ文書ハ一々期日ヲ定メテ村長ノ承認ヲ求メ處理スルモノナリトス
執務方法 文書收受方法ハ役場ニ到達セシ文書ハ文書主任之レヲ收受シ直チニ文書件名簿ニ登錄シ村長又ハ助
役ニ提示シ親展書ニシテ秘密ニ屬スルモノハ村長ニ於テ秘密件名簿ニ登錄シ封ノマ、各記名者ニ配布シ受領印
ヲ徵ス現金、金券有價證券ハ其受付簿ニ登記シ現金有價證券ハ收入役ニ物品ハ各主任ニ配付受領印ヲ徵ス官報
縣報其他圖書雜誌ハ收受簿ニ登錄シ村長閱覽ノ上吏員ニ回覽セシム
報告期限ニ關スル注意方法 統計報告原簿ヲ備ヘ卷首ニ期間表ヲ挿入シ置キ期日ニ違ハサランコトニ注意ス統
計調査ニ就テハ主任副主任各一名ノ委員十名補助委員五十名ヲ置キ重要ナル統計ハ總テ各戸別ニ調査ヲ行ヒ人
口ニ關スル統計ハ常ニ小票ヲ製シ置キ男ヲ先キニシ年齡順ニ重ネテ置キ毎月一回加除ヲ行ヒ資料ヲ供ス其ノ利
便大ナルヲ認ム

六、豫算

歳入

1 豫算總額貳万九千五百九十九圓九十九錢貳厘

歳出

貳万四千貳百十九圓九十九錢貳厘

五千貳百九十圓

合計貳万九千五百九十九圓九十九錢貳厘

歳入 總高

經常豫算高

臨時部豫算高

2 負擔ノ輕重
村稅一万八千六百七十七圓四十六錢貳厘ニシテ地租所得稅國稅營業稅ハ制限率ヲ縣稅營業同雜種稅ハ課率金五
十錢戸數割一戸當リ拾三圓五十一錢貳厘其他教育費及基本財產財產造成費各指定寄付此金貳千七百六十五圓ヲ
戶數等級ニヨリ割當テ負擔スルモノナリト云ヘ輕シトスベカラス

3 増減ノ趨勢 本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比スルニ貳百貳十八圓九十六錢八厘ノ減ヲ示セリ本村ハ村治一
般ノ施設殆ント完成ニ近キヲ以テ爾後數年間ハ現狀維持甚タシキ増減ナカルベシ又一方基本財產造成ト共ニ將
來ハ村民ノ負擔輕減スルハ勿論ナリトス

七、納稅ニ關スル施設

1 納稅組合 ナシ然レトモ五人七人申合的ニ交代實行シツ、アリ又役場ニ於テモ村民ノ便利ヲ計リ各人民集會
所へ出張徵收スルヲ例トス本村ハ明治二十二年以來滯納處分ヲ行ヒタルコトナク國、縣、村、稅ヲ通シ必ス納
期內完納スルヲ以テ納稅上ノ施設ハ全ク必要ヲ感セスト本村ハ國稅納付成績佳良ノ故ヲ以テ明治三十九年四十
三年大正三年ノ三回大阪稅務管理局長ヨリ感謝狀ヲ受ク

2 勤儉貯蓄 共同組合貯金貳万貳千貳百八十五圓貳十五錢青年會貯金其他各種團體ノ貯金ヲ合シ計金三万九千七
百六十四圓二十五錢ニ達ス組合規約ノ規定ニヨリ戊申詔書ノ御主意ヲ實行ニ努ム本組合ニ組合長一名理事十名委
員五十名ヲ置キ時ノ村長ヲ組合長トシ大字總代ヲ理事トシ組頭ヲ委員トシ任期ハ各其職ニ附隨シ各名譽職トス

八、基本財產造成及管理ノ狀況

1 町村有 村基本財產ハ明治三十七年度ヨリ向貳拾五年間蓄積ス可ク條例ヲ制定シ蓄積シタルニ創リ爾後毎年
財產收入ノ外金五百圓餘ヲ積立現在公債貳万貳千九百七十圓現金五圓九十錢又
獎學基本金ハ有志寄付其他ニヨリ公債證書百五十七圓現金四百五十圓貳拾參錢八厘ヲ積立六百〇七圓貳拾參錢
八厘ニ達ス又

特別基本財產ハ公債證書千四百四圓現金三十七圓六錢五厘計金四百四十一圓六錢五厘ヲ積立又
小學校基本財產ハ一戸平均玄米二升宛ノ寄付ヲ募集シ毎年四百圓餘ヲ蓄積シ現在公債證書四千六百圓現金三十
圓十五錢計金四千六百三十五圓十五錢ヲ積立タリ

2 管理狀況 保管方法ハ何レモ五十圓迄ハ郵便局ニ預ケ入レ五十圓以上ハ有價證券ヲ買入遞信省ニ保管預ケテ
爲スモノトス

九、部落有財產統一方法 本村ハ明治十六年旱害ヲ被リ農民ノ困憊甚ダシカリシカバ熱議ノ上悉ク賣却シタルヲ

以テ部落有トシテハ一物モナシト

一〇、教化事業ニ關スル施設

教育ノ施設

尋常高等小學校一、尋常小學校三、分教場一、

農業補習學校四(各小學校附設)

女子實業學校一、(外ニ郡立農學校第二分教場一)

修業年限高等二年 小學校尋常科六年 農業補習科本科五年 研究科五年

就學出席督勵ハ吏員小學校長各區會所ニ出張保護者ヲ召喚シ尋常高等ノ別ナク總テ出席セシム可ク請書ヲ徵ス

一般ニ向學心旺盛ニシテ尋常科ハ何レモ就學ノ義務ヲ認メ赤貧孤獨ハ親族隣家ニ又子守等ハ雇主ニ就學ノ義務

ヲ負ハシメ又ハ獎學獎勵會ノ活動ニヨリ學齡全部ノ就學ヲナサシム出席歩合ハ尋常科就學百ニ對スル九十八、

〇一 高等科九九、八二ナリ

高等科ハ尋常科卒業ノ者ハ男子ハ農學校ニ女子ハ實業學校ニ入學スル爲メ生徒數二十人ヲ出デズ極メテ少數ナ

ルヲ以テ單級教授トス

教員俸給高等尋常小學校一學級平均貳十六圓貳拾錢(豫算額)小學校平均一學級貳拾參圓貳拾錢專科正教員十四圓(豫算額)女子實業學校平均三十圓五人 貳拾圓二人 農業補習學校兼務手當トシテ年額貳拾圓十人(豫算額)教育費經常臨時合計一萬千七百九十一圓九十七錢貳厘ニシテ內尋常高等小學校尋常小學校三、一分教場共六千八百五十圓六十七錢貳厘女子實業學校四千貳百〇三圓八十錢農業補習學校四百八十圓青年會補助壹百圓ノ割合ニシテ村費總額ノ四割ナリ内外ノ設備完成實績ノ改善共ニ見ル可キ點少ナカラズ殊ニ學校ハ一村教化ノ中心トナリ兒童教育ノ美ヲ期スル外當局ト協力シ自治ノ改善助長ニ活動スル如キ賞揚ス可キ事ナリ教育費ノ內貳千四百圓及小學校基本財産造成費三百六圓ハ村民ノ指定寄付ニシテ教育ノ爲メニハ金ヲ惜マヌ眞心ヲ示シテ餘リアリ村教育上異様ニ感ズルハ尋常科兒童ニ對シ最高十錢最少五錢ノ授業料ヲ徵スルノ一事ナリ

1 通俗教育 各區人民集會所ニ通俗講演會開催スルノミ

2 補習教育(青年會等)

農業ニ要スル智識ト技能トヲ授クルト同時ニ普通教育ノ補習ヲ爲サシムルヲ以テ目的トシ設立シタル農業補習學校四アリ何レモ小學校附設ニシテ明治三十九年五月ノ設立ナリ修業年限本科五年研究科五年、期間ハ九月十月一月二月三月四月教授ハ毎日二時間トシ始業ハ午後七時トス入學資格ハ年齡十五歲以上學力尋常小學校卒業以上トス授業料ハ徵收セズ出席督勵ハ青年會幹事又ハ之レガ補佐ス可キ組頭專ラ之レニ當リ出席ヲ調査シ缺席者ハ直チニ督勵ヲ加ヘ且ツ一面多數出席シタル者賞與ノ方法習字作文ノ選獎法其他娛樂ノ方法ヲ設ケル等出席ノ督勵ニ努メツ、アリ出席歩合ハ百中九十五人ナリト青年會ハ去ル明治二十九年一區一組十ケノ青年會ヲ組織シ大正五年十一月三日立太子禮式御舉行ノ當日各青年會合併發會式ヲ舉行シ統一シタリ事業トシテハ教育勸業尙武及風紀ノ砥勵奢侈ノ矯正ニ努メ且ツ夜間各自ノ勤勞ヨリ得タル賃錢ヲ以テ共同貯金ヲナシツ、アリ其金高千六百七十六圓八拾壹錢八厘會員四百五十八人、會員ハ十五歲以上貳拾五歲以下ノ男子ヲ以テ組織ス青年ノ指導ニ就テハ或ハ夜學會ヲ開キ智識ノ啓發風紀ノ矯正或ハ幻燈會ヲ催シ或ハ時間ノ勵行ヲ約シ或ハ高齡者ノ優遇ノ道ヲ講ジ或ハ農事試驗場ヲ設ケ農事ノ改良ヲ促シ業餘卒ヘテ道路橋梁ノ修理ニ任ジ以テ共同公共心ノ發揮ニ努ムル等一村教化ノ上ニ益スル處寔ニ少シトセズ

又小學生徒ニ勤儉ノ思想養成ノ目的ヲ以テ去ル明治三十五年以來小學校ニ於テ實行セル生徒ノ貯金ハ實ニ四千貳百圓ニ達セリト

3 特殊教育

特殊教育ノ施設ナシト雖モ年齡既ニ長ジ又ハ家事ノ都合上一ケ年間引續キ出席ヲ許ザル事情アル女子ヲ收容教育ス可キ目的ヲ以テ明治四十四年度ヨリ女子實業學校乙種選科ヲ開始シ教授時間ハ四月一日ヨリ同三十日迄九月一日ヨリ十月三十一日迄二月一日ヨリ三月三十一日迄トシ教科ハ修身裁縫トシ此開始ト共ニ村内ニ無認可裁縫場ノ閉場ヲ命ジ生徒ハ漸次増加ノ傾向ニアリト云フ

十一、公衆衛生ニ關スル施設

1 衛生思想ノ發達獎勵方法

衛生組合 全村住民ヲ以テ組織シ組長一、副組長一、世話掛十名ヲ置キ組合ヲ督シテ春秋二回ノ清潔法ヲ勵行
種痘春季一回之レヲ施行ストラホーム豫防救治ニ就テハ當局ノ最モ留意スル處ニシテ毎年四月十月ノ二回各區
人民集會場ニ現在人員ヲ集メ村醫ヲシテ檢診セシメ全部村費ヲ以テ經費ヲ支出シ中重症ハ村、校、醫ニ治療ヲ托
シ輕症ニハ毎月二回點眼藥ヲ交付シ各家庭ニ於テ治療セシメ學生ニハガーゼヲ交付シ豫防委員七十一名ヲ置キ
實行ヲ督シツ、アリ衛生思想ノ發達ノ方法トシテハ一年一回又ハ二回衛生講話會ヲ開會シ衛生思想ヲ喚起セシム
ル外獎勵方法ナシ

2 上下水ノ設備 著シキモノナシ
3 傳染病豫防ニ關スル施設 隔離病舎一棟アリ
患者四十名ヲ收容シ得ル設備ヲナシ其他醫務用器具ヲ初メ患者取扱上必要ナル器具ヲ設備シ實扶的里亞、血精
藥ハ常ニ役場ニ備ヘアリト又昨大正五年以來傳染病發生セズ爲メニ病舎ヲ開クニ至ラズ之レ一般ニ衛生ヲ重ジ
相互ニ警戒怠ラザル結果ナラン

十二、産業ニ關スル施設

- 1 農事改良特ニ産米改良ノ狀況
 - 一、害蟲驅除二十三名ノ豫防委員ヲ置キ怠リナク豫防ニ從事セシム獎勵トシテ懸賞法アリ
 - 二、綠肥及堆肥ノ改良紫雲英大豆ノ間作ヲ獎勵シ堆肥舎ノ建設ハ坪一圓宛補助ヲ與ヘ獎勵シ堆肥積込切換等ノ實地指導ヲ行フ
 - 三、蠶業稚蠶共同飼育所二十個所ヲ設ケ桑園ニ就テハ村農會ニ於テ接木傳習ヲ行ヒ且ツ秋蠶用ノモノニハ新設一反歩ニ付三圓ノ補助ヲ與ヘ春蠶種ハ村農會ニ於テ製造シ實費拂下ヲナシ村農會ニ貯造器ヲ備ヘ共同貯藏ヲ爲ス秋蠶ハ框製一枚ニ付金二十錢ノ補助ヲ與ヘ女子實業學校ニ對シテハ蠶種ヲ無代交付シ夏期休業中ニ飼育セシメ成績ニヨリ賞品ヲ授ケ以テ普及ヲ企圖ス其他共同苗代組合ヲ設ケ稻種田各農區ニ設置シ種子ヲ供給ス
 - 四、試驗成績應用ノ目的ヲ以テ青年會模範作ヲ設置シ一ヶ所ニ五圓ヲ補助シ又農事試驗場一ヶ所ヲ設置シ稻作ノ試驗ヲ行フ

産米改良ノ狀況 去ル明治二十二年ヲ以テ夙ニ産米組合ヲ組織シ之レガ改良ニ勉メシガ二十八年ニ至リ全縣

下ヲ通セル大和米改良組合ノ成立スルヤ直チニ解約シテ之レニ加盟シ後明治三十三年同業組合法ノ發布ニヨリ該組合廢セラル、ヤ爾來ハ村農會ニテ産米ノ檢査ヲ續行セリ然ルニ會テ三十六年ニ至リ生駒郡農會ノ事業トシテ經營セラル、事トナリシモ三十七八年戰役ノ際之レヲ休止シタリ然レドモ村農會ハ依然トシテ之レガ實行ニ勉メ創始以來幾多ノ變遷ヲ經タルモ間斷ナク續行シテ以テ今日ニ至ル産米ノ改良法トシテハ販出米ニ供ス可キ稻種子ヲ三種ニ限定シ之レガ種田ヲ村農會ニ屬セシメ毎年種選定ヲ爲シ同所ノ親種子ハ之レヲ村内ノ各共同苗代組合ニ供給シ種子ノ改良ヲ企圖シ一面ニハ共同シテ選種貯藏シ採種苗栽培ヲ行ヘ以テ種類ノ統一改善ヲ計レリ生駒郡農會ニ於テハ乾燥調製俵裝等檢査ヲ行ヒ以テ其等級ヲ査定シ村農會ハ乃チ郡ノ檢査ニ依リ優良ト決定シタルモノニ限り更ニ特別調製ヲ爲シテ之レヲ倉庫ニ積入レ以テ一手販賣ノ任ニ當レリ此倉入ニ就テモ先ヅ一定ノ標準ヲ設ケ各自居宅ニ於テ下調ヲナシ容量ノ檢査ヲ爲ス是レヲ庭檢査ト云フ此ノ如クニシテ倉入シタル後一手販賣ノ方法ニヨリ賣リ渡サル、モノ毎年三千石ノ多キヲ占ム村ノ産米ハ品質佳良ナルヲ以テ酒造米ニ需用多ク隣邑ニ比シ常ニ上値ヲ示セリト

2 植林概況 植林ニ就テハ別段ノ施設ナシ

3 副業トシテハ竹細工四万九千六百圓 木綿一万七千五百圓 石材一万四千二百八十圓 蠶業一万六千圓

竹細工中茶釜ハ遠ク嵯峨天皇ノ御宇高山ノ城主大炊介源ノ賴秀ノ弟入道宗御カ初メテ之レヲ作リタルニ起因シ爾來一家相傳ノ秘法トシテ村ノ名産トナリ以テ今日ニ至レリ製造戸數十四戶家族ヲ舉ゲテ業ニ從ヘ職工徒弟ヲ交ユルコトナシ近年海外ニ輸出セラル、モノ多ク其生産額十五万本金額三万ト稱ス

4 産業組合金融ノ狀況

信用組合既設八ヶアリ何レモ明治三十九年ノ設立ニ係リ各自ノ勤勞ヨリ得タル餘資ヲ出資シテ農業資金ノ融通ヲ圖レリ隨テ勤勞ノ美風自ラ一村ニ遍ク常ニ小農ノ需用ニ應ジ遺憾ナカラント期セリ出資總額四万八千八百拾圓積立金八千六百七十一圓貯金五千二百八十三圓貸付金五万三千百十四圓組合人員八百五十四人口數三千九

百二口ナリ

5 地主ト小作人トノ關係 農家戸數八百七十六戸自作農二百八十四戸自作兼小作農四百三十一戸小作農百六十一戸ノ割合ニシテ小作料ハ地主ト小作人ト利益ノ分配殆ンド中バシ勤勞ノ美風夙ニ行ハレ各自ノ經濟圓滿ナルヲ以テ小作料ヲ延滞スルモノナク又地主ハ能ク小作人ヲ保護シ一面獎勵法ヲ設ケテ農事ノ改良ヲ促シ利益ノ増進ヲ期スル等特ニ意ヲ用ユル處ニシテ一致輯睦ノ美風其間ヨリ馴致セラレ會テ風波ヲ聞カズト云フ

6 農會事業

農會長一、副會長一、評議員七、技手二名、囑托技手二名、書記一、農事獎勵委員五、(小學校長ヲ以テ之レニ充ツ)農事督勵委員長一(大字總代)農事督勵委員七十名(組頭)

經費三、三〇四、四二〇歳入 縣郡農會補助金ノ外村費補助金貳百圓。地價割地租壹圓ニ付拾貳錢 戸數割一人平均九十錢九厘等級割事業トシテハ飼牛組合ヲ設置シ専ラ飼牛ノ衛生及畜牛ノ殖畜ニ努メ現在六百頭ニ達ス。産米改良ニ就テハ乾燥調製俵造ヲ監督シ小作人ニハ(生産検査員ハ縣)特ニ村農會ニ於テ賞與ノ道ヲ講ジ獎勵シ價格數年前ニ比シ約一石ニ對シ一、五〇〇以上ヲ高メタリ産米及成繭ハ共同販賣トシ産米ハ優良ナル一種類ニ限リ各農區ノ設ケタル共同倉庫ニ庭檢査及倉入檢査ヲ行ヒ合格米ヲ納付シ濶境伏見等ノ酒造家ハ一手販賣ヲナシ價格一圓ヲ高メタリ繭ハ春秋二回農會ニ集メ一手販賣ヲ行ヒ販賣米ニ小作米ヲ納入シタルモノニハ差額ノ半額ヲ地主ヨリ小作人ニ與フルモノナリト。地主會組織アリ小作人ノ保護農事ノ改良農村道徳ノ喚起ニ努メ小作人ニシテ衆多ノ模範タルベキモノニ毎年賞狀及賞品ヲ授與ス。肥料配合組合ハ各區ニ一組アリ十個ノ組合ヲ設ケ原料ヲ共同購入シ合理的配合ヲ行ヒ夏冬作ニ對シ施肥ヲ行フ又小學校生徒一坪農業及一畝養蠶尋常四年以上ノ生徒ニ種子ヲ交付シ各自宅ニテ之レヲ爲サシメ村農會ヨリ成績ヲ審査シ賞品ヲ授ケ農業思想ノ普及ニ資シ小作米米俵。其他稻立毛桑園品評會ヲ開催シ其成績ヲ審査シ賞品ヲ與フ等指導獎勵共ニ徹底的ニシテ普通農事改良ニ關スル事項ノ普及セル實ニ地方稀ニ觀ル所ナリ蓋シ一村輯睦シテ公私共ニ精勵己マス自ラ習風ヲ馴致シテ能ク其ノ美ヲ發揚セルハ他町村ノ參考トシ模範トス可キモノナリ

一三、其他特種ノ施設

1 感化救濟ニ關スル施設

感化救濟ニ關スル村ノ施設ナシ恤救ニ就テハ隣保互惠ノ主義ニ依リ小部落團體乃チ垣内ニ於テ救助シ能ハザルモノハ區ニ於テ救助シ向及バザル場合ハ村ニ於テ救助ス事トナセリ然レモ今ヤ公ケノ救助ヲ受クルモノ絶無ナリト
2 娛樂ニ關スル施設 毎年四月二十八日招魂社ノ祭典ニ多數ノ餘興ヲ行ヒ秋季ニ於テ毎年三回尙美會各支會ニ於テ講話又ハ活動寫眞等種々興行ヲ爲シ一般ノ觀覽ニ供ス

3 自治思想養成部落間ノ融和其他ノ施設ナシ

十四、町村是調査及實施ノ概況

本村是調査ハ明治三十三年全國八ヶ所ノ模範地ノ一ニ撰定セラレ調査確定シ明治三十六年七月一日第五回勸業博覽會へ出品シ審査ノ成績ニヨリ褒狀ヲ授與セラレ爾來致々トシテ之レガ實行ニ勉メテヨリ漸次舊時ノ陋習ヲ脱シ力行ノ氣自ラ興リ堅實敦厚ノ習俗ヲ成スニ至レリ其民心ノ啓發利導ニ益シタル處甚大ナリ今夫レ大正六年ノ現況ニ基キ調査當時ニ比シ副業生産力七万五千三百七十八圓ヲ増加シ村民負債一万四千圓ヲ減ジ貯蓄額十三万餘圓ヲ増シ土地所有權六十二町八反七畝二十歩ヲ増シ小作農七十七戸ヲ減ゼリ是皆共同一致事ニ當リ更ニ有利ノ村是ヲモ追加シ一村ノ悉ク之レニ努力シタル賜ナリ

十五、其他村ニ無常講アリ葬儀組合ニシテ三十戸又ハ五十戸ヲ以テ一組合トシ與其他祭具葬衣飲食具等ヲ設備シ組合内ニ死者アル場合ハ組合全部葬儀ノ事ニ從ヘ極貧ニシテ親族故舊ナキモノト雖モ此組合ニ依リ葬儀ヲ行フ事ヲ得セシメ而シテ組合ハ近年毎年二回集會シ飲食ヲ廢シ換フルニ積立金ヲ爲シ貧困者ニハ香資料ヲ贈リ其費用ヲ扶ケ又ハ各自白米ヲ釀出シテ贈與ノ方法ヲ設ク又尙善會アリ全村民ヲ以テ組織ス事業トシテハ村獨立ノ基礎ヲ鞏固ニシ村民ノ德義ヲ進メ經濟ノ發達ヲ圖リ併セテ濟貧ノ途ヲ講ズル主旨ニ出ヅ夙ニ忠魂社ヲ建設シテ陣歿軍人ヲ合祀シ毎年四月二十八日ヲ以テ例祭ヲ行ヒ且ツ春秋二季ニハ小學校生徒ヲシテ之レヲ參拜セシム殊ニ孝子節婦其他篤志者ヲ表彰スルノ規定ヲ設ケ之レガ受賞者ニハ公私ノ集合ノ席上ニモ其席次ヲ進メシム又村基本財産造成ニ就テモ第一次五千圓第二次一千圓第三次一千圓ヲ募集シ爾後毎年千圓乃至貳千圓ヲ募集シ之レヲ寄付シ以テ財産造成能率ヲ増進スル等民心ノ啓發利導ニ勉ムル所甚大ナリ

優良町村視察調書

今般縣外優良町村新潟縣北蒲原郡川東村外二ヶ町村及ヒ群馬縣山田郡境野村外一ヶ村自治狀況視察ノ命ヲ奉シ七月九日出發シ指定ノ町村視察ヲ遂ケ同月十六日歸着致シ今其視察ノ大要ヲ左ニ錄スルニ何レノ町村モ治績優勝ニシテ自治民育ノ資ニ供スベキモノ多クナリシモ不肖ノ爲メ其要領ヲ網羅記述スルコト能ハザルハ甚ダ遺憾トス爰ニ杜撰ナル調書ヲ以テ復命トシ提出致候也

大正六年八月 日

安蘇郡植野村助役 店 網 米 藏

栃木縣知事 平 塚 廣 義 殿

新潟縣北蒲原郡川東村狀況

(一) 全体ノ概況

- イ 戸數千七百八十八
- ロ 人口六千五百八十四人 内男三千二百五十四人 女三千三百三十人
- ハ 地勢 北蒲原郡ノ東北部ニ位シ飯豐ニ玉子ノ高峰東ニ聳立シ西南ニ加治川アリ廣袤東西一里七町南北二里十六町ニシテ四方里ニ亘ル北東ヨリ西南ニ傾斜ノ地ナリ
- ニ 土地反別三千六百六十二町七反八畝八歩
- 内 田千三百七十四町九反九畝十八歩畑百七町三反七畝十六歩宅地九十二町五反一畝十一歩山林千四百四十五町八反七畝十一歩其他二百三十四町五反四畝廿三歩
- ホ 重要物産 米及白粘土ニシテ米ノ產高二万五千餘石白粘土ノ產高三万圓以上ニ達シ其產地ハ字小戸ニ屬シ其ノ質包含區域無盡藏ニシテ今ヨリ十二、三年前ヨリ發掘シ其用途ハ紙晒石鹼磨粉ノ原料ニシテ盛ニ縣外ニ輸出シ前途頗ル有望ノ產物ナリ

沿革 明治三十四年十一月一日竹俣村板津村大宮村石田村四ヶ村ヲ合併シ川東村ト改稱シ大字ヲ二十二區別シ役場ヲ大字石喜ニ置キ今日ニ至レリ

(二) 村發達ノ原因

村長本間百在門明治四十年三月就職シ以來引續キ其職ニアリテ至誠事ニ膺リ溫容村民ニ接シ村治ニ盡瘁セラレ併セテ村内ニ地價金壹万圓以上ヲ有スル大地主六名アリ之レ等大地主ハ何レモ常ニ當局ト共ニ村治上ノ施設經營諸般ニ付相協力シ一般村民ノ精神修養ニ主トシテ努力シ時々宗教大家ヲ聘シ演說講話會等ヲ開催シ多衆ニ聽講セシメ一般民ノ思想向上ヲ計ラレ亦學業ヲ目的トスル學資乏シキ者ニ對シテハ有志相謀リ學資ヲ融通シ然カモ無利子ニシテ之ガ償却ハ隨時ニナサシメタル篤志家ノ美風アリテ上下一致シ漸次發達シ今ヤ確定シタル村是ノ實行ニ専心努力シ其好果ヲ擧ゲツ、アリ

(三) 村吏員七名 村長ハ明治四十年三月就職助役ハ大正五年就職收入役ハ明治三十年就職其他書記四名ハ何レモ十年以上ノ勤績者ニシテ村長年額報酬二百五十圓助役報酬年額百六十圓收入役月俸金拾五圓書記一人平均月俸拾參圓然シテ退職ノ場合ハ勤勞ニ報ユル一時給與ヲ支給スルコトナリ

(四) 村會議員 定員十八名ニシテ内二名死亡シ現在十六名ニシテ各字ニ配置セラレ之ガ改選ノ場合ハ多年ノ慣習ニテ豫選ヲ以テ定メ而シテ競争等ノコトナシ從テ村會ノ狀況平穩ニシテ本間村長就職以來二日以上ニ涉リ會議ヲ開キタルコトナク凡テ理事者ノ提案ニ贊同シ兩者間克ク融和シ村治上ノ施設經營悉ク相協力シテ行ハル亦議員ノ待遇ハ別段ノ方法ナク出勤日額金四十錢ヲ給スル而已ナリ

參照本村ハ議員中ヨリ互選シ常設委員四名ヲ置キ之ガ理事者ノ諮問機關タリ

(五) 事務處理ノ方法

村長自ラ文書ノ收發及村民願届ノ受付ヲナシ口頭ヲ以テ辨理シ得ルモノハ直ニ決裁シ文書ノ處理ヲ要スルモノハ收發件名簿ト共ニ各係主任ニ廻付シ即日處理セシメ若シ即時辨辦難キモノハ處務規程ニ依テ三日以内ニ之ヲ整理セシメ完結スルトキハ完結印ヲ押捺シテ之ヲ引繼ク故ニ執務ノ秩序整然トシテ一糸亂レズ文書ノ編纂保管等良好ニシテ間然スル所ナシ

(六)豫算 總額一万三千二百八十四圓

內譯 役場費二、八三五圓 會議費三六圓土木費三三〇圓 教育費六、八五三圓三校分及實業補習學校費共傳染病豫防費九二圓火葬場費五〇圓勸業諸費七二二圓警備費二圓基本財産造成費六〇〇圓諸稅及負擔九七九圓神社費三〇圓雜支出五五圓豫備費二五〇圓臨時部學事諸費三〇圓補助費四二〇圓
以上ノ歳出ニ對シ歳入ノ主ナルモノハ戶數割附加稅額六千三百九十圓地租附加稅額四千六百三十九圓計一万二十九圓其他各種通計金一万三千三百八十四圓ニシテ戶數割附加稅ノ如キハ一戶平均五圓ヲ限度トシ以上ハ賦課セズ戶別割賦課標準ニ依レバ地租金二十五圓以上三十圓以内ノモノ平均負擔者ニシテ極貧者ニ至テハ其五十分ノ一負擔ニシテ假令一戶平均額一圓ナルトキハ極貧者ハ負擔額貳錢ノ割合ナリ之ニ反シ地租金千圓ナルモノハ平均戶數三十戶分ヲ負擔スルコト此割合ヲ以テ賦課セルガ故ニ富者ハ重ク貧者ハ極メテ輕ク之レ即チ常ニ富者ニ於テ貧者ヲ救濟保護スルノ意味ヲ以テ標準ヲ設定セラレタルモノ、如シ亦豫算増減趨勢ハ大正五年ヨリ大正六年度ハ減少シタルモ開ハ土木費其他ニ於テ減シタルコトニシテ年次ノ大勢ハ増加ノ傾向ナリ

(七)納稅獎勵ニ關スル施設

村風醇良ナルト村長以下吏員ノ努力ニ依リテ改善セラレ國縣稅ヲ通シ數年間納期日迄ニハ必ス完納ス而シテ徵收方法ハ村內各區ニ於テ取摺メ納稅スルモノ十一ヶ大字吏員出張徵收ヲナスモノ五ヶ大字直接役場へ納付スルモノ四ヶ大字ニシテ各個人自ラ役場へ持參シ納付スルモノニシテ爲メニ收納時期ニハ可及的納稅者ニ便宜ヲ與へ執務時間外ト雖モ之ガ取扱ヲナシ又納稅督勵規程ノ設ケアリテ區長ニ對シテハ相當手當ヲ支給シ一般村民ニハ納稅期日並ニ納金率ヲ豫告シ一方ニ於テハ小學校兒童ニ對シ校長ヨリ納稅ニ關スル注意及納期稅目稅率等ヲ訓話スル等細心之レニ怠ラズ其成績左ノ如シ

各稅共ニ完納者及稅額(大正五年度分)

種目	賦課額		納期末日迄納入歩合	
	延人員	稅額	延人員	納稅歩合
村稅	九、四八〇	一一、〇二一	六七〇	百分ノ百

縣稅	國稅
一〇、五五九	九、一〇八
一八、八五八	二六、一六七
四三〇	一六〇
同	同

(八)基本財産造成及管理狀況

村有畑三反一畝二十八步宅地三百四十八坪山林一町八反二畝三步
現金八千拾壹圓七拾貳錢六厘

基本財産造成ハ大正十四年度迄ニ壹万九千五百八拾八圓ニ達セシムル計劃ヲ以テ第一期トシテ第一期ヲ終レバ更ニ第二期ニ及ブ方針ヲ立テ徐々ニ其ノ増殖ヲ計ルニアリ而シテ現ニ有スル財産ノ管理狀況ハ畑及宅地ノ一部ハ小學校實習園ニ充テ或ハ青年會へ貸付山林ノ如キハ赤松植林ノ目的ヲ以テ相當ニ植付ヲナシ又一部ハ小學校生徒ノ運動場ニ使用シ夫々便宜ト收益ヲ計レリ亦現金ノ過半ハ正確ナル擔保ヲ徵シ貸付シ其他ハ銀行預金及農工銀行債券トシ管理セルコトナリ

(九)部落有財産狀況

各大字ニ若干ノ部落有財産アリシモ元來個人有合体的ノモノニシテ爲ニ統一不可能ナル故方法ヲ講セサルコトナリ

(十)教化事業ニ關スル施設

小學校教育ニ關シ常ニ諸般施設ニ注意シ先ツ小學校ヲ統一ノ目的ヲ以テ設備不完全ナル岡田分教場ハ明治四十二年之ヲ廢止シ村內三校トナシ設備ノ完成ト共ニ村長自ラ不參者ノ督促ニ從事シ從テ兒童ノ就學出席歩合ノ如キモ年々其成績ヲ向上シ亦教員ノ駐在ヲ設ケ通學兒童ノ保護及家庭ト學校トノ連絡ヲ計リ亦青年教育及村風ノ改善等ニ資セントスルノ目的ヲ以テ四ヶ部落ニ教員住宅ヲ設ケ内一ヶ所ハ最遠距離ノ部落ニ駐在セシメ教員ヲシテ常ニ部内ノ教育並ニ風化ニ注意セシメ其狀況ト訓育上ノ施設經營ニ關シ詳細ナル報告ヲ徵シ以テ本村ノ風化ヲ維持シ教育ノ進歩發展ヲ期セリ亦學齡兒童保護會ヲ成申詔書奉戴ノ紀念トシテ組織シ村民中地價金五百圓以上ヲ有スル者ヲ會員トシ其ノ數百九十六人ニシテ毎年會員ヨリ集金スル收入約九十圓而シテ其會員分擔方法ハ

甲乙丙ノ三種中ハ地價金三千圓以上ヲ有スル者及校長トシ會費壹圓トス乙ハ地價金千圓以上ヲ有スル者及正教員トシ會費五拾錢トス丙ハ地價金五百圓以上ヲ有スル者及准教員トシ會費參拾錢トス而シテ毎年四月集金シ此資金ヲ以テ貧困兒童ノ雨具學用品及衣服等ヲ給與シ剩餘金ハ凡テ次年度ニ繰越シ會長タル村長之ヲ管理ス而シテ其給與ヲ爲スニ當リテハ陰ニ保護者ヲ役場ニ招致シ父兄ノ手ヲ經テ兒童ニ與フルガ爲メ兒童ノ自重心ヲ傷ルガ如キコトナク父兄ノ感激實ニ深シト云フ補習教育トシテ女子裁縫補習科ノ設アリ生徒四十五有餘人ニシテ毎年十二月ヨリ翌年三月迄四ヶ月間之ヲ開キ生徒ヨリ料金ヲ徵セズ修得セシメツ、アリ亦青年團ノ組織アリ其團員四百二十名修養機關トシテハ毎月一回日曜日ニ三校ニ於テ學藝講習會ヲ開キ生徒ヲ二種ニ區別シ高等科卒業生ヲ甲組トシ尋常科卒業生ヲ乙組トシ適當ノ教授ヲナシ亦時々名士ヲ聘シテ午前ハ講話午後ハ相撲等堅實ナル娛樂ヲ爲サシムモ兎角缺席勝チノ弊アルヲ以テ之ガ督勵方法トシテ家長ヨリ缺席セザル誓約書ヲ徵ス若シ缺席アルトキニハ其理由ヲ家長ニ尋ネ正當ノ理由ナルヤ否ヤヲ調査シ出席ヲ督促ス爲メ今ヤ出席歩合百人中八十五人ニ達ス而シテ經費ハ村ヨリ四十圓ヲ補助シ其他ハ團員ノ負擔タリ而シテ青年事業ノ主ナルヲ舉クレハ夜學講話共同貯蓄巡回文庫農業講習農藝品評會殖林等ニシテ苟モ一村風紀ノ改善產業獎勵上ニ關スル有利ノ施設ハ幹部設計ノ下ニ之ヲ行ヒ大正三、四年度ニ於テハ村內加治川筋堤防上ニ櫻樹三百八十本(凡テ本間村長ノ出資ニ依ル)ヲ植付ケ亦全村內要所ニ道知留邊ヲ建設シタリ

(七) 公衆衛生ニ關スル施設

公衆衛生ノ施設トシ飲料水供給ノ目的ヲ以テ掘井戸獎勵ヲナシ現ニ新設シタル井戸數百四十ヶ所ヲ算スルニ至ル之レ村長ノ極力獎勵セル結果ニシテ爲メ河水ヲ飲用スルモノ少ナク若シ河水ヲ飲料ニ供スルモノハ煮沸水ヲ用ユルコトニ發達シ從テ傳染病ノ傳播發生ヲ防グニ至大ノ關係アリ亦傳染病院トシテハ隣村タル菅谷村ト共同經營ニシテ本村大字下三光ニアルモ共同經營ノ關係上設備全カラザルハ遺憾トスル處ナリ

(八) 産業ニ關スル施設

イ 本村ノ産米高二万五千石以上ナル米産地ニシテ之ガ改良ニ就キテハ大ニ苦心セラレ現任農會長タル菅得四郎ハ村內唯一ノ資産家ニシテ熱誠其職ヲ盡シ亦技術員トシテハ甲種農學校卒業生ニテ他ニ類ヲ見ザル組織

ナリ從テ之ガ施設經營指導獎勵等ニ付テハ遺憾ナク先ツ産米增收品種改良トシテ水稻ハ全部正條植ヲ勵行シ(標準機ハ六角形ヲ使用ス)品種ハ優良ノモノ十六種類ヲ選ミ之ヲ限度トシ就中名稱龜王ナル種類六分以テ上ニシテ本種ハ米質佳良ニテ亦收量モ多ク本村ニハ産業組合ノ設立アリテ役場構内ニ米券倉庫ヲ設置シ其他地主ノ倉庫村內二十一ヶ所アリ地主會ノ申合セニ依リ組合ヨリ検査員ヲ派出シ検査ヲ行ヒ一等ヨリ四等迄ノ格付ヲ爲シテ其結果一等格付品ニ對シ一俵ニ付金貳拾錢二等ニ金拾五錢三等ニ金拾錢ノ割合ヲ以テ獎勵金ヲ給與シ此方法ヲ執行以來品質改良及調製等ニ注意ヲ拂ヒ漸次成績良好ニ進ミツ、アリ

ロ 産業組合ノ概況 現ニ二組合アリ一ヲ板山購買組合ト稱シ組合員九十三名ニシテ出資金額六百拾八圓一ヲ川東信用購買販賣組合ト稱ス明治四十一年七月創立ニシテ組合員四百四十七名出資額五千八百五拾圓壹口金拾圓ナリ而シテ之レガ創立當時ハ少規模ヲ以テ事業ヲ開始セシモ日ヲ追フテ發達シ翌年ニハ事務室及倉庫ヲ造築シ成績日ニ増シ月ニ進ミ之ガ事業ノ主ナルモノハ肥料及日用品ノ共同購入及産業資金ノ貸付等ニシテ亦共同貯蓄トシテ組合員ノ大半ハ別個ノ方法トシテ納稅貯金出生貯金年賀貯金老年貯金ヲナシ此貯金總額五万二千五百圓ニ達シ納稅貯金ハ毎納期組合ニ於テ代納スル方法ニアリ而シテ各種貯金ノ融通トシ現ニ貸付金三万三千四百七十六圓預ケ金一万二千六百二十九圓ナリ之ガ貸付利子ハ一ヶ年金百圓ニ付七歩五厘亦日歩ハ貳錢貳厘ノ割合ヲ以テ融通シ亦貯金ニ對スル利子ハ一ヶ年六分半ヶ年五分五厘日歩ハ壹錢二厘ノ割合ヲ以テ利子ヲ付スルコトニシテ誠ニ面白キ方法ナリ

ハ 地主ト小作トノ關係 新潟縣ハ一体ニ大地主アリ爲メ財產ノ平均ヲ缺キタル状態ニシテ本村モ之レニ同ジ農家戸數ノ約一分自作農ニシテ自作兼小作農四分以上小作農四分位ノ割合ニシテ不均一ノ關係ヨリ自然小作人ハ地主ヲ尊ヒ亦地主ハ小作人ヲ愛惠シ小作收納ハ期日ヲ豫定シ一勢ニ完納スル習慣ナリ而シテ小作料ハ一反最高一石二斗(地價反金四十圓一耗地)最低五斗(地價反金拾二、三、圓)割合ニシテ良品ヲ納ムルモノニ對シテハ獎勵金ヲ給與シ亦普通米納者ニ對シ食事ヲ給スルモノ多々アリテ小作人ハ納付日ヲ期待シ納ムルセラル、故ニ採納ハ極メテ圓滿ニ完結セラル、コトナリ

ニ 農會事業 本村勸業上ニ關スル施設經營ノ中心トナリ或ハ農業技手ヲ置キ農藝ノ指導者トナシ或ハ各種品

評會ヲ開キ農事園藝ノ獎勵ヲナシ或ハ農事講話會ヲ開キ農事ニ關スル學理ト實際ト應用ヲ計リ亦女子ニ對シ簡易農事講習ヲ行ヒ或ハ米種ノ統一堆肥綠肥ノ獎勵蔬菜早作ノ勸獎牛馬ノ飼育蕃殖ヲ勸誘シ亦害虫驅除等ニハ小學校生徒ヲシテ實行セシメ其賞トシテ農會ヨリ金貳拾圓村ヨリ金拾五圓ヲ賞與シ大ニ其好果ヲ舉ケツ、アリ以上ノ事業ヲナスニ其豫算金七百圓ニシテ金三百圓ハ堆肥舍建設獎勵費トシテ村ヨリ指定補助ニテ其他會費ノ收入方法ハ一戸平均金七錢及地價金百圓ニ對シ金拾參錢五厘ノ割充ヲ收入シ其施設經營等專ラ改善進歩ヲ計ルニアリ

植林ノ概況 本村面積約二分の一ハ林野ニ屬スルヲ以テ植林事業ヲ盛ナラシメン爲メ之ヲ村是トシ個人造林ヲ勸獎シ亦村經營御大典紀念事業トシテ一町三反餘歩ノ山林ヲ買收シ自然林ノ外千五百本ノ赤松ヲ補植シ一ハ水源涵養ニ一ハ村有基本財産ノ造成ニ資スル目的ニアリ

副業獎勵ノ概況 副業ハ養蠶及藁細工クロモジ製造等ニシテ藁細工ノ種類ハ繩俵蓆等ニテ是等ハ冬季積雪中ノ業ニシテ各々精々スルニ止マリ具體的ノ獎勵方法ヲナスニ至ラザルナリ

生産總額大正六年二月現在ニ依ル調査左ノ如シ

總高金三十九萬九千五百圓此一戸當貳百八拾七圓七拾五錢一人當リ四拾六圓貳錢餘內譯農業二十四萬九千三百四十圓蠶業三千七百三拾七圓餘畜產二千七百五十二圓鑛業三萬六千六百圓水產千六百一十一圓工業八千五百圓ナリ

(吉)其他特種ノ施設 村ノ施設トシテ賑恤及獎善ノ爲メ規約ヲ設ケ隣保扶助ノ美風ヲ維持スルニ民育講師ヲ村內宗教家ニ囑托シ毎年數次村民ヲ集メ精神訓育ヲ計リ亦斯民會ナルモノアリ村長之ヲ統率シ村內重立及青年會員小作人等在ユル方面ヲ網羅セル會員組織ノ一團體ニシテ村風ノ改善產業ノ發展ヲ計ルヲ目的トス創立以來其申合事項トシテ必行ヲ期シツ、アルハ

イ 戊申詔書ノ御主意ヲ奉戴シテ行動スルコト

ロ 勤勉ノ習慣ヲ養フコト

ハ 時間ノ勵行ヲナスコト

ニ 農業並ニ副業ノ實益ヲ完全ナラシムコトノ教項ニシテ毎年數次集會シテ講話會ヲ開キ或ハ善行表彰亦ハ古今偉蹟ノ保存等ニ力ヲ盡ス

(凶)村是調査及實施ノ概況

大正二年縣ニ於テ町村是ノ調査及實行ヲ勸獎スルヤ早クモ本間村長ハ村民ニ諮リ縣下四百有餘ノ町村ニ先ンシ直ニ之ニ着手シ適切ナル事項ヲ管拔シ冗長ニ流レザル主意ヲ以テ確立シ之ガ實行方法トシ組合ヲ六十四區ニ別チ各々組長ヲ置キ治績ヲ擧ゲンガ爲メ努力シ其數組合員七名以上二十名トス斯ノ如ク小區域ニ分チタルハ一ニ實行上ノ便宜ニ依ルモノナリ其規約及規程左ノ通り

川東村產業改良實行ニ關スル規程

第一條 產業ニ關スル所定事項實行ノ爲メ實行組合ヲ組織シ併セテ風紀ノ改善ヲ圖リ本村福利及公德ヲ發揚スルモノトス

第二條 實行組合ハ之レヲ六十四區トシ村長指揮監督スルモノトス

第三條 各人民ヨリ委任セラレタル實行委員ヲ以テ組長トシ指導ノ任ニ當ラシム

第四條 村長ハ年二回以上組長ヲ召集シ事業執行ニ關スル打合及指導獎勵上ノ協議ヲナスモノトス

第五條 實行組合ノ活動ニ對シテハ村農會役員、村會議員、區長、重立、青年會、本村在職ノ小學校教員ハ、社掌、僧侶、等之レヲ援助シ實行普及ニ努ムルモノトス

第六條 實行組合ニハ村農會ヨリ年中行事ヲ配布スルヲ以テ實行事項ノ方法ト適期ヲ失セサルコトニカムルモノトス

第七條 實行ニ注意スベキ事項ハ村長又ハ農會長ヨリ通告スルヲ以テ組長ハ組合員ニ布達シ實行ノ完全ヲ圖ルモノトス

第八條 實行組合又ハ組合員ニシテ模範トナルベキモノハ村長ニ於テ之ヲ表彰スルモノトス

川東村產業改良實行組合規約

第一條 本組合ハ大字 第 區實行組合ト稱シ隣保相扶ケ共同一致シテ本村產業ノ改良ヲ實行シ且ツ風紀ノ改

善ヲ圖ルヲ目的トス

第二條 本組合ニ組長一名ヲ置キ本村長ノ指揮ニ從ヒ組合員ヲ督勵スルモノトス

第三條 本組合ハ左ノ事項ヲ實行スルモノトス但組合員ニシテ實行シ能ハサル事情アルトキハ組合員ハ之ヲ援助シ其完了ヲ圖ルモノトス

一 本村ノ米作平均收量ヲ一反歩二石三斗ニ向上セシメル爲メ左ノ事項ヲ實行スルコト

一 耕地整理ヲ實行スルコト

一 農業教育ヲ獎勵スルコト

一 牛馬耕ヲ獎勵スルコト

一 適地ニ紫雲英苜蓿等ノ肥料ヲ栽培シ並ニ裏作ヲ獎勵スルコト

一 堆肥ノ改良ヲ計ルコト

一 病虫害驅除豫防ヲ勵行スルコト

二 宅地畑地殊ニ荒畑ノ利用ニ勉ムルコト

一 桑樹ノ植付ヲナスコト

一 果樹ノ栽培ヲ獎勵スルコト

一 桐樹ノ栽培ヲ獎勵スルコト

一 竹林ヲ造成スルコト

三 殖林ヲ獎勵スルコト

一 伐採跡地ハ充分手入ヲナシ殖林地ハ間伐並ニ整理ヲ怠ラサルコト

四 養蠶ヲ獎勵スルコト

一 桑葉收穫ノ程度ニヨリ可成蠶ヲ飼育スルコト

五 糞細工ヲ獎勵スルコト

一 糞製作品ノ販路ヲ調査シ農閑ノ際ハ副業トシテ一般糞細工ヲナシ共同販賣ヲナスコト

六 牛馬ノ蕃殖ヲ獎勵スルコト

一 牛馬ノ共同購入ヲ獎勵スルコト

一 牛馬ノ生産蕃殖ヲナスコト

七 養鶏ヲ獎勵スルコト

一 可成養鶏ノ放飼ヲ禁止スルコト

一 鶏卵ノ共同販賣ヲ實行スルコト

第四條 本組合ハ風紀ノ改良其他共同相互ノ爲メ左記事項ハ誓テ實踐躬行スルモノトス

一 奢侈ヲ誠メ品性ヲ高ムルコト

一 ケ年ノ收入支出ヲ計算シ各自ノ分度ヲ定ムルコト

冠婚葬祭ノ費用ハ分度ヲ超エサル程度ニ行ヒ節約シタル金額ノ内記念貯金ヲナスコト

二 共同一致公德ヲ重スルコト

共同労働ヲナス場合ハ各々先キニシテ其業ニ從ヒ公共ノ營造物ヲ愛護シ自己ノ利益ノ爲メニ他人ニ害ヲ及ボサザルコト

三 勤勉及節約ノ風ヲ養ヒ貯蓄ヲ勵行スルコト

一 時間ヲ空費セザル爲メ季節ニ依リ始業時間終業時間並ニ休憩時間ヲ申合セ各自確守スルコト

一 華美驕奢ノ風ヲ戒メ衣食住ニ就テノ冗費ヲ節スルコト

一 貯金又ハ積立米ノ申合セヲナシ貯産ノ根基ヲ造リ災害ニ備フルコト

四 時間ノ勵行ヲ期スルコト

一 集會ノ時間ヲ確守スルコト

一 時間ノ尊ブベキコトヲ自覺スルコト

五 衛生ヲ重ンズルコト

一 飲用水ニ汚物ヲ洗ハザルコト

- 一 清潔法ヲ嚴行スルコト
- 一 家具ノ日光消毒ヲ怠ラサルコト
- 六 火災及水災豫防ニ勉ムルコト
- 一 火器ノ取扱ニ注意スルコト
- 一 夜間巡視ヲ怠ラサルコト
- 一 堤防並ニ護岸工事ヲ保護スルコト

第五條 本組合員ハ産業改良實行上ニ關スル意見ノ交換及意志ノ疏通ヲ圖ル目的ヲ以テ毎月一回會合スルモノトス

右規約實行ノ證トシテ左ニ四百名捺印候也

川東村産業實行組規約中實行細目

- 一 菓細工品鶏卵等ノ共同販賣ヲナサントスルモノハ一村ニ生産品ヲ買集メヲナシ販賣スルノ方法ヲ講スルコト
- 一 節約ヲ確守スル方法トシテ左ノ各項ヲ實行スルコト
- 冠婚葬祭ニハ一切引出物ヲ全廢スルコト但佛事ニハ一切酒ヲ用キサルコト
- 一 出產ノ場合ハ親元ヨリ產着ヲ贈ルコトヲ廢スルコト
- 一 諸職人及手間稼人等ニハ一切酒ヲ給セサルコト
- 一 馬ノ皿下ゲヲ全廢スルコト
- 一 節儉ヲ實行シタルトキハ金額ノ十分ノ一以上貯金シ五ヶ年以上据置キヲナスコト
- 一 時間ヲ空費セザル爲メ各組合ニ於テ季節ニ依リ始業時間終業時刻ノ申合セラナスコト但晝休時間ハ壹時間半トス
- 朝、晝夕ノ業務ヲ終ル時刻ヲ報スル爲メ各寺院ニ於テ梵鐘ヲ打チ鳴ラスモノトス
- 一 ケ年中ノ休業日ハ大祭祝日及日曜日トシ更ニ左ノ休日ヲ加フ
- 一月二十五日(奉公人暇取)二月十一、三、四、七、七日間(正月休)三月一四月一五月三日(王子神社祭)五月四

日(川東村招魂祭六月田植休三日八月十四、十五、十六、十七、十七日間(盆休)

其他産土社祭典ハ適宜大字ノ申合セニ依リ休業ス

大祭祝日日曜等二日繼續スルトキハ休業一日トス

(五) 感想

村是制定實行風紀ノ改善青年ノ修養俊才ノ養生實業教育ノ普及進歩産業ノ發達納稅ノ獎勵其他万般ニ涉リ今日ニ至ラシメタルハ本間村長ノ一意専心熱誠ナル多年ノ努力ト村内有志ノ意思克ク一致和合シ尙吏員ノ事務ニ熟練ト忠實等ノ功與リテ力アルハ識者ヲ俟タズシテ明ナリ是ノ趨勢ヲ以テ進マシカ村民ノ福利増進ハ勿論自治優良トシテ全國唯一ノ模範村ト稱賛サル、ノトキ近キニアラント欲ス

新潟縣中蒲原郡七谷村狀況

(一) 全体ノ概況

- イ 戸數六百四十八戸 人口四千三百人
- ロ 地勢四面山岳ヲ圍ミ村内亦七谷ニ亘ル山間ノ地ニシテ土地反別三千八百三十八町有餘歩内田反別四百拾七町歩畑百六拾町歩其他ハ總テ民有山林ナリ
- ハ 重要物産ハ木材ニシテ現ニ殖林計劃于二百町歩内七百町歩ハ杉ヲ殖林シタリ之レニ次クモノハ紙製造ニシテ此一ヶ年生産高五万圓以上ニ達シ冬季積雪中適切ナル業ニシテ夫々獎勵シツ、アリ
- ニ 沿革 山岳圍繞ニシテ一區劃ヲナシ古來七谷ノ郷ナリシヲ明治二十二年四月七谷ニ散在セル十一ヶ村ヲ合併シ七谷村ト改稱シ現在ニ至ル

(二) 村發達ノ原因

七谷ニ散在セル十一ヶ村ヲ合併シ爾來中野村長主トシテ民情ノ統一ヲ計ル目的ノ手段トシテ先ツ七谷ノ交通ヲ便ナラシム爲メ道路開鑿シ而シテ部落の感念一掃シ稍々歩調ノ一致セントナルトキ村内唯一ノ大地主タル資産家鶴巻龜太郎村吏員トナリ村長及助役ノ職ニアルコト前後十九ヶ年其間村治執掌シ専ラ自治思想ノ養成ニ努メ

地方改良發達ニ盡瘁シ大ニ村民ニ自重自覺心ヲ樹エ心理上ニ物質上ニ進化向上セシメ亦現村長小野周平就職十三ケ年間倦怠ナク前者ト均ク至誠事ニ膺リ精勵村治ニ貢獻シ亦現在助役ノ職ニアル鶴巻鶴一郎ハ文學士ニシテ(元鶴巻村長ノ相續人)村長ト協力シ發展ノ方法ヲ立テ村民ニ克ク諭シ克ク語り而シテ漸次言行一致ノ舉ニ出テ益々進歩發展セシ所以ナリ

(三) 村吏員 吏員五名村長助役收入役書記二名ニテ村長ノ報酬年額三百圓助役報酬ハ僅々貳圓收入役月俸拾六圓書記月俸拾六圓五拾錢宛ニシテ有給吏員退職ノ場合ハ一時給與トシ俸給年額四分ノ一ノ割合ヲ以テ支給スルコトナリ

(四) 村會議員 議員定員十四名ニシテ之ガ待遇ハ費用辨償日額金四拾五錢ニシテ議員中二十五年以上勤續者三名ニ對シ銀杯ヲ贈呈シ表彰シタコトナリ

(五) 事務處理ノ方法 分掌ハ庶務財務ト區別シアリシモ之カ取扱ハ吏員少數ノ爲メ互ニ兼務シ村長自ラ文書ノ發收受付ヲナシ收發件名簿ト共ニ主任者ニ廻付シ其處理ヲ滯留セザル様監督シ吏員ハ亦自働的ニ能ク之ヲ整理シ法規類ノ加除文書ノ編綴保存等分類ヲ明ニシ年限ヲ區別シ整然トシテ亂ル、等ノ事ナク既往ノ事項ヲ調査スル必要ノ場合ハ容易ニシテ至便ナリ

(六) 豫算 大正六年度豫算額九千三百六十圓此ノ歲入ノ六分ハ戶數割附加稅ニ於テ徵收シ一戶平均九圓餘ニシテ負擔ハ輕シトセズ而シ教育施設ニ要スル費用ハ漸次増加ノ傾向ニアリ

(七) 納稅狀況 村內ヲ十一區ニ別チ各區長ニ於テ納期毎ニ之ヲ取纏メ而シテ收入役ニ納付シ亦役場所在地附近ハ個人直接納付シ會テ十七、八、ケ年間諸稅ヲ通シ一人ノ未納者ナク完納ヲ告ケ之レ自心ヨリ全ク納稅義務ノ重キヲ悟リタル結果ナリ

(八) 基本財産造成及管理ノ狀況 村有基本財産現在高壹万圓小學校基本財産現在高五千圓及山林二町餘步其他十一ヶ區ノ部落有財産合計山林七百町步アリ基本財産造成方法ハ明治三十六年度ニ於テ蓄積條例ヲ設ケ國縣稅交付金及歲計剩餘金並ニ手數料等ヲ積立テ亦造林上町一反五畝十三步殖林計劃ヲ立テ年々豫算金九拾圓ヲ以テ補植維持ノ方法ヲ執リ經營シ亦

(九) 教化事業ニ關スル施設

小學校基本財産造成トシテ一町六反四畝十九步同様ノ經營ヲナセリ
補習教育ヲ普及センガ爲メ男子壯丁年齡ニ達スル迄ノ者ニ對シ一月中五日十五日ヲ定メ農業補習教授ヲナシ其生徒二百十四、五人ニ達ス亦女子裁縫補習ハ年齡十七歲迄トシ毎月一日ヲ定日トシ其他祭日休日等ニ於テ教授シ其生徒百六十人ニシテ出席歩合宜ク亦從テ成績モ良好ナリシト

(十) 産業ニ關スル施設

イ 本村ノ産米高多カラサリシモ從來乾燥不充分ナルヨリ保存及市場ノ賣買價格ニ於テ面白カラサル關係ヨリ之カ改良ノ須カラク急ナルヲ感シ昨大正五年ヨリ産米検査ヲ執行シ産米調製ノ成果ヲ擧ケ改良ノ實ヲ顯セリ亦副業タル製紙ハ其産額尙ルベカラサル多額ナルカ故夫々獎勵ヲ加ヘ年々産額増加ノ傾向ニアリ
ロ 組合ノ狀況トシテハ縣下有名ナル七谷信用組合ト稱シ明治四十二年九月創立ニシテ既設貯蓄團體ノ事業ヲ繼承シテ改設ス爾來經營其宜シキニ適ヒ銳意之ニ儉素勤勉ノ良習ヲ扶植シ隣保相助ノ美風ヲ涵養シ其他耕作ノ獎勵ニ植林ノ施設ニ抄紙製灰ノ改善ニ克ク地方産業ノ振興刷新ニ協力一致シ大ニ成績ヲ上ケ爲ニ大正元年本縣支會ヨリ亦大正三年中央會ヨリ表彰ヲ受ケ現在組合員五百二十三名ノ多キニ上リ殆ンド全村ヲ網羅シ常ニ多額ノ貯金ヲ有シ資金潤澤綽々トシテ餘裕ヲ示シ亦事務ノ整理帳簿ノ完全シアルハ本組合ノ誇トスル所ナリ

ハ 地主ト小作人關係ハ優良村トシテ恥ザル狀況ニシテ克ク上下相調和シ
參考書 視察人 店 網 米 藏

新		月次		業	諸稅納期	雜	務	節	休	日
月		旬次								
上旬	製紙、製灰、糞細工、ナス	中旬	同上ノ例ニ依ル教育略ス	田租一期	村稅何期	村民小作米買米ノ金納相庭	取極メ信用組合總會	一日新年休	六日小寒	
下旬	同上	同上	同上							

縣中蒲原郡七谷村年中行事		祝 四方拜 一月一日	祭 同上例ニ 依ル略ス	日	
過失相規 提發齊家 團養和衷 忠實服業 惟信惟義 華去就實 自強不息		農 家 訓	五 四 三 二 一	一、家ヲ富スニハ國家ノ爲メ ト心得奢修ヲ戒メ勤儉ノ 心掛肝要ノコト 二、一家ノ幸福ハ社會ノ賜ナ レハ公益ノ爲ニハ應分ノ 義務ニ盡シ公德ヲ修ムルノ 心掛肝要ノ業トシ改良ノ 一、多キハ少キニシテ ク一多キハ少キニシテ 用スルノ心掛肝要ノコト 二、共同ノ力ハ最モ大切ノ ナレバ個人ノ心掛肝要ノ 益ヲ進ムルハ掛肝要ノ利 益ヲ進ムルハ掛肝要ノ利 益ヲ進ムルハ掛肝要ノ利 益ヲ進ムルハ掛肝要ノ利	村風 奉公ノ精神ニ富ム 協同ノ精神ニ富ム 自治ノ精神ニ富ム 奉公ト以テ上下一致スルコト 同情ヲ以テ上下一致スルコト 自治ヲ以テ上下一致スルコト 自治ヲ以テ上下一致スルコト 自治ヲ以テ上下一致スルコト
地主ハ小作人ヲ愛護シ小作料ハ地主ヲ敬慕シ相互情結シテ融和ナリ小作料ハ最高一反歩ニ付壹石壹斗(地 價反當四拾圓ノ土地)最低六斗(地價反當貳拾圓ノ土地)平均ハ八斗五升位ニシテ小作ノ採納ハ從テ圓滿ニ 完結セラル、コトナリ		一、和協一致公德ヲ重スルコト 二、集會ノ時間ヲ守ルコト 三、餘暇ヲ利用シ副業ヲ營ムコト 四、奢侈ヲ戒メ誠實ヲ行フコト 五、勤儉ヲ旨トシ貯蓄ヲ勵行スルコト 六、學校兒童ノ就學出席ヲ怠ラサ 七、衛生ヲ重スルコト 八、火災及水災豫防ニ努ムルコト 九、納稅及水災豫防ニ努ムルコト 十、冠婚葬祭ニ際シテハ努メテ慶 弔スルコト 十一、村ノ規定及申合セヲ遵守實			
七谷村自強會 一、農家中業務行 程ヲ終ルニハ特 二、意ヲ分ニ注 三、意ヲ分ニ注 四、意ヲ分ニ注 五、意ヲ分ニ注		七谷信用組合 一、農家中業務行 程ヲ終ルニハ特 二、意ヲ分ニ注 三、意ヲ分ニ注 四、意ヲ分ニ注 五、意ヲ分ニ注			

(一) 全体ノ概況
 イ 戸數六百二十六戸 人口四千七十七人
 ロ 地勢平坦ニシテ西ニ刈谷田川アリ土地反別田百七十一町三反歩余畑反別十八町三反歩余宅地四万四千五百
 五十坪余原野二町三反歩余雜地一反六畝余歩ニシテ町名ヲ帶サルモ二大字ヨリ成ル小區劃ナリ

(二) 村是調査及實施ノ概況
 村是制定ハ目下講究調査中ニアリテ確立セザルモ愛ニ七谷村民實行スベキ年中行事トシテ左ノ要項ヲ舉ケ見易
 キ一覽表ニ認メ之ヲ毎戸ニ配布シ村民座右ノ銘トス 行事要項ハ別紙貼付ス

(三) 其他事蹟表彰
 現村長小野周平ハ明治四十一年十一月三日新潟縣知事ヨリ自治發展教育土木學校廢合基本財産ノ増殖勤儉貯蓄
 ノ獎勵等ニ功勞不尠ノ故ヲ以テ表彰セラレ亦七谷村トシテ教育發展優良ノ旨ヲ以テ明治四十二年十月十五日新
 潟縣知事ヨリ表彰セラレ金八拾圓ヲ賞授セラレ亦明治四十三年內務省ヨリ本縣下唯一ノ模範村トシテ獎勵金八
 百圓ヲ下付セラレ

(四) 感想
 民情ノ統一自治ノ發展教育ノ普及道路ノ開鑿基本財産ノ増殖勤儉貯蓄ノ獎勵等ノ進歩發達愛ニ至ラシメ模範村
 トナリシハ中野村長並ニ鶴巻村長ノ多年熱誠ヲ拂ヒ之カ自治ノ基礎ヲ強固ナラシムルニ貢獻シ續テ現小野村長
 及鶴巻助役亦克ク自治養成ニ前者ヲ凌キ努力セラレタル功果ニ外ナラズト認ムルモ今ハ模範村ニ甘シ尙進ンデ
 自治發展向上ノ劃策ナキヤニ見受ケラレタリ

新潟縣南蒲原郡今町狀況

ハ 重要物産米、毛筆、織物

米産高壹万五千石毛筆製造高二十万本此年收額二万余圓絹綿交付織物産高七千反此價格壹万數千圓ノ産額ヲ有シ何レモ改良振興ノ方法ヲ講シ獎勵シツ、アルナリ
ニ 沿革 慶長年間同縣三島郡寺泊ヨリ移入シタル上新田今町新田ノ二部落ナリシヲ明治二十二年町村制施行ニ際シ今町ト改メ今日ニ至レリ

(二) 町發達ノ原因

町村制施行ノ當時ヨリ町内ニ派ニ岐レ黨派ノ軋轢甚シク延テ村治ニ波及シ町治至難ナリシガ明治四十一年故町長高橋永恒ノ舉ラレテ職ニ就クヤ銳意百方ニ力ヲ盡シ協同一致ノ必要ヲ諭シ町民ノ反省ヲ促進シ熱誠町事ニ膺リ精勵能ク身ヲ以テ衆ヲ卒ヒタルニ町民ハ遂ニ其ノ誠意ニ動かサレテ從來ノ不和モ全ク其跡ヲ絶チ相互ニ力ヲ勤セテ町治ノ齋善ヲ圖ルニ至レリ亦町民滯納ノ弊甚シカリシガ銳意之レガ改善ニ努メ一定ノ整理方針ヲ立テ町民ニ諭告スルト共ニ納稅袋並ニ納期及納稅率一覽表ヲ毎戸ニ配布シ同時ニ納稅積立ノ方法ヲ講シ之ヲ勵行セシメ亦一面ニ於テハ徵稅時間ノ延長ヲナサシメタル等種々ナル施設ト微細ナル注意ヲ拂ヒ遂ニ其弊風ヲ一掃シ納期日迄ニハ完納スルニ到ラシメ其他風俗ノ改良ニ教育ノ進歩發達ニ衛生思想ノ養成ニ産業ノ改良增收獎勵ニ在ラユル方面ニ力ヲ致シ自治ノ基礎ヲ強固ニシ昔日ノ狀態ヲ一變シ大正二年八月病ノ爲メニ犯サレ此間七年町治ニ貢獻シ偉大ナル治績ヲ示シ後繼者亦克ク前者ノ主旨方針ニ則チ其施設經營指導等ニ努力シ倍々新進シテ一町和協ノ裡ニアリ

(三) 町吏員

吏員六人町長土屋房太郎ハ大正四年就職助役諸橋辰居ハ勤續十五ケ年收入役岡鐵治ハ大正五年就職書記三名ハ各々數年間勤續者ニシテ町長報酬年額百九十六圓助役ハ有給ニシテ月俸二十二圓收入役月俸十一圓書記月俸平均十三圓而シテ有給吏員退職ノ場合ハ給與規則ノ設アリ之レニ依リ支給ス

(四) 町會議員

議員定員十二名常設委員ノ設アリ互選ヲ以テ五名ヲ置ク其任務ハ常ニ理事者ノ町治方針ニ依ル諮問機關ナリ議員ノ待遇ニ付テハ別段ノ定メナシ唯實費トシテ日額五拾錢ヲ給スル而已ナリ

(五) 事務處理ノ方法

村長自ラ文書ノ收發受付ヲナシ口頭ヲ以テ辨理シ得ルモノハ簡便ニ取扱ヒ文書ノ處理ヲ要スルモノハ直ニ決裁シ收發件名簿ト共ニ各主任者ニ廻付シ處理セシメ亦報告等ニ付テハ其事項及期限ヲ揭示板ニ記載シ遲滞ナク報告完結セシメ亦文書類ノ編綴ハ目錄ヲ付シ整然トシテ見易ク保存ハ三年五年永年ニ區別シ全ク整ヘリ

(六) 豫算

大正六年度豫算總額壹万四千四百三十一圓内臨時部千五百九十四圓其主ナルモノハ小學校建築連年計劃積立ナリ而シテ之カ歳入ノ負擔ハ戶數割附加稅ニ於テ過半ヲ賦課徵收ス町稅戶別割一戸平均拾圓九十八錢余ニシテ他町村ニ比シ重課ノ爲メ昨年町會ニ於テ町稅賦課徵收方法ノ改正及新財源調査ヲ爲シタル事ナルモ要費ハ減セズ却テ漸次増加ノ傾向ニシテ理事者ハ財源ニ苦心セラル、コトナリ 亦今町ノ歲計狀況ヲ知ルニ足ル左ノ圖表アリ 圖ハ略ス其題目左ノ通り

一、今町歲入累計一覽表

一、今町歲出累計一覽表

一、今町諸稅負擔一覽表

一、今町諸稅負擔累計比較表

一、今町諸稅負擔累計比較表

(七) 組合及會社ノ狀況

貯蓄組合大字上新田部落ニ設置アリ字民殆ント全部組合員ナリ其蓄積高大正五年末日現在貳千三百圓ノ額ニ達ス亦同町ニ株式組織ナル今町銀行アリ株主ハ町民ニシテ其資本金貳拾万圓ニシテ確實ナル銀行ニシテ役場ニ於テ取扱フモノハ總テ本銀行ニ托スルコトナリ

(八) 基本財産造成及管理狀況

町有基本財産現金四千七十四圓御即位紀念トシテ造成シタル基本財産ハ百二十三圓五拾錢田壹反八畝十七步畑二反二十三步宅地百十二坪原野九畝十七步ヲ有シ現金ハ今町銀行ニ預ケ入レ亦土地ハ貸地トナシ夫々收益ヲ計レリ亦小學校基本財産現金及株券所有高千七百二十八圓拾錢内今町銀行株券三百五十圓原野一反二畝十七步ヲ有シ之カ管理ハ町有ニ同シ亦警備基金三百九圓六十二錢ヲ有シ均シク今町銀行ニ預ケ置ク

(九) 教化事業ニ關スル施設

補習教育普及ノ爲メ小學校卒業生ニ實業上ノ智識技能ヲ授ケ併テ既習ノ學業ヲ練習補充スベク目的ヲ以テ男子

部女子部共設アリ男子ニハ實業補習學校ニ於テ主トシテ實科ヲ授ケ其生徒四十名内外ナリ亦女子裁縫補習學校ハ大正四年迄ハ専ラ裁縫ノ技能ヲ授クルヲ主トシ學科ニハ比較的重キヲ置カサリシガ大正五年ヨリ學則ヲ改正シ學科ト裁縫ト合セテ授クモノト從來ヨリ一層裁縫ニ重キヲ置クモノト區別シ前者ヲ本科トシ後者ヲ專科トス本科ノ爲メニ學科ヲ授クル教員作法ヲ授クル教員一名ヲ任用シ而シテ其生徒ハ本科九名專科三十四名ニシテ之ガ經費ハ男子ノ補習學校費六拾八圓ニシテ裁縫補習學校費ハ五百九拾四圓ナリ亦一般教育トシテハ小學校ニ於テ卒業生ヲ召集シ教育點呼ヲ行フコト二回亦實業組合ニ於テ大家名士ヲ聘シ講演會ヲ開クコト一回何レモ必ス年々執行シ其他青年會婦人會等ニ於テ主催シ有益ナル講演講話ヲ開キ町民多衆ニ聽講セシメ亦縣立圖書館ノ巡回文庫年二回ノ廻付アリ小學校ニ於テ一般ニ閱覽セシメタル等社會教育上裨益スル所尠カラサリキ

(十) 公衆衛生ニ關スル施設

一般町民ノ衛生思想ノ養成ヲ主トシ生命財產ノ安固ヲ計リ衛生組合ヲ設置シ之レニ活動ヲ求ムル爲メ町費ヲ補助シ組合ハ衛生思想發達方法トシテ適切ナル時機ヲ見計ヒ講演及講話會ヲ開催シ多衆ニ聽講セシメ以テ衛生ノ重スベキ感念ヲ悟ラシム上下水ノ設備ハ下水甚タ不完全ナルヨリ年々町費數百圓ヲ要費シ五ケ年事業トシテ之カ完成ヲ期スルニアリ亦傳染病豫防トシテハ從來年々腸窒扶斯患者發生シ多額ノ町費ヲ消費シ亦人命ヲ損スルヲ虞レ之ガ豫防消毒ニ關シテハ及フ限リノ手段方法ヲ講シ腸窒扶斯患者ノ發生附近ハ豫防液注射ヲ實行シ其受術者數十名施行シ之ガ撲滅ヲ期シ大正五年一月同患者ヲ發シタル而モ其後一名ノ發生ヲ見サリシハ之レ町民ノ公私衛生ニ注意周到セル結果ナリト云フ

(十一) 産業ニ關スル施設

イ 農事ノ改良トシテ既ニ本縣ニ於テ設定セラレタル產業縣是實行ノ第一年タルヲ以テ適當ナル事項ヲ採擇シ實行ニ付テハ細心ノ注意ヲ拂ヒ左記ノ各項ニ對シ極力勵行ヲナセリ馬耕獎勵堆積肥料舍建設綠肥(紫雲英)栽培人工稻架増設、稻、莖干乾燥、水稻品種ノ改良、挿秧期及挿秧方法ノ改良米質ノ改良、小作者ノ獎勵、産業改良實行組合ノ組織及勵行等ニシテ亦產米改良トシテ大正五年度ヨリ検査ヲ實施シ其成績頗ル良好ナリトス亦耕地整理ハ連年事業トシ施行シ大正五年ノ施行反別大字今町五十八町八反八畝三步大字上新田二

十二町六反三畝十歩其他ハ目下實施中ニアリ本年ヲ以テ全部耕地整理工事ノ終了ヲ告グルコトニシテ其工事ハ何レモ地元大字農家ノ受負ニテ完成セルコトナリ亦副業トシテ蔬菜栽培改良ノ爲メ品良ノ種子無料配布ヲナシ大ニ獎勵シツ、アリ亦本年ヨリ洋鷄飼育ニ着眼シ柵飼方法ノ獎勵ヲ始ム

地主ト小作人トノ關係 村地主會ノ設ケアリ本會ハ小作米改良ノ一方法トシテ品良ノ種子ヲ小作人ニ無代配布ヲナシ之ヲ播種精勵セシメ能ク小作人ヲ愛護シ小作人亦其恩惠ニ感シ能ク耕シ能ク納メ兩者間極メテ圓滿ノ狀ニアリ

ニ 農會 農會事業ハ以上地主會ト相俟チ之カ改良增收目的ノ許ニ水稻選擇方法トシテ採種田ヲ設ケ種類ヲ撰擇シ馬耕ノ獎勵病虫害ノ驅除及野鼠退治等ヲ勵行シ亦堆肥舍建設方トシテ一舍ニ對シ本會ヨリ金五圓補助シ一舍建設費金貳拾五圓ノ豫算ヲ以テ毎月金五拾錢ヲ貯金セシメ而シテ一般ニ建設ノ方法ヲ執レリ亦本年ヨリ水利組合ヲ農會ニ移シ水害ノ防備用惡水路ノ浚渫等專ラ設備ト實行ニ出ツ而シテ本會ノ豫算額ハ八百八拾三圓ニシテ其徵收方法ハ會員所有地價金百圓ニ對シ金八拾九錢四厘ノ割充テナリ

(十二) 町是調査及實施ノ概況

イ 今町是制定ノ要旨 (大正五年十二月郡長認定)

既往ノ事歴ニ徴シ將來ノ趨勢ヲ考慮シ茲ニ本町是ヲ設定シ以テ町民ノ福利ヲ増進シ町勢ノ發展ヲ期セントス然リト雖モ言フハ易ク行フハ難シ徒ラニ高遠ナル理想ヲノミ求ムル時ハ却テ實行難ニ陥リ空文タルヲ免カレサルノ虞レアリ故ニ專ラ現實的ノ事項ニ付當面最モ緊切急要ナルモノヲ掲記セリ町民タルモノ夫レ克ク共同一致奮勵努力以テ其遂行ヲ怠ルナカラントヲ望ム

事項目次

- 一、基本財産ノ造成
- 二、道路ノ改修
- 三、實業ニ關スル施設
- 四、上水ノ施設
- 五、下水ノ改良
- 六、衛生ニ關スル施設
- 七、教育ニ關スル施設
- 以上 各實行事項ハ略ス
- ハ 實施ノ概況 實行事項ヲ摘記シタル年中行事ヲ一般ニ配布シ實行委員五名ヲ置キ(町會ヨリ選定)本委員ハ實行スベキ要項ニ向テ時々一定ノ場所ニ町民ヲ集メ講演、講話、及協議ヲナシ亦常ニ直接戸毎ヲ巡回シ指

導督勵ヲナシ徐々トシテ歩ヲ進メ將來其實行成績見ルベキモノナリト期待シケリ

(三)其他 故町長高橋永恒ノ表彰

南蒲原郡今町長トシテ在職七年間忠誠事ニ從ヒ各般ノ施設見ルベキモノアルノ故ヲ以テ大正四年本縣知事ヨリ表彰ヲ受ク

(古)感想

虞ルベキ町民ノ軋輾弊風ノ波ヲ靜メ大平ニ歸セシメ自治發展向上ノ域ニ進メ民情ノ統一産業獎勵納稅ノ獎勵教育ノ普及衛生ノ施設等町民ノ福利増進ヲ圖リタルハ正ニ故町長高橋永恒ノ熱誠努力ノ致ス所言ヲ俟タザルナリ後者克ク其跡ヲ次キ耕地整理全町舉ケテ完成ノ運ヒニ至ラシメタルハ他ニ類ヲ聞カザルナリ斯ク努力セラルルモ前者ノ如ク萬般ニ涉リ急進ノ實績ヲ舉クルハ疑ハシキヤニ見ユ開ハ現當局者ノ意見ヲ窺フニ以上ノ抱負立案ナカリシナリ只管町是ノ實行ヲ期セシメ亦町民ニ對シ親切ヲ主トシテ町治ヲ爲スニアリ然シナカラ一反堅實ニ統治シタル町勢ナルカ故前者ノ町治方針ヲ襲踏シタランニハ秀拔的ニ進マザルモ退クコトナカラン

群馬縣山田郡境野村狀況

(一)全体ノ概況

イ 戶數七百五十七戶 人口四千四百七十九人

ロ 地勢稍々平坦ニシテ桐生町南ニアリ西南ハ渡良瀬川ヲ隔テ、廣澤村ニ接シ東北ハ桐生川ヲ隔テ、栃木縣足利郡菱村及葉鹿村ニ接ス

ハ 面積東西二十町南北五十四町面積約百万坪以内土地反別貳百二十六町内田反別八十餘町畑反別六十四町歩ニシテ其他ハ宅地山林原野ナリ

ニ 重要物産織物ヲ第一トシ米麥之レニ次ク織物製造産額ノ概況ヲ示セバ機業戶數四百五十五戶内織元戶數五十四戶賃織戶數四百一戶機臺數八百十九臺之レニ從事スル職工男七十九人女九百三十九人ニシテ之ガ産出織物ノ種類數量價格ハ白絹類五百四十反此價格貳千七百圓無地及綿着尺物類四千六百七十反此價格四万千

(二)村發達ノ原因

九百六拾圓絹綿交織物女帶地類二十一万六千六百一本此價格六十三万五千六百六十六圓總計産出價格六拾七万九千八百二十六圓ノ多額ニ達シ全國織物市場トシテ桐生町ノ輸出物産ニ係ルモノハ多ク本村ヲ數フル處ニシテ益々盛大シ發展ノ域ニ進ム亦米麥産額トシテハ米ノ作付反別八十町八反歩此收穫高千六百七十石陸稻ノ作付反別一町三反歩此收量十五石亦大麥作付反別田畑ヲ通シ八十二町八反歩此收穫高千三百八十石ニシテ從事スル農家戶數專業者七十一戶兼業戶數百三十五戶ニシテ之レ亦改良增收ヲ計レリ

ホ 沿革元旗元領地ニシテ明治五年栃木縣ニ編入セラレ明治九年群馬縣ニ組替セシ町村制施行以來今日ニ至ル

本村ハ町村制施行ノ當時ヨリ村内ニ派ニ岐レ軋輾葛藤曷ムコトナカリシモ明治二十五年元村長野邊三左ノ舉ケラレテ其職ニ就クヤ百方力ヲ盡シテ協同一致ノ必要ヲ諭シ以テ村民ノ反省ヲ促シ己レ亦専心村治ニ膺リテ精勵克ク身ヲ以テ衆ヲ卒ヒタルニ村民ハ遂ニ其誠意ニ動かサレテ從來ノ不和モ全ク其跡ヲ絶チ相共ニ力ヲ戮セテ村治ノ齋善ヲ圖ルニ至レリ從テ村民滯納ノ弊ヲ矯正シ租稅組合ヲ各部落ニ設ケシメ積弊ヲ去リ完納セシムルニ至レリ亦學齡兒童ノ就學督勵トシテ父兄會ナルモノヲ設ケ村内ヲ二十二組ニ分チ各組合ヨリ惣代ヲ選出セシメ毎月一回惣代會ヲ開キ學校ト家庭トノ聯絡ヲ計リ相互ノ隔意ナカラシメ一意督勵ニ努メタル爲メ漸次就學歩合モ好良トナリ校舍ヲ増築シテ器械標本等ノ設備ヲ全クセラレ亦青年夜學會ヲ設ケ一ハ以テ徵兵適齡者ノ教習ヲナシ一ハ以テ青年子弟ノ教養ニ努メタリ其他報德會ヲ組織シ或ハ養老會ヲ設ケ其他道路ノ改修及排水灌溉ノ措置モ備ハリ着々興新ノ實ヲ舉ケ一村和協ノ裡ヲ致ス氏カ勤勞年數二十五ケ年間ノ久シキニ亘リ貢獻シ大正四年七月退職セラレ現村長高田菊一郎其跡ニ立チ前者ノ主旨方針ニ則リ施設經營指導等亦克ク劃策獎勵シ村内大資家及議員有志結合シ熱誠以テ優良村ノ名譽ヲ重シ尙改善發展ニ努力セラレツツ現況ニアリ

(三)村吏員及待遇方法

村長助役收入役及書記四人ニシテ村長高田菊一郎ハ有給ニシテ大正四年八月就職月俸金三拾五圓助役下山覺三郎之レ亦有給ニシテ之カ勤續二十ケ年奉職シ月俸金拾五圓收入役田中英一郎ハ大正五年六月就職月俸金拾七圓書記四名ノ内前原庄次郎ハ勤續年數十八ケ年ニシテ其他ノ書記ハ四、五、ケ年ノ勤續者ニシテ書記最高月俸拾

六圓平均額拾貳圓八拾貳錢五厘而シテ吏員退職ノ場合ハ退職給與條例ニ依リ支給ス在職四ヶ年以上月給十分ノ四年數ニ應シ加算シ亦死亡給與ハ月俸十分ノ五ナリ

(四) 村會議員 議員十二名ニシテ費用辨償額形式のニ豫算若干掲上セルモ其實際ニ於テハ責務用務ノ爲メ全日ニ互ル場合ト雖モ中食等ハ總テ自辨ヲ以テナシ實費ヲ要セスシテ職責ヲ盡シ美風ヲ造ラレリ

(五) 事務處理ノ狀況 世運ノ發展進步ニ伴ヒ各般ノ行政事務愈々複雑トナリ繁劇ノ度ヲ加エ來リ之レカ尋常一様ノ事ニテハ事務處理ニ溢滞ヲ來スハ必然ナリトシ村長自ラ算筆ヲ耕シ以下吏員亦克ク之レニ倣ヘ時間ヲ嚴守シ執務中雜談ナク爲スベキコトハ即時ニ之ヲナシ何事モ全力ヲ以テ行ヒ熱誠ニ執務セルガ故ニ錯誤溢滞亂雜等ノ事ナク整然トシテ見ルベキモノナリ

(六) 豫算及負擔ノ狀況

大正六年度豫算高壹万七百五拾四圓此ノ歲出内譯ヲ示セバ

役場費二千三百四十六圓會議費十九圓小學校費四千九百三十圓學事會費十二圓傳染病豫防費三十四圓隔離病舎費三百圓勸業費五圓警備費二百十九圓基本財産造成費二千二百四十四圓財産費二十三圓諸稅及負擔三百三十四圓徵發費五圓雜支出九十一圓豫備費五百五十圓臨時補助費三十圓之ハ在郷軍人分會へ補助ナリ

負擔ノ輕重歲入豫算中戸別割ニ於テ七千七百三十四圓總額豫算ノ七分以上ヲ負擔シ一戸平均拾圓貳拾九錢六厘ニシテ此賦課標準タル縣稅戶數割等級賦課ニ依レハ最高(即特等)負擔點數千六百二十點最低(末等)負擔點數僅カ一點ナリ之レニ依テ見レハ大者ハ割合ニ重ク小者ハ割合ニ輕ク而シテ經費ハ年々漸次増加ノ傾向ナリ

(七) 納稅狀況

諸稅ヲ完納セシムルガ爲メ納稅貯金ヲ獎勵シ之カ積立ヲ怠ラズ其收納ノ狀況ハ國縣稅村稅ハ勿論其他水利組合費及農會費等ニ至ル迄滞納スルモノ一人モナク頗ル成績好良ニシテ納稅ノ模範村トシテ恥シサルナリ之レ獨リ同村ノ名譽維持ノミナラズ眞ニ國家ノ一大慶事ト云フベキナリ

(八) 基本財産及管理狀況

イ 本村基本財産造成ハ蓄積條例ニ依ル積立ヲナシ年々増殖シ其種類價格及現金左ニ
一、臨時事件費特別五分利公債證書額面千五百圓

一、第二回四分利公債證書額面壹万一千圓

一、群馬縣農工銀行株券額面五百圓

一、同銀行株券額面五百圓但第一回拂込金百二十五圓

一、現金四百三十三圓十五錢五厘 本金ハ株式會社四十一銀行へ定期預入

一、山林原野四反七畝十六步 此時價格五拾圓

一、家屋一棟建坪十二坪五合 此時價格三百五拾圓

ロ 小學校基本財産内譯左ニ

一、臨時事件特別五分利公債證書額面三千圓

一、貯蓄債券額面拾圓

一、勸業債券額面四拾圓

一、現金百二十九圓三十八錢八厘 本金ハ桐生郵便局へ預入ス

此他營造物等ノ無收益財産ハ畧ス

(九) 教化事業ニ關スル施設

一般教育普及トシテ時々大家名士ヲ聘シ通俗教育衛生、統計等ノ講演及講習會ヲ開催シ精神修養ヲナシ亦補習教育トシテハ夜學會ヲ設ク毎年十一月ヨリ翌年三月迄五ヶ月間小學校卒業後壯丁ニ達スル迄ノモノヲ教養ス其生徒百四五十名ニ及ヒ主トシテ工業的ノ學術ヲ授ク亦青年會ハ昨年五月ノ組織ニシテ之レヲ九ヶ支部ニ分チ其會員四百名ニ達シタルモ發會式後日淺ク之ガ事業トシテハ蔬菜家禽ノ品評會ヲ開催シタル而已ニシテ活動方法計劃研究中ニアリ

(十) 産業ニ關スル施設

本村ノ産業ハ機業ニシテ之カ盛衰ハ忽チ消長ニ關係ヲ有スルヲ以テ常ニ爰ニ留意シ嶄新ナル意匠ヲ凝シ發展ヲ計ルニアリ大正三年以來歐洲大戰亂ノ爲メ斯界ニ好影響ヲ受ケ各種當業者盛況ヲ呈シ來リ爲メニ農業タル米麥其他ノ農作物ハ前年ニ比シ收量ヲ減シ品質亦粗惡ニ陥リタリ之レ即チ機業ニ集注シタル影響ニシテ這ハ眞ニ一

部分ノ欠損ニ止マリ村民全体ノ經濟上ニ關シテハ格別ノ影響ヲ認ムルニ至ラザリキ然レドモ農業上ノ施設經營トシテハ油斷ナク例年ノ如ク米作ニ就キ害虫ヲ驅除シ苗代ニ點火ヲ勵行シ學校生徒ヲシテ採虫ニ從事セシメ亦麥作ニ就キテハ黑穗拔キヲ實行セシメ亦產米麥検査施行ノ準備行爲トシテ改良俵裝ノ調製方ヲ傳習セシメ且ツ同一ノ目的ヲ以テ地主會ヲ設立シ小作米麥ノ獎勵規程ヲ設置シタリ亦農會ニ於テモ例年ノ如ク稻ノ種子ニ對シ澆水選ヲ執行シ麥ノ選種ニ付テハ冷水及温湯浸法ヲ勵行シ之カ改良增收方法ノ一端トシテ米麥立毛品評會ヲナシ亦蠶業發達ノ方法トシテ共同稚蠶飼育所ヲ設置シ夫々增收計レリ亦玄米貯藏方法トシテ縣技手ヲ托シニ硫化炭酸ノ燻蒸法ヲ執行シタリ亦本村ニ於テハ從來產業組合ノ設置ナカリシヲ以テ有志相謀リ購買組合設立ヲ企畫シ本年三月其設立ヲ見ルニ至リ其組合員六十四名ニシテ出資金五千圓ヲ以テ登記ノ手續ヲ了シ將來ハ信用組合ニ引直ス目的ナリト

(七) 其他特種ノ施設

イ 養老會ナルモノヲ設ケ長老者ヲ尊ヒ慰ムルノ目的ヲ以テ有志ヨリ釀出シ然シテ年々年齢七十七歳以上ノ老者ヲ招待シ之ニ相當ノ響應ヲナシ亦記念品トシテ座布團及福草履等ヲ贈呈シ餘興トシテ小學校生徒ノ運動會ヲナシ其他音曲等ノ事ヲ爲シ而シテ老者ニ歡樂ヲ與ヘルコト第九回ニ及ブ

ロ 入退營兵ニ對スル方法 壯丁検査ニ合格シ現役トナリ入營スルモノニ對シ同年受検査ニシテ合格セザルモノハ各々金壹圓ツ、釀出シ此集金ヲ以テ軍服ヲ調製シ之レヲ贈呈ス亦一般ニ於テハ招待及宴會等ハ省キ極メテ質素ニ錢別ヲ以テ之ヲ送り亦退營ノ場合モ之ニ均ク一個所ニ出迎ヒ酒食土產等ヲ享クル様ノコトナク實ニ美風ノコトタルベシ

(八) 表彰

群馬縣山田郡境野村
協同輯睦相卒ヒテ克ク公共ノ事ニ竭シ整理經營共ニ見ルベキモノ少カラス今後一層ノ奮勵ヲ以テ互ニ相勸カシ益々其實績ヲ擧クベシ茲ニ金五百圓ヲ授與ス
明治四十三年二月廿五日
内務大臣 從三位 法學博士 男爵 平 田 東 助

(三) 感想

民情ノ統一積弊ノ改善納稅ノ獎勵公德心ノ養成教育ノ普及等今日ニ至ラシメタルハ元野邊村長ノ多年一日ノ如ク熱誠ヲ以テ村治ニ膺リ有志亦克ク斡旋協力シタル好果ニ外ナラズト信ス而シテ本村ノ特ニ優秀ト認メラルルハ納稅ノ完納ニシテ廿有餘年來ノ久シキ間一人ノ未納者出テザルハ納稅義務感念ノ植込ミ深ク徹底シテ動カサル結果ナリト信ス亦村治ニ興ル議員及有志ノ意向ハ自ラ範ヲ示スノ舉ニアリ假令ハ村會議出席ノ辨當自辨ノ如キ亦長老者慰安費ノ釀出ノ如キ亦村稅戶別割負擔細民保護ノ如キ慈善心ヲ以テ村治其他ニ携ハルガ故自然良風ニ感化セシムルノ美風ヲ造リ公德心益々向上シ此趨勢ニ依レバ協同一致福利増進ノ實績倍々高マラント欲ス 群馬縣勢多郡木瀨村 無限野中信用購買販賣生產組合狀況

(一) 組合設立ノ狀況

イ 組合員ハ大字野中住民ノミニシテ農業五拾戶職工六戶人口四百人ヲ有スル小字ナリ
ロ 創立年月產業組合法發布以前ヨリ共同購買販賣ヲナシ來リタルモ同法施行ト同時即チ明治三十五年ヨリ同法ニ則リ經營シ明治四十三年無限責任トナレリ
ハ 組合長清水及衛ハ創立以來現職ニアリ
ニ 組合ノ目的困憊疲弊ニ陥レル農村ヲシテ改善セントスルニアリ
ホ 組合ノ經營方法本組合ハ普通組合ノ如ク購買販賣ニ因テ得タル利益ヲ目的トスルモノニアラズ農家ノ疲弊ハ高價ナル肥料ヲ多量ニ購入シ而シテ無効ニ費消スルニアリ故ニ當組合ニテハ各組合員ノ所實施肥量ヲ考査シ多量ニ消費セントスルモ決シテ賣却セサルニアリ

(二) 風紀ノ改善 冠婚葬祭等ニ就テハ經濟上風紀上幾多ノ欠點アルヲ免カレズ故ニ會集者ヲ制限シ費用ト時間トヲ節約シ總テ會合ニ酒肴ヲ供セサルヲ以テ風紀上改善セラレタル點多シ葬式ノ場合ニ於ケル會葬者ハ豫メ會葬者名簿ヲ備ヘ之レニ記入セシムルヲ以テ施主ハ會葬者ニ響應ノ費用ヲ節約シ會葬者ハ終ルト同時ニ姓名ヲ記入シ歸宅スルガ故時間ヲ節約スルコト大ナリ亦手傳等ノ名義ノ許ニ會葬スルニアラサルヲ以テ全部禮服ヲ着用シ爾然トシテ會葬ヲ終リ經濟上風紀上偉大ナル効果アリ

(三) 附屬會ノ狀況 本組合ノ附帯機關トシテ野人會ナルモノヲ組織シ其事業ハ各人耕作歩刈調査ヲナシ以テ其田區ニ於ケル實地ノ試驗ヲ行ヒ亦勞力ノ分配ヲ適當ナラシメ併セテ勤勉ノ美風ヲ養成センガ爲メ農家々計簿農業日誌ヲ組合員ニ記載セシムル等農家經濟ヲ明瞭ナラシム

(四) 衛生上ノ施設 組合員ハ衛生貯金ヲナス其方法ハ一人一ヶ月金五錢ツ、トシ一家五人ノ家族ナレバ二十五錢六人ノ家族ナレバ三十錢ツ、年二回ニ貯金セシメ往診料藥價等一切組合ニ於テ年二回ノ支拂ヲナス而シテ病名調査ヲナシ若シ花柳病アルトキハ患者ノ負擔トシ組合ハ支拂ヲナサズ故ニ青年ノ風紀モ大ニ改善セラレ大字内ニ於ケル衛生狀態極メテ良好ナリ而シ大字野中五十六戸人口四百人ニ對スル一ケ年ノ醫料ハ二百圓乃至二百五拾圓ニシテ三百圓ニ達シタコトナシト云フ此貯金ハ家族ノ多少ニ關セス共通貯金ニシテ利子ヲ附セズ亦過不足ハ組合ノ利益ト共通シ組合員ハ發病ノ初期ニ於テ醫料ヲ請フ爲メ全治極メテ速カナリ

(五) 組合設立以前ノ狀況ト現在ノ狀況

組合設立以前ニアリテハ一般農業及經濟上ノ智識ニ乏シク爲ニ舊慣ヲ固守スル外何等改良ヲ計ルコトナク從事シ來リタルモ時勢ノ變遷ト共ニ漸次物價騰貴シ衣食住ノ程度ヲ高メ收支償ハズ爲ニ追々負債ヲ生シ遂ニ土地ヲ賣却シ整理ノ止ムナキ困憊ニ陥リ自然宇内ノ風紀大ニ亂レ博奕ヲナシ酒ヲ飲ミ投機的事業ニ手ヲ出スモノ等益々類ヲ及ホシ漸次多キヲ見ルニ至リ宇内二、三、ノ有志之ヲ憂ヒ將來ヲ研究スルニ此幣風ヲ脱却矯正スルニハ團體ヲ設ケ協力一致ノ方策ヲ講セズンバ防止スルコト能ハザルモノトシ爰ニ非常ノ苦心ヲ凝シタル結果本組合設立ノ運ヒトナレリ而シテ現在ノ狀況ハ農民各自自覺ノ上努力シタルニ依リ従前ハ地主六分小作人四分ナリシモ今日ニ至リテハ地主八分五厘小作人一分五厘ノ好績ヲ示スニ至レリ

(六) 感想

疲弊困憊墮落ニ陥ル農村ヲ振興シ而モ組合ノ施設經營方法他ニ其ノ類ヲ見サル組織ニシテ産業ノ發達風紀ノ改善將タ衛生ノ保全ニ福利増進ノ今日ニ至ラシメ全國ノ模範ト稱セラル、ハ正ニ組合長清水及衛ノ熱誠努力ノ致ス所言ヲ俟タサルナリ而シテ本組合施設經營中特ニ優秀ト認め鼓吹スベキト感シタルハ衛生貯金ノ方法ニシテ衛生ノ保全共ニ青年幣風ノ防止改悛ノ兩得ニヤ最モ面白キ方法ナリト信ス

大正七年六月廿八日印刷
大正七年六月廿九日發行

栃木縣内務部

印刷人

關

根

義

三

栃木縣宇都宮市杉原町三二六四番地

印刷所

下野印刷株式會社

栃木縣宇都宮市杉原町三二六四番地

11-34
-5

終